

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第11集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 10

2014年3月

ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第11集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 10

2014年3月

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成17年10月の合併により新たな歴史を歩みはじめました。

市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることが出来ます。それぞれに特色のある地域の歴史も、一つの大きな流れとして捉えると、改めてこの地域の繋がりや関係の深さを感じます。そして、現在のふじみ野市も歴史的に大きな画期にあるといえます。

ふじみ野市は、都心から30km圏内という立地条件にあるため、昭和30年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きな変化をしてきました。そして今、合併により更なる変貌を遂げようとしています。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。発掘調査の成果は、近年の開発ラッシュに伴う店舗や住宅建設によるものが主体です。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

本書は、民間の開発事業者からの委託を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。将来にわたってこれらの資料を、地域の文化・歴史を学ぶ糧として広く皆様方に活用していただければ幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担と、ご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁・埼玉県教育委員会生涯学習文化財保護課・市関係各課・調査関係者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼と感謝を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長職務代理者 高山 稔

例 言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2010（平成22）年度の試掘調査と発掘調査の報告書である。
2. 2010（平成22）年度に行った試掘調査および整理作業は、総経費10,082,430円に対し、国庫（5,000,000円）、県費（2,500,000円）の補助金の交付を受け、2010（平成22）年4月1日から2011（平成23）年3月31日まで実施したものである。

3. 調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護係調査担当者	高崎直成（～2013.3.31）
担当課	生涯学習課文化財保護係		鍋島直久
教育長	矢島秀一（2010.3.19～2014.3.18）	庶務担当	国分英良
教育長職務代理者	高山 稔（2014.3.19～2014.3.31）		柳澤健司
生涯学習部長	高梨眞太郎（2010.4.1～2012.3.31）		岡 健二（2013.4.1～）
	綾部 誠（2012.4.1～2013.3.31）	発掘調査員補	越村 篤
教育部長	高山 稔（2013.4.1～）	嘱託員	藤牧守絵（2003.4.1～2012.3.31）
生涯学習課長	綾部 誠（2009.4.1～2012.3.31）		配島結華（2012.4.1～2013.3.31）
	桜井信枝（2012.4.1～）	臨時的任用職員	高橋京子
生涯学習課主幹兼上福岡歴史民俗資料館長			
	坪田幹男（2013.4.1～）		
文化財保護係長	坪田幹男（2007.4.1～2011.3.31）		
	橋本鶴人（2011.4.1～2013.3.31）		
	高崎直成（2013.4.1～）		

4. 本書作成の作業分担は事実報告及び遺構の執筆を高崎、遺物の執筆を笹森健一（ふじみ野市文化財保護審議会委員）が行った。また図版作成の一部と石器実測の一部を(株)東京航業研究所に委託した。報告書作成全般にわたり、鍋島、越村の協力を得た。

本文・挿図割付：高橋けい子 遺物接合・復元：中田藤子 土器実測・拓本：石垣ゆき子 石器実測：大久保明子
遺構・遺物トレース：小林登喜江 遺構写真：坪田幹男、鍋島直久、高崎直成、越村篤 遺物写真：大久保明子
図版作成：石垣ゆき子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、鈴木千恵子、青山奈保美 松平静

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）
会田明、阿部常樹、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、上田寛、越前谷理、大久保淳、大柴英雄、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、酒井智晴、笹森健一、佐藤啓子、佐藤良博、塩野賀一、鈴木清、田中信、丹治剛、角田史雄、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松本富雄、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育局生涯学習文化財課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）明石千とせ、新井和枝、飯塚泰子、壹岐久子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、白井孝、金子君子、川中ひろみ、菊口繁子、小林こずい、西城満期子、坂本民子、佐久間ひろ子、佐竹里佳、篠崎忠三、杉本佳久、鈴木勝弘、関田成美、高貝しづ子、沼澤岩男、野岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、増沢勝実、山内康代、米田昇三、若林紀美代

〈整理作業参加者〉（敬称略）青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、鈴木千恵子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、松平静

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として以下のとおりとしたが例外的に変更したものもある。

遺構配置図 1:300 または 1:500 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30

土器実測図・土器拓影図 1:4 石器実測図 1:4、2:3、1:6 錢貨 1:1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土  粘土  コンクリート  煤  赤彩 

土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○

(4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わす。

(5) 遺構・遺物実測図中の(✕三角マーク)は図の接続、結合を示す。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。整理作業時に遺構名称を変更したものについては、新旧の名称を表等に記している。

3. 本文中の各表内におけるカッコ()付の数値は残存値を示す。

4. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会上福岡歴史民俗資料館に保管してある。

埼玉県ふじみ野市
市内遺跡群 10 目次

はじめに	i	II 西ノ原遺跡第 145 地点	67
例 言	ii	III 西ノ原遺跡第 146 地点	70
凡 例	iii	IV 西ノ原遺跡第 147・148 地点	72
目 次	v	V 西ノ原遺跡第 149 地点	87
挿図目次	vi	第 11 章 神明後遺跡の調査	89
表 目 次	viii	I 遺跡の立地と環境	89
写真図版目次	ix	II 神明後遺跡第 42 地点	89
		III 神明後遺跡第 43 地点	89
第 1 章 遺跡と調査の概要	1	第 12 章 浄禅寺跡遺跡の調査	92
I 調査に至る経過	1	I 遺跡の立地と環境	92
II 立地と環境	3	II 浄禅寺跡遺跡第 33 地点	92
III 市内の遺跡	4	第 13 章 小田久保遺跡の調査	94
第 2 章 北野遺跡の調査	8	I 遺跡の立地と環境	94
I 遺跡の立地と環境	8	II 小田久保遺跡第 9 地点	94
II 北野遺跡第 19 地点	9	第 14 章 本村遺跡の調査	96
第 3 章 川崎遺跡の調査	10	I 遺跡の立地と環境	96
I 遺跡の立地と環境	10	II 本村遺跡第 123 地点	98
II 川崎遺跡第 32 地点	14	III 本村遺跡第 124 地点	98
第 4 章 滝遺跡の調査	24	IV 本村遺跡第 125 地点	100
I 遺跡の立地と環境	24	V 本村遺跡第 126 地点	100
II 滝遺跡第 17 地点	24	VI 本村遺跡第 127 地点	100
第 5 章 松山遺跡の調査	37	写真図版	103
I 遺跡の立地と環境	37	抄 録	119
II 松山遺跡第 51 地点	41		
III 松山遺跡第 52 地点	41		
IV 松山遺跡第 53 地点	45		
V 松山遺跡第 55 地点	46		
第 6 章 東久保遺跡の調査	51		
I 遺跡の立地と環境	51		
II 東久保遺跡第 69 地点	51		
第 7 章 駒林遺跡の調査	52		
I 遺跡の立地と環境	52		
II 駒林遺跡第 11 地点	52		
III 駒林遺跡第 12 地点	54		
IV 駒林遺跡第 13 地点	54		
V 駒林遺跡第 14 地点	56		
VI 駒林遺跡第 15 地点	57		
第 8 章 東中学校西遺跡の調査	58		
I 遺跡の立地と環境	58		
II 東中学校西遺跡第 34 地点	58		
第 9 章 東久保南遺跡の調査	61		
I 遺跡の立地と環境	61		
II 東久保南遺跡第 38 地点	61		
第 10 章 西ノ原遺跡の調査	63		
I 遺跡の立地と環境	63		

挿 図 目 次

第 1 図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	4
第 2 図	ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)	6
第 3 図	北野遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	8
第 4 図	北野遺跡第 19 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)	9
第 5 図	川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	10
第 6 図	川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)	12
第 7 図	川崎遺跡第 32 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	14
第 8 図	川崎遺跡第 32 地点 H65 号住居跡・掘方 (1/60)	16
第 9 図	川崎遺跡第 32 地点 H65 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、竈・掘方 (1/30)	17
第 10 図	川崎遺跡第 32 地点 H 66 号住居跡・掘方 (1/60)	18
第 11 図	川崎遺跡第 32 地点 H 66 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、竈・掘方 (1/30)	19
第 12 図	川崎遺跡第 32 地点 H 67 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)	20
第 13 図	川崎遺跡第 32 地点土坑・ピット (1/60)	21
第 14 図	川崎遺跡第 32 地点出土遺物 (1/4)	23
第 15 図	滝遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	24
第 16 図	滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)	26
第 17 図	滝遺跡第 17 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	27
第 18 図	滝遺跡第 17 地点 H 23・H 25 号住居跡・掘立柱建物跡 (1/60)	29
第 19 図	滝遺跡第 17 地点 H 23・H25 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、微細図 (1/30)	30
第 20 図	滝遺跡第 17 地点 H24・H26 号住居跡ピット・遺物出土状況図 (1/60)、微細図 (1/30)	31
第 21 図	滝遺跡第 17 地点 H27 号住居跡 (1/60)、集石土坑 (1/30)、井戸・土坑・ピット (1/60)	32
第 22 図	滝遺跡第 17 地点ピット・掘立柱建物跡 (1/60)	33
第 23 図	滝遺跡第 17 地点溝 1 (1/80)	34
第 24 図	滝遺跡第 17 地点出土遺物 (1/2・1/4)	36
第 25 図	松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	37
第 26 図	松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)	40
第 27 図	松山遺跡第 51 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)	41
第 28 図	松山遺跡第 52 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、落とし穴 (1/60)	42
第 29 図	松山遺跡第 52 地点溝 (1/60)、出土遺物 (1/4)	43
第 30 図	松山遺跡第 53 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、穴蔵・溝 (1/60)	44
第 31 図	松山遺跡第 53 地点出土遺物 (1/4)	45
第 32 図	松山遺跡第 55 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	46
第 33 図	松山遺跡第 55 地点 H 40 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)	47
第 34 図	松山遺跡第 55 地点 H 40 号住居跡竈・掘方・遺物出土状況図 (1/30)	48
第 35 図	松山遺跡第 55 地点掘立柱建物跡・土坑・溝 (1/60)	49
第 36 図	松山遺跡第 55 地点 H40 号住居跡・土坑 1 出土遺物 (2/3・1/4)	50
第 37 図	東久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	51
第 38 図	東久保遺跡第 69 地点調査区域図 (1/300)	51
第 39 図	駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)	52
第 40 図	駒林遺跡第 11・12 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)	53
第 41 図	駒林遺跡第 13 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、土坑・ピット (1/60)	55
第 42 図	駒林遺跡第 14 地点遺構配置図 (1/500)、土層図 (1/150)、土坑・溝状土坑 (1/60)	56
第 43 図	駒林遺跡第 15 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、土坑 (1/60)	57
第 44 図	東中学校西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	58

第 45 図	東中学校西遺跡第 34 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	60
第 46 図	東久保南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	61
第 47 図	東久保南遺跡第 38 地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/60)	62
第 48 図	西ノ原遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	63
第 49 図	西ノ原遺跡遺構分布図 (1/2,000)	65
第 50 図	西ノ原遺跡第 145 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/60)	67
第 51 図	西ノ原遺跡第 145 地点溝・ピット (1/60)	68
第 52 図	西ノ原遺跡第 145 地点溝 (1/60)	69
第 53 図	西ノ原遺跡第 146 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	70
第 54 図	西ノ原遺跡第 146 地点溝 (1/60)、出土遺物 (1/4)	71
第 55 図	西ノ原遺跡第 147・148 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)	73
第 56 図	西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)	74
第 57 図	西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡・炉・掘方・集石土坑 (1/30)、土坑・ピット (1/60)	75
第 58 図	西ノ原遺跡第 147・148 地点遺構外遺物出土状況図 (1/80)	76
第 59 図	西ノ原遺跡第 147 地点ピット・溝 (1/60)	77
第 60 図	西ノ原遺跡第 148 地点ピット・溝 (1/60)	78
第 61 図	西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡・土坑・ピット・遺物出土状況図 (1/60)	79
第 62 図	西ノ原遺跡第 148 地点土坑・ピット (1/60)	80
第 63 図	西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡・集石土坑・土坑・ピット出土遺物 (1/4)	83
第 64 図	西ノ原遺跡第 147 地点遺構外出土遺物 (2/3・1/4)	84
第 65 図	西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡・土坑 4 出土遺物 (2/3・1/4)	85
第 66 図	西ノ原遺跡第 148 地点ピット・遺構外出土遺物 (1/4)	86
第 67 図	西ノ原遺跡第 149 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、溝 (1/80)	88
第 68 図	神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	89
第 69 図	神明後遺跡第 42・43 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、溝状土坑・ピット (1/60)	91
第 70 図	浄禅寺跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	92
第 71 図	浄禅寺跡遺跡第 33 地点遺構配置図 (1/300)、土坑 (1/60)	93
第 72 図	小田久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)	94
第 73 図	小田久保遺跡第 9 地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)	95
第 74 図	本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)	96
第 75 図	本村遺跡第 123・124 地点遺構配置図 (1/400)、土層図 (1/150)、土坑 (1/60)	99
第 76 図	本村遺跡第 125・126・127 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150・1/60)	101

表 目 次

第 1 表	過去 3 年間の調査件数と面積一覧表	1
第 2 表	2010(平成 22)年度埋蔵文化財調査一覧表	2
第 3 表	2010(平成 22)年度立会い調査一覧表 1(埋蔵文化財包蔵地内)	3
第 4 表	2010(平成 22)年度立会い調査一覧表 2(埋蔵文化財包蔵地外)	3
第 5 表	ふじみ野市遺跡一覧表	7
第 6 表	縄文時代中期時期細分対比表	7
第 7 表	川崎遺跡調査一覧表	11
第 8 表	川崎遺跡古代住居跡一覧表	13
第 9 表	川崎遺跡第 32 地点 H65 号住居跡ピット一覧表	15
第 10 表	川崎遺跡第 32 地点 H66 号住居跡ピット一覧表	15
第 11 表	川崎遺跡第 32 地点 H67 号住居跡ピット一覧表	15
第 12 表	川崎遺跡第 32 地点遺構一覧表	21
第 13 表	滝遺跡調査一覧表	25
第 14 表	滝遺跡古代住居跡一覧表	25
第 15 表	滝遺跡第 17 地点井戸一覧表	35
第 16 表	滝遺跡第 17 地点集石土坑一覧表	35
第 17 表	滝遺跡第 17 地点土坑一覧表	35
第 18 表	滝遺跡第 17 地点ピット一覧表	35
第 19 表	滝遺跡第 17 地点出土遺物観察表	35
第 20 表	松山遺跡調査一覧表	38
第 21 表	松山遺跡古代住居跡一覧表	39
第 22 表	松山遺跡第 52 地点出土遺物観察表	42
第 23 表	松山遺跡第 53 地点出土遺物観察表	45
第 24 表	松山遺跡第 55 地点土坑一覧表	50
第 25 表	松山遺跡第 55 地点掘立柱建物跡ピット一覧表	50
第 26 表	駒林遺跡第 11 地点ピット一覧表	54
第 27 表	駒林遺跡第 13 地点土坑一覧表	54
第 28 表	駒林遺跡第 13 地点ピット一覧表	54
第 29 表	東中学校西遺跡調査一覧表	59
第 30 表	東久保南遺跡調査一覧表	62
第 31 表	西ノ原遺跡調査一覧表	64
第 32 表	西ノ原遺跡住居跡一覧表	66
第 33 表	西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡ピット一覧表	81
第 34 表	西ノ原遺跡第 147 地点集石土坑一覧表	81
第 35 表	西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡ピット一覧表	81
第 36 表	西ノ原遺跡第 148 地点土坑一覧表	81
第 37 表	西ノ原遺跡第 147・148 地点ピット一覧表	81
第 38 表	神明後遺跡調査一覧表	90
第 39 表	神明後遺跡第 43 地点遺構一覧表	90
第 40 表	浄禅寺跡遺跡調査一覧表	93
第 41 表	小田久保遺跡調査一覧表	95
第 42 表	本村遺跡調査一覧表	97

写真図版目次

写真図版	1	北野遺跡第 19 地点、川崎遺跡第 32 地点 (1)	103
写真図版	2	川崎遺跡第 32 地点 (2)	104
写真図版	3	川崎遺跡第 32 地点 (3)	105
写真図版	4	滝遺跡第 17 地点 (1)	106
写真図版	5	滝遺跡第 17 地点 (2)	107
写真図版	6	滝遺跡第 17 地点 (3)	108
写真図版	7	松山遺跡第 51・52・53 地点 (1)	109
写真図版	8	松山遺跡第 53 地点 (2)・55 地点 (1)	110
写真図版	9	松山遺跡第 55 地点 (2)、東久保遺跡第 69 地点、駒林遺跡第 11・12 地点	111
写真図版	10	駒林遺跡第 13・14・15 地点	112
写真図版	11	東中学校西遺跡第 34 地点、東久保南遺跡第 38 地点、西ノ原遺跡第 145・146 地点	113
写真図版	12	西ノ原遺跡第 147 地点 (1)	114
写真図版	13	西ノ原遺跡第 147 地点 (2)・第 148 地点 (1)	115
写真図版	14	西ノ原遺跡第 148 地点 (2)	116
写真図版	15	西ノ原遺跡第 148 地点 (3)・第 149 地点、神明後遺跡第 42・43 地点	117
写真図版	16	浄禅寺跡遺跡第 33 地点、小田久保遺跡第 9 地点、本村遺跡第 123・124・125・126・127 地点	118

第1章 遺跡と調査の概要

I 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏 30 km圏内の県南西部に位置する。2005(平成 17)年 10月 1日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積 14.67k m²、人口は 2012(平成 24)年 12月現在 108,825 人である。旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稲作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道(大井宿)や新河岸川(福岡河岸)、東武東上線(上福岡駅)などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、旧福岡村に通信施設や旧日本陸軍造兵廠東京工廠福岡工場(火工廠)が建設され、戦後の昭和 30 年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和 60 年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も行われた。現在は上福岡駅周辺の再開発と、ふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行われている。

ふじみ野市では平成 17 年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」(旧上福岡市、旧大井町では昭和 53 年度から合併まで)として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行い、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、

建設課(民間の指定確認検査機関含む)への建築確認申請段階、都市整備課からの開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)の提出を受けて事前協議を行った。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者に連絡をして協議を行った。

協議後、文化財保護法第 99 条第 5 項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施している。また専その個人の用に供する住宅(個人住宅)の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2010 年度の試掘及び発掘調査は第 2 表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査は 23 件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査 5 件、民間開発に伴う本調査 4 件を行った。開発面積は 36,671 m²で、そのうち実質調査面積は試掘 4,159(本調査面積 1,840) m²である。過去 3 年間の調査件数と調査面積を第 1 表にあげてみる。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び活用と、調査体制の強化が求められるところである。

第 1 表 過去 3 年間の調査件数と面積一覧表

年度	件数・内訳			調査原因の内訳
	試掘件数 開発面積m ²	個人住宅 本調査件数 開発面積m ²	原因者負担 本調査件数 開発面積m ²	
2008(平成 20)年度	38 件	8 件	4 件	個人住宅 24、共同住宅 1、分譲住宅 5、分譲及び店舗 1、モデルルーム 1、道路築造 2、寄宿舎 2、プール 1、公園整備 1
	18,016	3,208	2,592	
2009(平成 21)年度	35 件	7 件	8 件	個人住宅 17、(内 1 件は前年度継続)、共同住宅 4、分譲住宅 5、宅地造成 5、老人福祉施設 1、地下調査 1、個人住宅兼共同住宅 1、個人住宅兼店舗 1
	13,121	3,715	3,365	
2010(平成 22)年度	33 件	5 件	4 件	個人住宅 14、共同住宅 3、分譲住宅 7、宅地造成 5、小学校増築 1、公園工事 1、事務所建築 2
	36,671	1,075	2,245	

第2表 2010(平成22)年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地住所	開発面積 (㎡)	試掘面積 (㎡)	個人住宅本調査面積 (㎡)	原因	試掘期間	調査措置
					民間開発本調査面積 (㎡)		本調査期間	
1	北野 19	北野 2-1821-1・2、1820-4	476.4	74.0		共同住宅	12/1,2	試掘調査
2	川崎 32	川崎字宮脇 140 の一部	396.0	166.5	163.0	個人住宅	2/24～3/2 3/4～25	試掘調査、本調査
3	滝 17	(滝 3 丁目 3-6,3-144)	331.0	197.0		分譲住宅	5/6～31、6/17,18	試掘調査
4	松山 51	松山 2 丁目 6-22,23、28 の一部	360.0	60.0		分譲住宅	5/10～13	試掘調査
5	松山 52	築地 2 丁目 2-1	694.0	322.0		分譲住宅	8/26～9/3	試掘調査
6	松山 53	築地 3 丁目 1-11	205.0	90.0		個人住宅	9/10～21	試掘調査
7	松山 54	築地 3 丁目 1-6、76～83	539.5	230.0	80.0	宅地造成	9/21～10/1 10/4～11/5	試掘調査、本調査。市内遺跡群 9 掲載。
8	松山 55	松山 2 丁目 4-24 の一部	226.4	62.0	226.0	個人住宅	1/17 1/18～1/31	試掘調査、本調査
9	東久保 68	ふじみ野 2 丁目 18-13	791.0	306.0	300.0	分譲住宅	11/22～26 11/29～12/8	試掘調査、本調査。市内遺跡群 9 掲載。
10	東久保 69	ふじみ野 2 丁目 22-2 の一部、3、5 の一部、6、7	17,276.3	32.0		小学校増築	3/28	試掘調査
11	駒林 11	駒林区画整理事業 27 街区 2・10 画地、11 画地の一部	689.5	73.0		個人住宅	4/12～21	試掘調査
12	駒林 12	駒林字新田前 258-2(28 街区 12 画地)	115.0	30.0		個人住宅	7/14	試掘調査
13	駒林 13	新駒林 3 丁目 722-1,3,4	927.0	96.0		共同住宅	7/27～29	試掘調査
14	駒林 14	駒林字新田前 285～287、288-2,3(22 街区内)	2,000.0	348.0		公園工事	9/1～8	試掘調査
15	駒林 15	大字駒林字新田前 266-3(24 街区 12 符号)	115.0	10.0		個人住宅	2/16・17	試掘調査
16	東中学校西 34	ふじみ野 3 丁目 10-6	1,032.0	135.0		宅地造成	2/2・2/3	試掘調査
17	東久保南 38	ふじみ野 4 丁目 9-11,12	177.0	9.0		個人住宅	10/13	試掘調査
18	西ノ原 145	うれし野 2 丁目 4-1,4-10	4,938.0	564.0		農協事務所・農産物直売所	7/23～8/25	試掘調査
19	西ノ原 146	旭 1 丁目 16-3	246.0	86.0		分譲住宅	10/8～10/13	試掘調査
20	西ノ原 147	旭 1 丁目 16-8 の一部	135.0		135.0	個人住宅	12/8～12/16 12/17～1/19	試掘調査、本調査
21	西ノ原 148	旭 1 丁目 16-8 の一部	211.0		211.0	個人住宅	12/8～12/16 1/19～2/1	試掘調査、本調査
22	西ノ原 149	うれし野 2 丁目 4-7	625.0	114.0		農協事務所・農産物直売所	2/7～2/10	試掘調査
23	神明後 41	苗間字神明後 298-1,299-1 の各一部	486.4	400.0	286.0	共同住宅	5/25～6/7 6/15～7/21	試掘調査、本調査。市内遺跡群 9 掲載。
24	神明後 42	苗間神明前 380-3	312.0	44.0		宅地造成	6/1～6/2	試掘調査
25	神明後 43	苗間 292-14	107.0	42.0	10.0	個人住宅	10/20～10/22 10/22	試掘調査、本調査
26	苗間東久保 26	苗間字東久保 637-3,34	429.0		429.0	分譲住宅	6/1～6/11 7/2～7/23	試掘調査、本調査。市内遺跡群 12 掲載。
27	浄禅寺跡 33	苗間字神明後 340-21	76.0	1.2		個人住宅	8/6	試掘調査
28	小田久保 9	大井字小田久保 1185-1	536.0	91.5		個人住宅	3/8	試掘調査
29	本村 123	市沢 2 丁目 7-2	619.6	218.0		宅地造成 (4 区画)	7/5～7/9	試掘調査
30	本村 124	市沢 2 丁目 6-1	428.0	80.0		宅地造成 (3 区画)	7/8～7/12	試掘調査
31	本村 125	大井 2 丁目 12-17	143.0	40.0		個人住宅	9/6	試掘調査
32	本村 126	大井 2 丁目 12-2	611.0	126.0		個人住宅	10/4～10/6	試掘調査
33	本村 127	大井 2 丁目 12-5、16、18	417.0	112.0		分譲住宅	11/4～11/8	試掘調査
合計			36,671.1	4,159.2	745.0 1,095.0			

第3表 2010(平成22)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)

遺跡・地点名	申請地住所	面積 (㎡)	原因	試掘期間	備考
1 亀居	亀久保2丁目8番7	69.7	個人住宅	5/6 立会	着工前日届け出、0-M層が粘土化(耐水痕)遺構遺物確認なし、5/6緊急立会
2 亀居	亀久保2-9-27	139.7	個人住宅分譲	12/13 立会	遺跡南西部への斜面部に位置し、遺構遺物確認可能性少、工事立会
3 北野	北野2-2106-6	109.1	個人住宅	8/23 立会	地表面下40cmで地山0-M確認、遺構遺物なし、慎重工事
4 駒林	新駒林3丁目722-1,3,4	33.5	個人住宅	6/9 立会	6/9立会確認、地山0-Mまで約30cm、広く掘削遺構遺物なし、工事立会
5 鶴ヶ舞	南台2丁目798-14	194.5	分譲住宅	8/30 立会	既存住宅撤去立会、既に地山0-M70~80cm切土され遺構の可能性薄い為、工事立会
6 鶴ヶ舞	鶴ヶ舞1丁目62番6	115.0	個人住宅	11/10 立会	盛土あり、工事立会
8 長宮	長宮1丁目4-11	138.0	個人住宅	10/15 立会	地表面下60cmで地山0-M確認、保護層あり、工事立会
9 西ノ原	苗間1丁目3-2・3、4-1・2	1,337.0	自転車駐車場整備	7/22 立会	掘削幅員40~60cmと狭小、工事立会
10 東久保西	ふじみ野2丁目10番2の一部、10番3	158.7	個人住宅	10/4 立会	周辺の発掘調査状況から遺構の可能性少ない為、工事立会
11 東台	大井674-1	231.0	通学路整備	12/1 立会	掘削はしない為工事立会
12 本村	大井2丁目12-11	236.0	長屋(2戸)	7/14、28 立会	無届工事、7/14市職員の情報により緊急に立会、遺構確認面まで60~80cm、申請建物基礎30cm、
13 松山	本新田409-2	709.0	分譲住宅	7/20 立会	分譲住宅F棟北側のみ遺跡範囲内、周辺調査により遺構確認可能性少、工事立会
14 松山	仲1丁目2番26	107.9	個人住宅	11/22 立会	既存建物解体時立会、地山2m以上深く掘削し廃棄物投棄の痕跡あり遺構遺物確認なし、工事立会
合計		3,745.2			

第4表 2010(平成22)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)

遺跡・地点名	申請地住所	面積 (㎡)	原因	試掘期間	備考
1 1,000㎡以上	大井武蔵野1362番8,10	1,202.0	もやし栽培増築	9/29 立会	
2 1,000㎡以上	大井武蔵野1282-7・9	2,402.4	障がい者自立支援施設、多機能型事業所	11/9 立会	黒色土50cmその下の0-M(ワト)を40cm程掘削
3 1,000㎡以上	鶴ヶ舞3丁目3番9	1,374.0	店舗	9/9 立会	0-Mまでの深さ5~60cm
4 1,000㎡以上	亀久保三角1839-4,9	1,171.4	診療所	11/9 立会	深さ350cm幅300cmの浄化槽掘削
5 1,000㎡以上	西鶴ヶ岡1丁目166-1,2、167-1、175-11、1940-8,10、1942-1,4,4,4,5,4,7	24,120.0	倉庫増改築	7/30 立会	0-M約90cmすきとりをされていた、計画建物北壁に黒褐色土混じりの風倒木痕らしきもの確認。
6 1,000㎡以上	苗間字神明前399-1の一部	1,021.3	変電所新設工事	7/6 立会	0-Mを最深3m余掘削遺構確認されず
7 1,000㎡以上	駒林土地区画整理事業 仮換地9街区1画地	1,186.0	共同住宅	4/23 立会	立会い済み
8 1,000㎡以上	霞ヶ丘3丁目1791-22	4,034.5	新設道路及び宅地造成	6/1 立会	立会い済み
9 1,000㎡以上	霞ヶ丘3丁目1791-28	3,410.6	新設道路及び宅地造成	6/1 立会	立会い済み
10 1,000㎡以上	駒林字市金79番2	1,983.8	保育所	9/9 立会	0-Mまでの深さは概ね4~50cm、明るい0-M確認、特に問題なし。
合計		41,906.1			

II 立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道(国道254号線)、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地と荒川低地に大きく分かれ、旧大井町域は武蔵野台地縁辺部に位置し、旧上福岡市域は台地縁辺部から荒川低地の沖積地に広がる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15~20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が流れ、台地縁辺を鋸歯状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で

見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地(大井台)がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを發する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禅寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を發しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道(埋没河川)、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

III 市内の遺跡

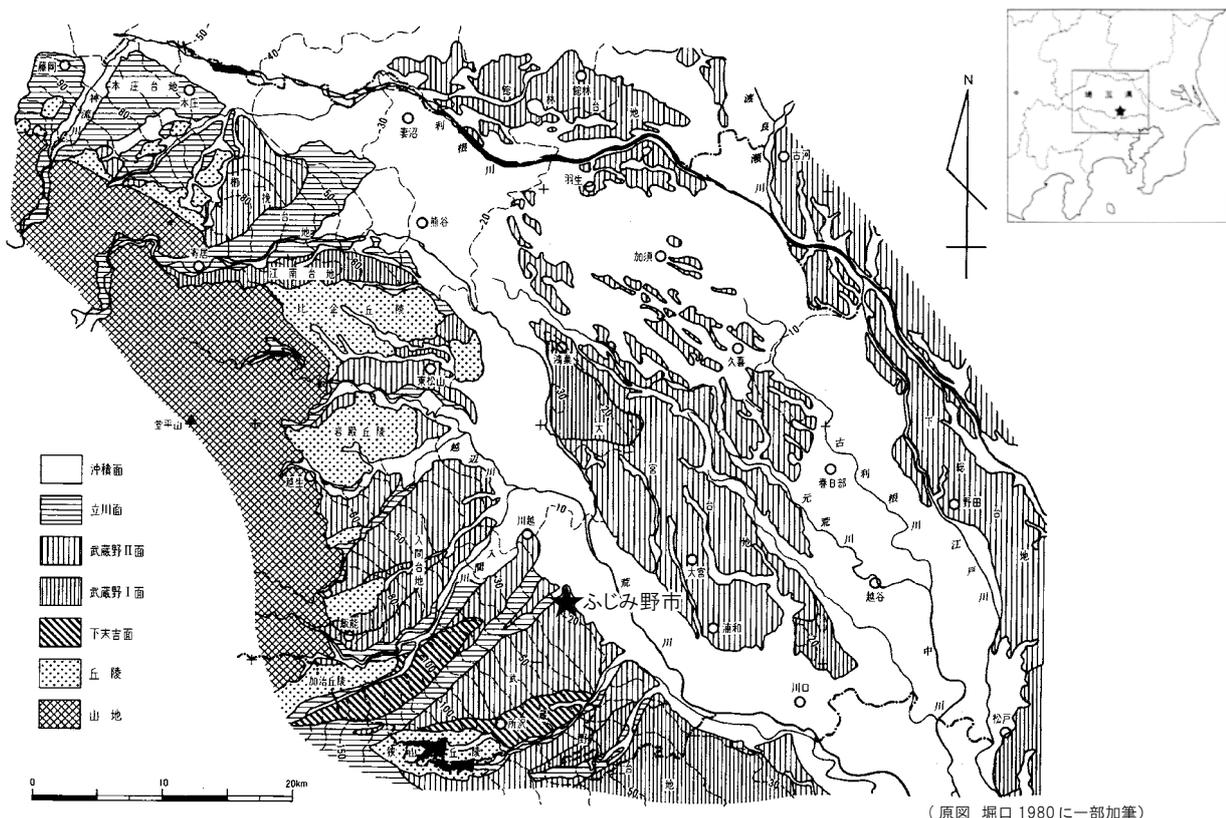
ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡（川越市）が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手（北側）を北に流れていたが現在は道路となっており、新

河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1 km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ舞遺跡では、旧石器時代立川ローム第IV層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900 m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3 km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡（富士見市）で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。



第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

さかい川の800 m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6 mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連綿と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前(立川ローム第Ⅶ層)の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群(埼玉県指定史跡権現山古墳群)は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳(2号墳)1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群(通称権現山北古墳群)3基がある。他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5 kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉から9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。またハケ遺跡からは銚子金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

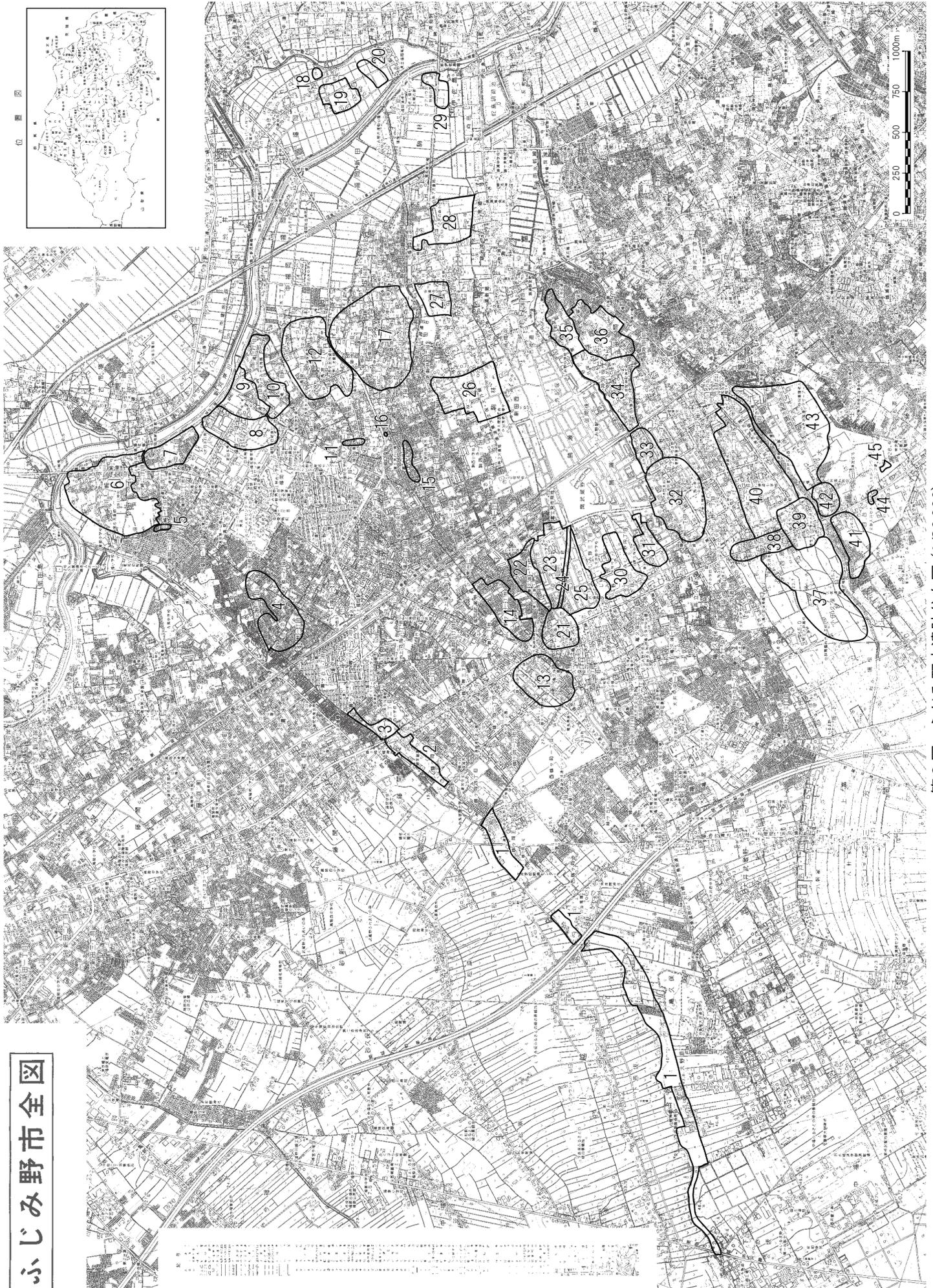
【中世】駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の

下に、蔵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。16世紀後半から17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禅寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地蔵院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禅寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷲森遺跡で、近・現代の盛土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製作所(通称造兵廠「火工廠」)の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枡などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



ふじみ野市全図

第2図 ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)

第5表 ふじみ野市遺跡一覧表

No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号	No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036	25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047	26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001	27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002	28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004	29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003	30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡	25-005	31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006	32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
9	権現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007	33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008	34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025	35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009	36	浄禅寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030	37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046	38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
15	富士見台横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-011	39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023	40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010	41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018	42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019	43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020	44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-048
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007	45	石塔畑	中世の散布地	30-027
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045				
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009				
24	亀久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006				

第6表 縄文時代中期時期細対比表

本書 2011 ①	安孫子昭二 1988 鈴木・山本 1988 ②	植木 弘 1994 ③	黒尾和久 1995 ④	谷井 他 1982 ⑤	考古学協会 1981 ⑥		
猪沢・阿玉台 I b 古	猪沢・阿玉台 I b 古	猪沢・阿玉台 I b	中 前 期 中 半 葉 勝 後 坂 半	1a 中	阿玉台 I b 前 IV b	II 期 阿玉台出現期	
勝坂 I 古・新道古・阿玉台 I b 新	勝坂第 I 様式	勝坂 I 様式		1a 新	阿玉台 I b 前 Va	III 期	
勝坂 I 新・新道新・阿玉台 II 古	II 様式	II 様式		1b	V b	(勝坂最古段階)	
勝坂 II 古・藤内古・阿玉台 II 新	III 様式	III 様式		2a 古	VI	IV 期	
勝坂 II 新・藤内新	IV 様式	IV 様式		2a 新	VII	(勝坂盛時段階)	
勝坂 III 古・井戸尻・阿玉台 III 古	V 様式	V 様式		2b	勝 坂 式	V 期	
勝坂 III 新・阿玉台 III 新	VI 様式	VI 様式		3a		VIII	(勝坂終末)
加曾利 E I 古	加曾利 E 1 様式	加曾利 E I 直前		3b 古		加 曾 利 E 式	加曾利 E I 古
加曾利 E I 新	加曾利 E 2 様式	加曾利 E I 式		3b 新	IX a		加曾利 E I 新
				1 中			
			2 後	X			
			3 半	X I X II a X II b			
4 葉	X III						
1 加		X IV					
2 會							
加曾利 E II	加曾利 E 3 様式	加曾利 E II 式	3a	E 3 期	加曾利 E II		
加曾利 E III	加曾利 E 4 様式	加曾利 E III 式	3b		E 4		加曾利 E III
			3c				
加曾利 E IV			4		加曾利 E IV		

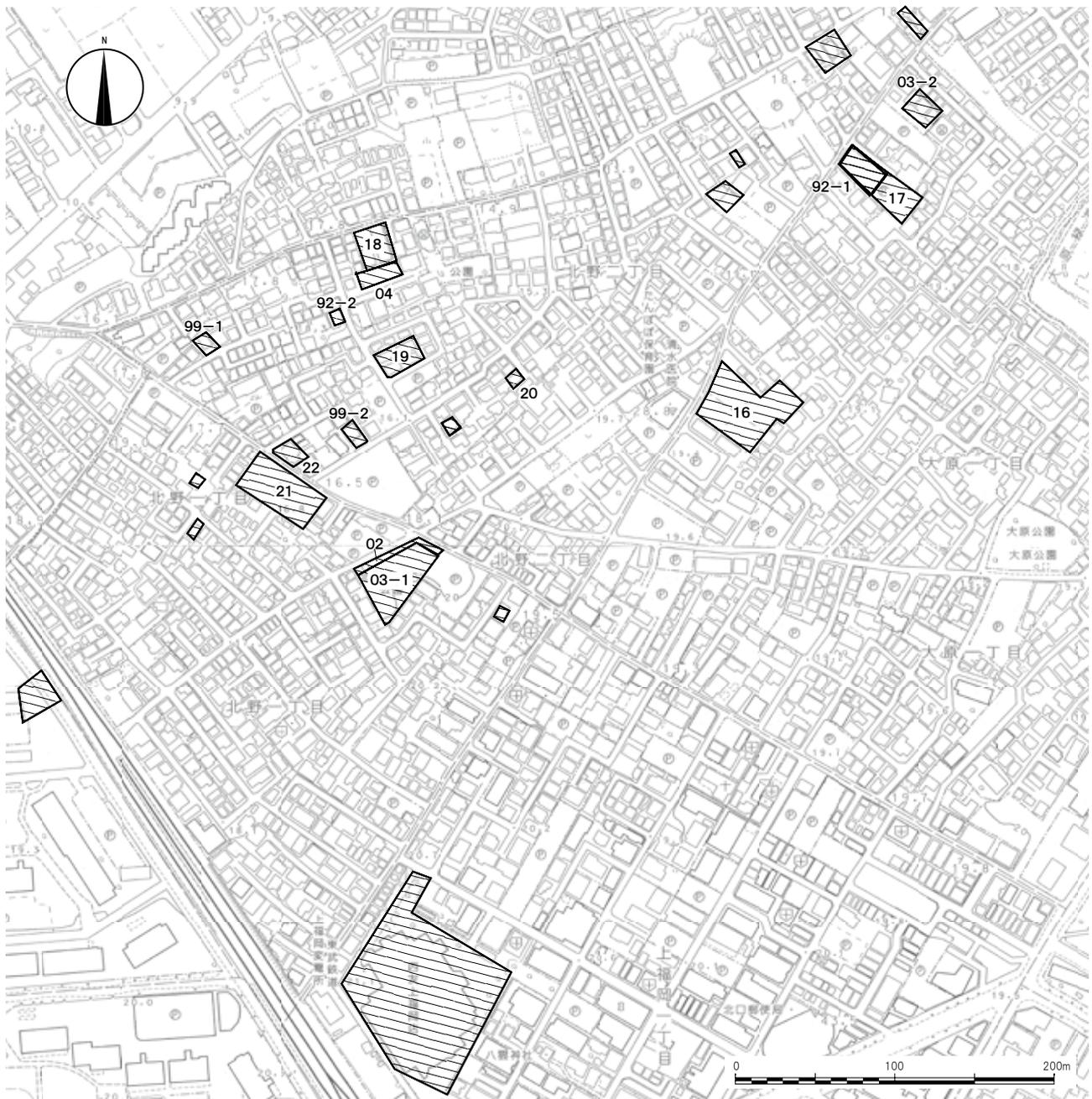
第2章 北野遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

北野遺跡は、藤間江川に面した標高17～18mの台地縁辺にあり、開析した小支谷を囲うように立地する南北250m、東西650m以上の遺跡である。上福岡駅まで600mに位置する利便性のため、昭和30年代から宅地開発され、ほとんど空き地は残っていない。

周辺の遺跡は、1km上流に縄文集落の西遺跡、下流に旧石器時代から縄文、古代、中近世にわたる複合遺跡の川崎遺跡、川崎横穴墓群がある。

1965年の分布調査、1970年代後半の宅地開発で縄文時代早～中期の土器片が採集され、1980年以來24ヶ所で試掘調査が行われている。縄文時代中期と平安時代の住居跡各1軒、中世以前とみられる溝等を検出、縄文時代中期深鉢土器の顔面把手等も採集されている。



第3図 北野遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II 北野遺跡第 19 地点

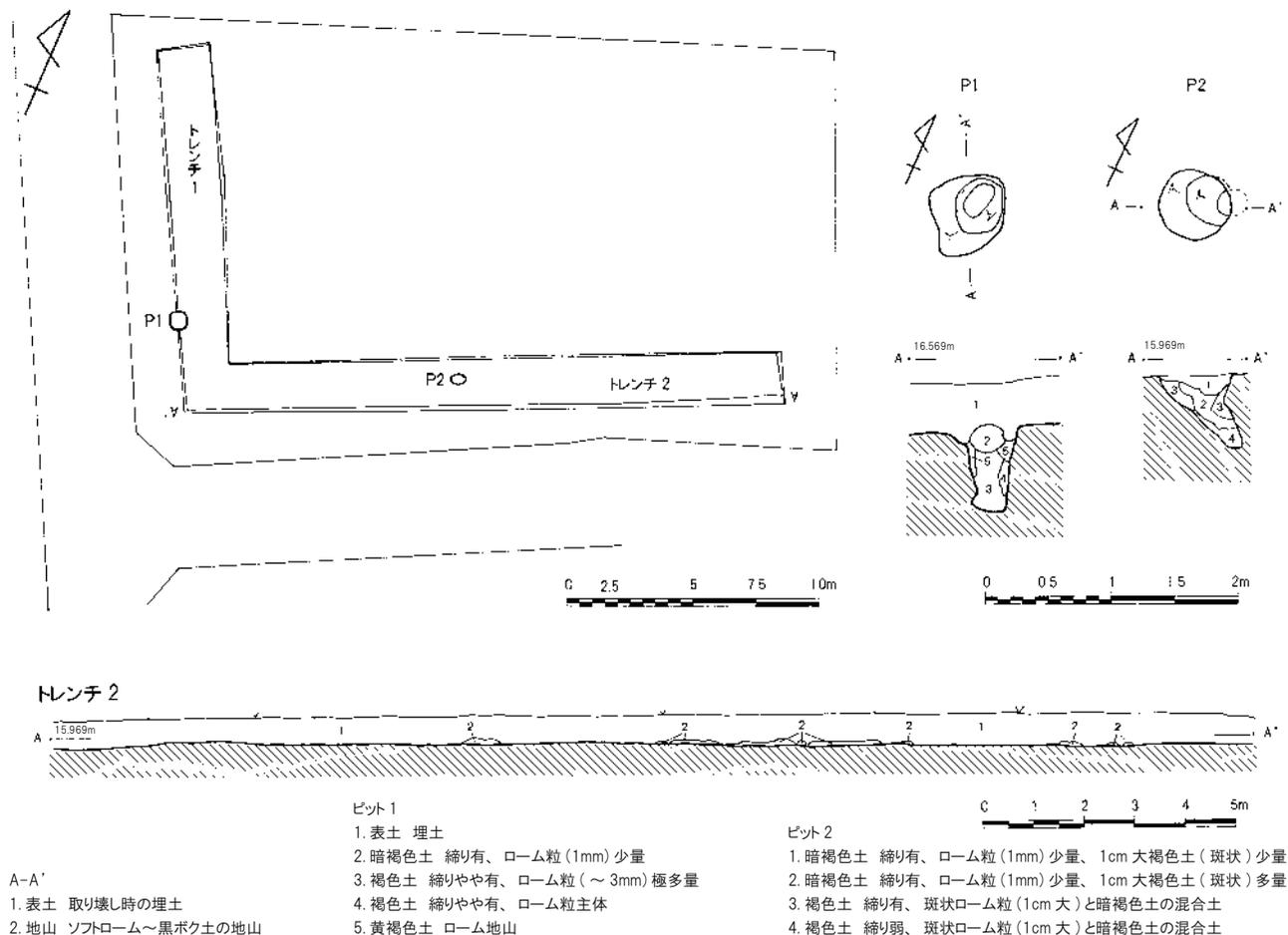
(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 11 月 17 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2010 年 12 月 1 日～2 日に行った。幅約 2m のトレンチを L 字形に 1 本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、ピット 2 基を検出した。遺構確認面までの深さは約 60cm である。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【ピット】ピットは 2 基検出した。いずれも覆土の様子から縄文時代と思われるが、出土遺物はない。P 1 は平面楕円形、確認面径 75 × 60cm、底径 30 × 15cm、確認面からの深さ 71cm である。P 2 は斜向ピットで深さ 60cm まで掘ったが、完掘はしていない。確認面径 60 × 60cm である。



第 4 図 北野遺跡第 19 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)

第3章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

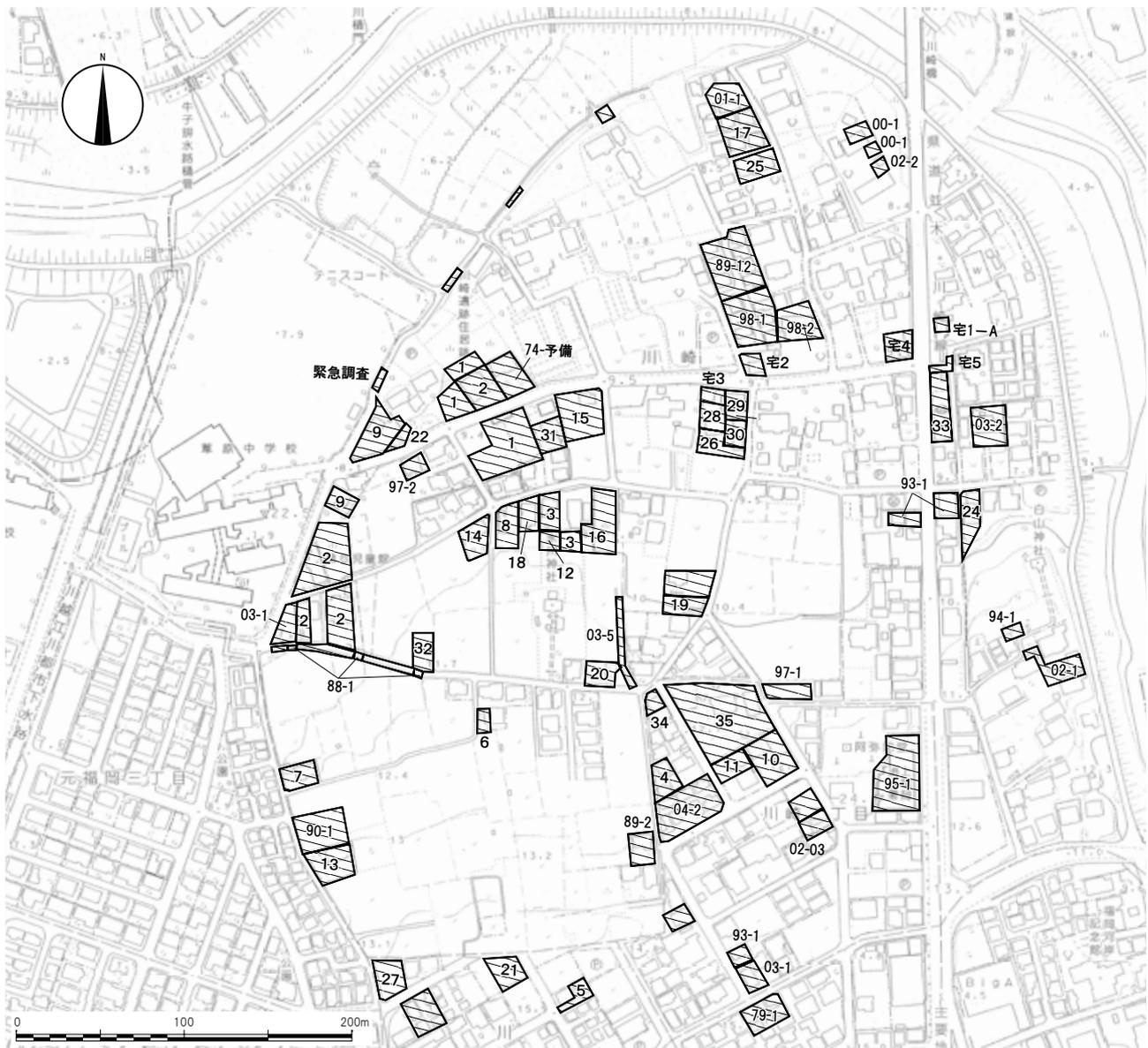
川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以來2013年12月末現在40ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第5図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第7表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11軒(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎宇宮後168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次(A地区)	大字川崎宇宅地添122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1軒、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎137～174	1975.9.4～12.5	3055	事前調査	縄文住居跡9軒、古墳住居跡6軒、奈良平安住居跡10軒、中世遺構他	川崎遺跡第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2軒(7,8)、奈良平安住居跡6軒(1,2,4～6,9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋(I)
宅地添3次(c地区)	川崎230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋(I)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1軒、溝1、黒浜式土器、貝類	埋(II)(IV)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋(II)
79年度試掘(清見)	清見4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋(II)
6次	川崎102-5	1979.12.3～8	30	プレハブ家屋	縄文前期住居跡2軒、縄文土器片、平安住居跡2軒	埋(II)
7次	川崎124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(IV)
8次	大字川崎宇宮脇148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋(VI)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1軒、平安住居跡1軒	埋(VII)
9次	川崎宇宮後口172-1,2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋(IX)
10次	川崎224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋(X)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	なし	埋(11)
88試	市道402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1軒	埋(11)
89試(1)	川崎宇宅地添196-1	(1989.4.10～18)	1045	住宅建設	なし	埋(12)
89試(2)	川崎宇宮前98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	なし	埋(12)
12次	川崎宇宮前149-4,5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋(13)
13次	大字川崎宇宮前122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良住居跡1軒	埋(13)
90試(1)	大字川崎宇宮前122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認	なし	埋(13)
14次	大字川崎宇宮前145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1軒、貝塚、平安住居跡1軒	埋(13)
15次	川崎宇宮後口160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安住居跡7軒、土坑1	埋(14)
92試(1)	大字川崎宇山向9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	なし	埋(15)
93試(1)	川崎2-2-10,11	(1993.8.24)	131	個人住宅	なし	埋(16)
93試(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	なし	埋(16)
94試(1)	川崎宇台258他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	なし	埋(17)
95試(1)	川崎2-7-2,3	(1995.10.13～16)	1126	消防署	なし	埋(18)
16次	川崎宇宮脇150-2,3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4軒・掘立柱建物跡6棟、中世竪穴状遺構2	7年教要
17次	川崎宇宅地添204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋(19)
18次	川崎宇宮脇148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋(19)
97試(1)	川崎宇山向21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	川崎宇宮後口165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	なし	埋(20)
97試(3)	川崎宇宅地添199-1,2,5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	なし	9年教要
98試(1)	川崎宇宅地添197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1他	埋(21)
市道402号線2次	川崎宇宮前、宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年教要
00試(1)	川崎大字宅地添209の一部	(2000.6.19～22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	埋(23)
範囲確認調査	川崎宇宅地添209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋(24)
19次	川崎宇宮脇157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋(24)
01試(1)	川崎宇宅地添204-1	(2001.10.29,30)	825	宅地造成	なし	埋(24)
02試(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	なし	埋(25)
02試(2)	川崎210-1,2の一部	(2002.10.28,29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋(25)
02試(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	なし	14年教要
02試(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	なし	14年教要
02試(5)	川崎宇宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線舗装工事	なし	14年教要
03試(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6,7)	257	個人住宅	なし	埋(26)
03試(2)	川崎宇宅地添226-14	(2003.12.8,19)	381	個人住宅	なし	埋(26)
宅地添地区5次	川崎宇宅地添222-3先	2004.2.16～18	88		古墳初頭竪穴住居跡1軒【調査実施】	15年教要
04試(1)	川崎宇宮脇157-1の一部	(2004.6.14,15)	421	個人住宅	平安時代竪穴住居のカマドの一部	埋(27)
04試(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	なし	埋(27)
20次	川崎宇宮脇153-5	(2005.11.22～27) 2005.11.28～12.2	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内3
22	川崎171-1,174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内4
24	川崎宇宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	なし	市内4
25	川崎宇宅地添203番1の一部 203番3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1棟、溝、近代以降の地下室1基	市内6
26	川崎宇宅地添230番5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15～5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎宇宅地添230-7	(2008.7.4～7.9) 2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、土坑、ピット	市内6
29	川崎宇宅地添230番1	(2008.7.9～7.11) 2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、溝3	市内6
30	川崎宇宅地添230番6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎宇宮後161番5の一部 161番地6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期～後期住居跡2軒、奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、ピット12	市内8
32	川崎宇宮脇140の一部	(2011.2.24～25) 2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡3軒、土坑2、建物部分本調査	市内10
33	川崎宇宅地添226-5	(2011.4.14～21)	438	共同住宅	なし	未報告
34	川崎2丁目5-4	(2011.7.25～26)	117	分譲住宅	なし	未報告
35	川崎2丁目6-4～7、9	(2011.9.27～11.24)	1924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1軒、奈良平安時代住居跡1軒他	未報告
36	川崎宇宮前100-1	(2011.12.15～26) 2012.1.17	1096	公園整備	奈良平安時代住居跡6軒他	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書

第8表 川崎遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査年度	調査名	調査率	平面形() は推定	規模	カマド カマド K	設置壁	カマド		周 溝	主軸方位	時期	備考	文献
								規模	cm					
1	1974	第1次LN72	完掘	隅丸方形	760 × 730 × 40	炉	地床炉	60 × 50	○	N-60-E	3世紀終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概報	
2	1974	第1次LN05	完掘	方形	390 × 320 ×	K			○	N-5-E	国分		〃	
3	1974	第1次LN06	完掘	歪んだ方形	320 × 320 ×	K	東			N-13-W	9C 4半期		〃	
4	1974	第1次LN07	完掘	方形	320 × 320 ×	K	東	80 × 90	○	N-83-W	9C 中葉		〃	
5	1974	第1次LN24	完掘	長方形	470 × 340 × 50	K	北	120 × 75	○	N-5-E	10C 1半期		〃	
6	1974	第1次LN25	完掘	方形	320 × 300 ×	K	北	40 × 40		N-42-E	9C 1半期		〃	
7	1974	第1次LN28	西側未掘	(長方形)	× 300	K	東	50 × 60	○	N-69-W	9C 3半期		〃	
8	1974	第1次LN71	東側7割未掘	(方形)	× 600								〃	
9	1975	第2次LN75	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次概報	
10	1975	第2次LN92	部分	(長方形)							10C 1半期		〃	
11	1975	第2次LN72	完掘	隅丸方形	250 × 250 × 13	K	南	50 × 80		N-18-E	国分		〃	
12	1975	第2次LN07	完掘	方形	720 × 720	K	北		○	N-32-E	6C後半	ピット多数 土すい	〃	
13	1975	第2次LN04	完掘	方形	390 × 350	K	東	60 × 70	○	N-64-E	6C前半	貯蔵穴有り	〃	
14	1975	第2次LN05	完掘	長方形	450 × 370	K	北	100 × 80	○	N-1-E	10C 2半期		〃	
15	1975	第2次LN19	14住に切られる			K	東				9C 4半期	支脚がたったまま	〃	
16	1975	第2次LN14	完掘	長方形	370 × 260	K	北	90 × 80	○	N-4-E	9C 3半期		〃	
17	1975	第2次LN12	南側未掘	長方形	700 ×						6C	紡錘車	〃	
18	1975	第2次LN33	17住と大きく重複し全体不明										〃	
19	1975	第2次LN06	完掘	隅丸方形	410 × 420	K	北東		○	N-45-E	6C後半	良好	〃	
20	1975	第2次LN22	完掘	長方形	410 × 330	K	北	120 × 120	○	N-29-W			〃	
21	1975	第2次LN53	完掘	長方形	350 × 280	K	東	70 × 60	○	N-87-E	10C 2半期	22住を切る	〃	
22	1975	第2次LN54	部分	方形	330 × 320	炉	地床炉				五領		〃	
23	1975	第2次LN20	3/5	(長方形)	× 350	K	北		○	N-23-E	9C 2半期	鍛冶工跡	〃	
24	1975	第2次LN21	ほぼ完掘	正方形	580	K	北西	50 × 70	○	N-43-W	鬼高		〃	
25	1977	第3次1号住居	南東隅のみ	(長方形)		K	東	途中で廃絶されたもの	○				川崎遺跡第3次	
26	1977	第3次2号住居	完掘	長方形	350 × 330	K	北	× 70	○		国分	鉄製品多い	〃	
27	1977	第3次4号住居	(完掘)	長方形	350 × 400	K	東	170 × 110	○		国分		〃と埋文調査19	
28	1977	第3次5号住居	(完掘)	長方形	350 × 320	K	東	120 × 90	○		国分		〃と埋文調査19	
29	1977	第3次6号住居	4/5	正方形	440 ×	K	北	155 × 90	○		9C 4半期	焼失家屋	〃	
30	1977	第3次9号住居	1/2	(方形)	415 ×				○		国分		〃	
31	1979	第6次1B住居			340 ×				○		9C 2半期		埋蔵文化財の調査II	
32	1979	第6次2号住居	1/3		340 ×	K	北→東	140 × 80	○		9C 1半期	鉄製品多い	〃	
33	1984	宅地添第4次3住	完掘	正方形	340 × 340	K	東	120 × 100	○		8C 3半期		埋蔵文化財の調査VII	
34	1990	第13次1号住居	1/2 ~ 1/3		390 ×	K			○		7C後半		埋蔵文化財の調査13	
35	1990	第14次2号住居	南1/2		340 ×	K	東		○		9C 1半期		〃	
36	1991	第15次1号住居			395 × 285	K	北東				9C ~ 10C		埋蔵文化財の調査14	
37	1991	第15次2号住居		正方形	380 × 380	K	東				9C 中葉		〃	
38	1991	第15次3号住居	完掘	長方形	265 × 430	K	南東		○		9C 初頭		〃	
39	1991	第15次4号住居	1/2	正方形	580 ×	K	東		○		8C末 ~ 9C初頭		〃	
40	1991	第15次5号住居	3/4		280 ×	K	北		○		9C前半 ~ 中		〃	
41	1991	第15次6号住居		正方形	425 × 270	K	北		○		8C後半	35.36住と重複	〃	
42	1991	第15次7号住居	1/2	正方形	570 ×	K	北		○		9C前半	緑釉陶器、焼失家屋	〃	
43	1994	第16次1号住居	1/2		450 ×				○		9C前半 ~ 後半		未報告	
44	1994	第16次2号住居	北西隅のみ								9C前半 ~ 後半		〃	
45	1994	第16次5号住居	2/3		440 ×	K	東		○		9C前半 ~ 後半		〃	
46	1994	第16次6号住居	カマドのみ			K	東						〃	
	1994	第16次1号掘立	2/3	長方形									〃	
	1994	第16次2号掘立	西側柱のみ	長方形			南北2間				9C前半 ~ 後半	42住と隣接	〃	
	1994	第16次3号掘立	完掘	長方形			南北3間 東西2間				〃	〃	〃	
	1994	第16次4号掘立	完掘	長方形			南北3間 東西2間				〃	〃	〃	
	1994	第16次5号掘立	1/2	長方形			南北2間				〃	〃	〃	
	1994	第16次6号掘立	完掘	長方形			南北3間 東西2間				〃	〃	〃	
47	1996	第17次1号住居	完掘	長方形	400 × 400	K	東		○		国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査19	
48	1996	第18次2号住居	完掘	長方形	300 × 300	K	東		○		国分		埋蔵文化財の調査19	
49	2001	第19次1号住居	1/2		360 ×	K					9C前半		埋蔵文化財の調査24	
50	2005	第20次1号住居	完掘	長方形	320 × 350	K	北西		○	N-45-W	7C前半 ~ 中		市内遺跡群1	
51	2006	第21次1号住居	完掘	方形	410 × 365 × 10	K	東	145 × 125	○	N-106-E	9C後半		市内遺跡群3	
	2008	第25地点1号掘立		長方形			南北2間 東西2間						市内遺跡群6	
52	2008	第26地点H28号住居	完掘	方形	349 × 316 × 33	K	北	95 × 83	○	N-16-E	9C後半		〃	
53	2008	第26地点H29号住居	北側のみ	(方形)	431 × 205 × 24	K	北	70 ×	○	N-16-E	9C後半		〃	
54	2008	第26地点H30号住居	完掘	長方形	424 × 296 × 20	K	北	98 × 71	○	N-4-E	8C後半		〃	
55	2008	第28地点H31a号住居	北側のみ	(方形)	(390) × (233) × 15	K	北	88 × 84		N-19-E	8C中 ~ 後半		〃	
56	2008	第28地点H31b号住居	北側のみ	(方形)	(404) × 325 × 2				○	N-18-E			〃	
57	2008	第28地点H32号住居	完掘	長方形	357 × 295 × 24	K	東	108 × 80	○	N-105-E	8C中 ~ 後半		〃	
58	2008	第29地点H33号住居	北東のみ	(方形)	(214) × (205) × 16	K	東	(65) × (65)	○	N-98-E	8C後半 ~ 9C初頭		〃	
59	2008	第29地点H34号住居	完掘	方形	(378) × 372 × 12	K	北	71 × 90	○	N-16-E	9C後半	墨書土器	〃	
60	2008	第30地点H35号住居	完掘	長方形	294 × 232 × 26	K	東	141 × 88	○	N-104-E	9C前半		〃	
61	2008	第30地点H37号住居	完掘	方形	415 × 414 × 21	K	北	88 × 140	○	N-16-E	9C後半	灰釉陶器	〃	
62	2008	第30地点H38号住居	1/2	(方形)	375 × (105) × 17				○	N-5-E	9C後半	墨書土器	〃	

II 川崎遺跡第32地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年12月9日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西側に位置し、近隣地では古代住居跡を検出している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2011年2月24日に、調査区に幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約40cmの深さで平安時代の住居跡を確認した。再度協議の結果、工事による掘削が遺構に影響を与えるため、補助事業の対応で本調査を行った。

本調査は3月4日から3月25日まで行った。本調査の結果、9世紀の住居跡3軒、土坑3基、ピット5基を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

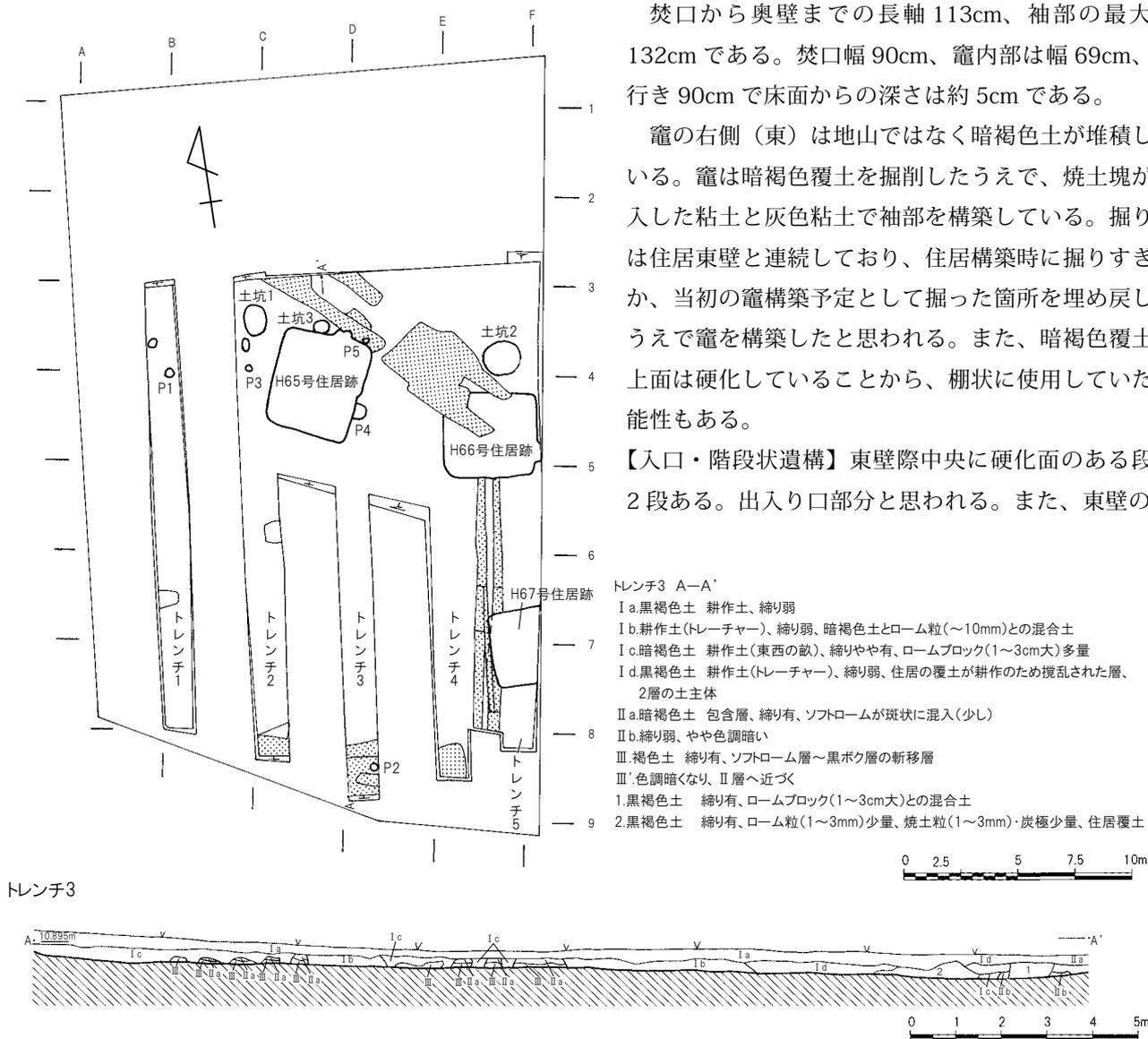
① H65号住居跡

【位置・形状】調査区の中央部に位置する。4m東にH66号住居跡、10m南東にH67号住居跡がある。平面形態は長方形で主軸方位はN-27°-Eである。規模は主軸が南北4.6m×東西3.55m、確認面からの深さ35cmである。竈を含めた主軸長は4.95mである。
 【竈】住居跡北壁の中央やや東寄りに構築される。煙道は後世の攪乱(イモビツ)で壊される。竈は灰色の粘土で構築され、天井部は崩落し袖の一部が残る。竈内部の底面に焼土面が残る。

焚口から奥壁までの長軸113cm、袖部の最大幅132cmである。焚口幅90cm、竈内部は幅69cm、奥行き90cmで床面からの深さは約5cmである。

竈の右側(東)は地山ではなく暗褐色土が堆積している。竈は暗褐色覆土を掘削したうえで、焼土塊が混入した粘土と灰色粘土で袖部を構築している。掘り方は住居東壁と連続しており、住居構築時に掘りすぎたか、当初の竈構築予定として掘った箇所を埋め戻したうえで竈を構築したと思われる。また、暗褐色覆土の上面は硬化していることから、棚状に使用していた可能性もある。

【入口・階段状遺構】東壁際中央に硬化面のある段が2段ある。出入り口部分と思われる。また、東壁の一



第7図 川崎遺跡第32地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)

部は段状面と同一面まで掘削されている。規模は奥行き75cm・幅48cmである。一段目はわずかな高まりで床面より3cmほど高く、平坦面の奥行き33cm・幅45cm。二段目は平坦面の奥行き35cm・幅32cm、床面からの高さ21cmである。硬く締まった黒褐色土で構築され、平坦面はローム塊が混入し特に硬い。

遺構の下は土坑状の窪みがあり、ロームを含む黒褐色土で埋め戻されている。規模は145×80cm、床面からの深さ17cmである。

【貼床・周溝】周溝は住居の西・南壁際と東壁際跡の一部に巡り、上幅12～30cm、下幅5～14cm、深さ5cmである。

貼床は床面全体に5～18cm厚で薄く貼られる。床面は住居北東から中央部の竈前から階段状遺構にかけて特に硬化する。

【掘り方】ほぼ平坦だが、竈前から中央部と東側にかけて20cm前後掘られた後、埋め戻されている。

【遺物出土状況】遺物はほぼ全面に散在するが、東壁の階段状遺構より北側にかけてやや集中する。

【時期】10世紀。

② H 66号住居跡

【位置・形状】調査区の中央東側に位置する。4m西にH66号住居跡、6m南にH67号住居跡がある。北西部分は構成の攪乱で壊される。平面形態は方形で主軸方位はN-99°-Eである。規模は主軸が東西4.2m×南北3.65m、確認面からの深さ50cmである。竈を含めた主軸長は4.35m以上である。

【竈】住居跡東壁の南寄りに構築される。煙道は調査区域外になる。竈は灰色の粘土で構築され、天井部は崩落し袖の一部が残る。竈内部の底面に焼土面が残る。

焚口から調査区内の奥行き49cm、袖部の最大幅105cmである。焚口幅40cm、竈内部は幅54cm、床面からの深さは約6cmである。

竈の中央に礫が立脚状態で残存していた。支脚と思われる。

【ピット】5基検出した。P1とP2は南壁から20cmの距離にあり、P1は西壁から90cm、P2は東西壁のほぼ中央に位置する。P1とP2の中心間の距離は85cmである。P3は北壁中央、P4は北東隅に位置する。いずれも深さ10cm前後と浅い。

【貼床・周溝】周溝は住居の北・西・東壁際の一部に巡り、北東隅と西壁中央から南壁にはない。上幅15

～28cm、下幅5～10cm、深さ5～9cmである。

貼床は床面全体に2～8cm厚で薄く貼られる。

【掘り方】ほぼ平坦だが、竈前から南側にかけては壁際が10cm前後浅く掘られた後、埋め戻されている。

【遺物出土状況】遺物はほぼ全面に散在するが、竈内にやや集中する。

【時期】8世紀後半～9世紀初頭。

③ H 67号住居跡

【位置・形状】調査区の南東部に位置する。10m北西にH65号住居跡、6m北にH66号住居跡がある。東側は調査区域外であるため、主軸方位は不明だが、平面形態は方形で南北壁の方位はN-0°-Eである。規模は南北3.3m、調査区域内の東西2.2m、確認面からの深さ30cmである。竈は調査区域内では検出しなかった。

【ピット】2基検出した。P1は北側中央、P2は南西隅にある。

【貼床・周溝】周溝は住居の北・西・南壁際に巡る。上幅15～25cm、下幅5～15cm、深さ4～7cmである。

貼床は床面全体に2～5cm厚で薄く貼られる。床面は住居中央が硬化する。

【遺物出土状況】遺物は中央から南側に散在する。

【時期】10世紀。

④土坑

3基検出した。土坑1と土坑2は縄文時代。

第9表 川崎遺跡第32地点H65号住居跡ピット一覧表(単位cm)

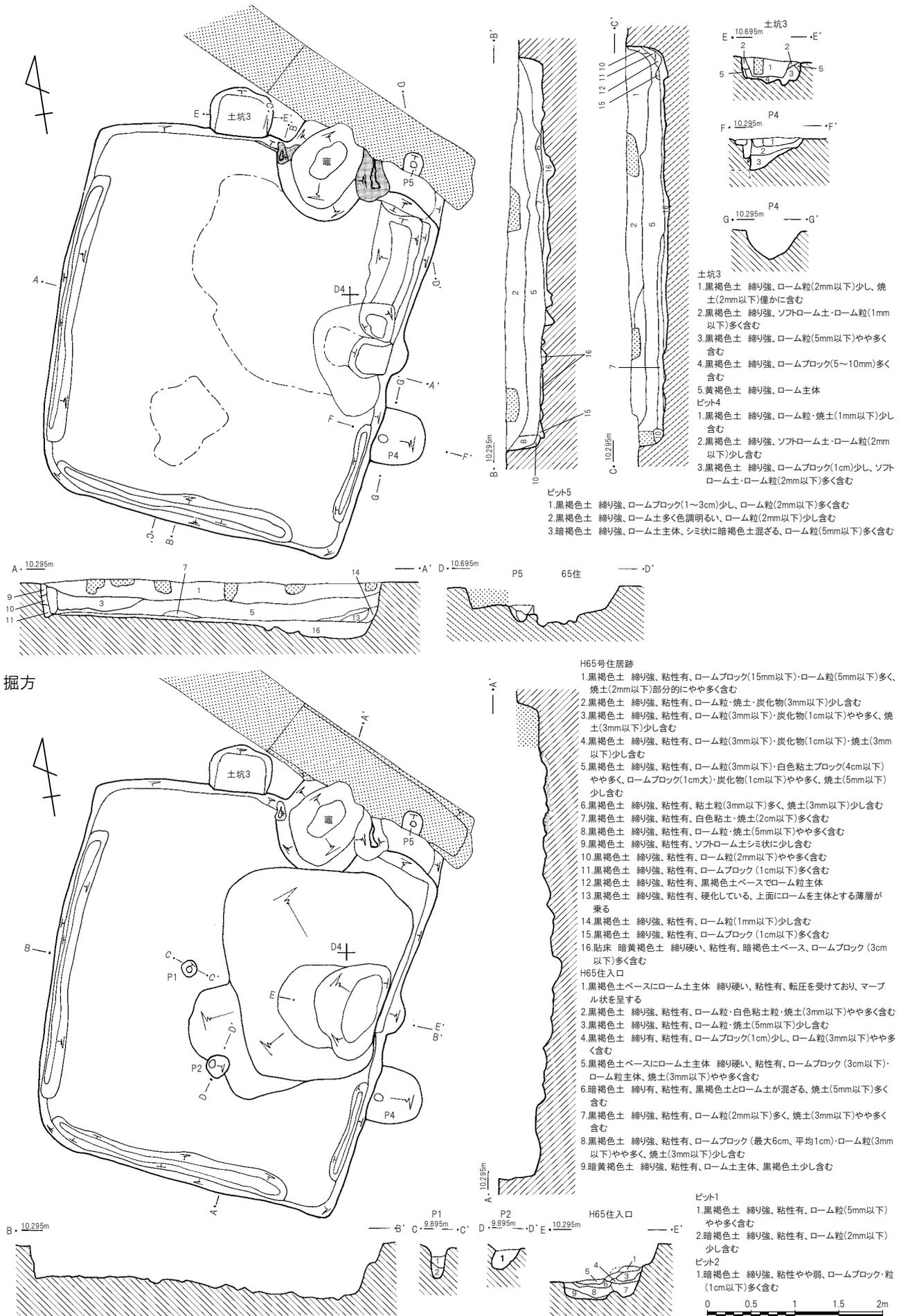
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	方形	18×17	8×6	37.9	
P2	円形	27×24	8×8	54.3	
P4	不明	(65)×(61)	10×9	35.6	
P5	不明	24×(23)	8×7	23.3	

第10表 川崎遺跡第32地点H66号住居跡ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	方形	26×23	14×12	7.6	
P2	円形	29×22	12×9	23.5	
P3	ひょうたん形	67×53	27×14	15.4	
P4	楕円形	60×42	39×26	13.6	
P5	不明	25×(8)	7×3	4.9	

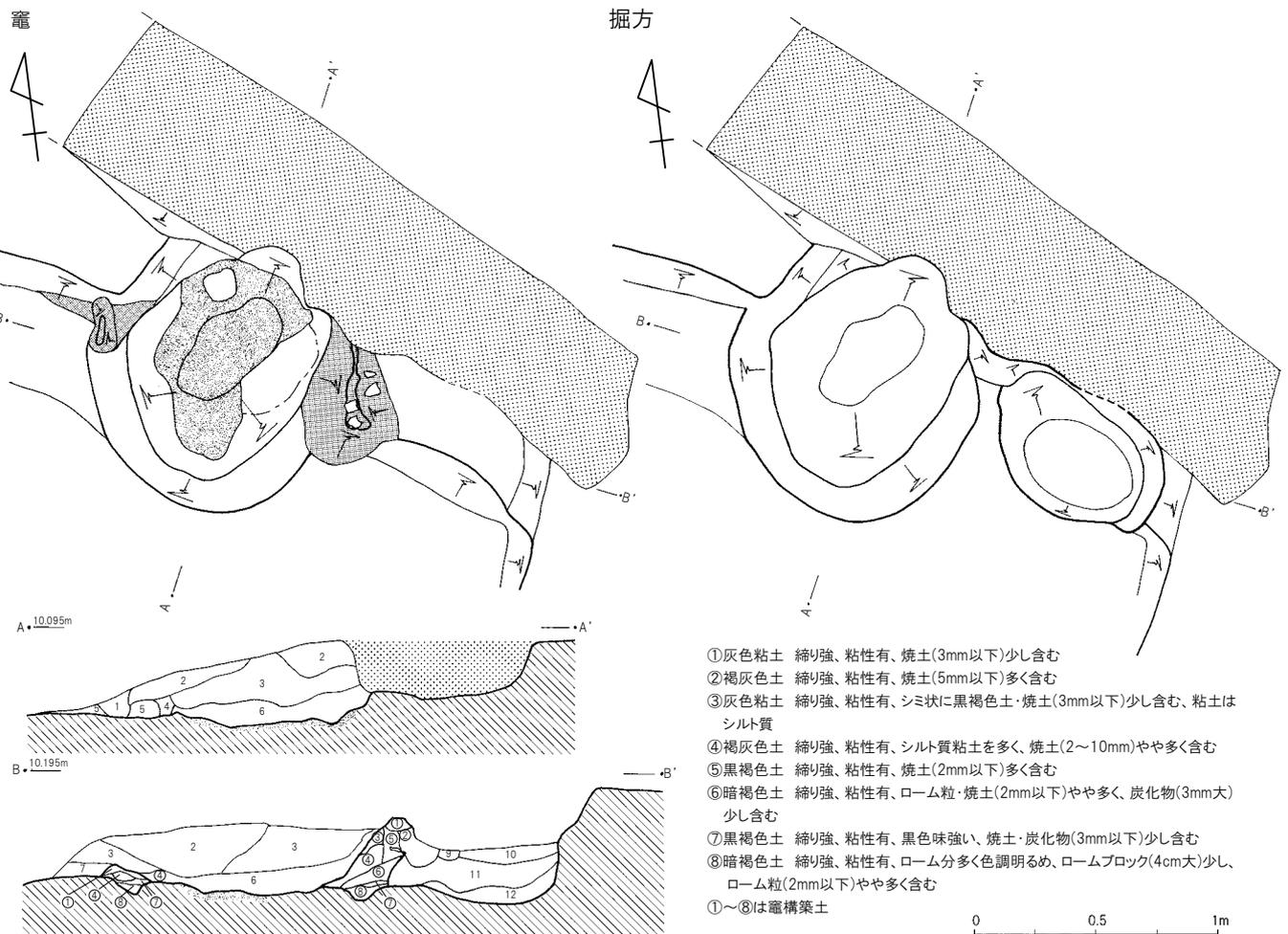
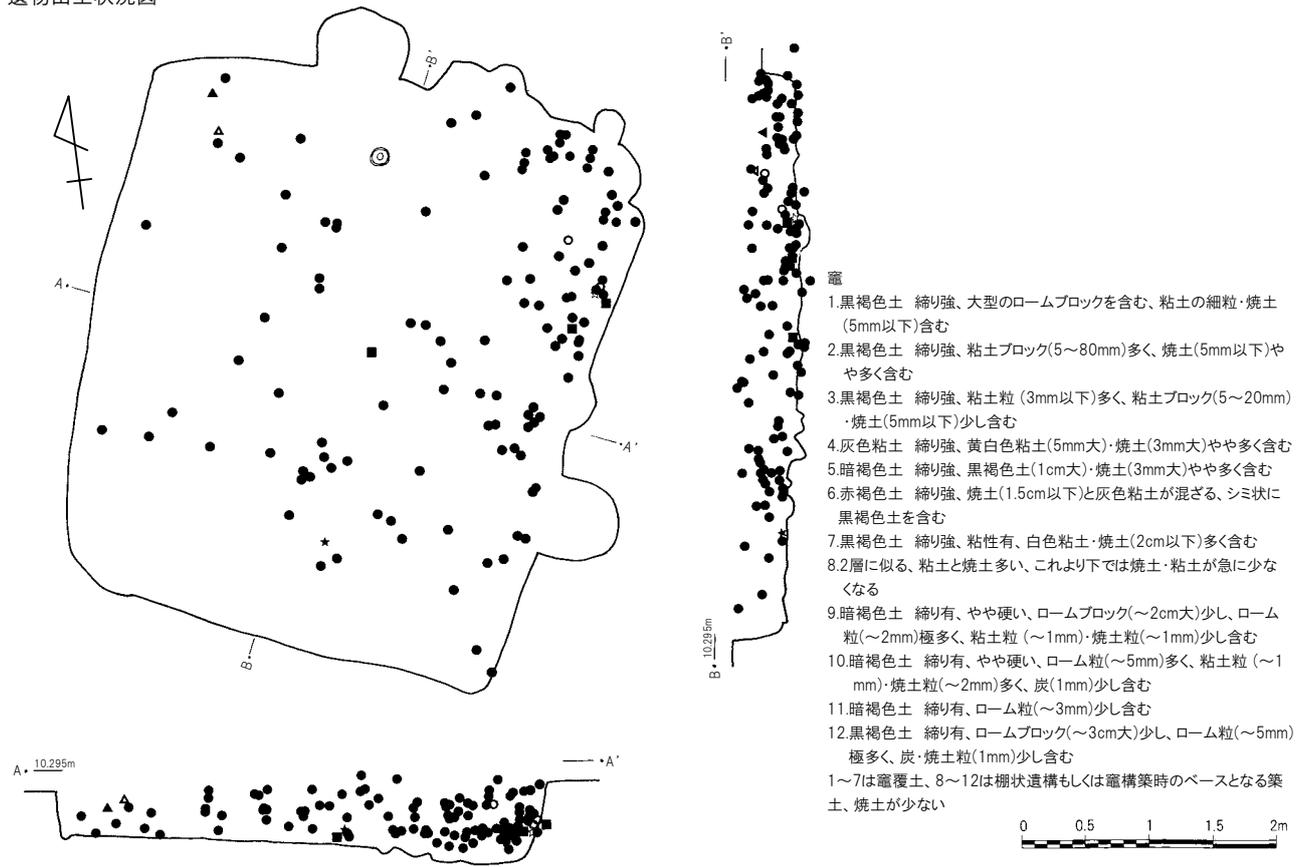
第11表 川崎遺跡第32地点H67号住居跡ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	楕円形	94×41	33×17	29.7	
P2	円形	36×33	15×14	15.6	

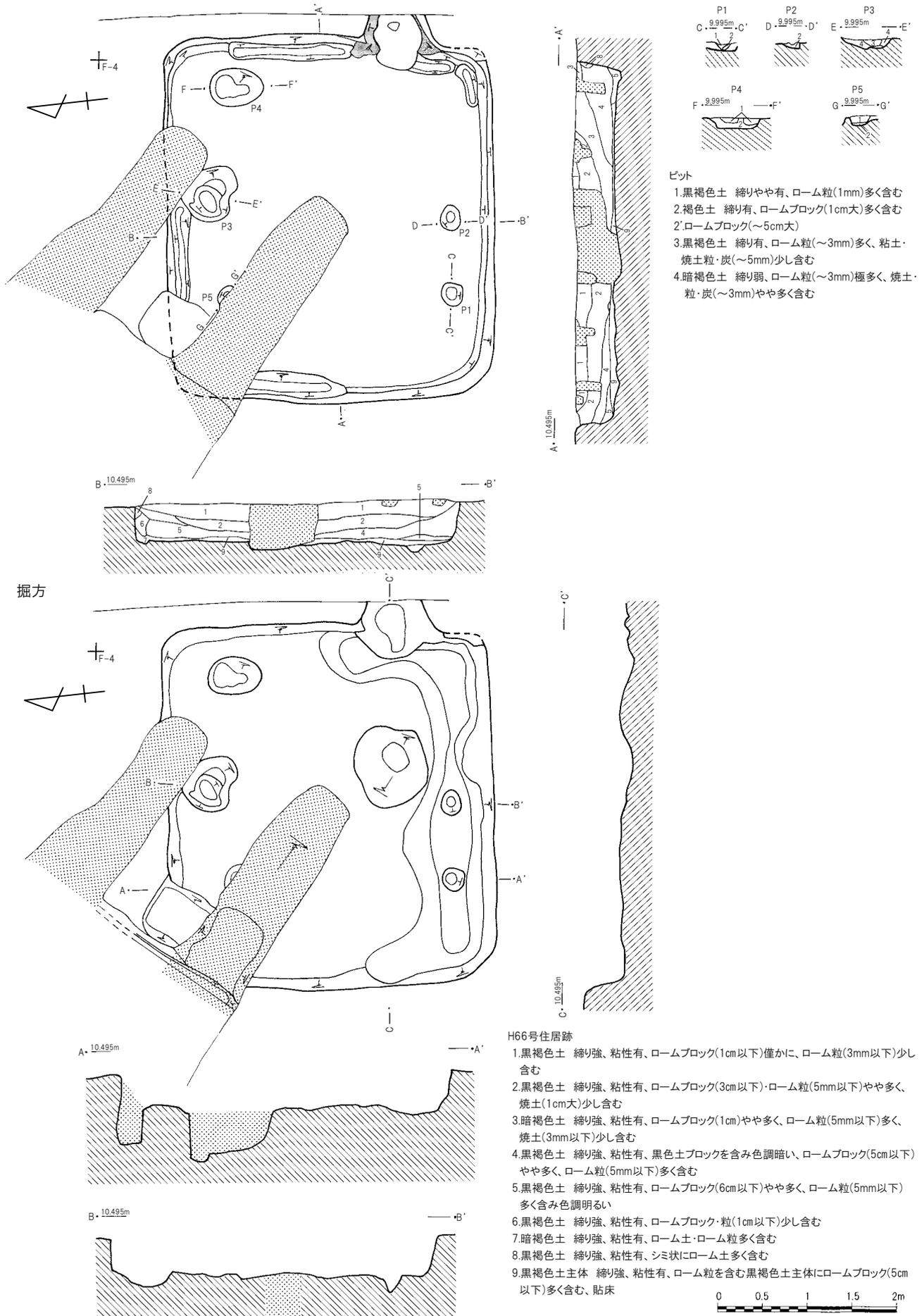


第8図 川崎遺跡第32地点 H65号住居跡・掘方 (1/60)

遺物出土状況図



第9図 川崎遺跡第32地点 H65号住居跡遺物出土状況図(1/60)、竈・掘方(1/30)



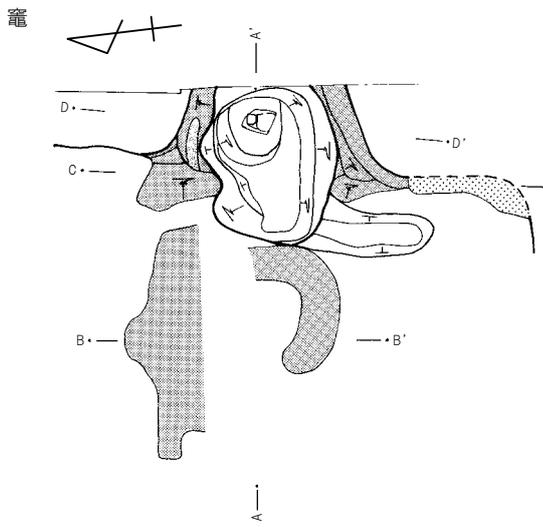
第10図 川崎遺跡第32地点 H66号住居跡・掘方 (1/60)

遺物出土状況図

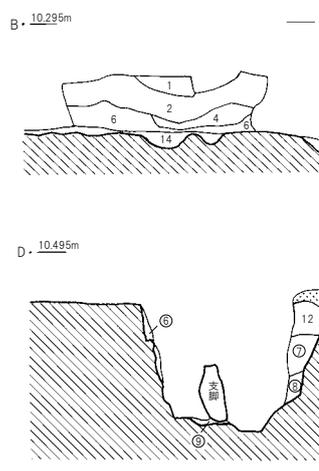
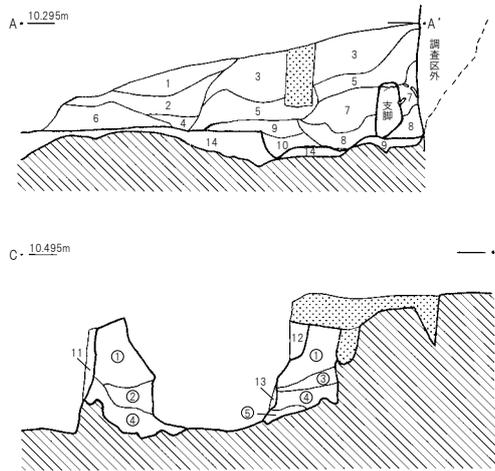
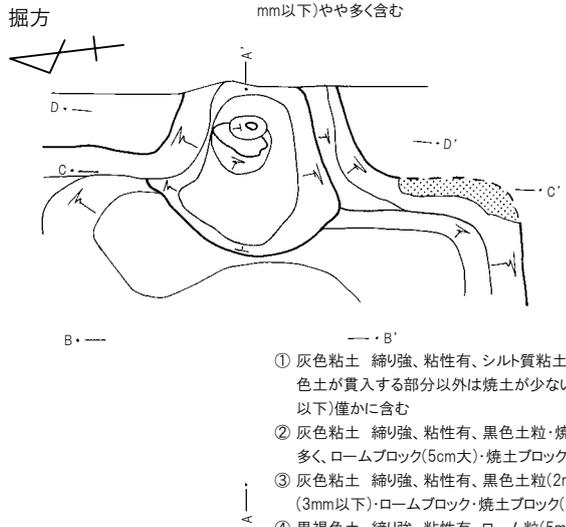


- 竈
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)・灰色粘(シミ状)やや多く、黒色土粒(3mm以下)・焼土(5mm以下)少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し、灰色粘土ブロック(5~30mm)多く含む
 3. 灰色粘土 締り強、粘性有、黒褐色土・ローム粒・黒色土粒(3mm以下)少し含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(最大5cm)・ローム粒(2mm以下)少し含む
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm以下)少し、ローム粒(3mm以下)やや多く、灰色粘土(1cm以下)少し含む
 6. 黒褐色土 締り硬い、粘性有、土質は5層に同じ
 7. 黒灰色土 締り強、粘性有、粘土分を多く含む、焼土(5mm以下)やや多く含む、全体の色調は赤褐色色を帯びる
 8. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土粒(3mm以下)やや多く、焼土ブロック(5~10mm)少し含む
 9. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く、焼土(5mm以下)やや多く含む
 10. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~15mm)やや多く含む
 11. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に灰色粘土、ローム粒(2mm以下)少し含む
 12. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に灰色粘土、ローム粒・焼土(3mm以下)やや多く含む

竈

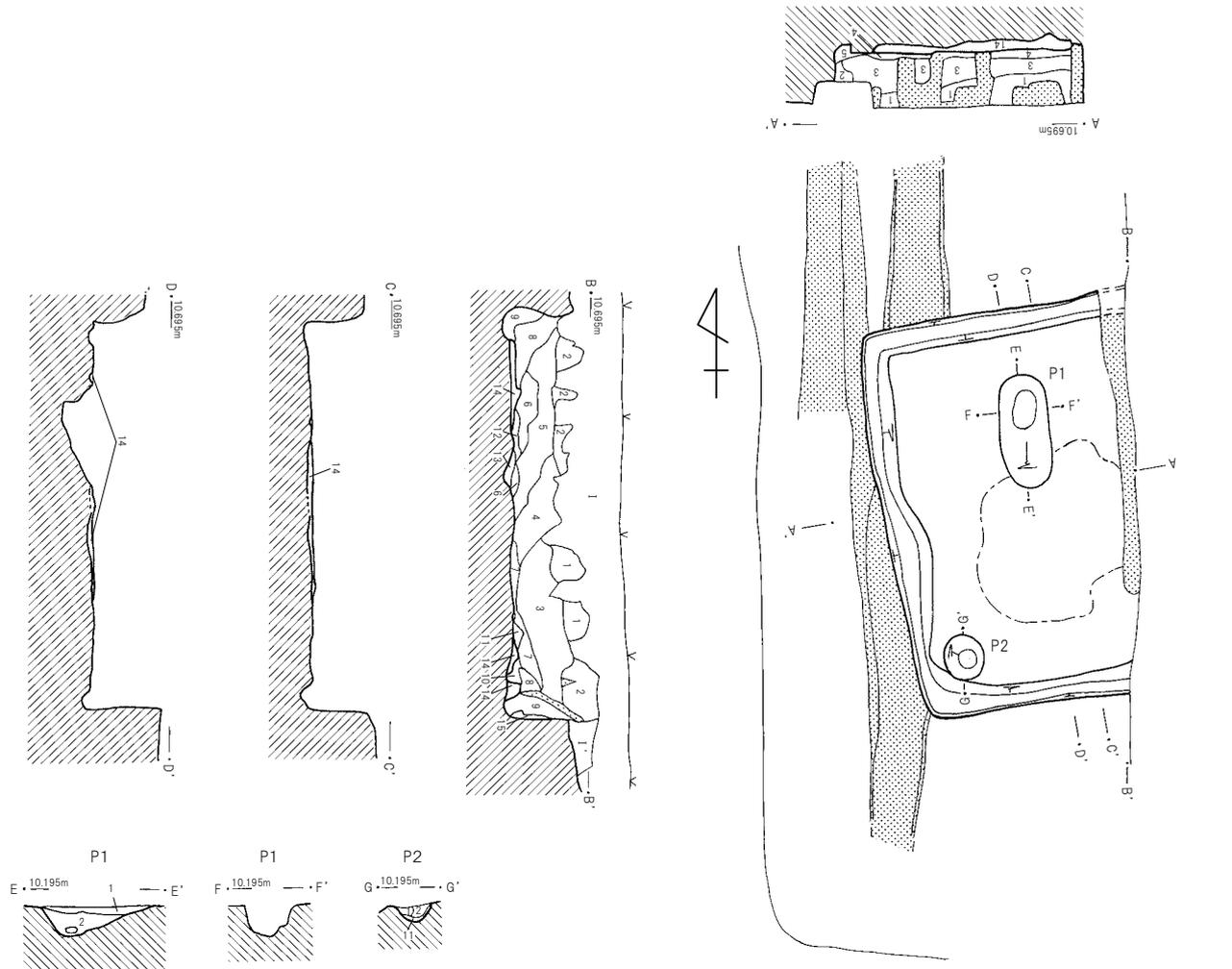


掘方

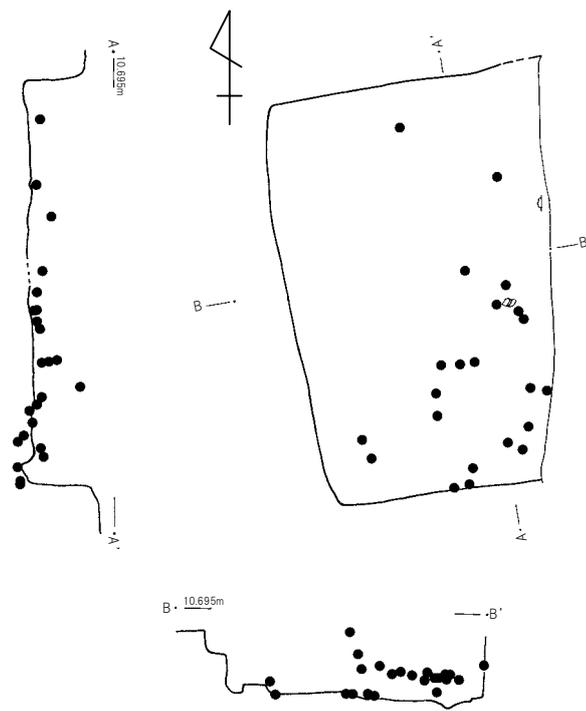


- ① 灰色粘土 締り強、粘性有、シルト質粘土(動植物痕の黒褐色土が貫入する部分以外は焼土が少ない)、ローム粒(3mm以下)僅かに含む
 - ② 灰色粘土 締り強、粘性有、黒色土粒・焼土(2mm以下)やや多く、ロームブロック(5cm大)・焼土ブロック(3cm大)少し含む
 - ③ 灰色粘土 締り強、粘性有、黒色土粒(2mm以下)・ローム粒(3mm以下)・ロームブロック・焼土ブロック(1cm大)少し含む
 - ④ 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く、ロームブロック(1~6cm)やや多く含む
 - ⑤ 黄褐色土 締り強、粘性有、ソフト質ローム主体、シミ状に黒褐色土が貫入する
 - ⑥ 黄灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土混じりのローム土
 - ⑦ 灰色粘土 締り強、粘性有、シミ状に焼土をやや多く、焼土ブロック(1cm大)少し含む
 - ⑧ 灰色粘土 締り強、粘性有、ローム・黒色土粒(2mm以下)少し含む
 - ⑨ 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)やや多く、焼土(1mm大)僅かに含む
- ①~⑨は竈構築土

第 11 図 川崎遺跡第 32 地点 H66 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、竈・掘方 (1/30)



遺物出土状況図



- A-A'
- 1.黒褐色土 黒灰色土(5mm大)・ローム粒・焼土(3mm以下)少し含む
 - 2.黒褐色土 ロームブロック(5~30mm)多く含む
 - 3.黒褐色土 ローム粒(2mm以下)1層よりやや多く、焼土(2mm以下)僅かに含む
 - 4.黒褐色土 ローム粒(3mm以下)3層よりやや多く含む
 - 5.黒褐色土 ローム粒(3mm以下)やや多く含む
- B-B'
- 1.表土 黒灰色土 締り弱、耕作土
 - 1'ロームブロック混入 耕作土
 - 1.黒褐色土 締りやや有、ローム粒少量、I層が混入、焼土粒(3mm以下)やや多く含む
 - 2.黒褐色土 締りやや有、ローム粒少量、I層が混入
 - 3.黒褐色土 締り有、ローム粒(~3mm)・焼土粒(~5mm)多く、粘土粒(~1mm)極少量含む
 - 4.黒褐色土 締り有、黒灰色土(5mm大)・ローム粒・焼土(3mm以下)少し含む
 - 5.黒褐色土 締り有、ローム粒(2mm以下)4層よりやや多く、焼土(2mm以下)僅かに含む
 - 6.黒褐色土 締り有、ローム粒(3mm以下)5層よりやや多く含む
 - 7.黒褐色土(3層より黒い) 締り有、ローム粒(~2mm)多く、粘土粒(~2mm)やや多く含む
 - 8.黒褐色土 締り有、ローム粒(~1mm)少し含む
 - 9.黒褐色土 締りやや有、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(~3mm)極多く含む
 - 10.暗褐色土 締りやや硬い、ローム粒(~1mm)極多く含む
 - 11.暗褐色土 締りやや硬い、ロームブロック(2cm大)少し、ローム粒(~1mm)極多く含む
 - 12.暗褐色土 硬く締る、ローム粒(~2mm)極多く含む
 - 13.暗褐色土(やや明るい) 硬く締る、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(~2mm)極多く含む
 - 14.黄褐色土と黒色土の混合 非常に硬く締る、ロームブロック(~3cm大)含む、粘床
 - 15.ロームブロックと黒色土の混合 締り有
- ピット1
- 1.黒褐色土 締り有、硬い、ローム粒(~2mm)多量、焼土粒(~3mm)やや多く、炭(1mm)少し含む
 - 2.褐色土 締り有、ロームブロック(1~3cm大)多く、ローム粒(~1cm)極多く、焼土粒(~2mm)少し含む
- ピット2
- 1.黒褐色土 締り有、ロームブロック(~1cm大)少し含む
 - 2.褐色土 締り有、ローム粒(1~2mm)極多量に含む
 - 3.黄褐色土 締り有、ソフトローム主体



第12図 川崎遺跡第32地点 H67号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)

第12表 川崎遺跡第32地点遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	方形	57 × 52	16 × 14	36.8	
P2	方形	49 × 41	10 × 9	29.4	
P3	方形	26 × 23	16 × 14	21.5	
土坑1	楕円形	140 × 116	128 × 104	30	
土坑2	円形	175 × 150	127 × 126	48.5	
土坑3	不明	72 × (57)	57 × (47)	30.6	

H 65号住居跡出土遺物

1～3は須恵器。1は、口縁部が一部欠損するがほぼ完形。口径 11.9 cm、器高 3.7 cm、底径 5.5 cm。底部回転糸切り。色調暗褐色でむらがない。白色針状物質を多量に含み、2 mm 大の石英を混じる。外面体部中央から底部にかけて、4 段ほどのとがり気味のロクロ痕。内面は滑らかである。2は、口径 12.5 cm、器高 4.0 cm、底径 4.4 cm。口径と底部の比は、2.84 : 1 である。底部回転糸切り。色調黄白色。白色針状物質を含み、5 mm 大の石英を多量に含み、1 mm 大の黒砂を多量に含む。外面体部中央に 5 段ほどのとがり気味のロクロ痕。内面は滑らか。3は、高台付き椀、完形。口径 13.3 cm、器高 5.6 cm、底径 7.1 cm。色調暗青灰色。回転糸切り後に高台を付ける。白色針状物質を少量含む。外面中央に 5 段ほどのロクロ痕、内面の中央部に丸気味のロクロ痕。

4は、土師器甕、口唇部に図示したように、幅 1.2 cm ほど片口状の凹みがある。丸い棒状の工具で、口唇部に水平に押し当て形成したもの。

5は、竈の支脚。上半部は欠損。外面は幅 2.5 cm で縦方向に面取りをほどこしたものの。混じりものは全くなく、ローム土をそのまま焼成したものであろう。

6は、竈の袖の補強にした軒丸瓦。外面に縄目叩き痕、内面には布目圧痕。白色針状物質をわずかに含み、鳩山窯跡産。

7は、刀子の破片。関と柄の部分。両端部が大きく欠損。

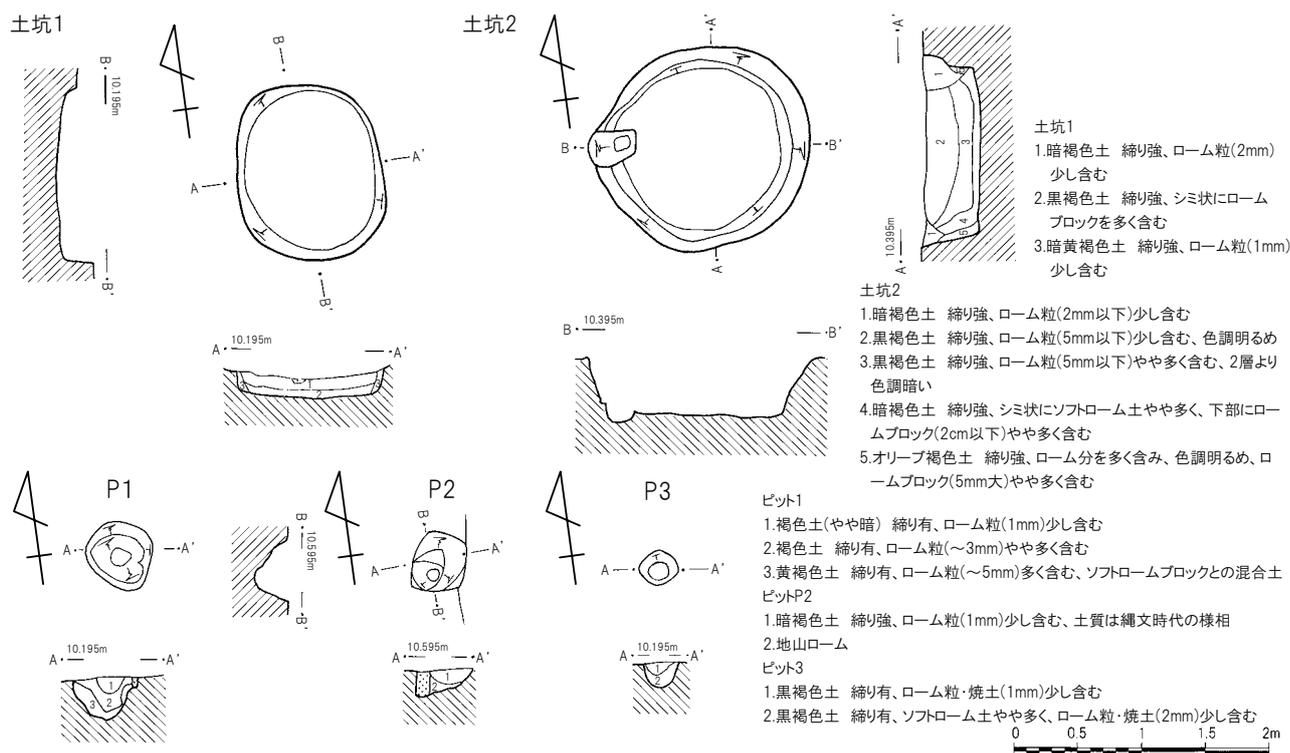
8・9は鉄釘の破片。両端部が大きく欠損している。

10は、小形須恵器環。口縁部 1/8、体部 1/2、底部欠損。口径 10.5 cm (推)。いわゆる環 G の系統の一種かもしれない。色調青色、東金子窯跡産。内外面ともに滑らかである。住居には伴わない混入品であろう。

11は、縄文時代の磨石で、両面に敲打による凹みの痕跡がある。石質は、閃緑岩。

H 66号住居跡出土遺物

1～4は須恵器環。1は、口径 12.5 cm、器高 3.7 cm、底径 7.0 cm。現存 1/2。底部回転糸切り後、周辺部回転ヘラ削り。暗青灰色。白色針状物質が混入。内面爪立てにより凹んだ稜がある。2は、口径 12.7 cm、器



第13図 川崎遺跡第32地点土坑・ピット (1/60)

高3.5 cm、底径7.8 cm。底部は回転糸切りのみ。暗青色。口唇部外面に3 mm程度の自然釉がかかる。重ね焼きによるもの。2 mm程度の石英が混入。外面調整滑らか。体部中央に輪積痕がある。3は、口径12.6 cm（現存1/2）、器高3.6 cm、底径7.7 cm。底部回転糸切りのみ。色調全体に明ベージュ。口唇部外面暗褐色（重ね焼成痕）。外面調整滑らか。底部に「|」のヘラ記号。4は、口径12.6 cm、器高3.8 cm、底径8.0 cm。底部回転糸切りのみ。色調明ベージュで3に似る。口唇部直下7 mm前後にロクロ痕による凹みが一週している特徴がある。外面調整全体に滑らか、底部にヘラ記号「|」で3に同じ。

白色針状物質は含まない。外面の底部から口唇部にカーボンが付着、内面の口唇部にも一部帯状に付着。灯火具に転用使用か。

5、6は須恵器椀形。5は口径15 cm（1/2 現存）、器高5.5 cm、底径8.0 cm。色調青灰色。底部は回転ヘラ削りによる切り離し。外面内面調整はわずかにロクロ痕が残る滑らか。胎土は1 cmの茶色の砂利を含み、1 mmの白色の砂を含み、白色針状物質も含む。6は、口径16 cm（現存1/2）、器高5.7 cm、底径8.0 cm。色調青灰色で底部にかけて灰白色が強くなる。底部は回転糸切り後、周辺部回転ヘラ削り調整。2 mmの石英を含み、黒色の砂を含む。白色針状物質を含む。体部外面に、口唇部より1.5 cm下方に外面にロクロによる凸一周する特徴がある。その他外面内面ともに滑らか調整。

7、8は砥石。7は長台形の4面に使用面がある。8は、長台形、幅が広く扁平になっているが、主な使用面は2面であるが、側面も使用している。図示上方に穿孔がある。紐を付ける穴か。

9は、鉄滓。10は、刀子の破片。11は、鉄釘。先端が曲がっている。12は、馬具の破片か。

H 67号住居跡出土遺物

1は須恵器杯。口径12 cm（2/3 現存）、器高3.8 cm、底径5.7 cm。口径底径比は約2.0：1。底部回転糸切り離し。色調暗褐色。5 mm以下の石英を含み、白色針状物質を含む。内面にカーボンが付着。内外面のロクロ痕は太く丸い。

遺構外出土遺物

縄文晩期の土器が出土している。1は、沈線による三叉文と点列文がうかがえる口縁部破片。色調黄味が強い。口唇部先端はとがり気味に丸く処理されてい

る。2も、斜状に沈線の間点列文を加えたもの、口唇部先端、色調は1に同じ。

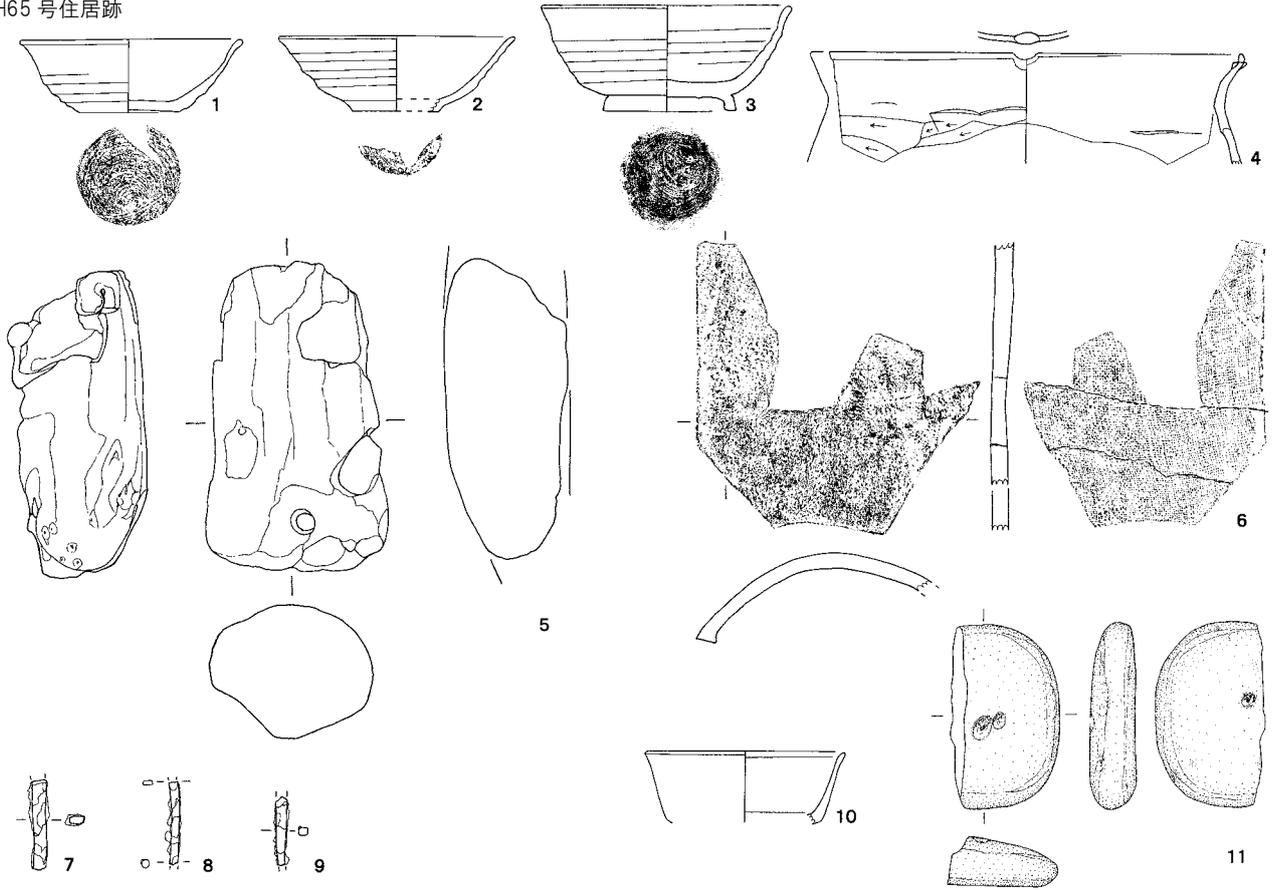
3は入り組み三叉文の直前とその間を逆「U」で埋めたもの。口唇部は丸く整形。器面はヘラで磨いた後に文様を「刻んだ」もの。刻んだというのは器面の乾燥が進んだ後、彫り込むような力が働いているからである。胎土には2～3 mm程度の茶色の小砂利が混入。

4は、入り組み三叉文によるもの。色調は、1・2よりもやや暗い。胎土には黄色・白色の砂が多量に混じる。

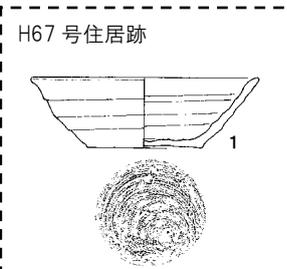
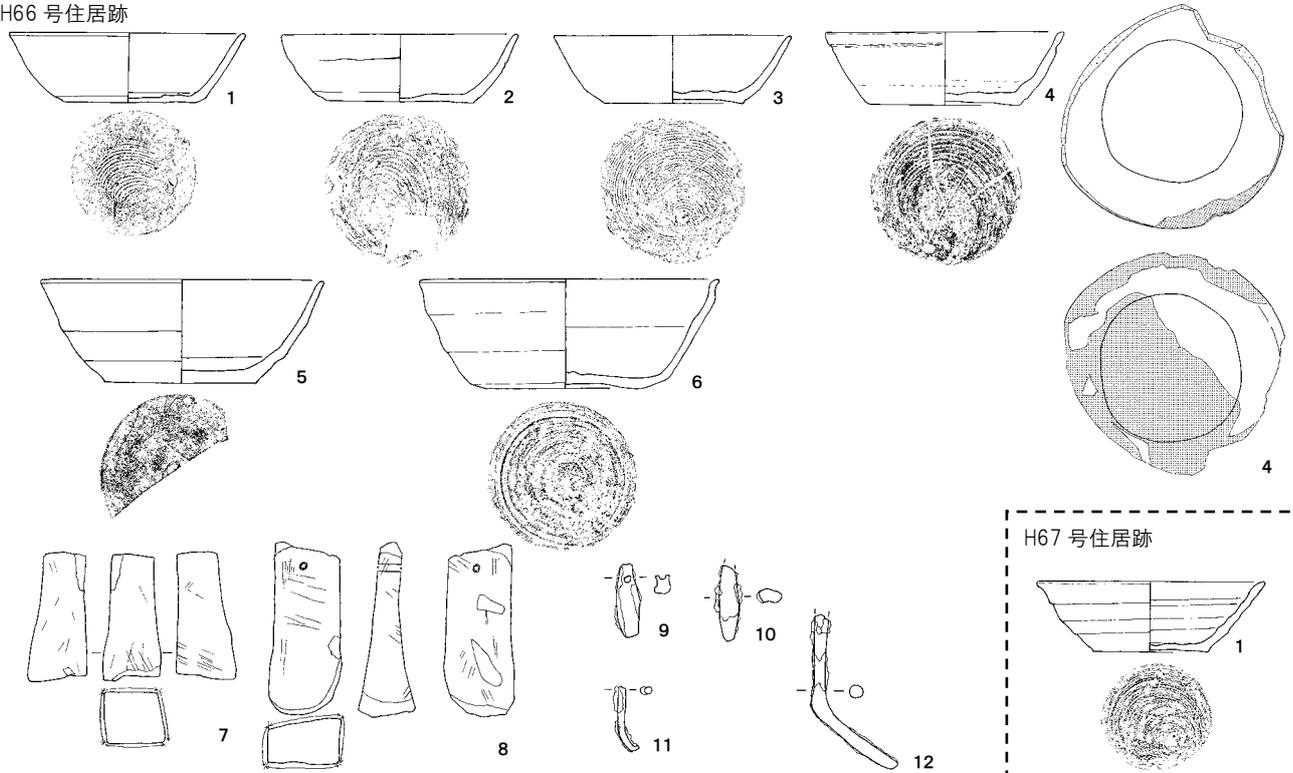
5・6は、器面外面に指頭による凹凸が激しい粗製土器。5には、輪積みの痕跡がある。両者ともに、6 mmから3 mmの石英や粘板岩を多量に含み、1～4とは、胎土を異にする。

なお、1・2は安行3c式、3・4は安行3d式であろう。5・6は1～4に伴う粗製土器である。

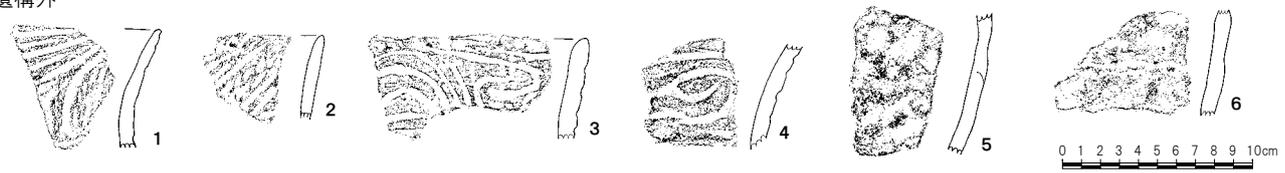
H65号住居跡



H66号住居跡



遺構外



第14図 川崎遺跡第32地点 出土遺物 (1/4)

第4章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡（1981年の変更増補で滝遺跡と合併）で古墳時代前期と後期の住居跡を検

出以来35ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査（1）は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

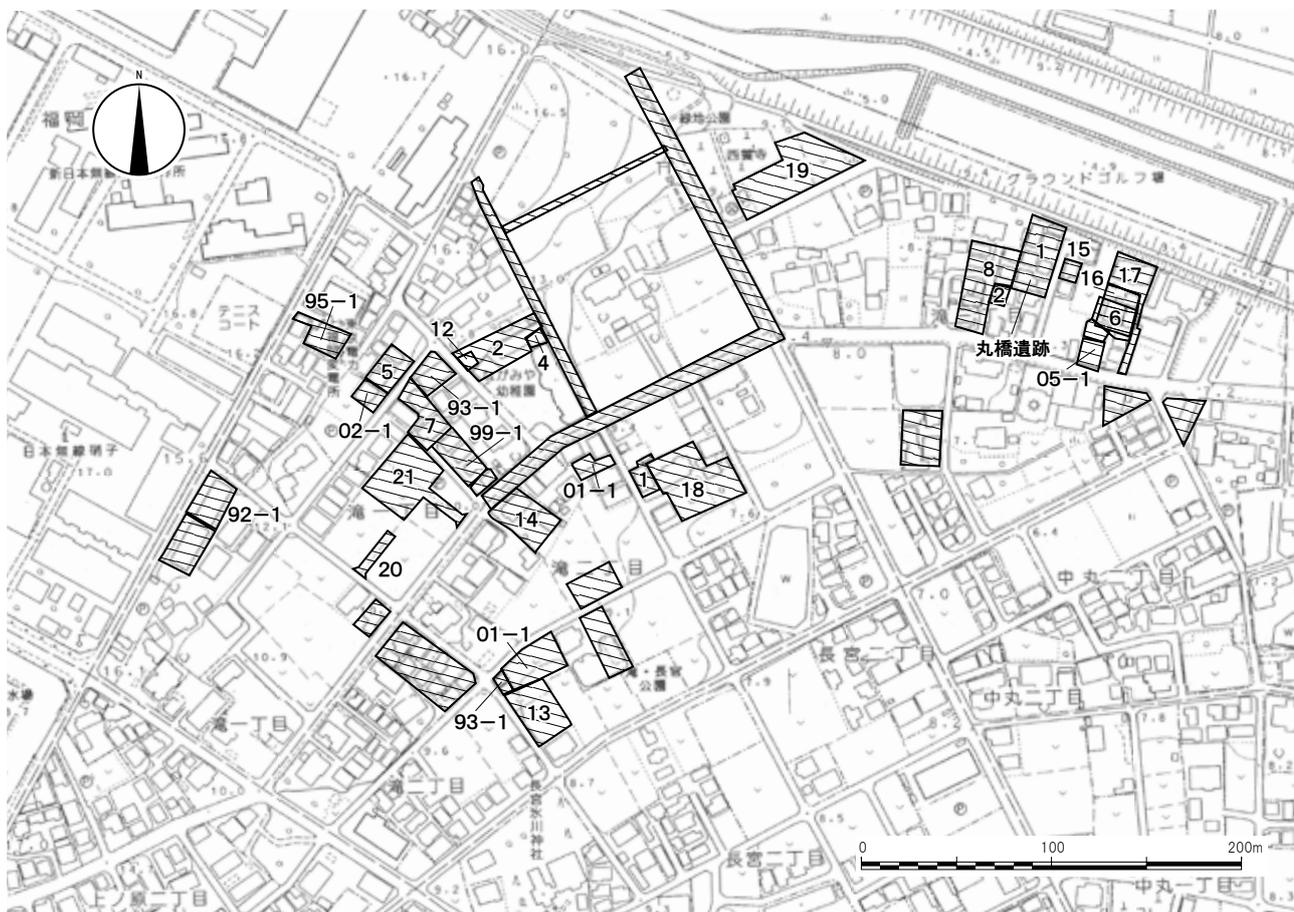
遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構（集石を伴う）である。

II 滝遺跡第17地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年4月15日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構などの存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年5月6日から31日までと6月17日・18日に行った。幅約1～3mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を



第15図 滝遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

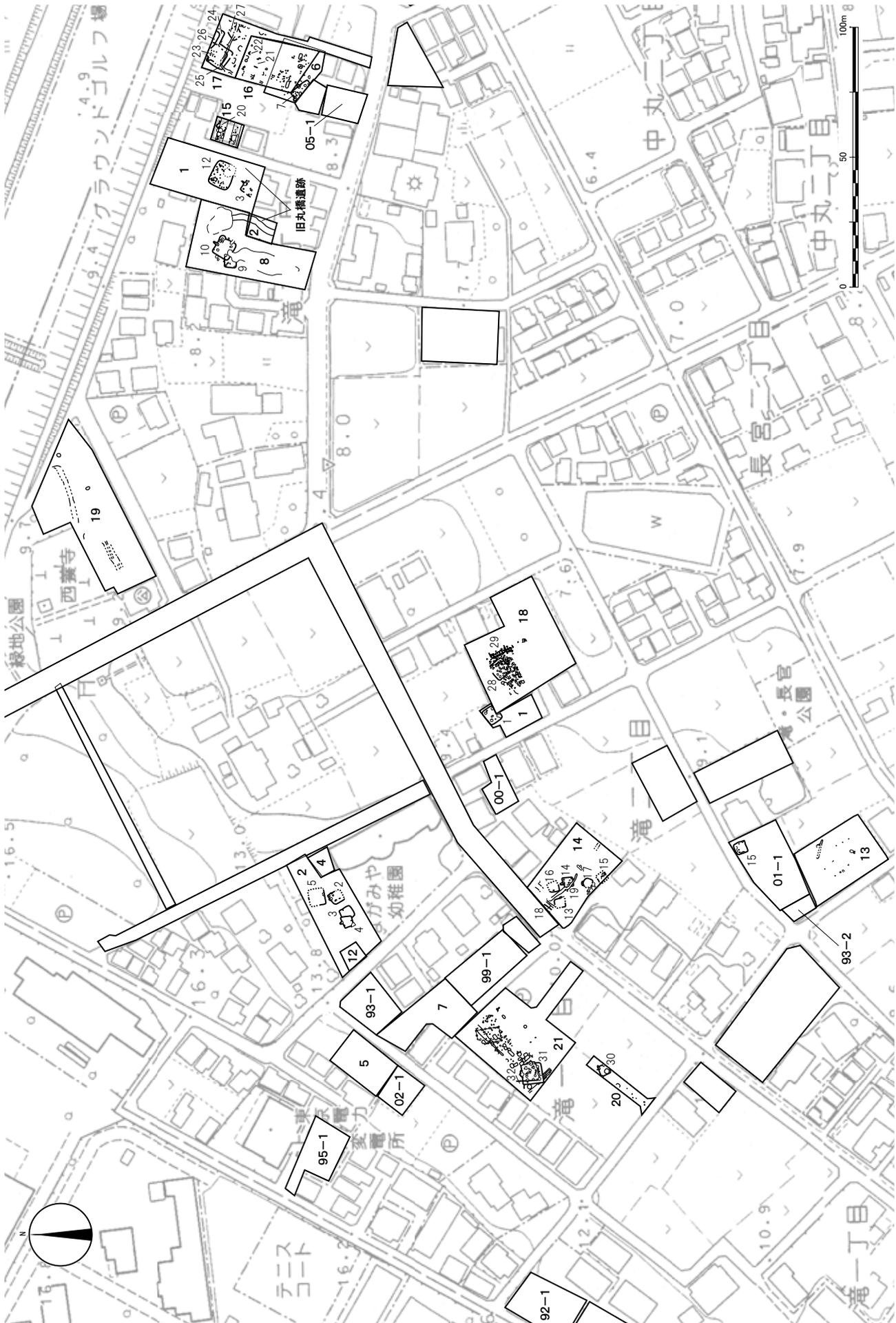
第13表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書	備考
丸橋 1次	滝 3-3-77 ~ 81	(1976.6.26 ~ 27) 1976.7.24 ~ 8.12	543	連売住宅	古墳前期住居 1・後期住居 1	上福岡市遺跡調査報告書	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合
丸橋 2次	滝 3-3-13	1978.7.26 ~ 8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑 1、現代溝 1	埋蔵文化財の調査 (I)	
1次	滝 2-6-11	1978.10.2 ~ 13	129	住宅建設	住居跡 1、土師器	埋蔵文化財の調査 (I)	
2次	滝 1-4-2	1979.4.15 ~ 5.7	278	幼稚園ブル	住居跡 5、周溝、土坑、長巻、土器	埋蔵文化財の調査 (II)	
3次	滝 1-4-15	1980.6.27 ~ 7.3	76	住宅建設	権現山遺跡 1 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (III)	権現山遺跡へ変更
4次	滝 1-4-15	1980.7.7 ~ 12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片	埋蔵文化財の調査 (III)	
5次	滝 1-3-21	1980.7.20 ~ 31	330	住宅建設	権現山遺跡 2 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (IV)	権現山遺跡へ変更
6次	滝 3-3-6	1980.11.20 ~ 12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡 2、縄文早期土器、石器、奈良土器他	埋蔵文化財の調査 (IV)	
7次	滝 1-1-19	1981.7.30 ~ 31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査 (IV)	
8次	滝 3-3-15 他	1983.11.14 ~ 26	990	住宅建設	古墳住居 2	埋蔵文化財の調査 (VI)	
9次	滝 1-4-4	1984.5.11 ~ 22	466	住宅建設	権現山遺跡 6 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (VII)	権現山遺跡へ変更
10次	滝 1-3-17	1984.6.1 ~ 12	363	住宅建設	権現山遺跡 6 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (VII)	権現山遺跡へ変更
11次	滝 1-4-2	1984.6.28 ~ 30	33	物置建設	権現山遺跡 7 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (VII)	権現山遺跡へ変更
12次	滝 1-4-2	1984.12.22 ~ 24	94	住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査 (VII)	
92 試(1)	滝 1-2-14 の一部	(1992.7.6 ~ 8)	400	倉庫建設	なし	埋蔵文化財の調査 (15)	
93 試(1)	滝 1-1-4	(1993.4.23 ~ 28)	313	共同住宅	なし	埋蔵文化財の調査 (16)	
93 試(2)	滝 2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査 (16)	
95 試(1)	滝 1-3-13	(1995.11.27 ~ 30)	462	共同住宅	権現山遺跡 14 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (18)	
99 試(1)	滝 1-1-6	(1999.10.21 ~ 26)	511	宅地造成 (土地分譲)	なし	埋蔵文化財の調査 (22)	
00 試(1)	滝 2-5-20	(2001.1.23 ~ 24)	154	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査 (23)	
01 試(1)	滝 2-2-8	(2001.4.17 ~ 20)	519	共同住宅	奈良初頭住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (24)	
02 試(1)	滝 1-3-49	(2002.5.29 ~ 30)	165	個人住宅	権現山遺跡 17 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (25)	
05 試(1)	滝 3-3-5・3-143	(2005.6.24 ~ 27)	350	個人住宅	なし	市内遺跡群 1	
立会	滝 1-4-1・26・27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	なし		
12	滝 2-5-3、5-4 の一部	2007.2.6	472	個人住宅	なし	市内遺跡群 3	
13	滝 2-2-6	2007.10.24 ~ 11.1	737	共同住宅	焼土範囲 2 箇所、ピット 8	市内遺跡群 4	
14	滝 2-5-11・17	(2007.11.8 ~ 19) 11.20 ~ 12.6	692	分譲住宅	住居跡 7 軒、溝 3 条、井戸 1 基、須恵器、土師器	市内遺跡群 4	
15	滝 3-3-84	(2009.9.2 ~ 14) 10.23 ~ 11.6	100	分譲住宅	8 世紀住居跡 1 軒、井戸 1、土坑 8、ピット 20、須恵器、土師器、紡錘車	市内遺跡群 7	
16	滝 3-145	(2009.12.2 ~ 14)	434	宅地造成	ピット 3	市内遺跡群 8	
17	滝 3-3-6、3-144	(2010.5.6 ~ 6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡 5 軒、井戸 1、土坑 4、溝 2、集石	市内遺跡群 10	
18	滝 2-6-4、6-6	(2011.6.6 ~ 13) 6.14 ~ 7.6	1164	個人住宅	縄文時代落とし穴 1、古墳時代住居跡 2 軒他、土師器、近世陶磁器等	未報告	
19	滝 3-4-2	(2011.10.17 ~ 24)	1277	分譲住宅	なし	未報告	
20	滝 1-8、1-9	(2012.5.9 ~ 11)	124	道路築造	住居跡 1 軒、時期不明井戸、土坑、ピット	市内遺跡群 12	
21	滝 1-1-7、1-26、1-31	(2012.5.11 ~ 21) 7.17 ~ 8.25	1176	共同住宅	奈良平安時代鍛冶炉付住居跡 1 軒 (H31)・奈良平安時代住居跡 2 軒 (H32、H33)、掘立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、須恵器、土師器、鍛冶関連遺物他	市内遺跡群 12	

※理：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教委：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書

第14表 滝遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

新 住居 番号	旧 調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模 ()は残存 又は推定値	炉 竈:K	設置 壁・炉 位置	カマド・炉規模		周溝	主軸 方向	時期	備考	文献
								長軸	幅					
1	1978	第1次1号住居	5/6	隅丸方形	640 × (580) × 40	炉	中央 西寄り	115	70	○	S-55-W	4世紀前半	4本主柱穴、方形貯蔵穴 110 × 95 × 40	埋蔵文化財の調査 I
2	1979	第2次2号住居	ほぼ完掘	正方形	(460) × 470 × 45	K	北	(100)	106	○	N-32-W	7世紀前半	焼失住居、方形貯蔵穴 62 × 55 × 45	埋蔵文化財の調査 II
3	1978	丸橋第1次3号住居	2/3	正方形	(510 × 470) × 15	K	北東	210	102	○	N-38-W	7世紀前半	焼失住居、(4本主柱穴)	上福岡市遺跡調査報告書
6		第2次3号住居	完掘	方形	(480 × 460) × 15	—	—	—	—	○	—	9世紀前半		埋蔵文化財の調査 II
4	1979	第2次4号住居	ほぼ完掘	長方形	南北 340 × 東西 380 ~ 415 × 30	K	北	160	110	○	N-14-W	8世紀前半		埋蔵文化財の調査 II
5	1979	第2次5号住居	3/8	(正方形)	(490) × 610 × 60	—	—	—	—	○	不明	8世紀前半	竈は調査区外未調査	埋蔵文化財の調査 II
—	1980	第3次5号住居	1/5	不明	(260 × 270) × 30	—	—	—	—	○	不明	4世紀前半	権現山遺跡 1 号住居跡に変更	埋蔵文化財の調査 III
7	1980	第6次7号住居	1/3	正方形	620 × (250) × 12	K 2 基	A竈:北 B竈:西	115 × 90 122 × 90	90	○	N-52-E N-37-W	7世紀前半	建て替わり、不整形貯蔵穴 175 × 95 × 20、 床面焼土範囲有	埋蔵文化財の調査 III
8	2001	2001年度範囲確認調査第15号住居跡	完掘	方形	400 × 400 ×	K	北	不明	不明	○	不明	(8世紀前半)	今後15号住居跡から8号住居跡に名称変更	埋蔵文化財の調査 24
9	1983	第8次9号住居	2/3	隅丸方形	(500) × 470 × 20	炉 3	中央北 西寄り	60 × 40、(35) × 32、40 × 32	90	○	—	4世紀前半	焼失住居、床面硬化範囲 2ヶ所	埋蔵文化財の調査 VI
10	1983	第8次10号住居	完掘	正方形	690 × 660 × 15	K	北東	215	125	○	N-52-E	6世紀前半	4本主柱穴、方形貯蔵穴 (80) × 75 × 35	埋蔵文化財の調査 VI
11	1984	第10次11号住居	完掘	隅丸方形	445 × (380) × 35	K	北	115	95	○	N-5-W	6世紀前半	権現山遺跡に変更	埋蔵文化財の調査 VII
12	1978	丸橋第1次12号住居	ほぼ完掘	隅丸長方形	980 × 770 × 20	土器 鼎炉	北部	140	100	○	N-54-W N-36-E	4世紀前半	床面焼土点在	市史史料編第1巻
13	2007	第14次13号住居	1/2	方形	370 × 370 × 45	K	東	90	65	○	N-36-E	8世紀前半	貼床	市内遺跡群 4
14	2007	第14次14号住居	4/5	(長方形)	385 × (380) × 202	K	北	171	82	○	真北	8世紀前半	比企型坏多数出土、貼床	市内遺跡群 4
15	2007	第14次15号住居	1/3	不明	(370 × -) × 20	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群 4
16	2007	第14次16号住居	1/4	不明	(250 × 170) × 40	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群 4
17	2007	第14次17号住居	1/3	不明	(344 × 360) × 102	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群 4
18	2008	第14次18号住居	1/5	不明	(297 × 270) × 30	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群 4
19	2008	第14次19号住居	1/5	不明	(450 × -) × 350	K	北	(85)	(82)	—	—	—	8世紀前半~ 14号住居より新しい	市内遺跡群 4
20	2009	H20号住居	2/3	隅丸長方形	370 × 350 × 398	—	—	—	—	—	—	—	8世紀	市内遺跡群 7
21	2009	H21号住居	一部	不明	285 × (135) ×	K	東	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群 8
22	2009	H22号住居	一部	不明	× ×	—	—	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群 8
23	2010	H23号住居	プラン	長方形	595 × 700 × 27	K	北	—	—	—	N-46-W	8世紀	H24、H25住居より新	市内遺跡群 10
24	2010	H24号住居	プラン	(方形)	590 × (265) × 30	—	—	—	—	—	—	8世紀	H23、H26住居より古、H25住居より新	市内遺跡群 10
25	2010	H25号住居	プラン	長方形	810 × 700 × 12	—	—	—	—	—	N-46-W	7世紀	H23、H24住居より古	市内遺跡群 10
26	2010	H26号住居	プラン	(方形)	450 × (110) × 40	—	—	—	—	—	—	8世紀	H24住居より新	市内遺跡群 10
27	2010	H27号住居	プラン	方形	420 × 400 × 10	—	—	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群 10
28		欠番			× ×									
29		欠番			× ×									
30	2012	H30号住居	4/5	方形	410 × 390 × 5	K	東	—	—	—	N-75-E	9世紀		市内遺跡群 12
31	2012	H31A号住居	完掘	方形	780 × 770 × 50	K	北・東	95	130	○	N-92-E	8世紀前半		市内遺跡群 12
31	2012	H31B号住居	完掘	方形	640 × 640 × 50	K	北	135	170	○	N-2-E	8世紀前半	鍛冶炉	市内遺跡群 12
32	2012	H32号住居	一部	(方形)	× × 25	—	—	—	—	—	—	—	保存のため未調査	市内遺跡群 12
33	2012	H33号住居	一部	(方形)	× ×	—	—	—	—	—	N-0-E	—	保存のため未調査	市内遺跡群 12



第16図 滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)

行った結果、古代の住居跡、近世以降の土坑、井戸、ピット等を確認した。旧石器時代の確認調査は行ってない。

地表面から遺構確認面までの深さは約60cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため原因者と協議した結果、30cmの盛土保存を行うこととなった。

(2) 遺構と遺物

① H 23号住居跡

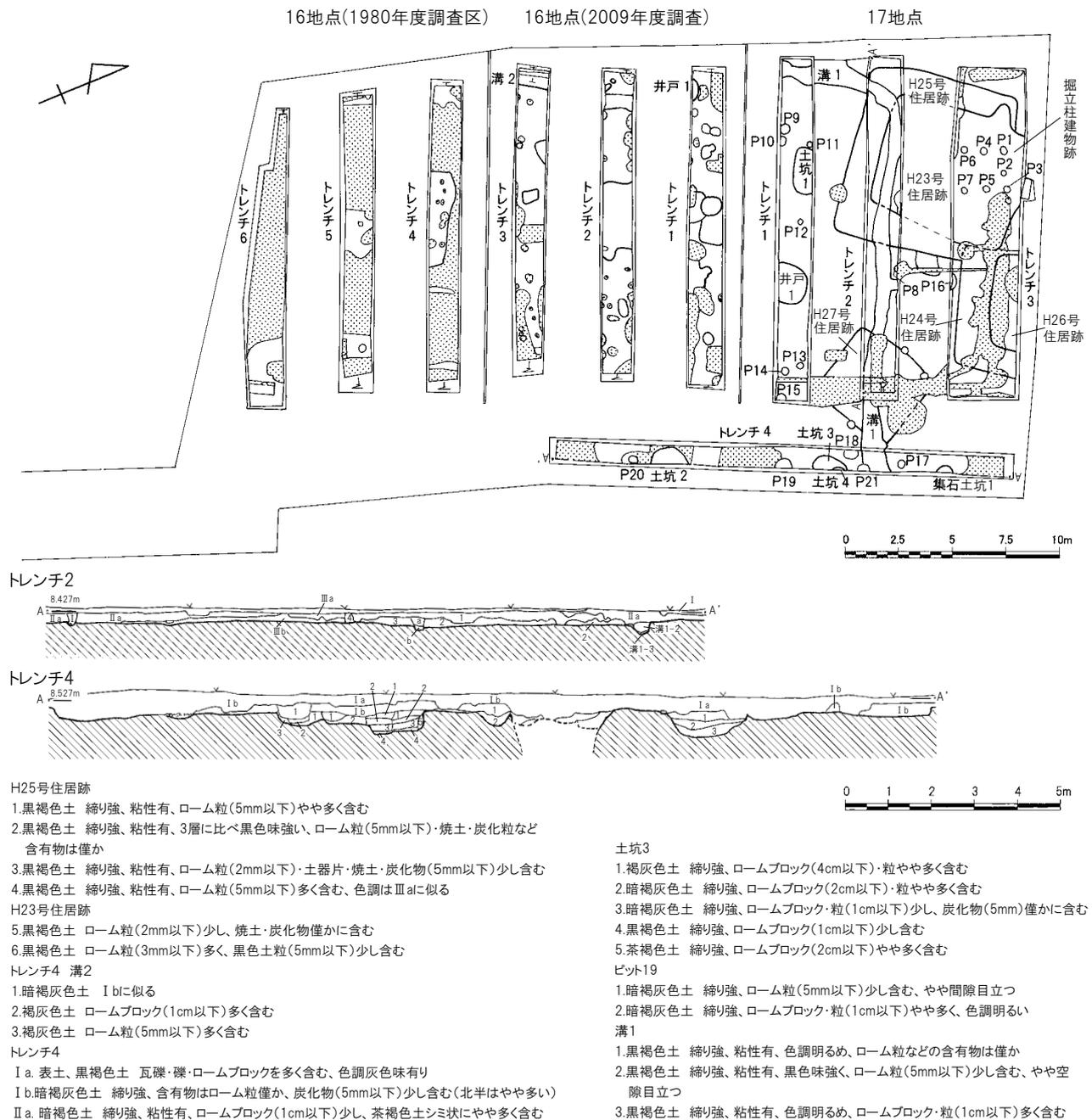
【位置・形状】調査区の北部に位置する。H 24・H 25号住居跡、掘立柱建物跡、溝1と重複し、両住居跡より新しく、掘立柱建物跡・溝1より古い。0.4m 東にH 26号住居跡、5.8m南東にH 27号住居跡があ

る。プラン確認と主軸方向及び主軸と直行する方向に幅30cmのサブトレンチを設定し、確認調査を行った。平面形態は長方形で主軸方位はN-46°-Wである。規模は主軸が南北5.95m×東西7.0m、確認面からの深さ27cmである。竈を含めた主軸長は6.75mである

【竈】住居跡北西壁の中央やや北寄りに構築される。
【貼床・周溝】サブトレンチにより周溝を確認した。周溝は住居の西・南壁際と東壁際跡の一部に巡り、上幅20cm、下幅8cm、深さ11cmである。

【時期】8世紀。

② H 24号住居跡



第17図 滝遺跡第17地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)

【位置・形状】調査区の北東部に位置する。北側は調査区域外である。H 23・H 25・H 26号住居跡と重複し、H 23・H 26号住居跡より古く、H 25号住居跡より新しい。1.4 m南にH 27号住居跡がある。プラン確認と、サブトレンチによる確認調査を行った。サブトレンチは壁と平行に幅30 cmで設定した。規模は東西5.90 mで、南北方向には2.65 m検出した。確認面からの深さ30 cmである。

【貼床・周溝】サブトレンチにより周溝を確認した。住居の西・南壁際と東壁際跡の一部に巡り、上幅20 cm、下幅8 cm、深さ4 cmである。

【時期】8世紀

③H 25号住居跡

【位置・形状】調査区の北部に位置する。H 23・H 24号住居跡、掘立柱建物跡、溝1と重複し、全ての遺構のなかで一番古い。0.4 m東にH 26号住居跡、4.4 m南東にH 27号住居跡がある。プラン確認と主軸方向及び主軸と直行する方向に幅30 cmのサブトレンチを設定し、確認調査を行った。平面形態は長方形で長軸方位はN-46°-Wである。規模は長軸が8.1 m×短軸7.0 m、確認面からの深さ12 cmである。

【時期】4世紀。

④H 26号住居跡

【位置・形状】調査区の北東部に位置する。北側は調査区域外である。H 24号住居跡と重複し、H 24号住居跡より新しい。0.4 m西にH 23・H 25号住居跡、3.5 m南にH 27号住居跡がある。プラン確認と、サブトレンチによる確認調査を行った。サブトレンチは壁と平行に幅30 cmで設定した。規模は東西4.5 mで、南北方向には1.1 m検出した。確認面からの深さ40 cmである。

【時期】8世紀。

⑤H 27号住居跡

【位置・形状】調査区の南部に位置する。溝1と重複し、溝より古い。4.4 m北西にH 23・H 25号住居跡、3.5 m北にH 24号住居跡がある。プラン確認と、サブトレンチによる確認調査を行った。形態は正方形、規模は南北4.0 mで、東西4.2 mである。確認面からの深さ10 cmである。

【時期】8世紀。

⑥掘立柱建物跡

調査区の北部に位置する。H 23・H 24号住居跡と重複し、両住居より新しい。トレンチ3内で2間

×2間を検出したが、南側へ範囲が広がるかどうかの確認はしていない。規模は東西1.8 m×南北1.8 m、柱の芯間距離は0.85～0.9 mである。

⑦井戸1

調査区の西側、トレンチ1内に位置する。トレンチ内のみ調査し、表土から1.9 mまで掘削したが、底面は未検出である。規模は上端幅2.05 m、下端幅1.12 m、漏斗状にすぼまる。

⑧土坑・ピット

土坑は4基、ピットは21基検出した。

⑨集石土坑1

調査区の東部、トレンチ4内に位置する。時期不明。

⑩溝1

調査区北西から東端にかけて位置する。H 23・H 25・H 27号住居跡と重複し、新しい。北方向に5.5 mの位置でほぼ直角に曲がり、東方向へ17 mで調査区域外へ向かう。上幅45～90 cm、下幅15～25 cm、確認面からの深さ30～40 cm、断面形は「U」字形を呈する。

23号住居跡出土遺物

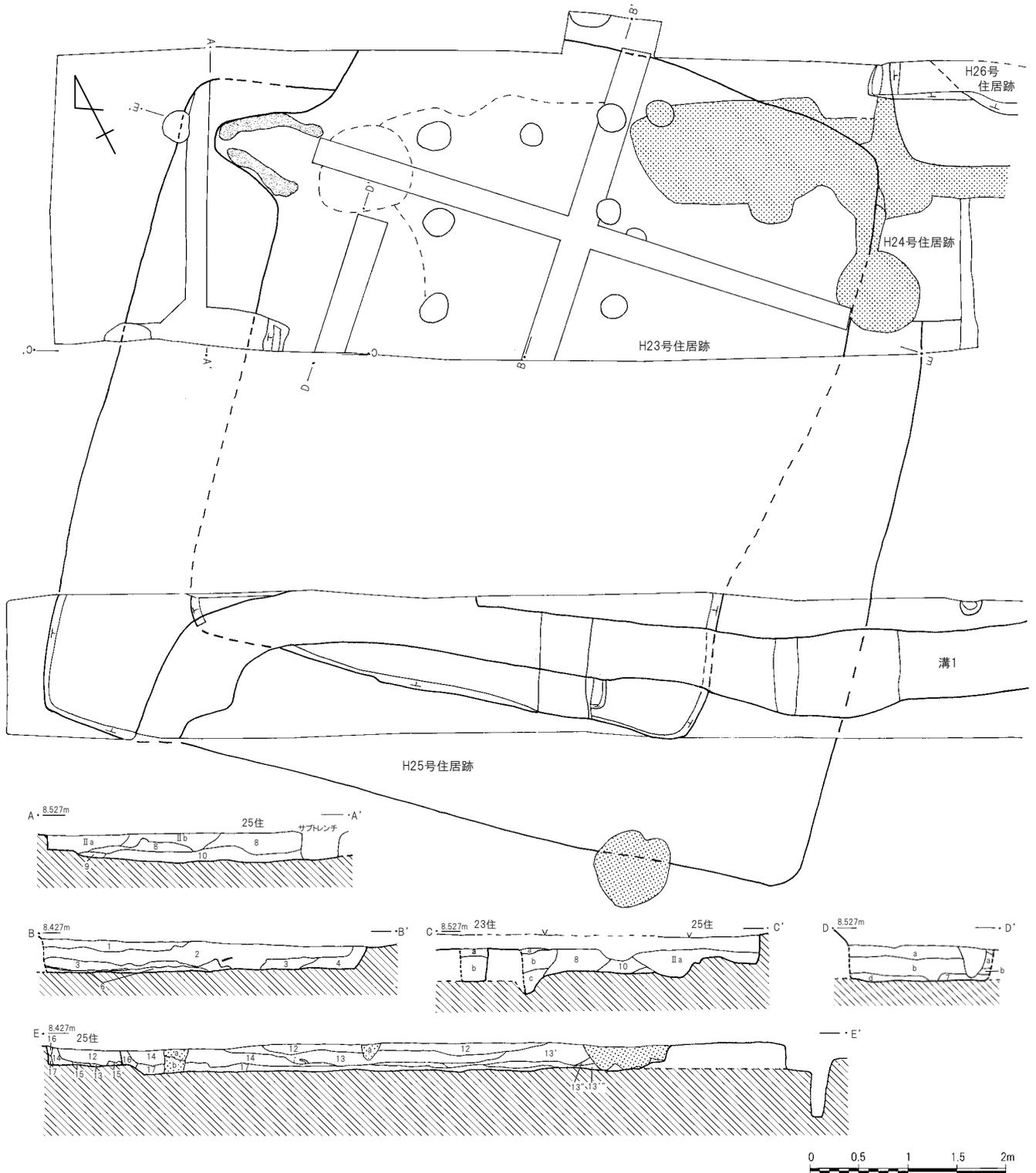
1は口径(1/4現存)15 cm、丸い体部から口縁部が垂直に立ち上がる。口唇部上端に沈線が巡る。色調茶褐色。体部外面はヘラ削りで底部を丸く整形。2は、口縁部欠損、底部のみ。高台の付いた、いわゆる東海系の出尻の須恵器杯。高台は全周する。色調灰褐色で器面は滑らかに調整。

24号住居跡出土遺物

1は土師器長甕、口径((1/4現存)21 cm。色調茶褐色。口縁部は強い横ナデを施す。胴部は、縦ヘラ削りを丁寧に施している。

2から4は土師器杯。2は、口径(1/4現存)14 cm、器高3.5 cm。平底気味の丸底。内面に赤彩。口唇部下3 mmの内面に沈線。体部上半を円形にヘラ削り。底部は一方向にヘラ削り。3は丸底の杯、口径(現存1/4)12 cm。口縁部と体部の境は、口縁部を細く垂直に立ち上げて区分している。4は、口径(1/4現存)12 cm。器高3.8 cm。内面と外面口縁部に赤彩。口唇部を赤彩によって区分。口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。

5は、口径(現存1/5)21 cm。盤状の皿形土器。口唇部は体部と同じ器厚で平坦に整形されている。体部は強い横ナデ、底部はヘラ削り。胎土は細かく精錬され、地元産ではないようだ。



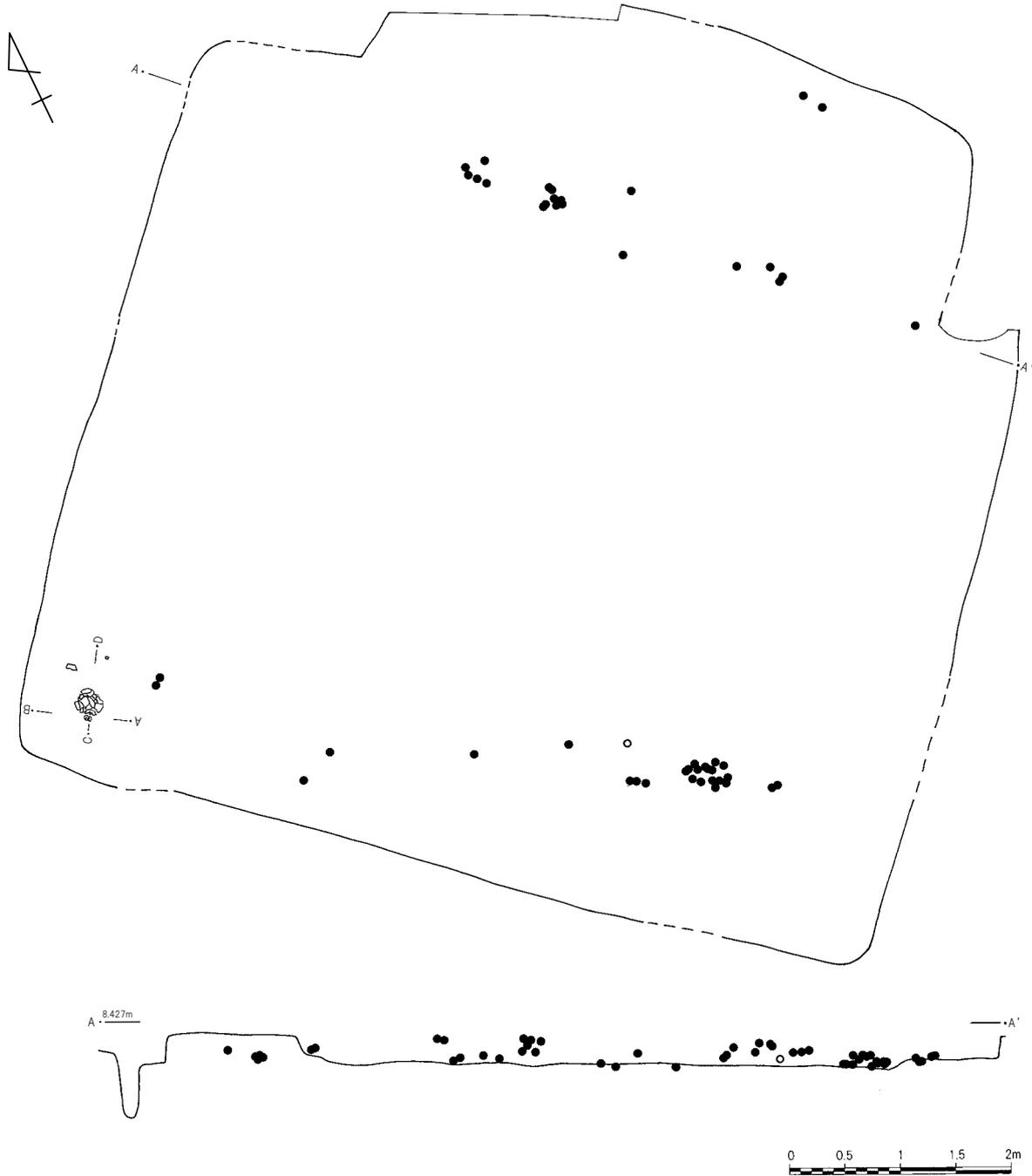
H23号・25号住居跡

- II a. 暗褐色土 締り強、薄く斑状にロームブロック(2cm以下)多く含む、H23号住居跡のプランが上面に見られるが、近代・近世陶磁器を所々に含む
- II b. 黒褐色土 締り強、ローム粒少し含む
1. 黒褐色土 締り強、ロームブロック・粒・焼土(1cm以下)少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、シミ状にロームブロック(5cm以下)をシミ状に、焼土(5mm以下)やや多く含む
 3. 黒褐色土 締り強、シミ状にロームブロック・粒をシミ状に、焼土(1cm以下)少し含む
 4. 黒褐色土 締り強、黒色味強く、うっすらシミ状にローム粒(3mm以下)少し、焼土(1cm大)やや多く含む
 5. 黒褐色土 締り強、色調明るめ、ローム粒(2mm以下)少し含む
 6. 黒褐色土 締り強、転圧を受けたようなローム粒(5mm以下)少し含む、締り非常に良い
 7. 黒褐色土 締り強、bより色調明るめ、ローム粒(5mm以下)・炭化物少し含む
 8. 黒褐色土 締り強、ローム粒(2mm以下)少し、炭化物(3mm以下)僅かに含む、黒色味強い
 9. 黒褐色土 締り強、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
 10. 黒褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)多く含む

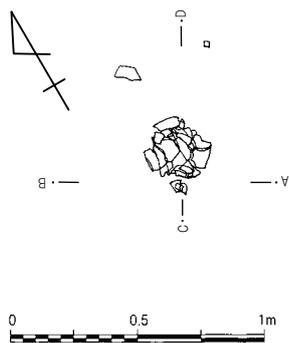
11. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)主体
 12. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 13. 黒褐色土 締りやや弱、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 - 13' 黒褐色土 灰色土粒(5mm内外)多く、ローム粒・焼土やや多く含む
 - 13'' 黒褐色土 色調明るく、シルト質、含有物は少ない
 - 13''' 黒褐色土 灰色シルト質土を含み、色調明るめ、シミ状にローム粒・焼土(3mm以下)少し含む
 14. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)少し含む、周溝覆土か
 15. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)多く含む
 16. 暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
 17. 暗褐色土 締り強、色調明るめ、うっすら斑状にローム粒(3mm以下)やや多く含む
- ピット
- a. 暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む
 - b. 暗褐色土 締り強、色調暗め、ロームブロック・粒(1cm以下)・焼土(5mm以下)少し含む
 - c. 暗褐色土 締り強、ローム粒僅か
 - d. 攪乱 黒褐色土 若干灰色味が有り、含有物はローム粒・焼土(3mm以下)僅かのみ

第 18 図 滝遺跡第 17 地点 H23・H25 号住居跡・掘立柱建物跡 (1/60)

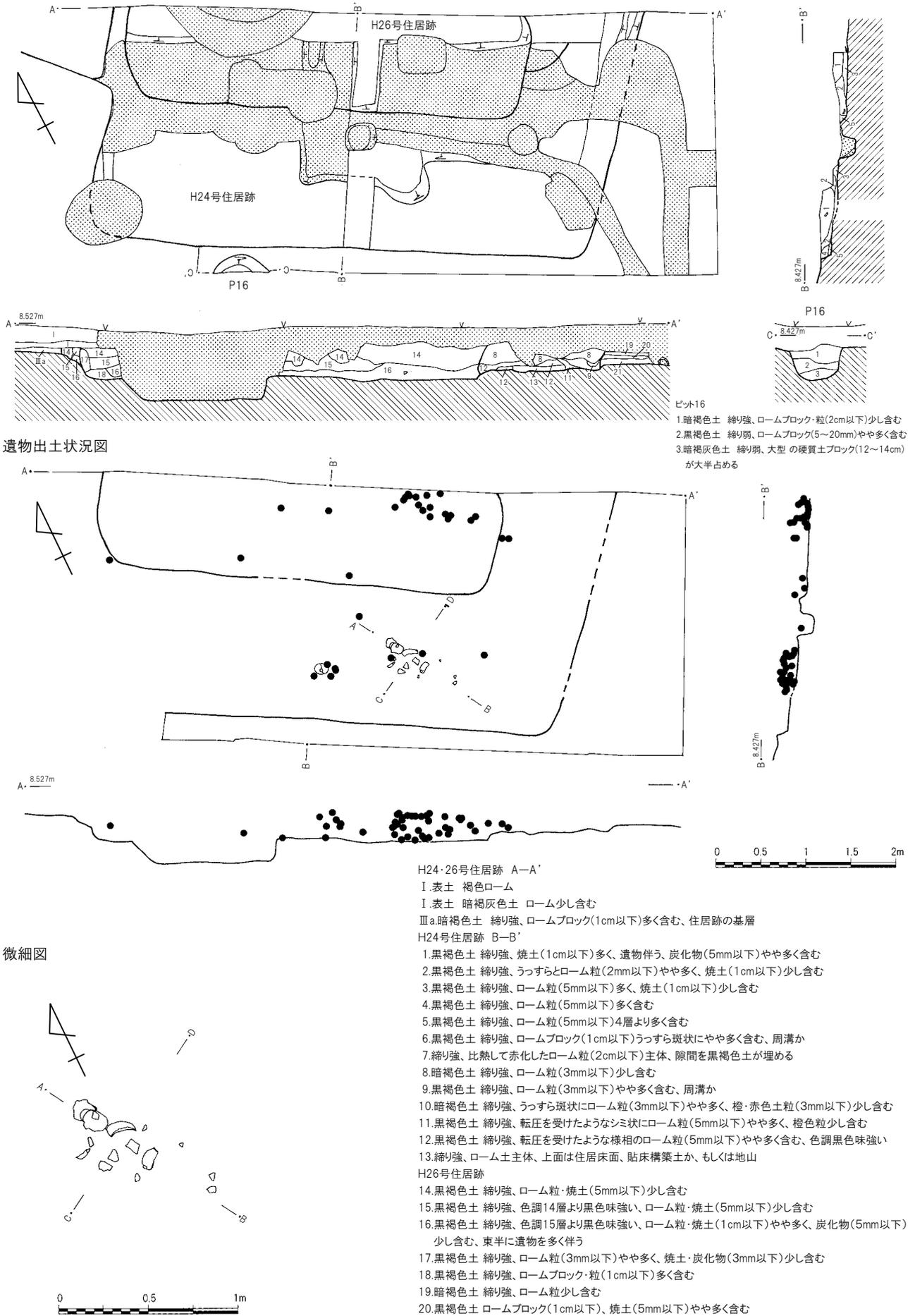
遺物出土状況図



微細図

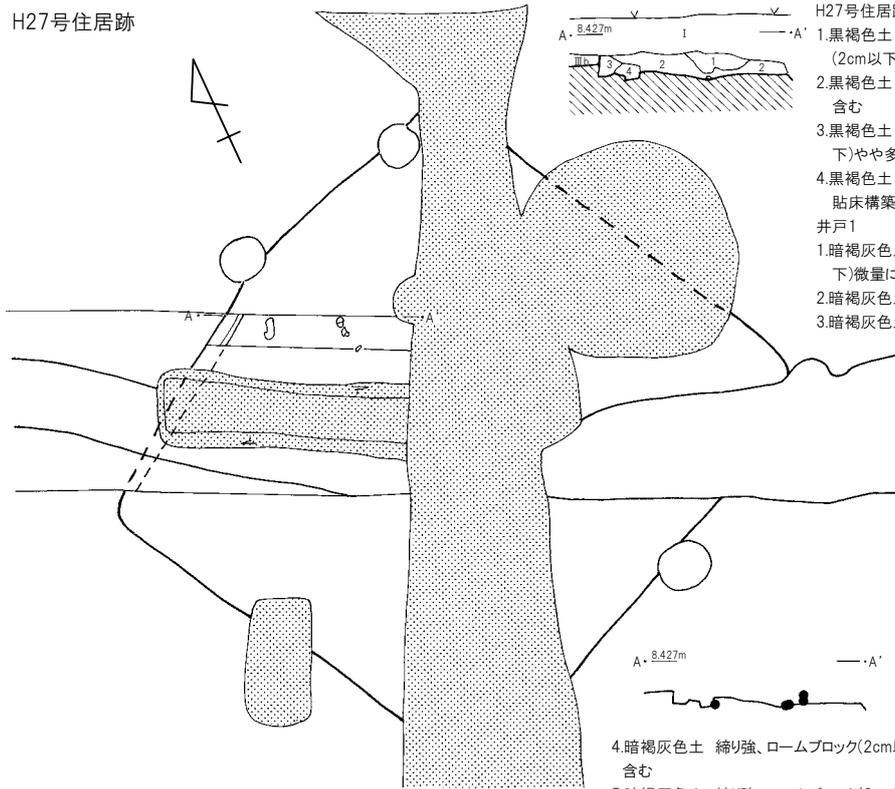


第19図 滝遺跡第17地点H23・H25号住居跡遺物出土状況図(1/60)、微細図(1/30)



第20図 滝遺跡第17地点 H24・H26号住居跡ピット・遺物出土状況図(1/60)、微細図(1/30)

H27号住居跡

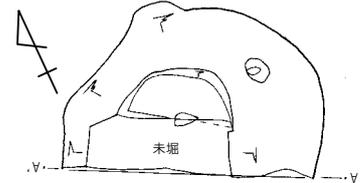


H27号住居跡

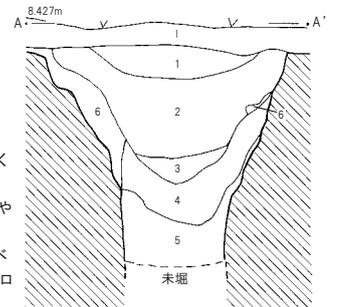
- 1. 黒褐色土 締り強、黒色味強い、ローム粒(2mm以下)やや多く、土器片(2cm以下)少し含む
- 2. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)多く、焼土(5mm以下)やや多く含む
- 3. 黒褐色土 締り強、ベースは黒色味強い、ロームブロック(5~15mm以下)やや多く含む、周溝覆土か
- 4. 黒褐色土 締り強、うっすら斑状にロームブロック(1cm以下)多く含む、貼床構築土か

井戸1

- 1. 暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)少し、焼土・炭化物(2mm以下)微量に含む
- 2. 暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
- 3. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(1cm)・粒(3mm以下)少し、炭化物(5mm以下)微量に含む



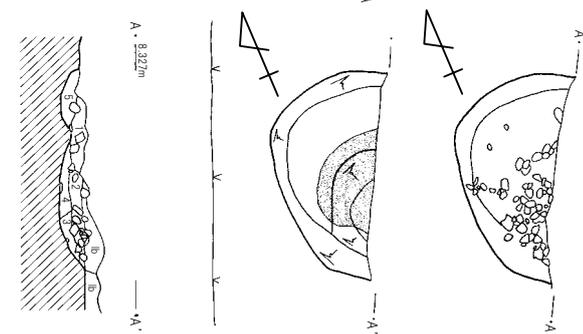
井戸1



- 4. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)多く含む
- 5. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)やや多く含む
- 6. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(3cm以下)、ベースの土にローム粒(3mm以下)多く含む、4層よりロームが多く、構築土(充填土)の可能性有り

集石土坑

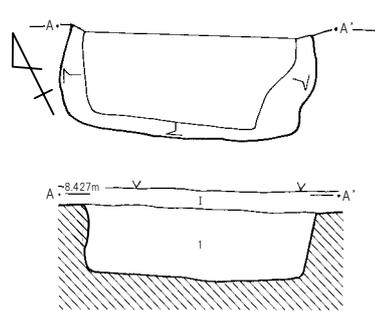
集石土坑



集石土坑

- I a. 表土、黒褐色土 瓦礫・ロームブロックを多く含む、色調灰色味有り
- I b. 暗褐色土 締り強、含有物はローム粒僅か、炭化物(5mm以下)少し含む(北半はやや多い)
- 1. 暗褐色土 締り強、シミ状の赤褐色土少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、黄褐色ローム分を多く、焼土(3mm以下)・炭化物(5mm以下)やや多く含む
- 3. 暗黄褐色土 締り強、炭化物(3mm以下)少し含む
- 4. 暗褐色土 締り強、うっすらシミ状に黒色土・ローム土をやや多く、焼土(1mm以下)少し、炭化物(5mm以下)多く含む
- 5. 暗黄褐色土 締り強、上部は赤化している、ローム土を多く含む

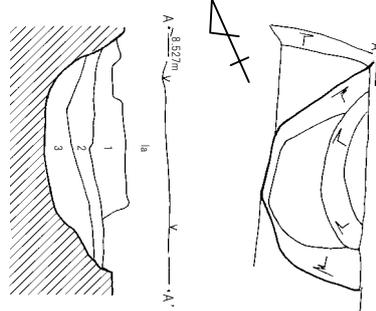
土坑1



土坑1

- I. 褐色土 締りやや弱、ローム粒少~やや多く含む
- 1. 褐色土 締り強、酸化により表面が橙褐色化した黄白色ロームブロック(2cm以下)を多く、炭化物(5mm以下)少し含む、ベースの土はシルト質

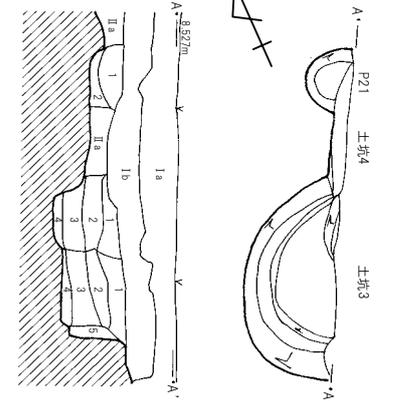
土坑2



土坑2

- 1. 褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)多く、礫(3cm以下)少し含む
- 2. 茶褐色土、締り強、ロームブロック(2cm以下)多く、褐色土(3cm以下)少し含む
- 3. 褐色土 締り強、ロームブロック・茶褐色土ブロック(2cm以下)多く、礫(2cm以下)少し含む

土坑3・4・P21



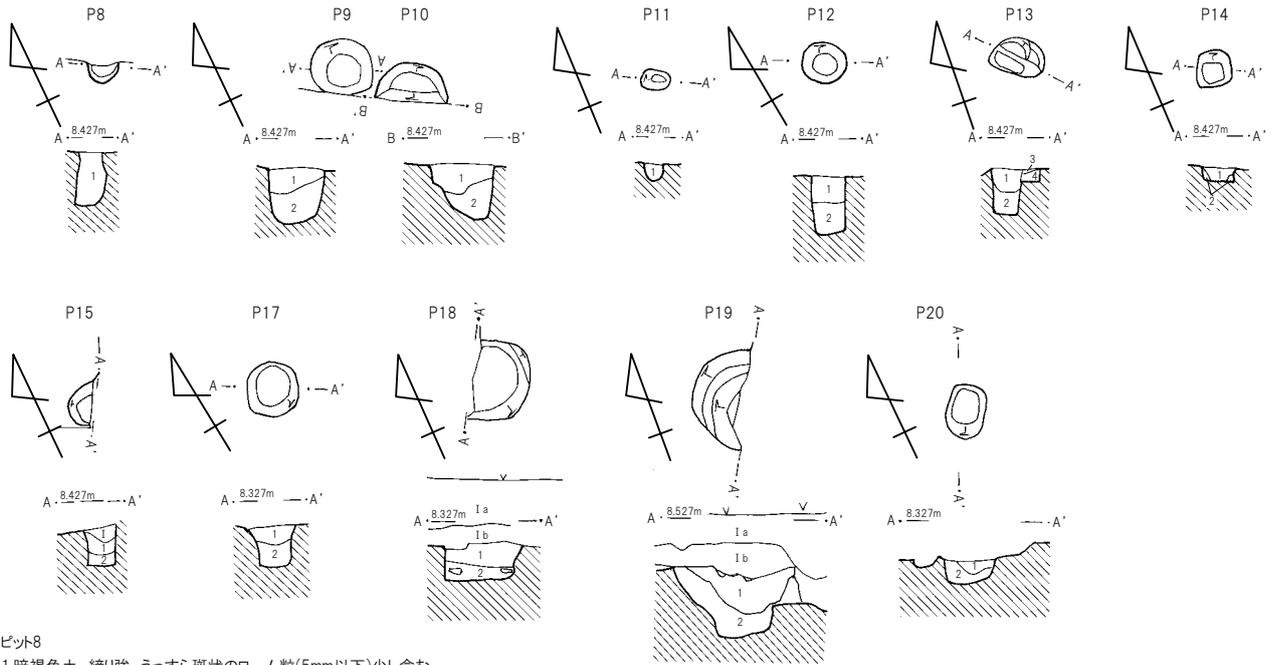
土坑4

- 1. 暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(4cm以下)・茶褐色土ブロックを多く含む
- 3. 暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く、炭化物僅かに含む
- 4. 暗褐色土 締り強、シルト質の灰色土を多く、橙褐色土粒(5mm以下)少し含む

ピット21

- 1. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)多く、シミ状に茶褐色土ブロック少し含む
- 2. 暗褐色土 締り強、ローム粒・茶褐色土粒やや多く含む

第21図 滝遺跡第17地点 H27号住居跡(1/60)、集石土坑(1/30)、井戸・土坑・ピット(1/60)



ピット8

1.暗褐色土 締り強、うっすら斑状のローム粒(5mm以下)少し含む

ピット9・11・12・14・15

1.黒褐色土 締り強、ロームブロック(1cm以下)多く含む

2.暗褐色土 締り強、うっすら斑状にロームブロック(1cm以下)多く含む

ピット10

1.黒褐色土 締り強、P9の1層に似る、ロームブロックは3cm以下と大きい

2.黒褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)やや多く含む

ピット13

1.暗褐色灰色土 締り強、ローム粒・焼土(もしくは土器細片)少し含む

2.暗褐色土 締り強、ローム粒少し含む

3.黒褐色土 締り強、ローム・焼土少し含む

4.暗黄褐色土 締り強、ローム土主体、シミ状に黒褐色土少し含む

ピット17

1.黒褐色土 締り強、ローム粒少し含む、灰色味有り、Iに似る

2.黒褐色土 締り強、色調は明るい、ややうっすら斑状にロームブロック(1cm以下)やや多く含む

ピット18

I a.表土、黒褐色土 瓦礫・礫・ロームブロックを多く含む、色調灰色味有り

I b.暗褐色灰色土 締り強、含有物はローム粒僅か、炭化物(5mm以下)少し含む(北半はやや多い)

1.暗褐色灰色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む

2.暗褐色土 締り強、うっすらシミ状にロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む

ピット19

1.暗褐色灰色土 締り強、ローム粒(5mm以下)少し含む、やや間隙目立つ

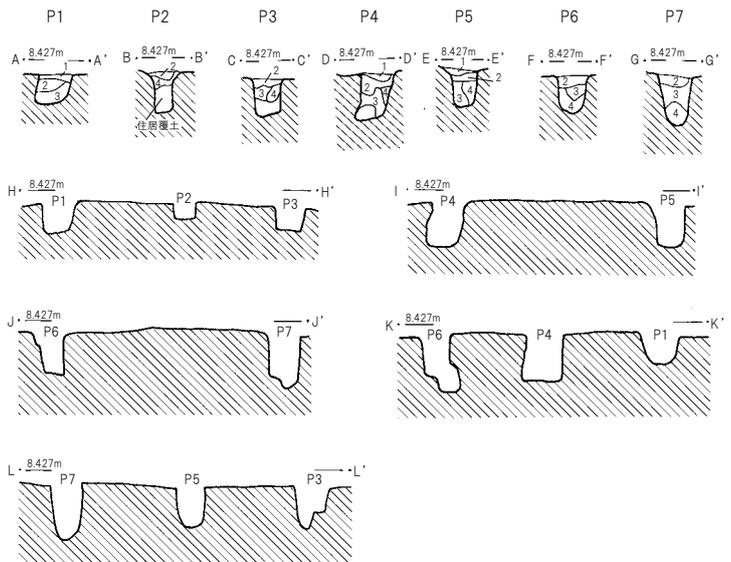
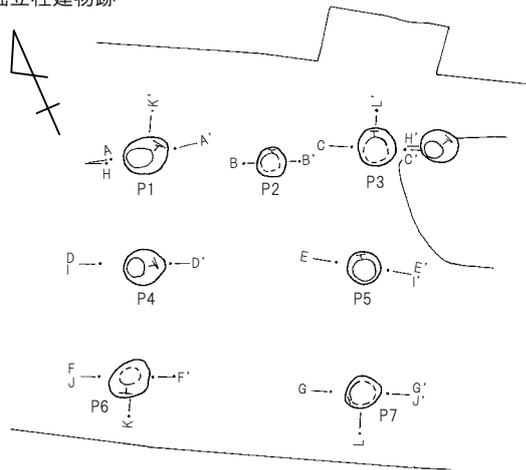
2.暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く、色調明るい

ピット20

1.黒褐色土 締り強、薄く斑状にロームブロック(2cm以下)多く含む

2.黒褐色土 締り強、薄く斑状にローム粒(5mm以下)やや多く含む

掘立柱建物跡



ピット1~7

1.黄褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土・ローム粒(2mm以下)やや多く、焼土・炭化物(2mm以下)少し含む

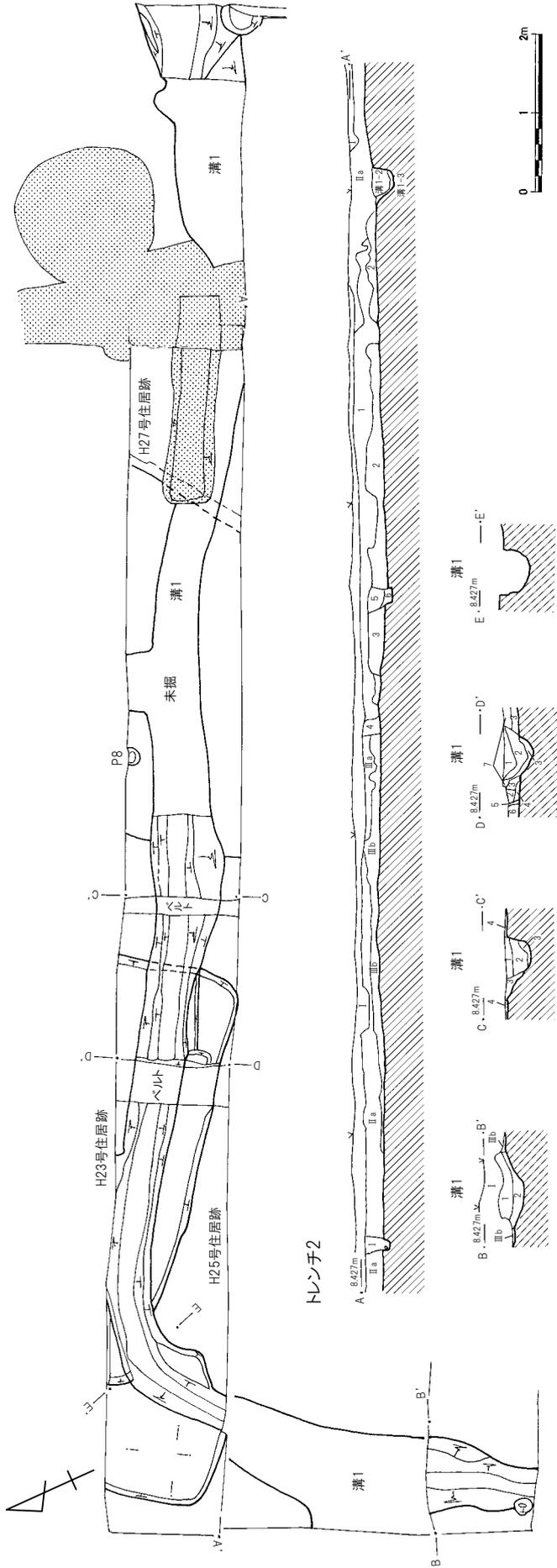
2.褐色土 締り強、粘性有、焼土(2mm以下)少し含む

3.黒褐色土 締りやや弱、粘性有、暗褐色土も含み、ブロック状でボソボソしている

4.黒褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に暗褐色土ブロックを含む



第22図 滝遺跡第17地点ピット・掘立柱建物跡 (1/60)



トレンチ2

I. 黄土及び礫乱、粗灰色土 塩圧を受けており、締り強、橙褐色のロームブロック・粒をやや多く含む、下部に灰色シルト・粘土を含む

II a. 暗褐色土 締り強、色調明るめ、うっすら斑状にローム粒をやや多く含む、焼土少し含む

III a. 黒褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)・ローム粒(5mm以下)多く含む、空隙目立つ

III b. 地山、ローム質土 締り強、粘性やや強

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む

2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3層に比べ黒色味強い、ローム粒(5mm以下)・焼土・炭化物など含有物は僅か

3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)・土器片・焼土・炭化物(5mm以下)少し含む

4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く含む、色調はIII aに似る

5. 黒褐色土 ローム粒(2mm以下)少し、焼土・炭化物僅かに含む

6. 黒褐色土 ローム粒(3mm以下)多く、黒色土粒(5mm以下)少し含む

溝1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味強く、ローム粒(5mm以下)少し含む、やや空隙目立つ

2. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調明るめ、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む

B-B'

1. 黒褐色土 締り強、うっすら斑状にローム粒(5mm以下)多く含む、全体の色調は明るめ

2. 暗黄褐色土 締り強、ローム土主体、うっすら斑状に黒褐色土(2cm以下)やや多く含む

C-C'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調明るめ、ローム粒等の含有物は僅か

2. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味強く、ローム粒(5mm以下)少し含む、やや空隙目立つ

D-D'

1. 黒褐色土 締り強、ローム粒・焼土(5mm以下)少し含む

2. 黒褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)、ブロック状(1cm)に集中してやや多く含む

3. 黒褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)多く含む

4. 黒褐色土 締り強、上層より黒味強い、ローム粒(5mm以下) やや多く含む

5. 黒褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)多く含む

6. 黒褐色土 締り強、ロームブロック(1cm以下)少し、ローム粒(3mm以下)やや多く含む(H25号住居跡)

7. 黒褐色土 締り強、ロームブロック・粒・焼土(1cm以下)少し含む(H23号住居跡)

第23図 滝遺跡第17地点溝1 (1/80)

第 15 表 滝遺跡第 17 地点井戸一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
井戸 1	不明	205 × (132)	80 × 34	173.1	

第 16 表 滝遺跡第 17 地点集石土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
集石土坑 1	不明	82 × (41)	30 × (8)	9.6	

第 18 表 滝遺跡第 17 地点 ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	方形	34 × 29	20 × 15	24.9	
P2	円形	23 × 23	16 × 15	15.5	
P3	円形	30 × 28	19 × 18	20.3	
P4	方形	30 × 29	17 × 14	39.2	
P5	円形	26 × 25	18 × 12	33.8	
P6	楕円形	34 × 27	18 × 13	32.7	
P7	方形	26 × 24	19 × 18	34.0	
P8	不明	24 × (14)	13 × (9)	27.1	
P9	円形	47 × 42	26 × 26	45.3	
P10	不明	56 × (30)	37 × 15	43.7	

第 17 表 滝遺跡第 17 地点土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑 1	不明	199 × (82)	167 × (72)	50.2	
土坑 2	不明	178 × (80)	91 × (17)	42.9	
土坑 3	不明	163 × (71)	34 × (4)	59.0	

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P11	楕円形	24 × 15	11 × 5	15.0	
P12	円形	36 × 32	18 × 16	46.8	
P13	楕円形	40 × 29	22 × 10	36.3	
P14	方形	29 × 28	17 × 16	15.2	
P15	不明	36 × (19)	23 × (12)	24.6	
P16	不明	60 × (19)	35 × (9)	39.1	
P17	円形	45 × 40	33 × 27	32.5	
P18	不明	61 × (43)	52 × (34)	31.3	
P19	不明	80 × (37)	29 × (7)	71.2	
P20	方形	45 × 30	28 × 25	22.2	
P21	不明	51 × (28)	32 × (20)	20.2	

第 19 表 滝遺跡第 17 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

掲載 No.	出土遺構名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	土坑 3	磁器 / 小坏	6.9	3.0	4.8	ロクロ成形 / クロム・黄色銅版絵付 / 竹雀文	瀬戸・美濃	1890 年代～
2		磁器 / 小坏	6.7	3.1	4.2	ロクロ成形 / コバルト染付 / 口縁外・高台脇に圈線	瀬戸・美濃	1870 年代～
3		磁器 / 小坏	7.0	3.4	4.3	ロクロ型打成形 / 銅版絵付・正円子 / 菊水文	瀬戸・美濃	1890 年代～
4		磁器 / 小坏	7.0	2.5	2.7	ロクロ成形 / コバルト染付 / 高台に櫛歯文 / 底裏に銘	瀬戸・美濃	1870 年代～
5		土製品 / 人形	2.8	2.4	1.4	型合わせ成形	在地	1790～1890 年代
1	遺構外	土器 (瓦質) / 養蚕火鉢底蓋	25.2	22.0	2.0	タタラ成形・受部貼付	在地	近代～
2		磁器 / 小坏	5.1	3.0	4.1	ロクロ成形 / 外クロム釉 / 黒・緑上絵花文 / 底裏赤上絵「九谷」銘	九谷	近代～
3		土製品 / 泥メンチ	2.6	2.1	0.7	型抜き成形 / 裏面に指頭圧痕	在地	1790～1890 年代

25 号住居跡出土遺物

いわゆる五領期のものである。1 は蓋形土器。つまみ部は完形。下部口縁部径 (底径) 20 cm。つまみ部先端から 2/3 は現存。下部口縁部内外面ともに横位にへら磨き。外面の中央部は斜めへら削り。工具の角が斜めの筋となる。内面口縁部 (底径部) から上方へ約 2/3 は、横へら磨きされ赤彩の範囲に重なる。その上方は斜めに下方にへらナデ、つまみ部の狭い箇所は指頭による横ナデで整形。色調は黄褐色で、外面つまみ部を中心に黒斑が付く。外面は凹凸があって、丁寧な作りとはいえない。いわゆる北陸系の土器。

2 は、口径 (1/8 現存) 19.8 cm。「く」の字口縁の壺形土器。口唇部先端と「く」の字部に縦に 5 mm 間隔で刻み加えられている。内外面はハケ目調整。胎土に黄白色の小砂利が混じる。色調灰褐色。西日本系統の土器。3 は、胴部径 21.5 cm。底部径 6.3 cm。壺形

土器の胴下半部。胴下半部の輪積み接合面で割れている。同上部の接合以後に内面の横ハケを胴上半に付けたものの一部が付いたもの。底部内面の底は木口状工具で廻したもので、工具先端が放射状に付く。内面上部は木口状工具によりナデあげている。色調黄褐色で砂利が多量に混じる。

4 は、大形の埴形土器底部。底径 3.3 cm。底部はへらで抉った後ナデにより整形。色調茶褐色。胎土は石英などが混じるがよく精錬されている。5 は、小形埴形土器の底部。底部は直径 2.3 cm 程度で平坦に整形されている。色調黄白色で粘板岩などの小砂利が混じる。6 は、壺形土器の底部破片。残存部少なく、詳細不明。

7・8 は、台付き甕の脚部破片。ともに風化が激しく器面調整などは観察できない。7 は非常に細かい白色の砂利を含む。色調暗灰色。S 字状口縁の台付き甕

の可能性が高い。8は外面は縦下手削り、内面は木口上工具により横ヘラ削り調整。在地の台付き甕。

26号住居跡出土遺物

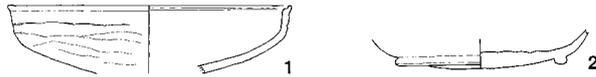
1は、土師器環。口径(1/5現存)10cm。器高3.0cm。底部は丸底。外面は全体にヘラ削りで調整。内面には工具の当てによる2条の沈線があるが全体にヘ

ラナデ調整。色調暗褐色。

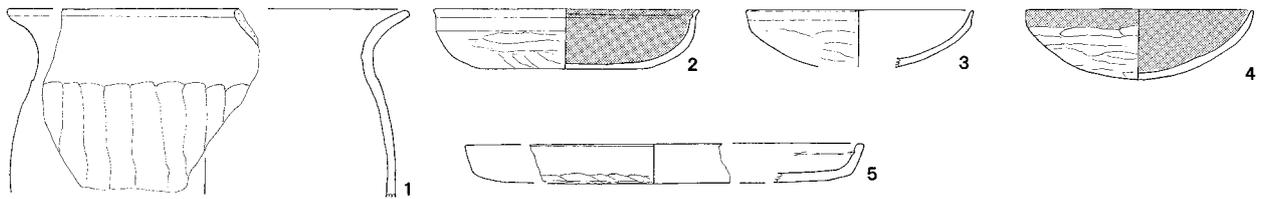
27号住居跡出土遺物

1は、土師器長甕。胴部径の1/5の現存。口縁部の内外面は強い横ナデ。胴部は縦ヘラ削りにて調整。砂粒を多量に含み、雲母が少量混じる。色調黄白褐色。土抗3・遺構外(第19表参照)

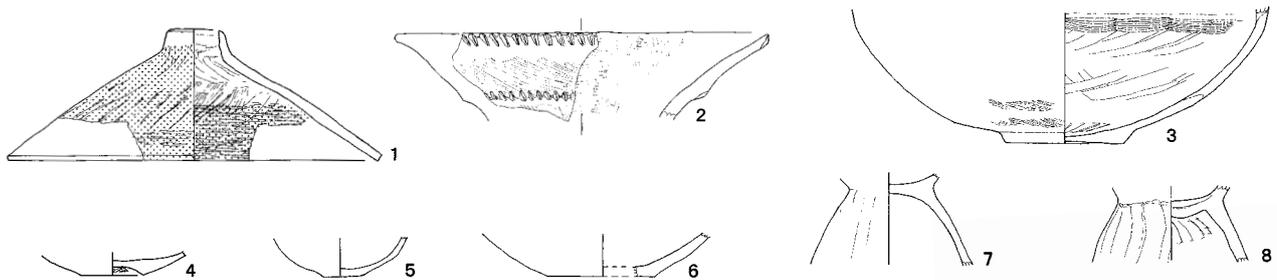
23号住居跡



24号住居跡



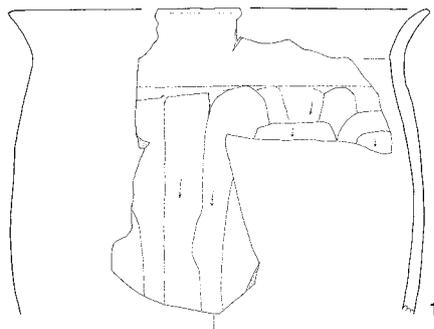
25号住居跡



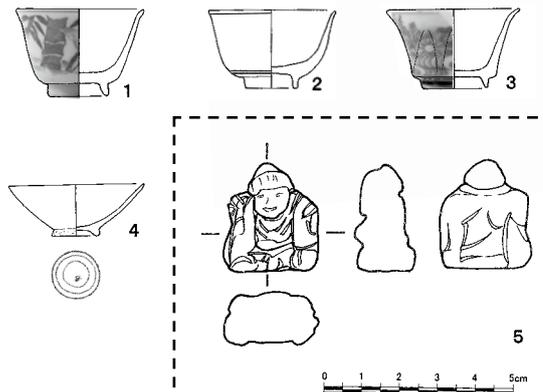
26号住居跡



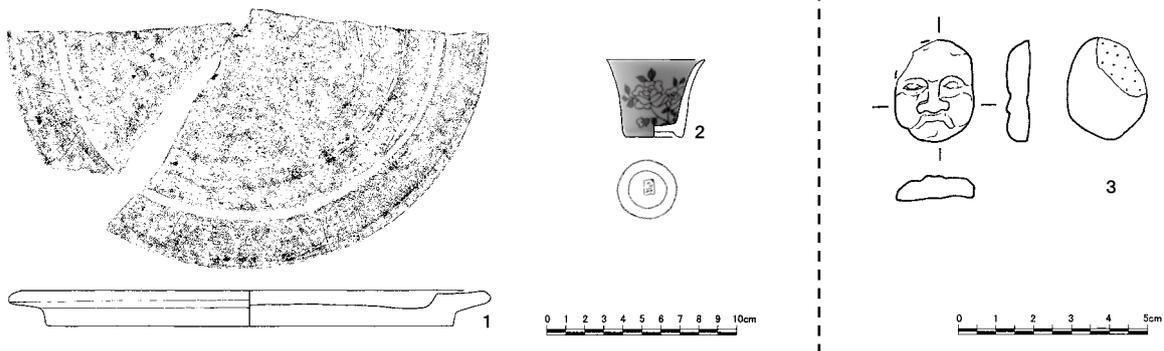
27号住居跡



土坑3



遺構外



第24図 滝遺跡第17地点出土遺物(1/2・1/4)

第5章 松山遺跡の調査

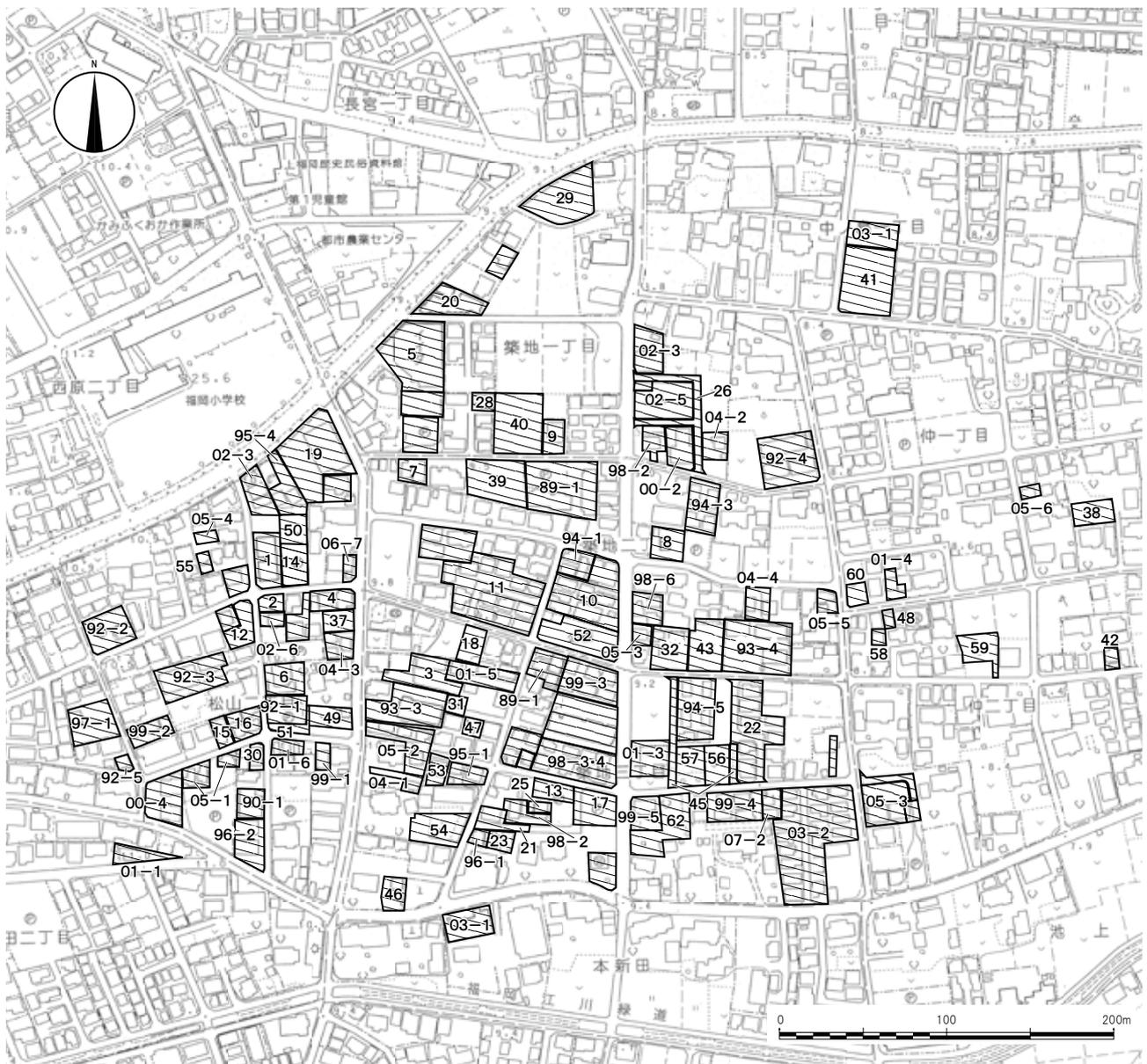
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の

南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。



第25図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第20表 松山遺跡調査一覧表

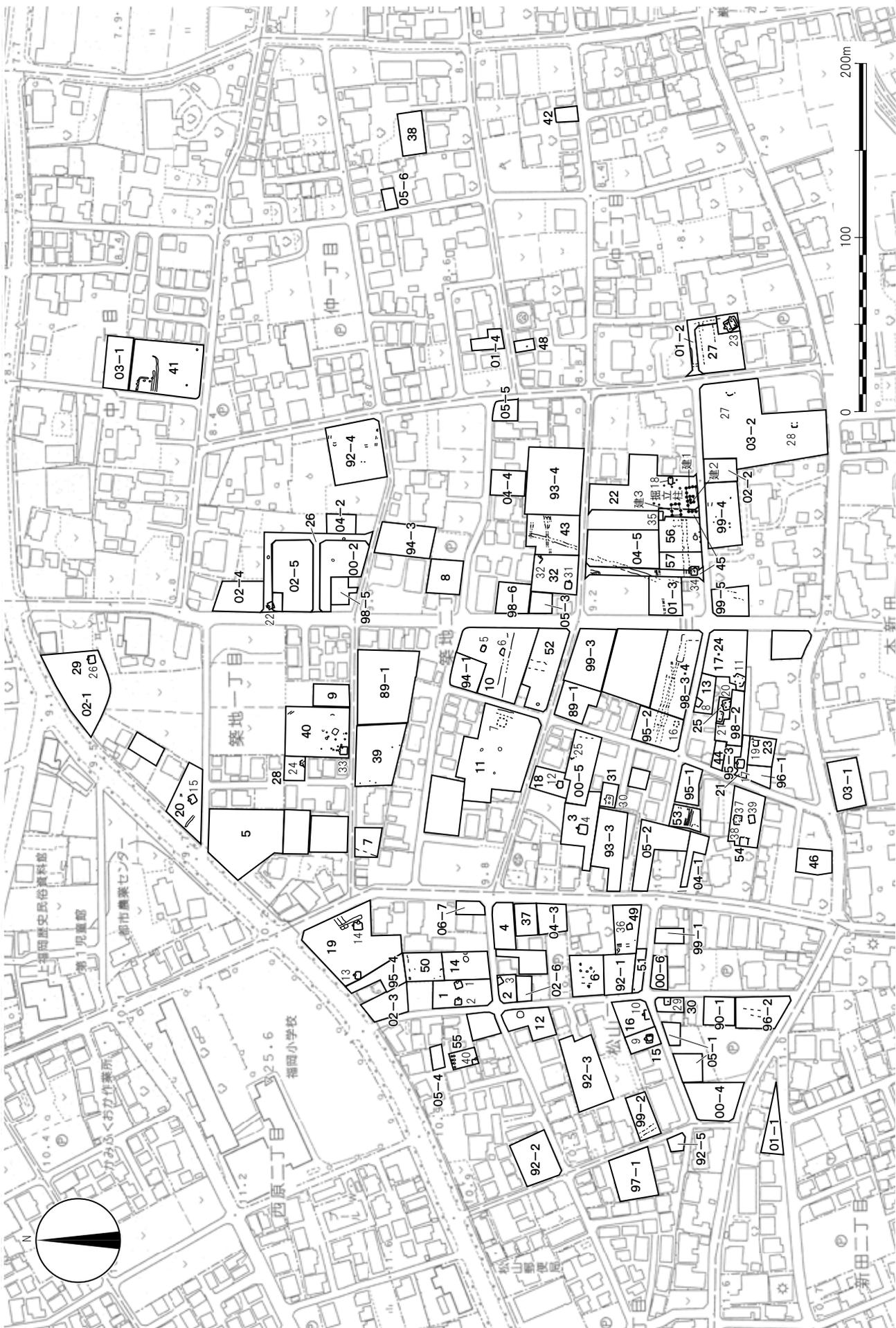
地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	松山 2-5-4	1978.10.14 ~ 11.6	479		住居跡 2軒	埋 (I)
2次	松山 2-6-7	1979.4.26 ~ 5.1	161		住居跡 1、土師器	埋 (II)
3次	築地 3-1-20	1979.8.7 ~ 16	733		住居跡 1、土器	埋 (II)
4次	松山 2丁目 6-9	1982.9.13 ~ 24	277		遺構なし、平安土器	埋 (V)
5次	築地 1丁目 1-16	1983.4.20 ~ 28	1461	住宅建設	なし	埋 (VI)
6次	松山 2-6-16	1984.8.13 ~ 28	330	住宅建設	溝 1、土坑 5	埋 (VII)
7次	築地 2-3-19	1986.1.13 ~ 21	237	個人住宅	溝 1	埋 (VIII)
8次	築地 2-4-12	1986.7.1 ~ 8	319	個人資材置場	平安土器散布他	埋 (IX)
9次	築地 1-1-50	1987.10.1 ~ 3	288	個人住宅	なし	埋 (X)
88試	築地 3-3-4	(1989.1.9.10)	370	住宅建設	なし	埋 (11)
89試	築地 2-3-11	(1989.6.27 ~ 30)	1342	共同住宅	なし	埋 (12)
90試	松山 2-2-9	(1990.9.7 ~ 12)	304	個人住宅	なし	埋 (13)
10次	築地 2-2-6	1991.10.14 ~ 18	450	個人住宅	平安住居跡 (国分期)2、溝 1	埋 (14)
11次	築地 2-1-10	1991.10.18 ~ 21	2029	宅地造成	平安住居跡 (国分期)1、溝 1、土坑 2、井戸状遺構 1	埋 (14)
92試 (1)	松山 2-6-22.23	(1992.4.17 ~ 24)	567	駐車場	なし	埋 (15)
92試 (2)	松山 2-4-7	(1992.5.6 ~ 11)	571	駐車場	なし	埋 (15)
12次	松山 2-3-11	1992.5.12 ~ 20	393	宅地造成	平安井戸跡 1	埋 (15)
13次	築地 3-2-18	1992.5.18 ~ 30	234	宅地造成	平安住居跡 1	埋 (15)
14次	松山 2-5-17	(1992.5.21 ~ 30)	432	宅地造成	中世井戸跡 2	埋 (15)
92試 (3)	松山 2-3-31.13	(1992.6.12 ~ 18)	871	宅地造成	なし	埋 (15)
92試 (4)	築地 1-3-17	(1992.6.3 ~ 11)	998	共同住宅	溝遺構、井戸状遺構	埋 (15)
92試 (5)	松山 1-4-32	(1992.10.30)	78	共同住宅	なし	埋 (15)
93試 (1)	松山 2-3-1	(1993.4.5 ~ 16)	509	宅地造成	なし	埋 (16)
15次	松山 2-3-41	1993.4.19 ~ 28	148	個人住宅	平安住居跡 1	埋 (16)
17次	築地 3-2-19	1993.5.10 ~ 24	597	駐車場	古墳末期住居跡 1	埋 (16)
16次	松山 2-3-43.44	1993.7.2 ~ 15	156	個人住宅	平安住居跡 1	埋 (16)
93試 (3)	築地 3-1-17.31	(1993.10.15 ~ 20)	994	共同住宅	なし	埋 (16)
93試 (4)	築地 2-5-2の一部	(1993.10.22 ~ 26)	1246	共同住宅	なし	埋 (16)
18次	築地 3-1-16	1993.12.1 ~ 7	290	駐車場	奈良末~平安住居跡 1	5年教要
19次	松山 2-5-9	1994.1.17 ~ 2.3	1531	貸店舗	平安住居跡 2、溝跡 1	上遺跡 3集 松山遺跡第 19 次調査概報
94試 (1)	築地 2-2-3	(1994.5.30)	310	分譲住宅	なし	埋 (17)
20次	築地 1-2-4	1994.6.24 ~ 7.1	559	共同住宅	古墳末期整穴住居跡 1、土師器、須恵器破片	埋 (17)、上遺跡 5集
94試 (3)	築地 2-4-7	(1994.8.3 ~ 12)	532	宅地造成	なし	埋 (17)
95試 (1)	築地 3-1-9.10	(1995.5.10 ~ 19)	303	宅地造成	なし	埋 (18)
95試 (2)	築地 3-3-2	(1995.5.22 ~ 6.15)	542	宅地造成	古墳末期住居跡 1	埋 (18)
95試 (3)	築地 3-2-23	(1995.10.17 ~ 20)	153	個人住宅	なし	埋 (18)
21次	築地 3-2-23	1995.10.17 ~ 20	378	市道敷設	古墳末期住居跡 1	埋 (18)
95試 (4)	松山 2-5-8.16	(1995.12.22)	413	宅地造成	なし	埋 (18)
96試 (2)	松山 2-2-1	(1996.7.22 ~ 24)	489	宅地造成	溝 1(時期不明)	埋 (19)
97試 (1)	松山 1-4-17	(1997.9.11 ~ 18)	591	個人住宅	なし	埋 (20)
22次	築地 3-4-15.23	1997.12.15 ~ 24	419	個人住宅	平安初頭住居跡 1、奈良末期掘立柱建物 3、縄文集石土坑 7、土師器、須恵器、縄文土器、墨書土器 1	埋 (20)
98試 (1)	築地 3-2-13.24	(1998.4.16)	240	宅地造成	23次調査参照	埋 (21)
98試 (2)	築地 3-2-23 外 2 筆	(1998.4.17. 5.20 ~ 22)	450	宅地造成	なし	埋 (21)
98試 (3.4)	築地 3-3-1	(1998.4.20 ~ 5.20)	922	宅地造成	中近世溝 1ほか	埋 (21)
23次	築地 3-2-24 の一部	1998.5.11 ~ 14	120	個人住宅	奈良後半住居跡 1	埋 (21)
98試 (5)	築地 1-3-18	(1998.7.1)	167	個人住宅	なし	埋 (21)
24次	築地 3-2-4 の一部	1998.9.8 ~ 21	50	農地改良	飛鳥住居跡 1	埋 (21)
98試 (6)	築地 2-5-6	(1998.9.1 ~ 4)	363	個人住宅	なし	埋 (21)
25次	築地 3-2-23 外 2 筆	1999.3.3 ~ 12	240	個人住宅	奈良初頭住居跡 2	埋 (21)
99試 (1)	松山 2-1-10	(1999.4.16)	166	個人住宅	なし	埋 (22)
99試 (2)	松山 2-3-3	(1999.5.6 ~ 12)	340		溝 1(時期不明)	埋 (22)
99試 (3)	築地 3-3-14.15	(1999.6.22 ~ 24)	778	宅地造成 (分譲)	なし	埋 (22)
99試 (4)	築地 3-5-15 の一部、24.27	(1999.8.2 ~ 6)	745		ピット 5(平安?)	埋 (22)
99試 (5)	築地 3-5-28	(1999.8.26 ~ 9.1)	331	個人住宅	溝 1(時期不明)	埋 (22)
26次	築地 1-3-21	2000.5.15 ~ 6.2 (2000.4.27 ~ 5.12)	627	市道設置	井戸 2、整穴住居跡 1、土師器、須恵器、陶磁器片	埋 (23)
00試 (2)	築地 1-3-5.25.27.35	(2000.5.17 ~ 25)	687	共同住宅	土坑 1	埋 (23)
27次	仲 2-1-10 の一部	2000.6.12 ~ 7.3 (2000.5.22 ~ 6.8)	912	共同住宅建設及び市道設置	奈良整穴住居跡 1、土師器、須恵器、陶磁器片	埋 (23)
00試 (4)	松山 2-2-5	(2000.10.30)	592	共同住宅	なし	埋 (23)
28次	築地 1-1-28	2001.2.8 ~ 21	165	個人住宅	奈良住居跡 1	埋 (23)
00試 (5)	築地 3-1-28	(2001.2.2 ~ 13)	614		飛鳥~奈良住居跡 1	埋 (23)
00試 (6)	松山 2-1-8.17	(2001.3.21)	174		宅地造成 (分譲)	埋 (23)
01試 (1)	新田 2-450-1	(2001.4.12 ~ 13)	204	個人住宅	なし	埋 (24)
01試 (2)	仲 2-1-10	(2001.5 ~ 18)	168	地区計画道路	近代以降溝 3	埋 (24)
01試 (3)	築地 3-4-10	(2001.5.10 ~ 15)	434	共同住宅	なし	埋 (24)
01試 (4)	仲 1-1-2.3.14	(2001.9.12)	694	個人住宅	なし	埋 (24)
02試 (1)	築地 1-2-8	(2002.5.20 ~ 23)	978	遺構所在確認	整穴住居跡 1	埋 (25)
02試 (2)	築地 3-5-35.36	(2002.7.11)	248	宅地造成 (分譲)	なし	埋 (25)
29次	築地 1-2-8 の一部	2002.7.2 ~ 8.9	36	個人住宅	整穴住居跡 1	埋 (25)
02試 (3)	松山 2-5-7	(2002.8.5)	358	宅地造成 (分譲)	なし	埋 (25)
02試 (4)	築地 1-3-28	(2002.8.20 ~ 21)	479	共同住宅	なし	埋 (25)
02試 (5)	築地 1-3-22.25.30	(2002.8.22 ~ 28)	640	遺構所在確認	整穴住居跡 1【盛土保存】	埋 (25)
02試 (6)	松山 2-6-5	(2002.9.9)	147	個人住宅	なし	埋 (25)
03試 (1)	本新田 1-23	(2003.4.16 ~ 21)	1080	共同住宅	なし	埋 (26)
03試 (2)	築地 3-5-3 他 6 筆	(2003.8.19 ~ 20)	2578	宅地造成	飛鳥整穴住居跡 2【盛土保存】	埋 (26)
30次	松山 2-2-3	2003.10.3 ~ 10	142	個人住宅	奈良整穴住居跡 1【調査実施】	埋 (26)
04試 (1)	築地 3-1-16.32	(2004.4.22 ~ 23)	976	宅地造成	なし	埋 (27)
04試 (2)	築地 1-3-37	(2004.4.26)	165	個人住宅	なし	埋 (27)
04試 (3)	松山 2-6-11	(2004.6.16)	309	宅地造成	なし	埋 (27)
04試 (4)	築地 2-5-14.25.27	(2004.8.5)	280	個人住宅	なし	埋 (27)
04試 (5)	築地 3-4-12	(2004.9.6 ~ 8)	911	宅地造成	溝 1	埋 (27)
05試 (1)	松山 2-2-4 の一部	(2005.4.6 ~ 7)	313	土地分譲	なし	市内 1
05試 (2)	築地 3-1-32.34.43	(2005.4.19 ~ 21)	549	土地分譲	なし	市内 1
05試 (3)	築地 2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	なし	市内 1
31次	築地 3-1-69	2005.6.14 ~ 23 (2005.6.9 ~ 13)	120	個人住宅	古墳住居跡 1	市内 1
05試 (8)	築地 2-5-3	(2005.8.30 ~ 9.13)	567	宅地造成	平安住居跡 1	市内 1
32次	築地 2-5-3 の一部	2005.9.8 ~ 13 (2005.8.30 ~ 9.7)	132	個人住宅	平安住居跡 2	市内 1
05試 (5)	築地 2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	なし	市内 1
05試 (4)	松山 2-4-23	(2005.10.20 ~ 21)	161	個人住宅	なし	市内 1
05試 (6)	仲 1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	なし	市内 1
05試 (7)	松山 2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	なし	市内 2
37	松山 2-6-10.13	(2006.4.13)	228	個人住宅	なし	市内 3

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
38	仲1-4-3,9,12,13,24	(2006.5.29)	2176	宅地造成	なし	市内3
39	築地2-3-10	(2007.1.10~20)	937	宅地造成	なし	市内3
40	築地1-1-5	2007.2.21~3.9 (2007.2.2~8)	1047	宅地造成	奈良住居跡1、中世遺構検出	市内3
41	中ノ島1-2-5	2007.2.21~3.5 (2007.2.7~9)	1281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内3
42	仲2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	なし	市内3
43	築地2丁目5番2	(2007.4.11~24)	668	分譲住宅	廻路1、土坑1、旧石器ナイフ1点	市内4
44	築地3-2-10,2-14	(2008.6.9~11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
45	築地3-4-7の一部外	2008.10.1~23 (2008.9.4~30)	390	道路(上下水道)	奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、掘立柱建物跡2棟、竪穴状遺構1、時期不明の溝10、土坑、ピット	市内6
46	築地3-1-33の一部、1-35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
47	築地3-1-52	(2009.5.11,12)	121	個人住宅	ピット	市内8
48	仲2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
49	松山2-6-1,14,22の一部	(2009.10.17~22) 2009.10.27~11.18	449	宅地造成	平安時代竪穴住居跡1軒(住居内鍛冶炉検出)、土坑1、溝1、ピット1	市内8
50	松山2-5-3,17	(2009.11.27~12.1)	797	分譲住宅	溝1、ピット7	市内8
51	松山2-6-22,23,28の一部	(2010.5.10~13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
52	築地2-2-1	(2010.8.26~9.3)	694	分譲住宅	溝1、落とし穴1、工事立会	市内10
53	築地3-1-11	(2010.9.10~21)	205	個人住宅	近代以降の溝3、アナグラ1、慎重工事	市内10
54	築地3-1-6,76~83	(2010.10.4~11.5)9.21~10.1	540	宅地造成	奈良・平安住居跡3軒確認、西側1軒の住居は盛土保存、他2軒は本調査	市内9
55	松山2-4-24の一部	(2011.1.17)1.18~1.31	226	個人住宅	奈良平安時代の住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟、本調査	市内10
56	築地3丁目4-7、4-8の一部	(2011.4.4~14)4.11~15	482	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡2他、本調査(一部工事立会)	市内11
57	築地3丁目4番47	(20011.4.4~15)	241	分譲住宅	遺構遺物なし、慎重工事	未報告
58	仲2丁目2-31	(2011.6.6~8)6.14	114	個人住宅	井戸跡1、本調査	未報告
59	仲2丁目3番6、3番9	(2011.8.8~11)8.11	559	個人住宅	土坑2他、本調査	未報告
60	仲1丁目1番15	(2012.3.26~27)	165	個人住宅	廻路1、工事立会	未報告
61	仲2丁目3-3		113	個人住宅		未報告
62	築地3丁目5番11,14,19	2012.8.10~12.29	842	宅地造成		市内12

※埋:上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調:上福岡市遺跡調査会報告書、教委:上福岡市教育委員、市内:ふじみ野市市内遺跡群報告書

第21表 松山遺跡住居跡一覧表 (単位 cm)

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形()は推定	規模	炉		設置壁	カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献	
						カマドK	K								
1	1978	第1次1号住居	完掘	正方形	390×380		K	東	110×75	○		国分前半		埋蔵文化財の調査 I	
2	"	第1次2号住居	完掘	台形	360×320		K	東	120×85	○		国分前半		"	
3	1979	第2次3号住居	2/3	(方形)	350×10		K	東		一部		国分後半		埋蔵文化財の調査 II	
4	"	第3次4号住居	完掘	方形	530×475		K	北	200×100	○	N-14-E	国分後半		"	
5	1991	第10次5号住居	完掘	長方形	230×350		K	北→東		○		9C 2 半期		埋蔵文化財の調査 14	
6	"	第10次6号住居	2/3	方形	340×300		K	東		○		9C 2 半期		"	
7	"	第11次7号住居	完掘	正方形	400×400					○		8C 4 半期		"	
8	1992	第13次8号住居	3/4	(方形)	400×						N-10-E	8C 3 半期		埋蔵文化財の調査 15	
9	1993	第15次9号住居	完掘		A440×350、B420×310、 C260×300		K	東→北	A210×210、 B210×210、 C80×65	○		9C 1 半期	鉄鉢型須恵器出土	埋蔵文化財の調査 16	
10	"	第16次10号住居	1/3	正方形	560×560		K	北	130×80	○		8C 4 半期		"	
11	"	第17次11号住居	完掘	方形	600×600		K	北		○	最大住居	7C 4 半期	黒色土師器出土	"	
12	"	第18次12号住居	完掘	方形	400×320		K	北		(○)		8C 4 半期		"と市史	
13	1994	第19次13号住居	完掘	長方形	450×300		K	北		○	N-5-E	9C 1 半期		松山遺跡第19次調査概要	
14	"	第19次14号住居	完掘	長方形	450×500		K	東→北		○	N-5-E	9C 1 半期	土師出土	"	
15	"	第20次15号住居	完掘	長方形	370×470		K	北西	70×70	○		7C 4 半期		松山遺跡第20次の調査未報告	
16	1995	7年試掘(2)16号住									N-20-W	6C			
17	"	第21次17号住	完掘	長方形	480×400		K	北		○		7C 4 半期		埋蔵文化財の調査 19	
18	1997	第22次18号住	完掘	長方形	240×460		K	東	90×60	○	N-50-E	8C末		埋蔵文化財の調査 20	
	"	第22次1号掘立	部分	長方形	東西5間 南北3間							8C末~9C初		"	
	"	第22次2号掘立	部分	長方形	東西2間 南北2間							8C末~9C初		"	
	"	第22次3号掘立	部分	長方形	(東西2間) 南北3間							8C末~9C初		"	
19	1998	第23次19号住	4/5	長方形	260×290					○	N-30-W	8C後半	土師6点出土	埋蔵文化財の調査 21	
20	1999	第25次20号住										8C初頭	暗紋土師器	市史通史編	
21	"	第25次21号住										8C初頭	未報告		
22	2000	第26次22号住	完掘		360×		K	北		○		7C後半	14年度完掘、焼失住居	埋蔵文化財の調査 23	
23	"	第27次23号住	完掘	台形	600×720		K	北		○		8C半ば		"	
24	2001	第28次24号住	1/2		340×		K	北西		○		8C中葉		埋蔵文化財の調査 24	
25	2000	12年度試掘5	2/3											埋蔵文化財の調査 23	
26	2002	第29次26号住	完掘	長方形	420×360		K	北		○		7C後半		埋蔵文化財の調査 25	
27	2003	15年度試掘27号住	一部		(盛土保存)									プランのみ確認	埋蔵文化財の調査 26
28	"	15年度試掘28号住	1/2		(盛土保存)									プランのみ確認	"
29	"	第30次29号住	完掘	長方形	360×420		K	東		○		9C前半		"	
30	2005	第31次30号住	完掘	長方形	360×600		K	北		○			土師出土	市内遺跡群 1	
31	"	第32次31号住	完掘	長方形	380×330×		K	東		○	S-65-E	9C中葉		"	
32	"	第32次32号住	1/2	長方形	東西4m×南北3m以上		K	東		○	S-85-E			"	
33	2006	40地点H33号住	完掘	方形	455×420		K	北	98×154	○	N-5-E	8C後半		市内遺跡群 3	
34	2008	45地点H34号住	完掘	方形	364×361		K	東	122×125	○	N-96-E			市内遺跡群 6	
35	2008	45地点H35号住	1/2	(方形)	504×(222)					○				市内遺跡群 6	
36	2009	49地点H36号住	完掘	方形	280×290		K	東	105×100	○	N-92-E	8C後半		市内遺跡群 7	
37	2010	54地点H37号住	完掘	方形	434×524		K	北	70×86	○	N-13-E	8C1 四半期		市内遺跡群 9	
38	2010	54地点H38号住	一部	方形	(440)×468		K	東	95	○	N-107-E	8C1 四半期	プラン確認	市内遺跡群 9	
39	2010	54地点H39号住	完掘	方形	336×459		K	北	79×101	○	N-4-E	8C1 四半期		市内遺跡群 9	
40	2011	55地点H40号住	3/4	(方形)	(300)×(320)		K	東	95×123	○	N-90-E	9C前半		市内遺跡群 10	
41	2012	62地点H41号住	3/4	(方形)	410×(300)		K	北		○	N-18-E			市内遺跡群 12	
42	2012	65地点H42号住	完掘	方形	448×444		K	東	112×125	○	N-68-E			未報告	
43	2012	66地点H43号住	完掘	方形	704×700		K	東	105×150	○	N-68-E			未報告	



第26図 松山遺跡遺構分布図 (1/3,000)

II 松山遺跡第 51 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 3 月 29 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するが、申請地の北側は 1992 年 4 月 17 日試掘調査済みのため、残りの未調査区域について原因者と協議の結果、遺構などの存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2010 年 5 月 10 日～13 日に行った。幅約 1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果ピット 1 基を検出した。遺構確認面までの深さは約 70 cm である。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

P1 は斜向ピットで深さ 70 cm まで掘ったが、完掘はしていない。確認面径 57 × 42cm である。

III 松山遺跡第 52 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 6 月 8 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

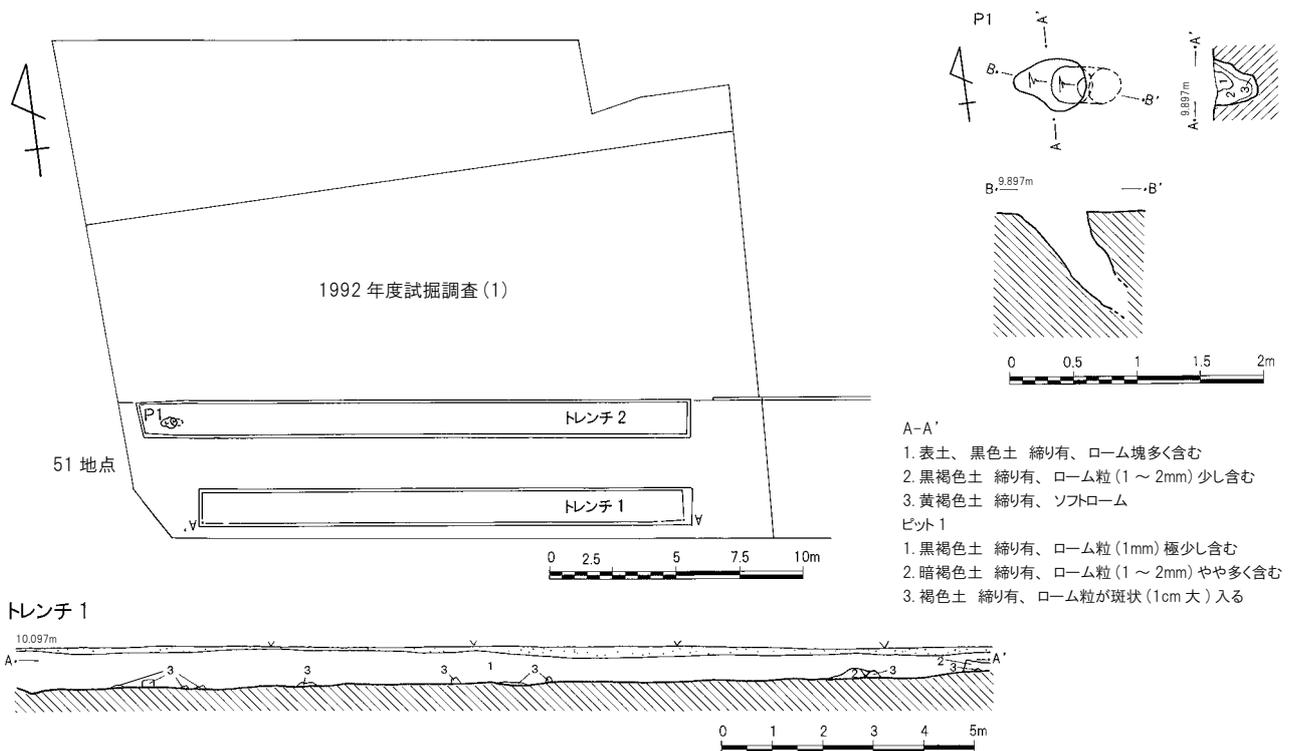
試掘調査は同年 8 月 26 日～9 月 3 日まで幅約 1.5 m のトレンチを 6 本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。時期不明の落とし穴 1 基と溝を検出したが遺物は出土しなかった。遺構確認面までの深さは約 30 ～ 60 cm である。

旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 落とし穴

調査区の南西隅に位置する。平面形態は隅丸長方形で、確認面径 165 × 125 cm、底径 136 × 76 cm、確認面からの深さ 88 cm である。



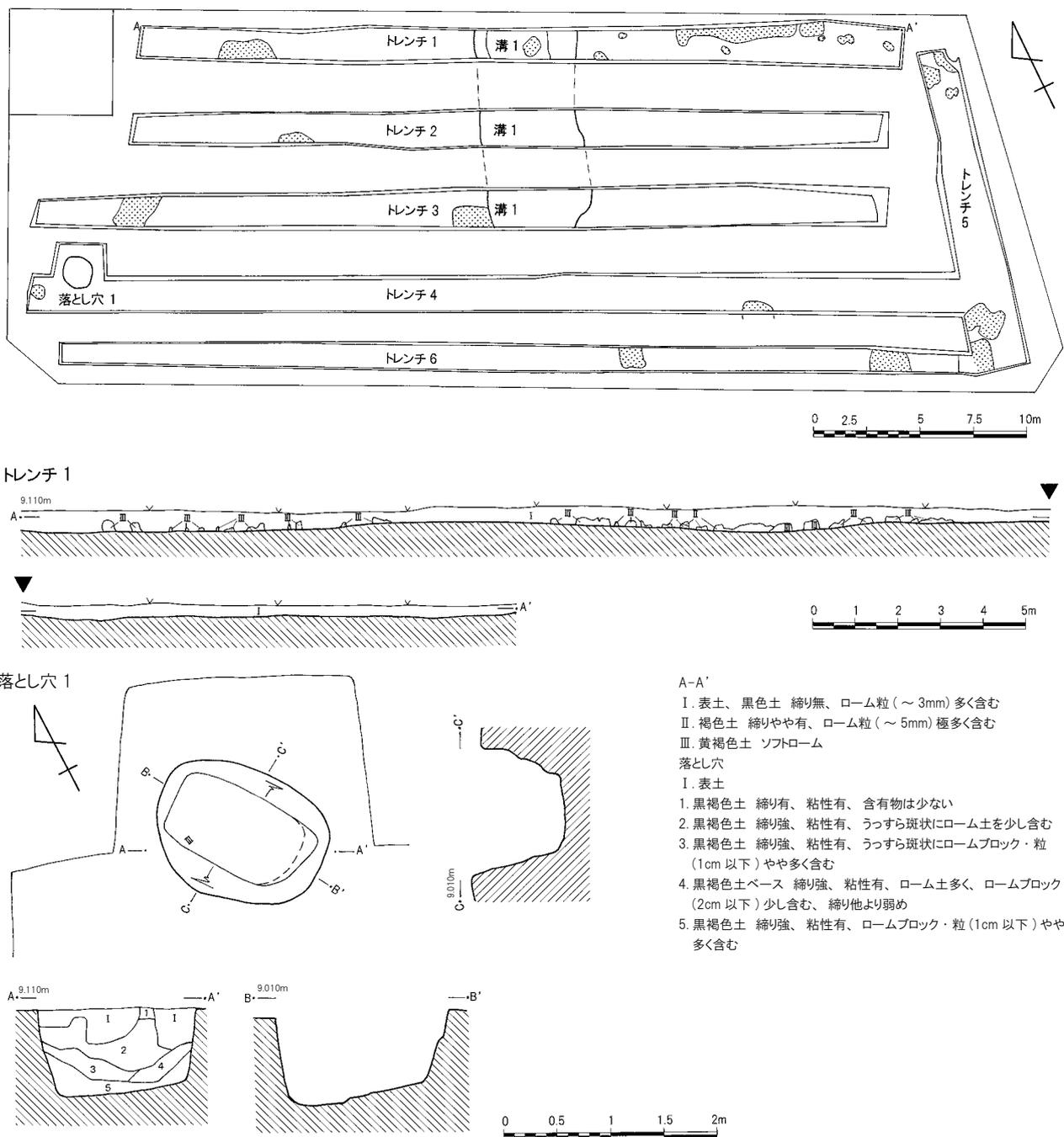
第 27 図 松山遺跡第 51 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)

②溝1

調査区北側、南北方向に10mにわたって検出した。上幅470~500cm、下幅10~15cm。断面は西側が急で、東側が緩やかな「V字形」を呈する。確認面からの深さ60cm前後である。

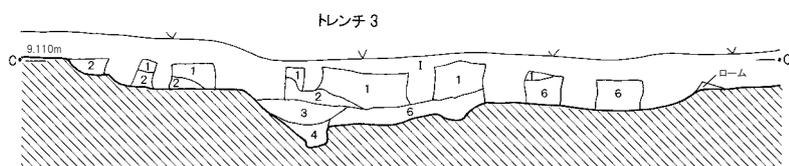
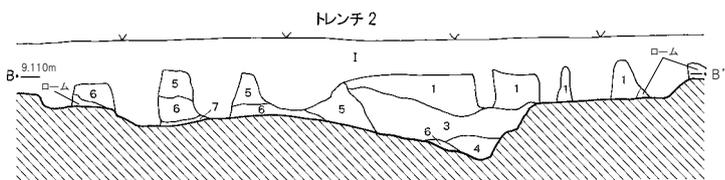
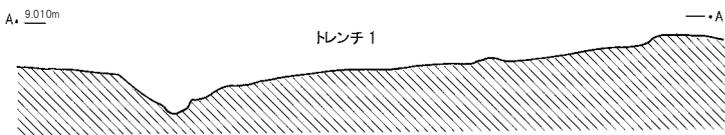
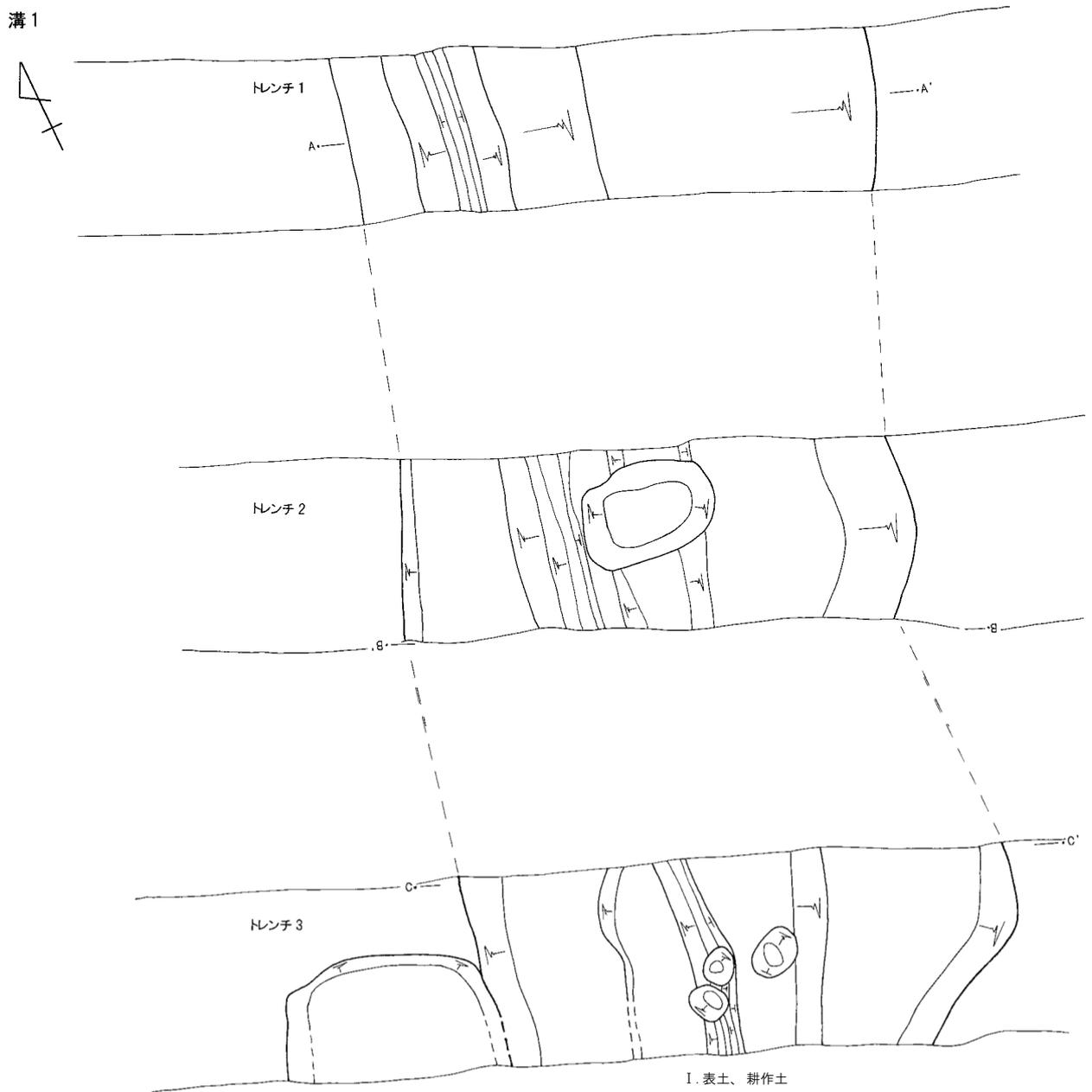
第22表 松山遺跡第52地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

掲載No	出土遺構名	種別	長さ	幅	厚さ	重量	石材 / 推定生産地	推定年代	残存 / 備考
1	溝1	砥石	6.3	2.9	2.2	65.32	流紋岩	時期不明	一部欠損
1	遺構外	砥石	5.3	2.1	2.0	37.89	砂岩	時期不明	完形



第28図 松山遺跡第52地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、落とし穴(1/60)

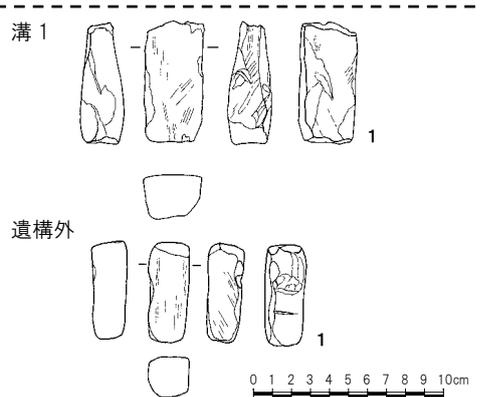
溝1



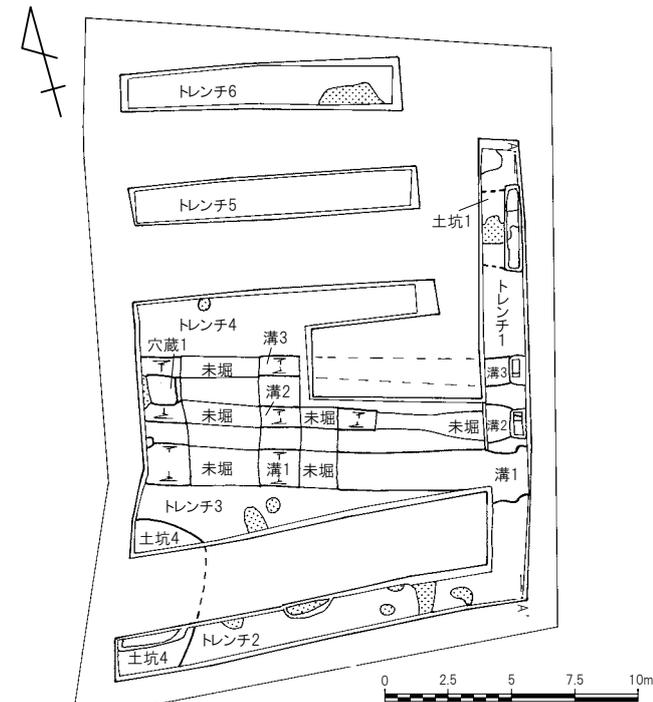
0 0.5 1 1.5 2m

I. 表土、耕作土

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)少し、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(5~10mm)多く含む
3. 黒褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、ロームブロック(6cm)主体
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、ロームブロック(1cm)、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、ロームブロック(4cm以下)多く含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む



第29図 松山遺跡第52地点溝(1/60)、出土遺物(1/4)



Ⅲ. 地山ソフトローム

1. 黒色土にローム、砂利が混入、宅地の表土
2. 褐色土 締り有、粘性やや有、ローム粒(1cm以下) 多く、炭(3mm)少し含む
3. 暗褐色土 締り弱、粘性やや有、ローム粒(～3mm)少し含む
4. 灰褐色土 締り有、粘性やや有、ロームブロック(2cm)極少し、ローム粒・炭(～3mm)少し含む、酸化鉄やや多い
5. 褐色土 締り有、粘性やや有、ロームブロック(2cm)極少し、ローム粒多く(～3mm)含む、酸化鉄やや多い
6. 黄褐色土 締り有、ロームブロック主体
7. 灰褐色土(赤味有) 締り有、粘性有、ローム粒(～3mm)極多く、酸化鉄多く、焼土粒(～3mm)少し含む
8. 灰褐色土 締り有、粘性やや有、ローム粒(～3mm)少し含む
9. 黒色土とロームブロックの混合土 締りやや有
10. 黒色土 締り弱、ロームブロック(～3cm)少し含む
11. 黒色土 締り弱、ロームブロック(～3cm)多く含む
12. 黒色土 締り弱、ロームブロック(～3cm)やや多く含む
13. 黄褐色土 締り弱、ロームブロック主体

I. 表土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む

- ① 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(1cm)・ローム粒少し含む
- ② 黒褐色土 締り弱、粘性弱、ローム粒少し含む
- ③ 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒少し含む

溝3

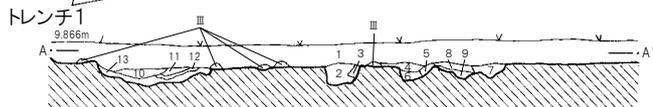
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む、色調やや明るめ
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む

穴蔵 北壁

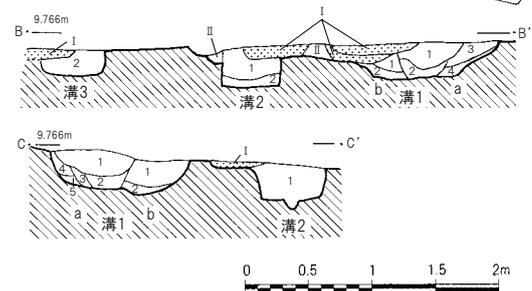
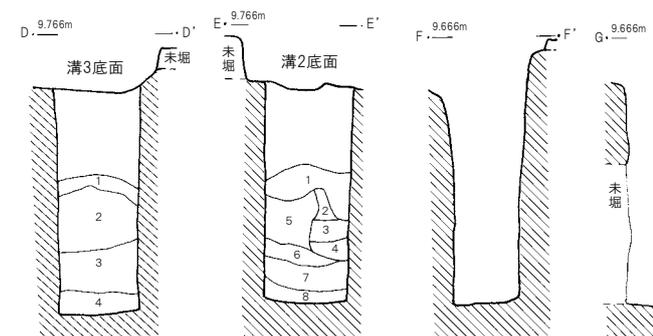
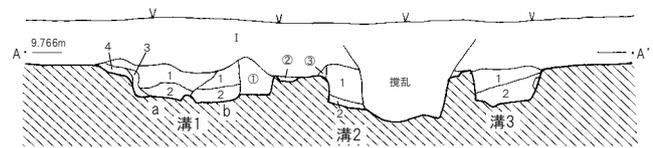
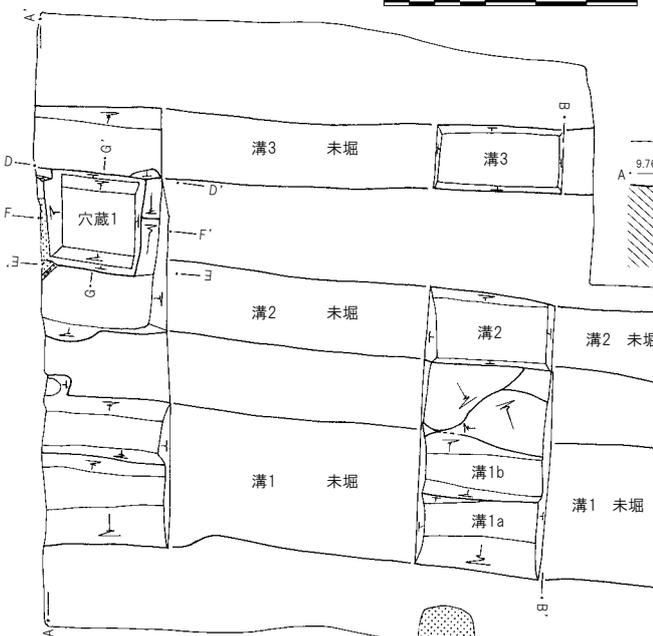
1. 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む
2. 黄褐色土 締り強、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)主体
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm以下)少し含む
4. 暗黄褐色土 締り強、粘性やや弱、黒褐色土主体にローム粒(5mm以下)多く含む

南壁

1. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む
5. 黄褐色土 締り有、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)少し含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)少し、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm以下)少し含む
8. 暗黄褐色土 締り強、粘性やや弱、黒褐色土主体にローム粒(5mm以下)多く含む



穴蔵1・溝1～3



第30図 松山遺跡第53地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、穴蔵・溝(1/60)

IV 松山遺跡第 53 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 8 月 11 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構などの存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2010 年 9 月 10 日～ 21 日まで行った。幅約 1 m のトレンチ 6 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。建築予定地西側で近現代の農耕用穴蔵 1 基と溝 4 条を確認した。遺構確認面までの深さは約 40 cm である。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①穴蔵

調査区の西側中央に位置する。平面方形の竪坑の南

北方向に横穴があるが、横穴は天井まで埋め戻されていた。横穴は掘削せず未調査である。竪坑の上端 78 × 70 cm、下端 55 × 48 cm、現地表面からの深さ 240 cm である。

②溝

4 条検出した。いずれも調査区南側、東西方向に 10 m 以上あり、調査区域外へ延長すると思われる。溝 1 a は上幅 35 ~ 70 cm、下幅 15 ~ 35 cm。断面は「U」字形、確認面からの深さ 25 ~ 30 cm 前後である。溝 1 b より新しい。

溝 1 b は上幅 35 ~ 70 cm、下幅 15 ~ 35 cm。断面は「U」字形、確認面からの深さ 30 ~ 35 cm 前後である。溝 2 は上幅 50 ~ 80 cm、下幅 45 cm。壁は垂直、確認面からの深さ 35 cm である。

溝 3 は上幅 50 ~ 55 cm、下幅 45 cm。壁は垂直、確認面からの深さ 25 cm である。

第 23 表 松山遺跡第 53 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

掲載 No.	出土遺構名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	遺構外	磁器 / 小坏	6.9	3.0	4.3	ロクロ成形 / 銅版絵付 / 松竹梅文	瀬戸・美濃	1890 年代～
2		磁器 / 碗	(8.0)	2.9	4.7	ロクロ成形 / ゴム版絵付 / 花文 / 底裏にプリント「建國」銘	瀬戸・美濃	1920 年代～
3		磁器 / 湯呑	(7.3)	3.4	7.7	ロクロ成形 / 白盛染付 / 草花文 / 胴部・底裏に青上絵「柳川」銘	瀬戸・美濃	1930 年代～
4		陶器 / 急須	5.5	4.9	6.3	ロクロ・貼付成形 / 透明釉 / 釉下彩「藤間 / パン蒸菓子製造」字	不明	近代～
5		陶器 / 蓋類	4.6	—	1.1	型打成形 / 透明釉 / 胎土: 白色	不明	近代～
6		焼締陶器 / 急須蓋	8.1	—	2	型打・貼付成形 / 摘み部に穿孔 / 陰刻草(蝶)文	万古	1940 年代～
7		土器 / 七厘引き戸	8.2	7.8	1.2	タタラ成形	東海	近代～

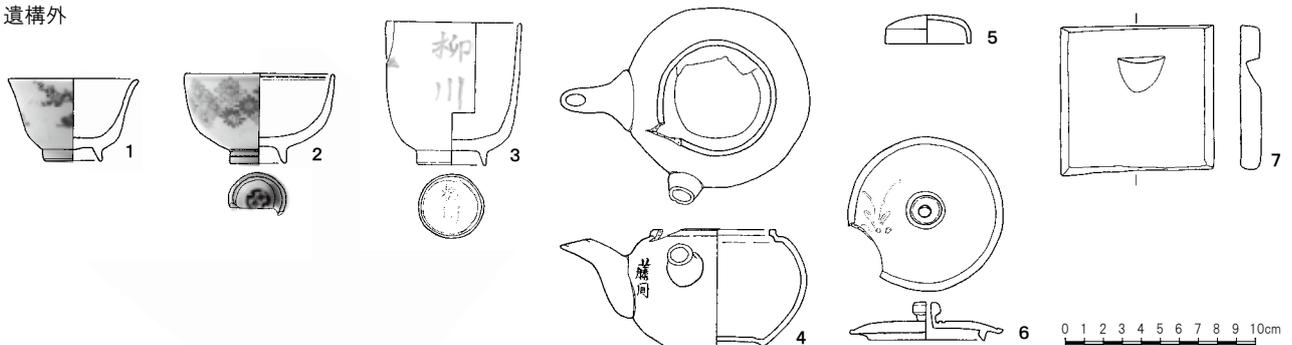
溝 1 a

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm 以下)少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm 以下)・ローム粒(5mm 以下)多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土を多く含む、黄灰色味を帯びる、ロームブロック・粒(5mm 以下)やや多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土を多く含む、黄灰色味を帯びる、ローム粒(2mm 以下)少し含む
5. 黄褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム主体

溝 1 b

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5 ~ 50mm)少し、ローム粒(3mm 以下)やや多く含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm 以下)多く含む
- 溝 2
- I. 耕作土、黒褐色土 ロームブロック・粒少し、硬い土粒を含み、ややボロボロ
 - II. 旧耕作土、黒褐色土 ローム粒(2mm 以下)やや多く含む、全体の色調黄色味を帯びる
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1 ~ 2cm)少し、ローム粒(3mm 以下)やや多く含む
 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック・粒(1cm 以下)少し含む

遺構外



第 31 図 松山遺跡第 53 地点出土遺物 (1/4)

V 松山遺跡第55地点

(1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年12月10日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北西部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は2011年1月17日から幅約1.5mのトレンチを2本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、住居跡などの遺構を確認した。遺構確認面までの深さは約50cmで、盛土等による遺構の保存が困難なため、補助事業の対応で1月18日から1月31日まで本調査を行った。奈良平安時代の住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟を検出した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成など記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H40号住居跡

【位置・形状】調査区の南西隅に位置する。9.5m北に掘立柱建物跡がある。南側と西側は調査区域外になる。平面形態は方形もしくは長方形で主軸方位はN-90°-Eである。規模は主軸方向に東西3.0m×南北3.2m検出した。確認面からの深さ30cmである。竈は東壁から70cm突出する。

【竈】住居跡東壁に構築される。竈は灰色の粘土で構築され、天井部は崩落し袖の一部が残る。竈内部の底面に焼土面が残る。

焚口からの奥行き95cm、袖部の最大幅123cmである。焚口幅65cm、竈内部は幅46cm、床面からの深さは約9cmである。底面から須恵器環が出土した。

【土坑】1基検出した。竈の1.2m西に在り、南側は調査区域外。方形もしくは長方形を呈する。東西長69cm、床面からの深さ39cmである。土器が集中する。

【貼床・周溝】周溝は住居の北・東壁際に巡る。上幅26~30cm、下幅14~18cm、深さ4~11cmである。貼床は床面全体に5~15cm厚で貼られる。

【掘り方】壁際にかけて深く掘られる。

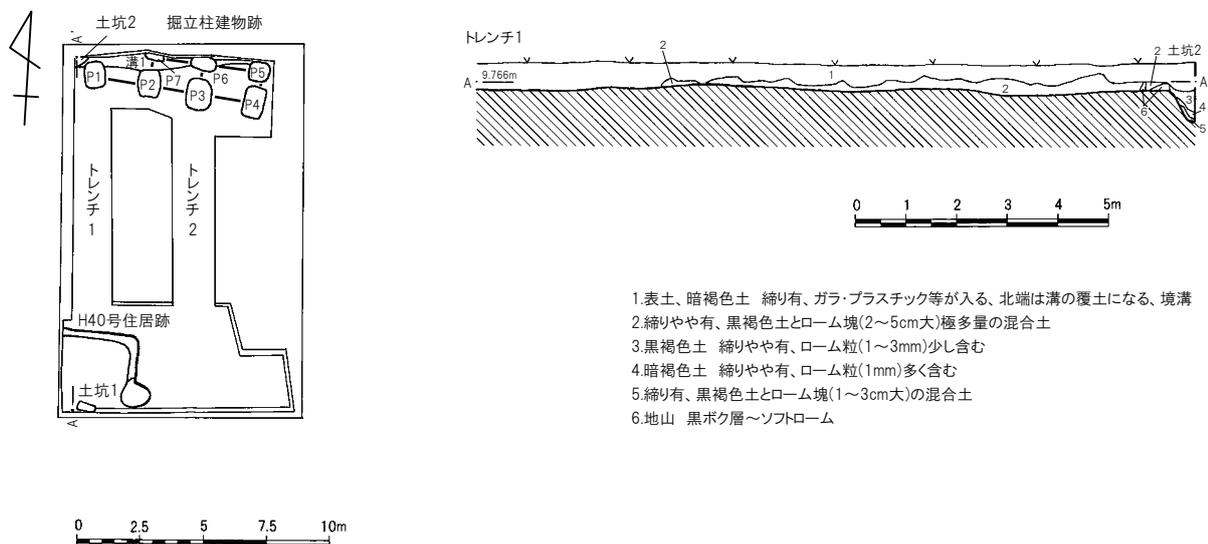
【遺物出土状況】遺物はほぼ全面に散在する。

【時期】9世紀。

② 掘立柱建物跡

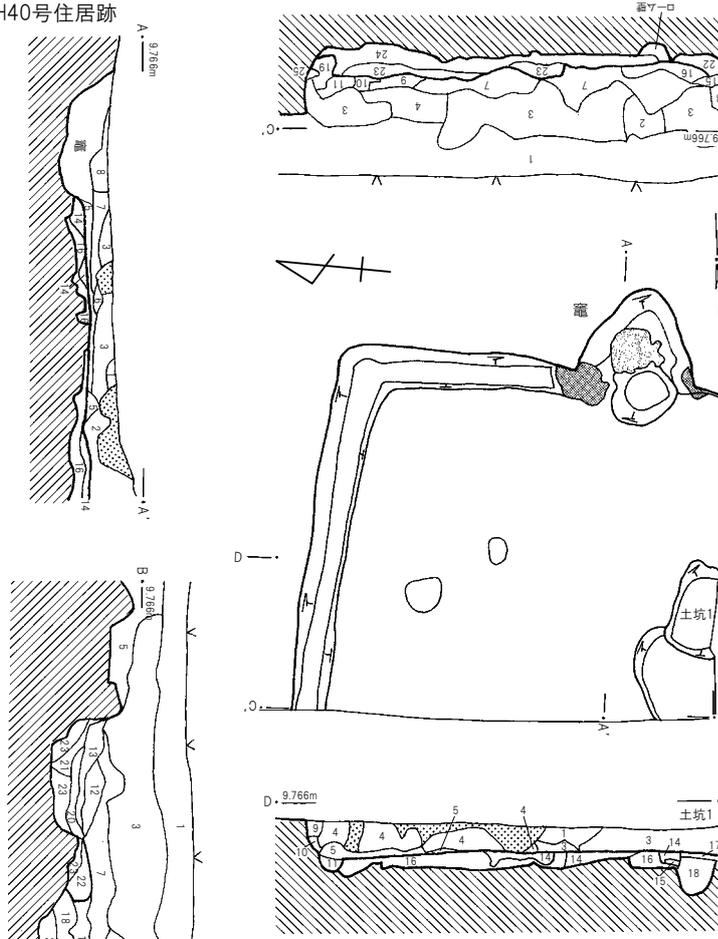
【位置・形状】調査区北端に位置する。主軸方位はN-5°-E、3間×1間以上の規模があり、北側の調査区域外へ広がる。検出した規模は柱の芯間で東西6.4m×南北2.3m。柱の中心間は2.1~2.3mである。各柱穴ともに黒褐色土にロームブロックが多量に混入した土を版築している。P1からは須恵器甕破片が出土している。

【時期】9世紀。



第32図 松山遺跡第55地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)

H40号住居跡

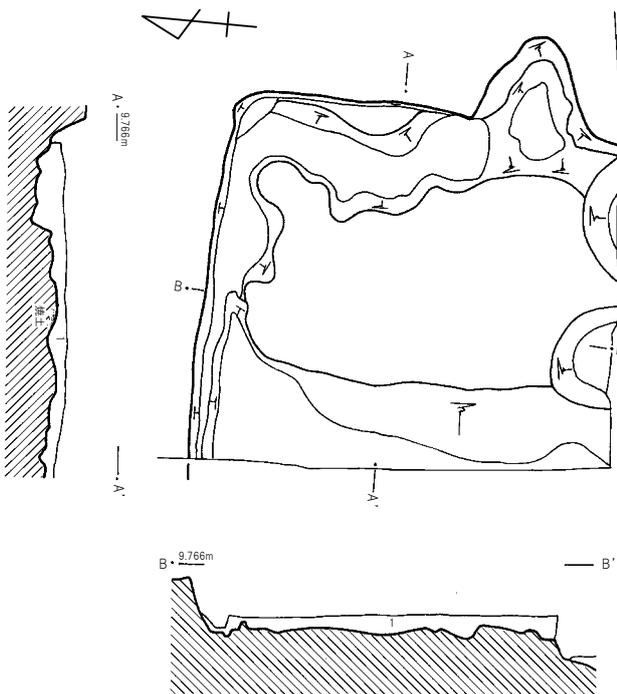


- 7.暗褐色土 締り有、粘土粒(1~3mm)多く、焼土粒(1~3mm)やや多く、炭(1~3mm)少し含む
 - 8.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)多く、焼土粒・炭(1~3mm)やや多く含む
 - 9.黒褐色土 締り有、ローム塊(1~3cm)少し含む
 - 10.黒褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1mm以下)少し含む
 - 11.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~10mm)多く、焼土粒(1mm)少し含む
 - 12.黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1~3mm)多く含む
 - 13.褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)極多く、ローム塊(1~2cm大)多く含む
 - 14.暗褐色土 硬く締る、ローム粒(3~5mm)極多く、焼土粒(1~3mm)多く、炭(2mm)少し含む
 - 15.焼土ブロック主体 締り有
 - 16.黄褐色土 締り有、硬い、ガチガチ、ロームブロック(3~10cm大)と黒褐色土の混合土
 - 17.暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~10mm)極多く、焼土粒(1~3mm)やや多く含む
 - 18.黒色土 締り有、ロームブロック(1~3cm大)少し、ローム粒(1~5mm)多く、焼土粒(1~3mm)少し含む
- 西壁・南壁 B-B'・C-C'
- 1.表土、黒褐色土 締り有
 - 2.表土、褐色土 締り弱、攪乱、ゴミ出土
 - 3.表土、黒褐色土 締り有、ロームブロック(1~3cm大)やや多く、ローム粒(1~5mm)多く含む
 - 4.表土、黒褐色土 締り有、ロームブロック(1~3cm大)・粒(1~5mm)少し含む
 - 5.表土、黒褐色土 締り弱、ロームブロック(1~3cm大)・粒(1~5mm)少し含む
 - 6.表土、黒褐色土 締り弱、ローム粒(1~5mm)少し含む
 - 7.覆土、黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)多く、焼土粒(1~3mm)・炭(1mm)少し含む
 - 8.覆土、黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)少し、焼土粒(1~3mm)・炭(1mm)極少し含む
 - 9.覆土、黒色土 締りやや有、ローム粒(1~3mm)多く含む
 - 10.覆土、暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)少し含む、攪乱
 - 11.覆土、暗褐色土 締り有、ローム粒(1mm)少し含む
 - 12.覆土、黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)・焼土粒(1~5mm) 多く、炭(1~3mm)少し含む
 - 13.覆土、黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)極少し、焼土粒(1~5mm)極多く、炭(1~3mm)少し含む
 - 14.覆土、黒褐色土(黒い) 締り有、ローム粒(1~3mm)・焼土粒(1~3mm)少し含む
 - 15.覆土、黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)多く、焼土粒(1~3mm)少し含む
 - 16.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)・焼土粒(1~3mm)多く、炭(1~2mm)少し含む
 - 17.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)多く、焼土粒(1~3mm)少し含む
 - 18.黒色土 締り有、ロームブロック(1~3cm大)少し、ローム粒(1~5mm)多く、焼土粒(1~3mm)少し含む
 - 19.暗褐色土 締り有、ロームブロック(1~2cm大)少し、ローム粒(1~5mm)極多く含む
 - 20.暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~5mm)多く、焼土粒(1~3mm)やや多く、炭(1~3mm)少し含む

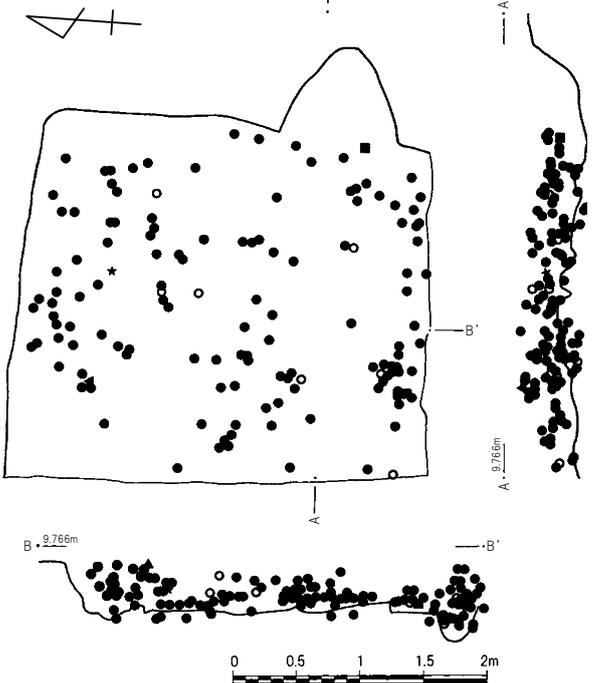
H40号住居跡 A-A'・D-D'

- 1.黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)・焼土粒(1~2mm)・炭(1~2mm)少し含む
- 2.黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1~2mm)やや多く、焼土粒(1~2mm)・炭(1~2mm)少し含む
- 3.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)多く、焼土粒(1~2mm)・炭(1~2mm)少し含む
- 4.黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)少し含む
- 5.暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~5mm)多く含む
- 6.暗褐色土 締り有、粘土粒(1mm)多く、焼土・炭少し含む

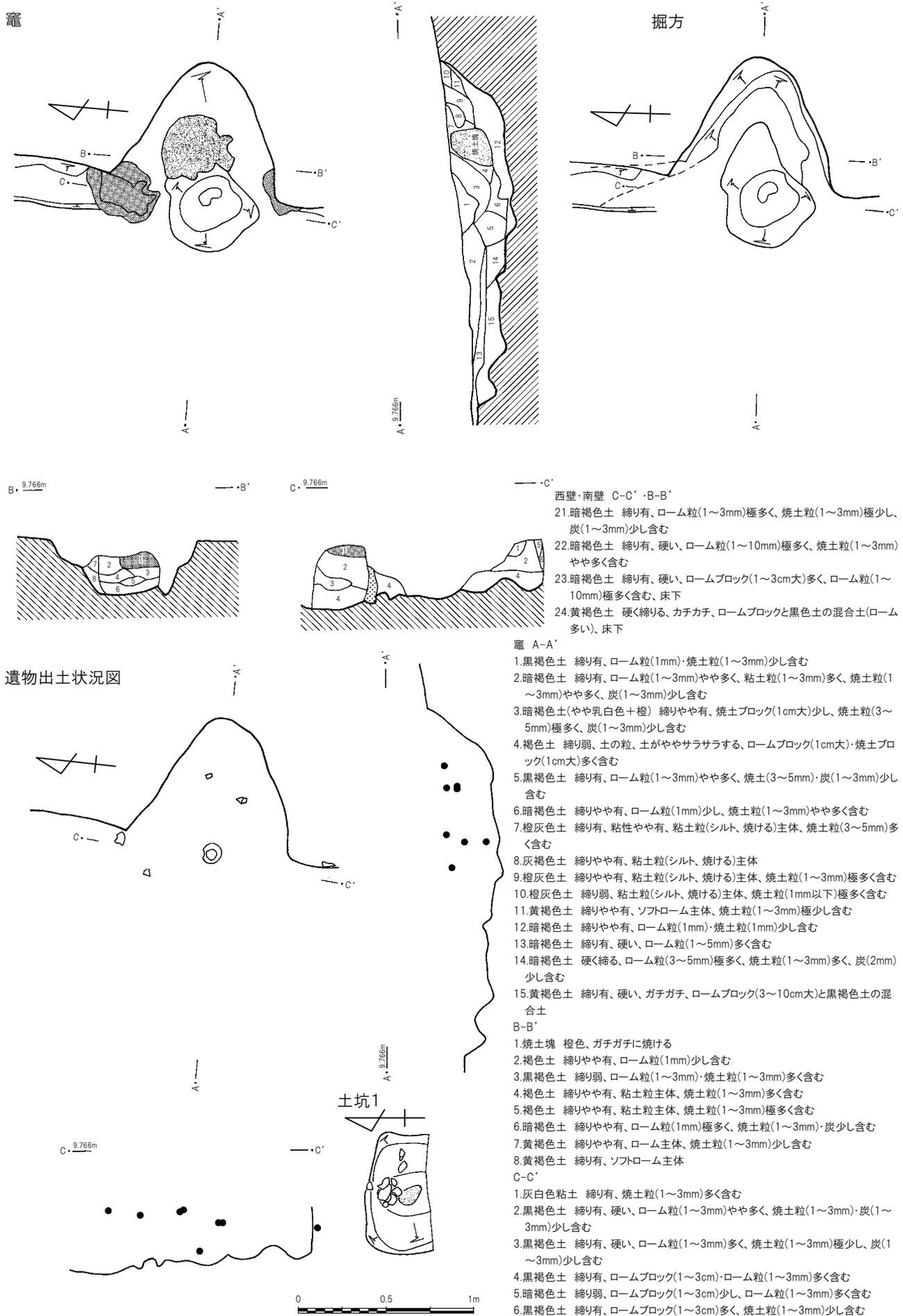
掘方



遺物出土状況図



第33図 松山遺跡第55地点 H40号住居跡・掘方・遺物出土状況図(1/60)



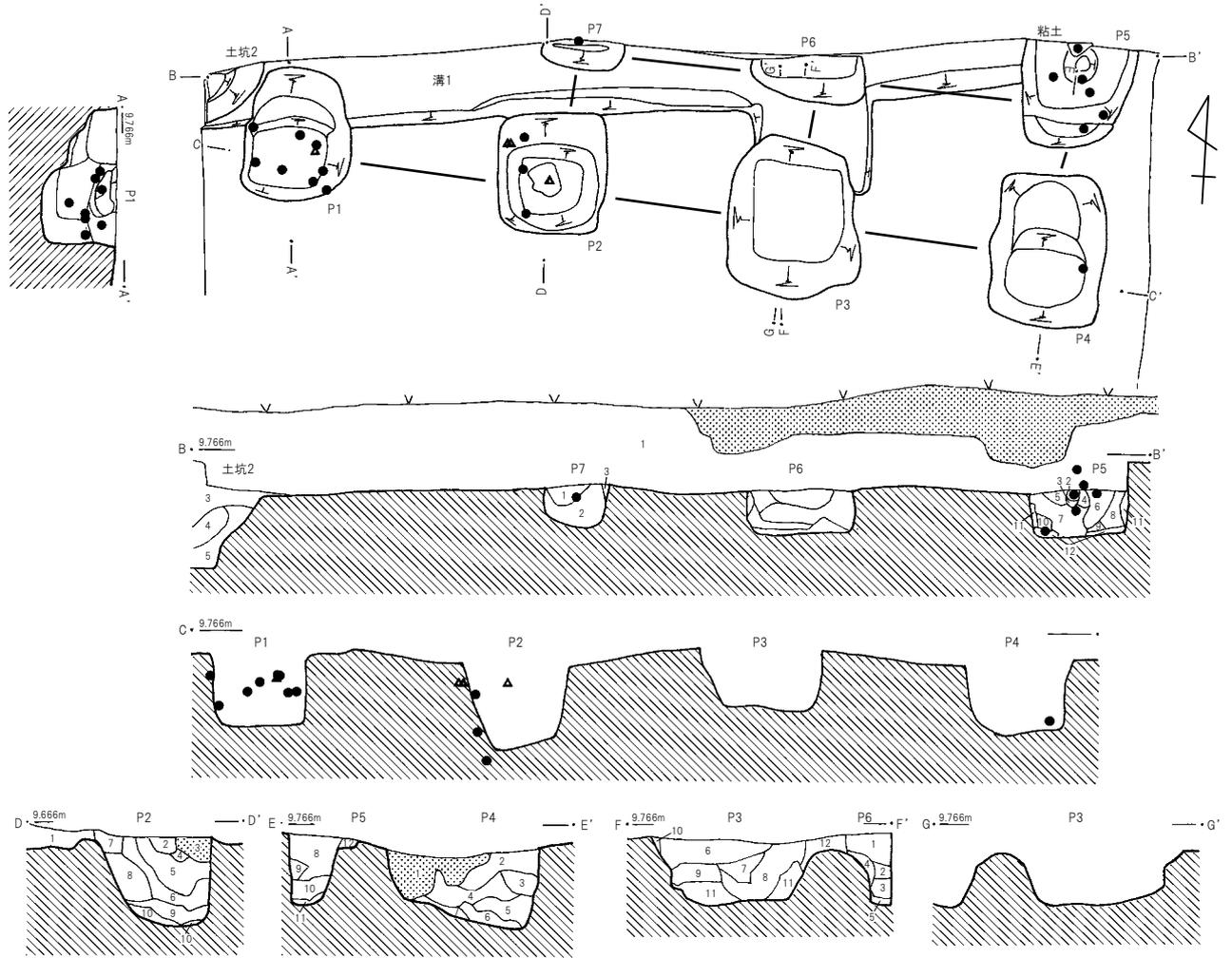
- 21.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)極多く、焼土粒(1~3mm)極少し、炭(1~3mm)少し含む
- 22.暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~10mm)極多く、焼土粒(1~3mm)やや多く含む
- 23.暗褐色土 締り有、硬い、ロームブロック(1~3cm大)多く、ローム粒(1~10mm)極多く含む、床下
- 24.黄褐色土 硬く締り、ガチガチ、ロームブロックと黒色土の混合土(ローム多い)、床下

- 1.黒褐色土 締り有、ローム粒(1mm)・焼土粒(1~3mm)少し含む
- 2.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)やや多く、粘土粒(1~3mm)多く、焼土粒(1~3mm)やや多く、炭(1~3mm)少し含む
- 3.暗褐色土(やや乳白色+橙) 締りやや有、焼土ブロック(1cm大)少し、焼土粒(3~5mm)極多く、炭(1~3mm)少し含む
- 4.褐色土 締り弱、土の粒、土がややサラサラする、ロームブロック(1cm大)・焼土ブロック(1cm大)多く含む
- 5.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)やや多く、焼土(3~5mm)・炭(1~3mm)少し含む
- 6.暗褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)少し、焼土粒(1~3mm)やや多く含む
- 7.橙灰色土 締り有、粘性やや有、粘土粒(シルト、焼ける)主体、焼土粒(3~5mm)多く含む
- 8.灰褐色土 締りやや有、粘土粒(シルト、焼ける)主体
- 9.橙灰色土 締りやや有、粘土粒(シルト、焼ける)主体、焼土粒(1~3mm)極多く含む
- 10.橙灰色土 締り弱、粘土粒(シルト、焼ける)主体、焼土粒(1mm以下)極多く含む
- 11.黄褐色土 締りやや有、ソフトローム主体、焼土粒(1~3mm)極少し含む
- 12.暗褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)・焼土粒(1mm)少し含む
- 13.暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~5mm)多く含む
- 14.暗褐色土 硬く締る、ローム粒(3~5mm)極多く、焼土粒(1~3mm)多く、炭(2mm)少し含む
- 15.黄褐色土 締り有、硬い、ガチガチ、ロームブロック(3~10cm大)と黒褐色土の混合土

- B-B'**
- 1.焼土塊 橙色、ガチガチに焼ける
- 2.褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)少し含む
- 3.黒褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)・焼土粒(1~3mm)多く含む
- 4.褐色土 締りやや有、粘土粒主体、焼土粒(1~3mm)多く含む
- 5.褐色土 締りやや有、粘土粒主体、焼土粒(1~3mm)極多く含む
- 6.暗褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)極多く、焼土粒(1~3mm)炭少し含む
- 7.黄褐色土 締りやや有、ローム主体、焼土粒(1~3mm)少し含む
- 8.黄褐色土 締り有、ソフトローム主体

- C-C'**
- 1.灰白色粘土 締り有、焼土粒(1~3mm)多く含む
- 2.黒褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~3mm)やや多く、焼土粒(1~3mm)・炭(1~3mm)少し含む
- 3.黒褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~3mm)多く、焼土粒(1~3mm)極少し、炭(1~3mm)少し含む
- 4.黒褐色土 締り有、ロームブロック(1~3cm)・ローム粒(1~3mm)多く含む
- 5.暗褐色土 締り弱、ロームブロック(1~3cm)少し、ローム粒(1~3mm)多く含む
- 6.黒褐色土 締り有、ロームブロック(1~3cm)多く、焼土粒(1~3mm)少し含む

第34図 松山遺跡第55地点H40号住居跡竈・掘方・遺物出土状況図(1/30)



A-A' 掘立柱建物跡 溝1・ピット1

- 1.暗褐色土 締りやや有、ローム粒(1~5mm)やや多く含む
- 2.黒色土 締りやや有、ローム粒(1mm)少し、粘土粒(1mm以下)やや多く、炭(1mm)極少し含む
- 3.黒褐色土 締り有、ローム粒(1mm)少し、粘土粒(1mm)やや多く含む
- 4.白灰褐色土 締り有、粘土塊(1~3cm大)・粘土粒(1~3mm)多く、炭(1mm)やや多く含む
- 5.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)・粘土粒(1~3mm)多く、炭(1mm)やや多く含む
- 6.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)やや多く、ローム塊(1cm大)・粘土粒(1mm)極少し含む
- 7.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)極多く、ローム塊(1~3cm大)少し含む
- 8.黒褐色土(やや明るい) 締り有、ローム粒(1~3mm)多く含む
- 9.黒褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~3mm)多く含む
- 10.黄褐色土 締り有、硬い、ローム塊主体、褐色土混入

B-B'

- 溝1
- 1.表土 暗褐色土 締り有、ガラ・プラスチック等が入る。北端は溝の覆土になる。境溝
- 土坑2
- 3.黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1~3mm)少量
- 4.暗褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)多量
- 5.黒褐色土とローム塊(1~3cm大)の混合土 締り有

ピット5

- 2.灰白色粘土 締り有、粘性有、硬い、焼土粒(1mm)極少し含む
- 3.褐色土 締りやや有、粘土粒(1~3mm)やや多く含む
- 4.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)やや多く含む
- 5.黒褐色土 締り有、硬く締る、ローム粒(1mm)多く、粘土粒(1mm)少し、焼土粒(1mm)極少し、炭(1mm)少し含む
- 6.黒褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~3mm)多く、焼土粒(1~3mm)・炭(1mm)少し含む
- 7.黒褐色土(明るい) 締り有、ロームブロック(1~5cm)少し、粒(1~3mm)極多く含む
- 8.黒褐色土 締り有、やや硬い、ローム粒(1mm)やや多く、焼土粒(1~3mm)極少し、暗褐色土が入る
- 9.黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1mm)少し含む
- 10.黒色土 締り有、ローム粒(1mm)多く、焼土粒(1mm)やや多く、炭(1~3mm)少し含む
- 11.黒色土とロームブロックの混合土 締り有
- 12.黒褐色土 硬く締る、ロームブロック(1~3cm大)極多く含む

ピット7

- 1.黒褐色土 締り有、ローム粒(1mm)少し含む
- 2.黒褐色土(明るい) 締り有、ローム粒(1~3mm)やや多く含む、暗褐色ブロックが混入
- 3.黒色土とロームブロックの混合土

D-D' ピット2

- 1.表土、暗褐色土 ガラ・プラスチック等が入る
- 2.橙灰色粘土 締り有、硬い、粘性有、焼き粘土の塊、焼土ブロック(2cm大)含む
- 3.暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~10mm)多く、粘土粒(1~3mm)少し含む、攪乱層
- 4.灰褐色土 締り有、粘土粒(1mm以下)と暗褐色土の混合土
- 5.黒褐色土 締り有、ローム粒(3~10mm)多く、粘土粒(1~3mm)少し含む
- 6.暗褐色土 締りやや有、ローム粒(1~5mm)極多く含む
- 7.暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1mm以下)極少し含む
- 8.黒褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~3mm)やや多く、斑状ソフトローム(1cm大)多く含む
- 9.黒色土 締りやや有、ローム粒(1mm)少し含む
- 10.黒褐色土 締り有、硬い、ロームブロック(1cm大)多く、ローム粒(5mm)極多く含む

E-E' ピット4・5

- 1.攪乱 締り弱、暗褐色土とロームブロック(1~5cm大)の混合土
- 2.暗褐色土 締り弱、ロームブロック・粘土ブロック(1cm大)少し、焼土(生焼)多く含む
- 3.暗褐色土とロームブロック(1cm大)の混合土、ローム粒(1~3mm)極多く含む
- 4.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)多く、焼土粒(1mm)少し含む
- 5.黒褐色土 締り有、ローム粒(1mm)多く含む
- 6.黒褐色土 締り有、ロームブロック(3cm大)多く含む
- 7.黄褐色土 締りやや有、ロームブロック主体、黒色土混入
- 8.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)極多く、焼土粒(1~3mm)多く、炭(1mm)少し含む
- 9.黒褐色土 締り有、8層に暗褐色土ブロック(1~3cm大)混入
- 10.黒褐色土(やや明るい) 締り有、ローム粒(1~3mm)多く含む
- 11.暗褐色土 締り有、硬い、ロームブロック(1cm)と2色土の混合土
- 12.黒色土とローム粒の混合土 締り有

F-F' 溝1・ピット3・6

- 1.暗褐色土 締りやや有、表土から掘られる、ローム粒(1~5mm)多く含む
- 2.黒褐色土 締り有、ローム粒(1mm)少し含む
- 3.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)少し含む
- 4.黒褐色土 締り有、ロームブロック(1~3cm大)少し、ローム粒(1~3mm)多く含む
- 5.暗褐色土 締り有、硬い、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(1~3mm)やや多く含む
- 6.暗褐色土 締りやや有、ロームブロック(3~10cm大)・ローム粒(1~3mm)多く含む、天地返しされた土
- 7.暗褐色土 締り弱、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(1~3mm)多く、焼土粒(5mm)極少し含む
- 8.暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~3mm)多く、炭(1mm)少し含む
- 9.暗褐色土 締りやや有、ローム粒(1~3mm)多く含む
- 10.暗褐色土 6層よりやや色調明るい
- 11.褐色土 締り弱、ローム粒(1mm)極多く含む
- 12.暗褐色土 締り有、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(1~3mm)やや多く、炭(1mm)少し含む、別遺構、浅い土坑か

第 35 図 松山遺跡第 55 地点掘立柱建物跡・土坑・溝 (1/60)

H 40 号住居跡出土遺物

1～3は須恵器坏形土器。1は、大略完形。口径12.5 cm、器高3.8 cm、底径6.3 cm。底部は回転糸切りのみ。白色針状物質を含む比企窯跡産。内外面は滑らかに調整。外面中央部に幅4 mmのロクロ凹みがある。色調暗褐色。2は、現存1/2。口径12 cm、器高3.7 cm、底径7 cm。底部は回転糸切りのみ。白色針状物質を含む。色調青灰色。2～3 mmの石英など砂粒を含む。内外面の調整は滑らか。全体に厚ぼったい。3は、口径12 cm (1/8 現存)、底径7.0 cm、器高3.8 cm。口唇部先端が緩くつまみだし外湾する。外面は非常に滑らかで、ロクロ痕の凹凸はない。胎土は非常に精鍊され、白色針状物質を含む。色調暗黄色。

4は、須恵器碗形土器。口径(現存1/8)14.8 cm、底径8.0 cm、器高6.3 cm。底部回転糸周辺部回転糸切り離し、周辺部回転ヘラ削り調整。内面下半部、外面下半部ともにロクロ痕が著しい。上半部は滑らか。白色針状物質を含む。色調灰白色。

第24表 松山遺跡第55地点土坑一覧表(単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	不明	75 × (37)	57 × (33)	39.0	
土坑2	不明	(50) × (48)	(16) × (13)	68.9	

5は、コの字口縁の武蔵型甕。口径(現存1/10)20 cm。口唇部～12 mm下まで強い横ナデで、その下は指頭の圧痕、さらにその下方に横位ヘラ削り。白色の砂粒を混じる。6・7は小形台付き甕。6は口径(現存1/12)11.8 cm。コの字口縁で、コの字部分は全体に横ナデ。胴部は上半が横位の、下半が斜め下方にヘラ削り。7は口縁部が欠。6と同じ整形だが、同一個体ではない。内外面にカーボンがこびりついている。

8は、覆土中から出土した石鏃。石質は、チャートで完形。両側面は一直線で、側面の長さは2 cm。幅は、13 mm。厚みは、3.5 mm。Uの字状の抉り長は、3 mm。左側面には、第一次剥離面が残る。

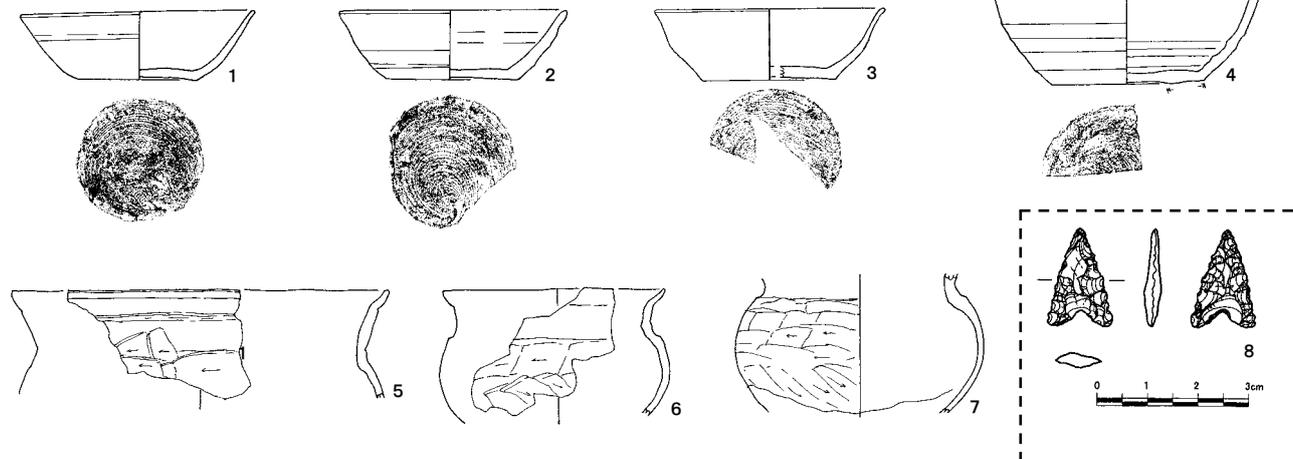
土坑1 出土遺物

1は須恵器蓋形土器、口径(現存1/3)18.3 cm。高さ3.2 cm。色調暗青色白色針状物質を多量に含む。3 mm程度の石英等を含む。上面に回転糸切りにより切り離し痕、上面・図の矢印の範囲は周辺部回転ヘラ削り調整痕あり。

第25表 松山遺跡第55地点掘立柱建物跡ピット一覧表(単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	長方形	106 × 83	70 × 21	29.4	
P2	方形	100 × 90	30 × 24	78.7	
P3	方形	120 × 97	91 × 80	56.4	
P4	長方形	127 × 96	66 × 47	68.9	
P5	不明	94 × (90)	9 × 6	65.7	
P6	不明	95 × (39)	80 × (25)	46.6	
P7	不明	67 × (25)	48 × 4	31.1	

H40 号住居跡



土坑1



第36図 松山遺跡第55地点 H40 号住居跡・土坑1 出土遺物 (2/3・1/4)

第6章 東久保遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東大久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、市立亀久保小学校が建ち、区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川の間には平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して亀久保堀跡遺跡が位置する。本遺跡の調査は1976年以来2013年12月現在、70地点で試掘調査および発掘調査を行っている。これまでの調査で、旧石器時代礫群、縄文時代の落とし穴・土坑・集石土坑など、中近世は溝や柵跡が確認されている。

II 東久保遺跡第69地点

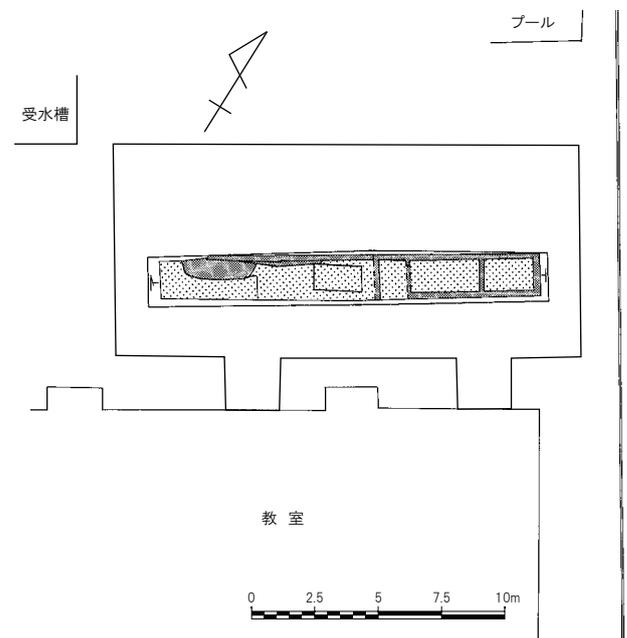
(1) 調査の概要

調査は小学校増築に伴うもので、ふじみ野市長より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年12月1日付け

で市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東部に位置するため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2011年3月28日に行った。幅約2mのトレンチ1ヶ所を設定し、重機で表土除去後に表面精査を行ったが遺構遺物は確認されなかった。

遺構確認面までの深さは約150cmである。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第38図 東久保遺跡第69地点調査区域図(1/300)



第37図 東久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第7章 駒林遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高12～15m前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北300m、東西800mの範囲であったが、2002年から2004年に行った駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大溝を検出した南北160m、東西80mの範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として2004年3月に追加した。第3地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺140～160mの台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、2008年2月に遺跡範囲の変更増補を行った。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ部分的に畑が残っている。

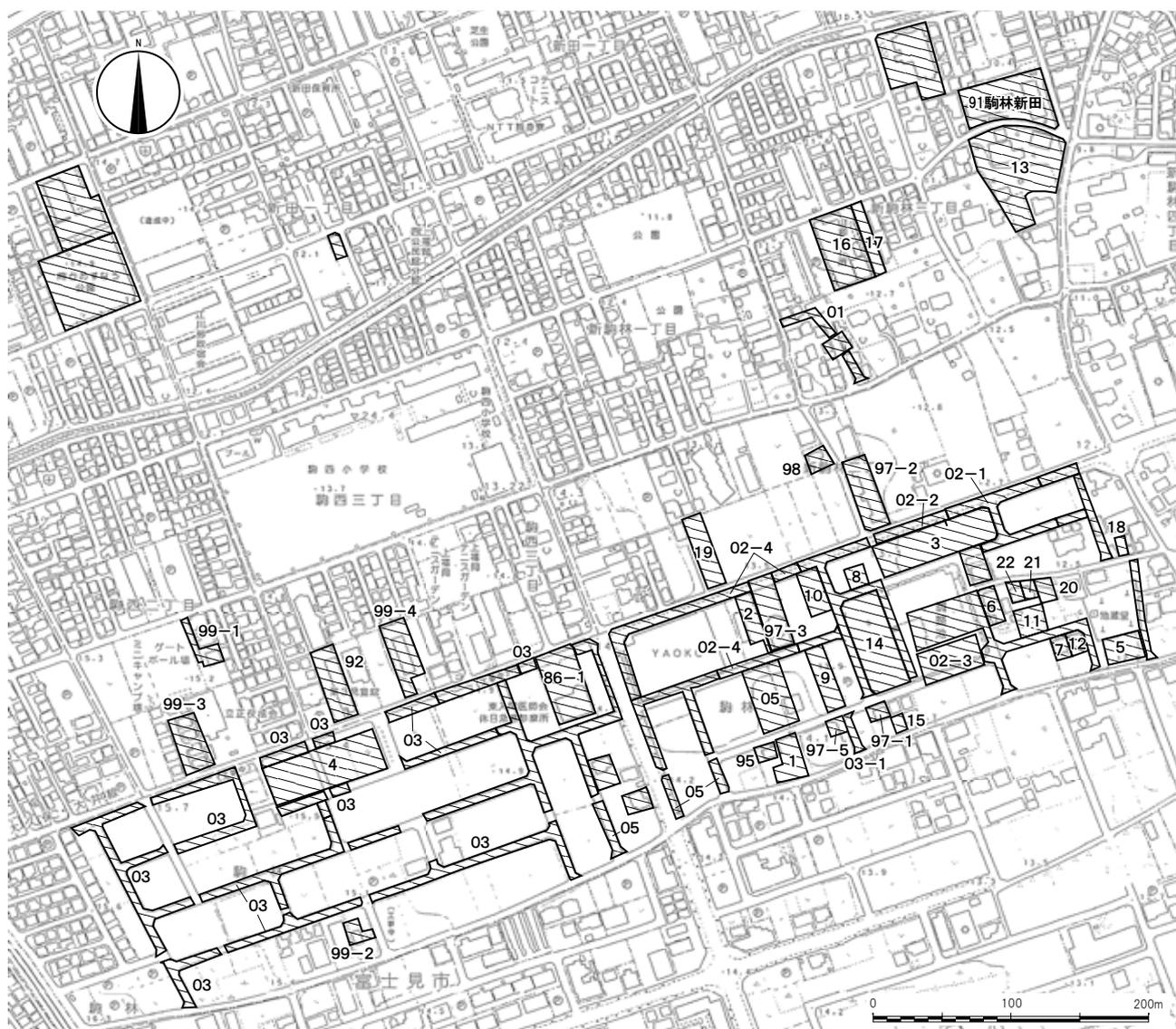
周辺の遺跡は、北側に葺石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側に地下式坑を検出した駒林新田前遺跡、500m下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。2002年以降の試掘調査の結果、幅5m、深さ2mの大溝や茶毘跡、縄文時代の集石土坑等を検出する。

II 駒林遺跡第11地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅の建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年3月1日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南東部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は同年4月12日から21日まで、幅約1



第39図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

～1.5 mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構らしき覆土3ヶ所を検出したので確認したが、遺物の出土はなく、時期不明のピットであった。遺構確認面までの深さは約60 cmである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、

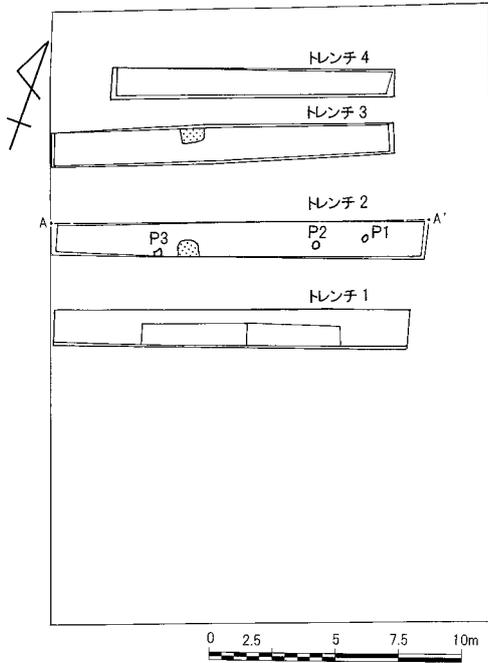
埋め戻して調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

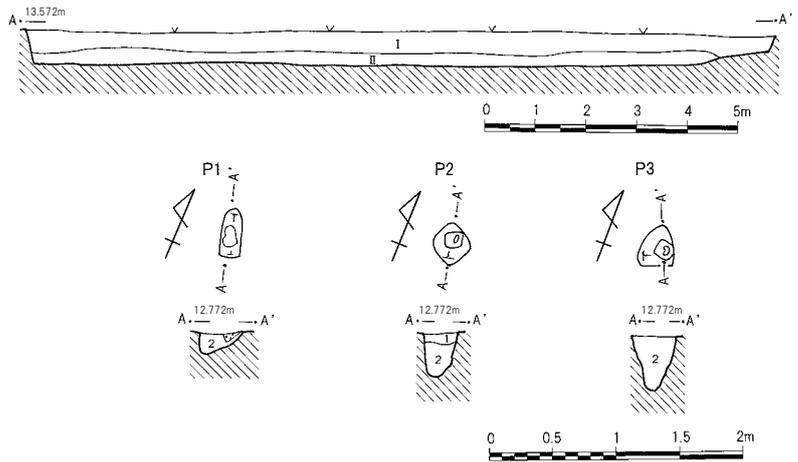
①ピット

3基検出した。出土遺物なく時期不明。

11 地点

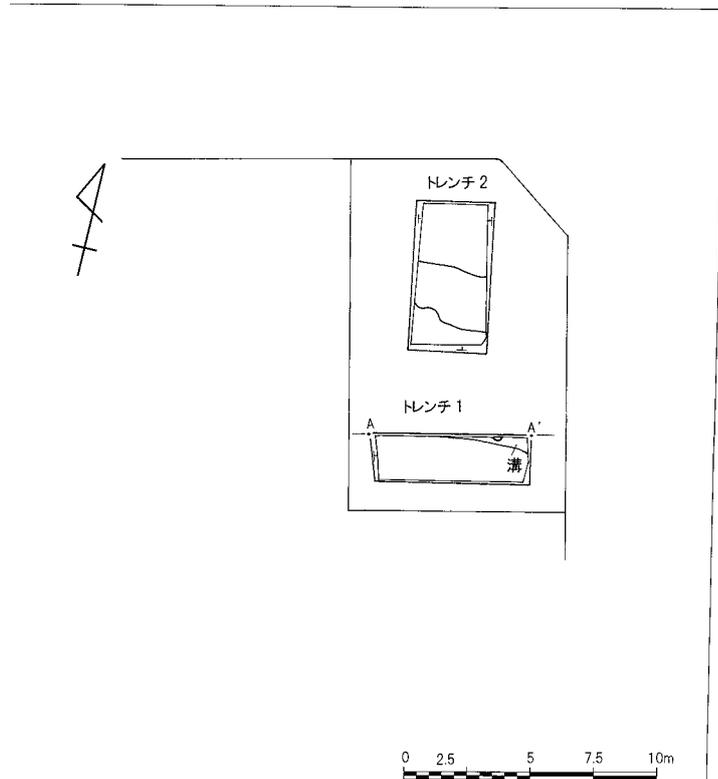


トレンチ 2

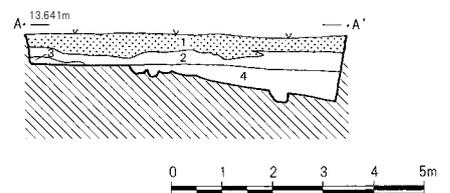


- I. 黒色土 締り弱、粘性有、表土耕作土
 - II. 黒色土+褐色土 締り弱、粘性有、地山ロームベースに10cm以下黒色土ブロックを多く斑状に含む、耕作土が天地返しのとみられる
 - III. 黒褐色土 締り強、粘性有、地山のソフトロームが黒色土化している
- ピット
- 1. 黒色土 締り弱、粘性有、ロームブロック(1.5cm以下)・粒(1mm以下)多く含む
 - 2. 黒色土 締り弱、粘性有、1層より黒色で、ローム粒(1mm以下)やや少ない他は層に同じ

12 地点



トレンチ 1



- 1. 客土 ローム・粘土塊を含む盛土
- 2. 軟質でスカスカしている、溝を覆っている黒褐色土
- 3. ローム混じる茶褐色土 締り有、やや緻密
- 4. 2層よりやや締る程度で、ロームもブロック状に含む、2層とのボーダーは判断しづらいが2層より黒色を呈している

第40図 駒林遺跡第11・12地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、ピット(1/60)

Ⅲ 駒林遺跡第12地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅の建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年7月2日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南東部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は同年7月14日に行い、幅約2mと3mのトレンチを1本ずつ設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構らしき覆土を検出したので確認した結果、調査区東側の5地点で検出した大溝と連続する可能性のある東西方向の溝であった。遺構確認面までの深さは約90cmであり、30cmの保護層が確保できるため、遺構保存を行うこととした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、埋め戻して調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

①溝1

東西方向に位置する。大溝として東側の第5地点の溝に続くと思われる。上幅7m、深さは確認していない。ロームブロックが混入する黒色土で覆われる。

Ⅳ 駒林遺跡第13地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2009年11月9日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北東部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年7月27日から29日まで、幅約1.5mのトレンチを5本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構らしき覆土を検出したので確認した結果、柵列状に並ぶピット群や土坑であった。土坑からは瓦や鉄滓が出土した。遺構確認面までの深さは約100～130cmであり、30cmの保護層が確保できるため、遺構保存を行うこととした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、埋め戻して調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

①土坑

2基検出した。土坑2は平面長方形を呈し、暗褐色

土と黒褐色土が薄い層をなして堆積する。近世丸瓦と製鉄関連の炉壁片出土。

②ピット

11基検出した。締りのある黒褐色土で埋まり、柵列状で南北方向に並ぶ。

第26表 駒林遺跡第11地点 ピット一覧表 (単位 cm)

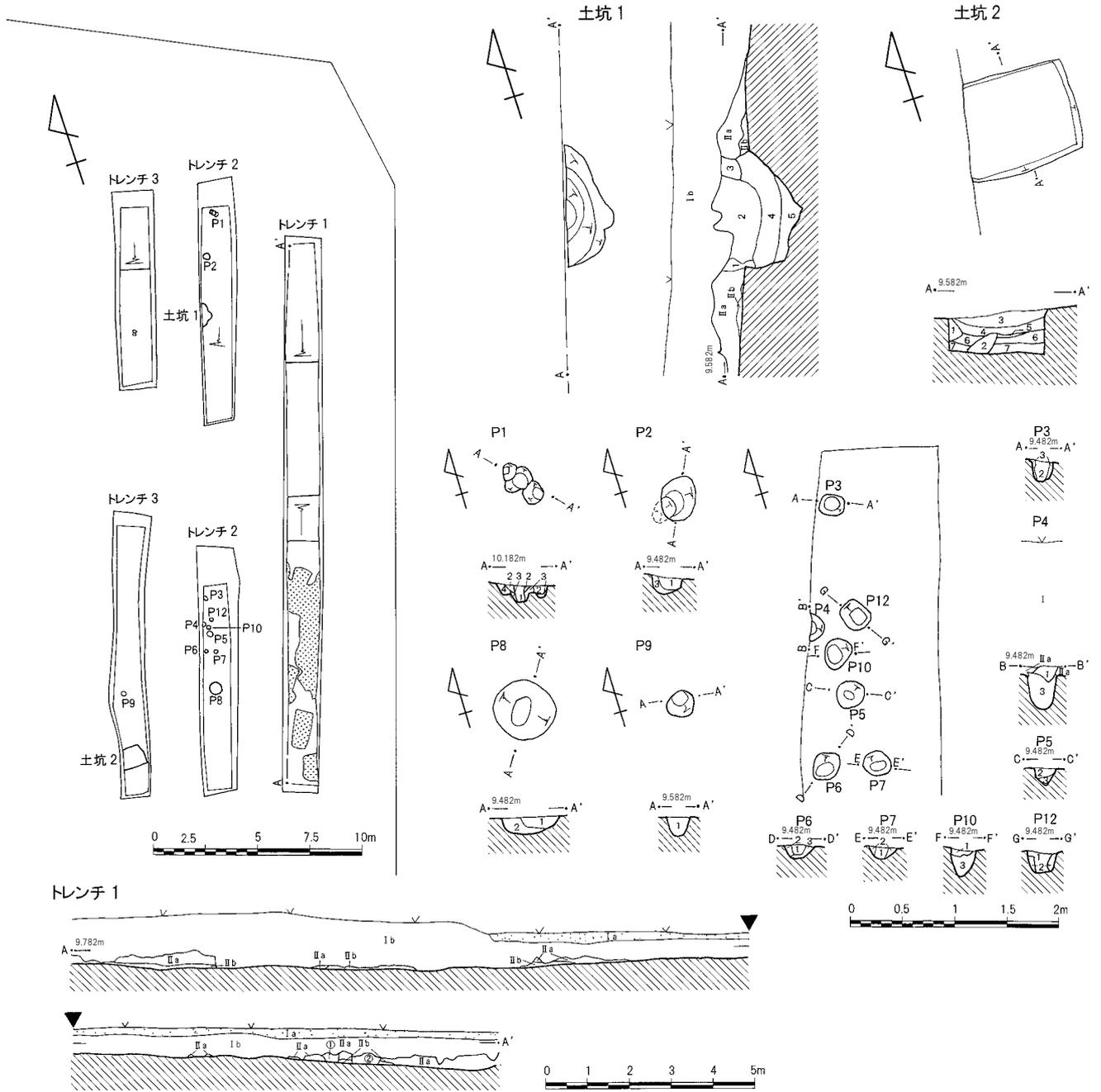
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	楕円形	39 × 16	19 × 12	23.8	
P2	方形	29 × 28	8 × 4	35.6	
P3	方形	33 × (24)	7 × 5	49.0	

第27表 駒林遺跡第13地点 土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	不明	(118) × (46)	(27) × (9)	57.1	
土坑2	長方形	(109) × 97	(102) × 88	45.3	

第28表 駒林遺跡第13地点 ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	不整形	50 × 31	15 × 14	25.6	
P2	方形	42 × 33	11 × 9	35.2	
P3	方形	25 × 20	15 × 13	30.5	
P4	不明	(28) × (13)	(12) × (5)	31.3	
P5	方形	27 × 27	10 × 8	16.9	
P6	方形	26 × 26	19 × 12	16.2	
P7	円形	28 × 23	17 × 10	15.2	
P8	方形	58 × 55	30 × 16	20.7	
P9	方形	27 × 26	14 × 13	24.5	
P10	方形	30 × 23	18 × 14	37.2	
P11	欠番				
P12	方形	28 × 26	15 × 14	31.1	



- I a. 表土 灰色碎石層
 I b. 表土 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロックを多く含む(北半は少ない目)
 II a. 自然堆積層 暗褐色土 締り強、粘性有、粒状の含有物をほとんど含まない
 II b. 自然堆積層 灰オリーブ色 締り強、粘性有、樹枝状もしくは斑状にローム土が混ざり、鈍い黄色味が有る
- ①・②暗褐色土 II bより黒色味強い、ローム粒・焼土(1mm以下)少し含む
- 土坑1
1. 黒褐色土 締り強、ソフトローム土をシミ状に少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、明黄褐色土粒(2~10mm)・赤褐色土粒(2~5mm)・炭化物(5~10mm)少し含む
 3. 黒褐色土 締り強、含有物は少なく、ローム粒(1mm以下)僅かに含む
 4. 黒褐色土 締り強、2層より黒色味強く、ローム粒・焼土・炭化物(5mm以下)、灰色粘土(1cm大)僅かに含む
 5. 黒褐色土 締り強、最上部に層厚1cmの黄灰色土、以下黒褐色土と暗褐色土が層厚1~2cm程度で互層を成す
- 土坑2
1. 黒褐色土 締り弱、粘性弱、粒状(5mm以下)の土が多く、ボソボソしている
 2. 黒褐色土 締り弱、粘性弱、ローム粒少し含む
 3. 暗褐色土 締り強、水平な赤・黒褐色土層(層厚2~3mm)を複数枚挟む、4層以下に比べややボソソ
 4. 暗褐色土 締り強、3層より色調明るめ、赤褐色土層(層厚5mm)を下部に挟む、黒褐色土は無い
5. 黒褐色土 締り強、黒褐色土の薄層
 6. 暗褐色土 締り強、ほぼ水平な赤褐色土層(層厚2~3mm)を複数枚挟む
 7. 暗褐色土 締り強、最上部に黒褐色土(層厚3~4cm)が有り全体に色調暗め、黒褐色土の下に赤褐色土(層厚5mm程度)を断続的に含む、立ち上がり付近はボソボソしている
- ピット1・2
1. 黒褐色土 締り強、淡い斑状にローム土少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、ローム土を含み色調明るい
 3. 灰オリーブ色 締り強、ローム土・黒褐色土を斑状に含む
 4. 黄褐色土 締り強、ローム土主体
- ピット3~5・10
1. 黒褐色土 締り強、色調明るめでローム粒(5mm以下)やや多く含む
 2. 黒褐色土 締り強、粒形はつきりしたローム粒(5mm以下)多く含む
 3. 黒褐色土 締り強、2層に似るが、ローム粒の他にブロック(1~6cm)も多く含む
 4. 黒灰色土 締り強、ローム土・粒を多く含む
- ピット6・7・9・12
1. 黒褐色土 締り強、ローム粒僅かに含む
 2. 黒褐色土 締り強、ソフトローム土をやや多く含む
 3. 黒褐色土 締り強、斑状にロームブロック多く含む
- ピット8
1. 暗褐色土 締り強、含有物少ない、ローム粒僅かに含む
 2. 暗褐色土ベース 締り強、淡い斑状にローム土を多く含む

第41図 駒林遺跡第13地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、土坑・ピット(1/60)

V 駒林遺跡第14地点

(1) 調査の概要

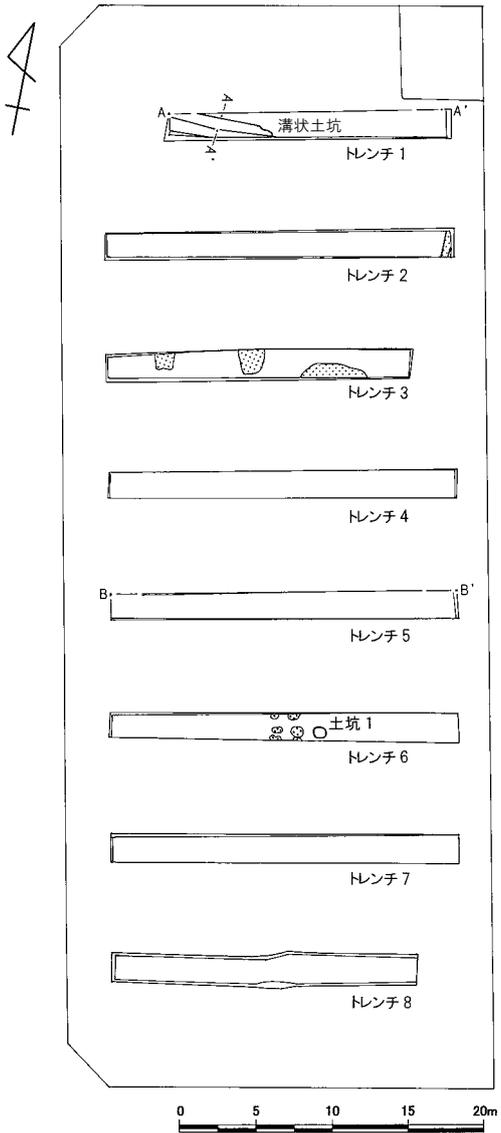
調査は公園工事に伴うもので、駒林土地区画整理組合より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年5月20日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年9月1日から8日まで、幅約2mのトレンチを8本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構らしき覆土を検出したので確認した結果、時期不明の土坑1基と、近世以降の溝状土坑（イモピツ）であった。遺物の出土はない。遺構確認面までの深さは約50cmである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、埋め戻して調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

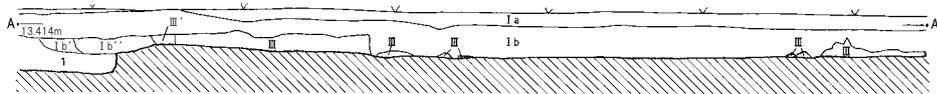
(2) 遺構と遺物

① 土坑1

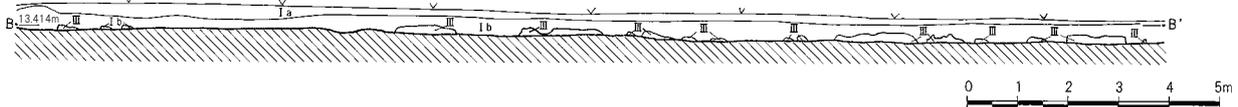
調査区中央南寄りに位置する。平面形態は円形で上端規模98×97cm、下端77×74cm、確認面からの深さ11cmである。出土遺物なく、時期不明。



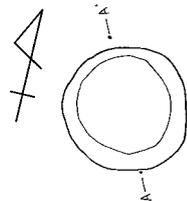
トレンチ1



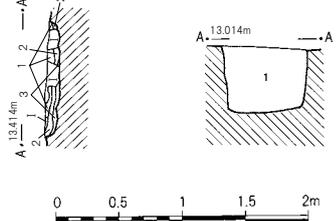
トレンチ5



土坑1



溝状土坑



- I a. 暗・黒褐色土 灰白色砂礫や青灰色碎石を多く伴う整地層
- I b. 黒褐色土 上部にローム粒やや多く、下部にロームブロックを多く伴う耕作土
- I b'. I bのうち5～10mmロームブロック少し含む
- I b''. I bのうち1cm以下ロームブロック・粒多く含む
- III. 地山ローム
- III'. ローム主体、シミ状に黒褐色土を含む
- 土坑1
- I. 表土・耕作土 土坑1覆土に比べ灰色味が有り、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
- 1. 黒褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し、焼土(1mm以下)僅かに含む
- 2. 黒褐色土 締り有、粘性有、色調黒色味強く、ローム粒(5mm以下)少し含む
- 3. 暗褐色土 締り有、粘性有、ロームブロック(5～10mm)多く含む
- 溝状遺構
- 1. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、ロームブロック(最大9cm、平均3cm以下)多く含む

第42図 駒林遺跡第14地点遺構配置図(1/500)、土層図(1/150)、土坑・溝状土坑(1/60)

VI 駒林遺跡第 15 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅の建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 12 月 28 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南東部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

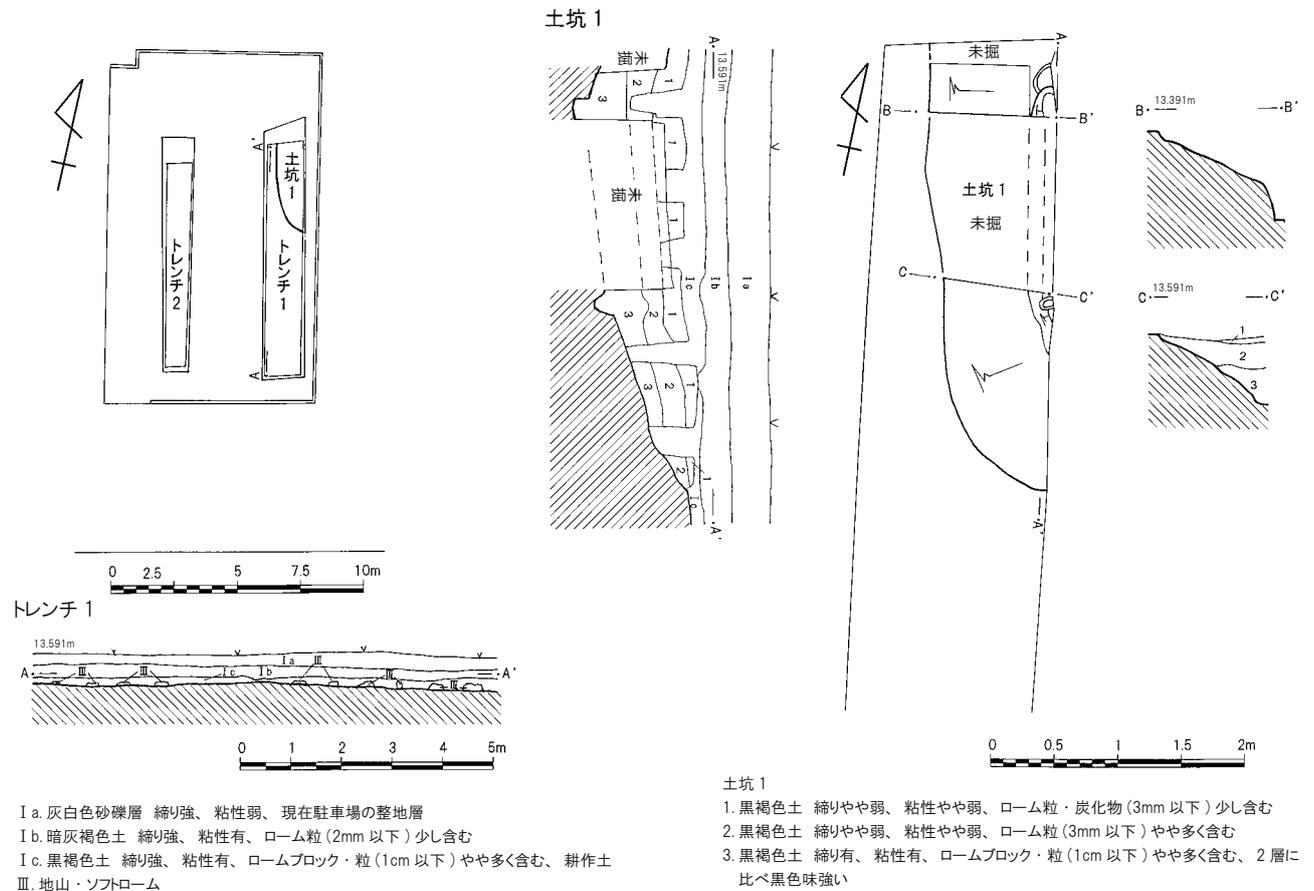
試掘調査は 2011 年 2 月 16 日から 17 日に、幅約 1 m と 1.5 m のトレンチを 1 本ずつ設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構らしき覆土を検出したので確認した結果、土坑もしくは溝であった。遺構確認面までの深さは約 70 cm であり、30

cm の保護層が確保できるため、遺構保存を行うこととした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、埋め戻して調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

①土坑 1

調査区北西部に位置する。北と東は調査区域外のため平面形態は不明だが、端部は楕円形を呈する。溝の可能性もある。検出した上端規模南北 357 cm × 東西 103 cm、下端 182 cm、確認面からの深さ 92 cm である。出土遺物はないが、時期はおそらく中世以降。



第 43 図 駒林遺跡第 15 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、土坑 (1/60)

第8章 東中学校西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東中学校西遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川の間、標高は20.0～21.0mの低位台地に位置する。現在は平坦であるが、区画整理事業以前は遺跡の北側に、西から北東側にかけて埋没河川(現在用水路)が流れ、東側には僅かな窪地もみられた。遺跡は埋没河川と窪地の縁に位置するが、遺構は埋没河川からやや離れた遺跡の中央部から西部にかけて分布する。周辺の遺跡は、前述した埋没河川を隔てた北側約50mに東久保西遺跡、南東に東久保南遺跡が隣接する。

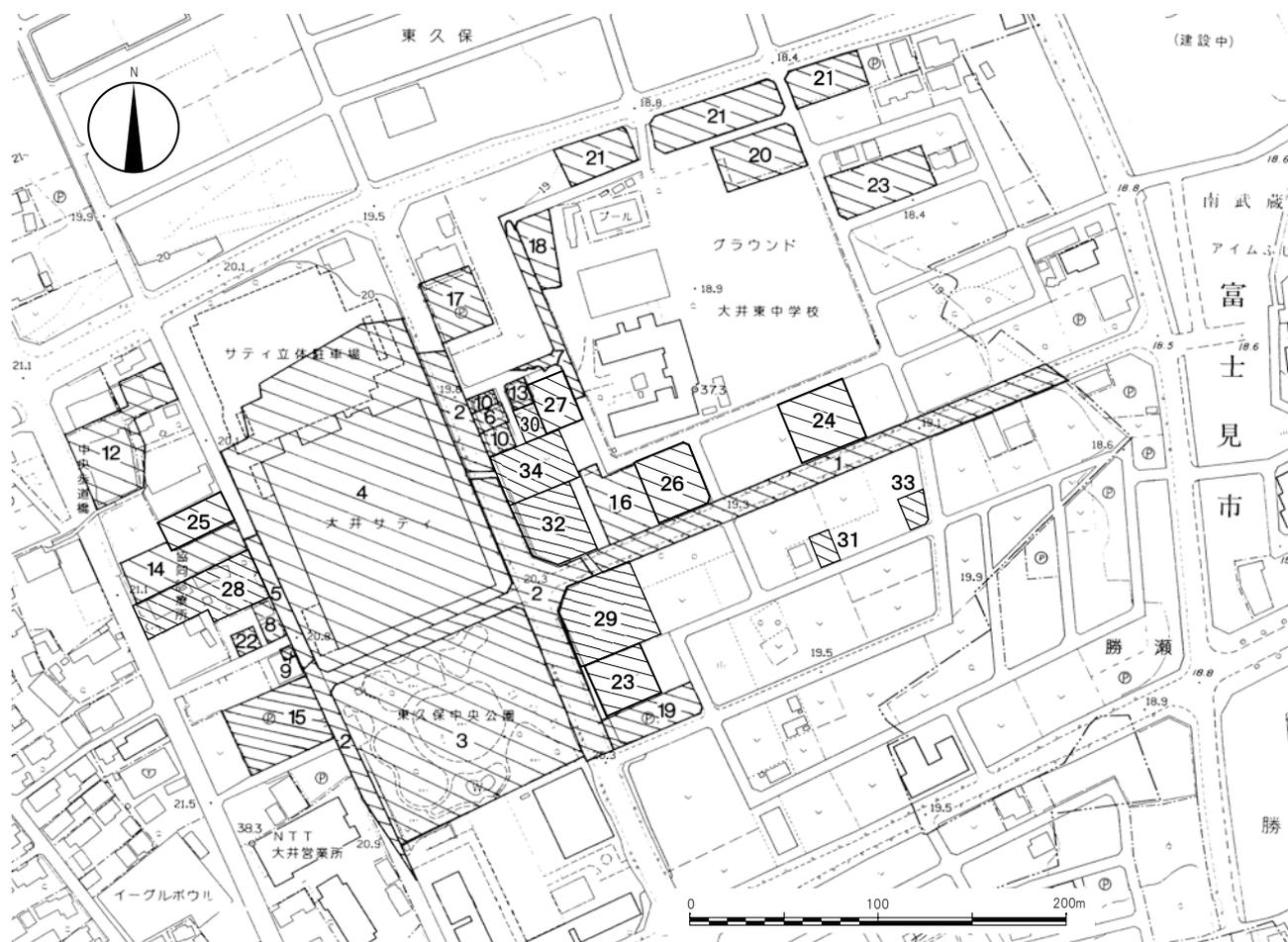
遺跡の時期は縄文時代では早期の炉穴群、縄文時代中期前葉の屋外埋甕、落とし穴や集石土坑などを検出している。中・近世では墓壇・溝・柵列などが確認されている。本遺跡の調査は1995年以来2013年12月現在、34ヶ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

II 東中学校西遺跡第34地点

(1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年12月27日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は2011年2月2日から3日まで行った。幅約1.5mのトレンチを3本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。

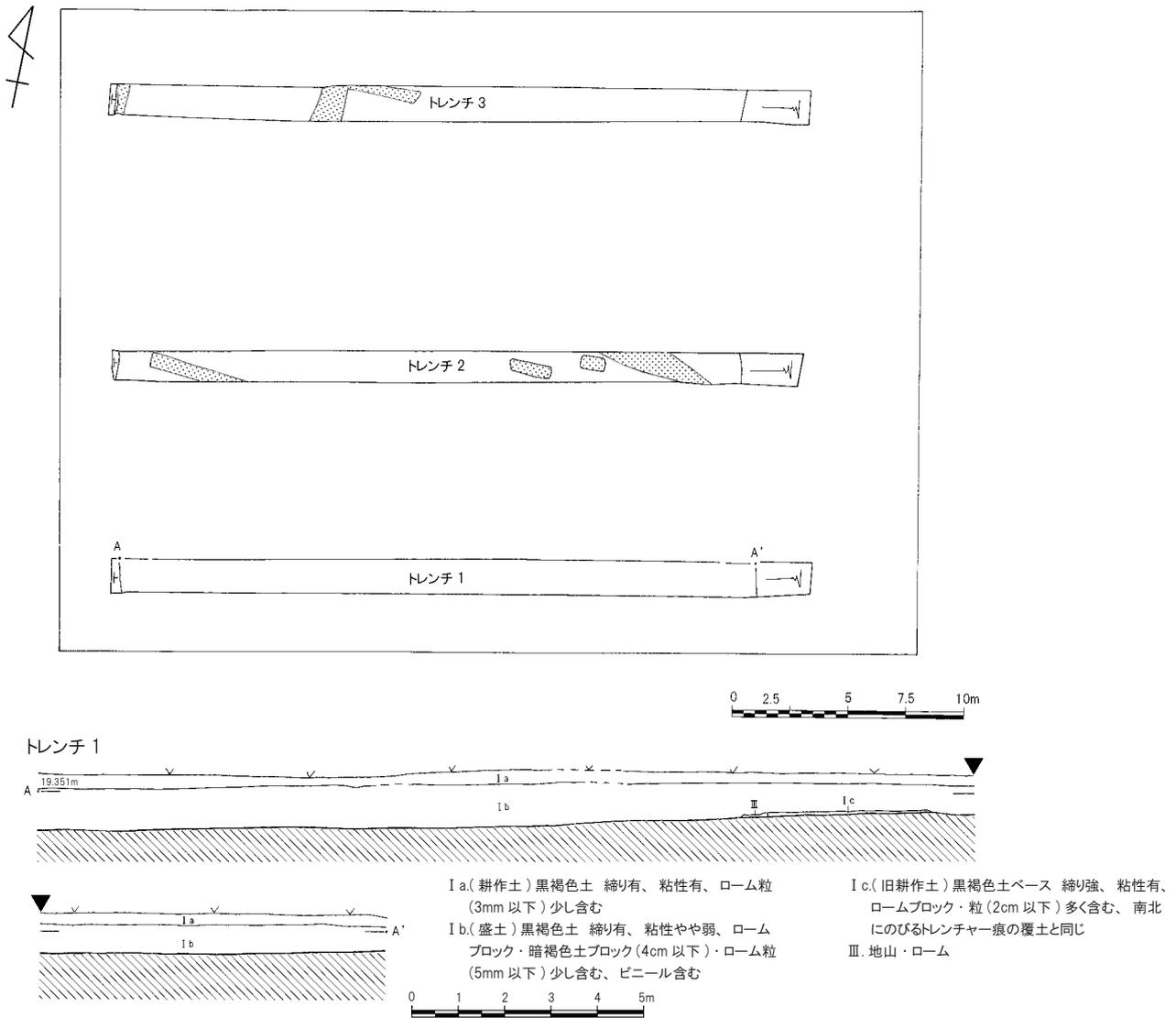
遺構・遺物を検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。遺構確認面まで60～120cmを測り、南側が深くなっている。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第44図 東中学校西遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第29表 東中学校西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保 5511,526,531 他	1994.10.6 ~ 11.9	3,168	区画整理道路	縄文:土坑1、ピット8	遺跡調査会報告第14集
2	亀久保 466-1 他	<A区>1996.10.7 ~ 11.15	3,308	区画整理道路	縄文早期: 炉穴26、集石 土坑1、落とし穴4、土坑2、 ピット26、中近世の溝5	遺跡調査会報告第14集
		<B区>1996.12.12 ~ 17				
		<C区>1997.3.5 ~ 19	1,168			
		<D区>1997.6.12 ~ 19				
<E区>1997.7.8 ~ 8.8	880					
<F区>1996.1.18 ~ 31						
<G区>1996.1.25						
3	東久保 465,500 他	(1996.8.29 ~ 9.13) 1996.10.7 ~ 21	10,200	区画整理公園	縄文: 落とし穴1、溝1、 土坑6、ピット4、石鏃1	町内遺跡群VI・ 遺跡調査会報告第14集
4	東久保 326 他	(1997.2.6 ~ 10.29) 1997.6.12 ~ 8.8	24,681	店 舗	縄文: 落とし穴3、集石土 坑2、屋外埋喪1、近世: 土坑1、溝9、柵列1、ピッ ト多数	町内遺跡群VI・VII・遺跡調 査会報告第14集
5	東久保 487 - 1,474 - 4 他	1997.6.12 ~ 7.24	688	区画整理道路	縄文早期: 炉穴6、落とし 穴1、溝2、ピット2	遺跡調査会報告第14集
6	亀久保 325-1,7,8,9	(1997.6.26 ~ 27)	136	事務所	遺構・遺物無し	町内遺跡群VII
7	東久保 402-1 他	1997.7.21 ~ 31	636	区画整理道路	柵列1、ピット5	遺跡調査会報告第14集
8	東久保 44 街区 13,14 画地	1997.8.5 ~ 9	252	個人住宅	縄文: 落とし穴1、溝1、 ピット9、(落とし穴は第 5地点で報告)	町内遺跡群VII
9	東久保 45 街区 2,3 画地	(1997.8.19 ~ 9.1)	325	個人住宅	溝2、ピット9	町内遺跡群VII
10	東久保 42 街区 1 画地	(1997.12.10 ~ 20)	135	店 舗	遺構・遺物無し	町内遺跡群VII
12	東久保 44 街区 3,23,24 画地	(1998.1.6 ~ 24)	1,879	店 舗	遺構・遺物無し	町内遺跡群VII
13	東久保 2 街区 12 画地	(1998.6.9 ~ 11)	218	専用住宅	ピット1	町内遺跡群VIII
14	東久保 44 街区 11,20,26 画地	(1998.6.23 ~ 26)	1,231	共同住宅	ピット2、風倒木痕	町内遺跡群VIII
15	東久保 45 街区 1,4,6 画地	(1998.8.17 ~ 24)	2,649	店舗専用駐車 場	中世以降:ピット2	町内遺跡群VIII
16	東久保 42 街区 6 画地	(1998.8.17 ~ 31)	1,347	店舗専用駐車 場	ピット2	町内遺跡群VIII
17	東久保 38 街区 7,8 画地	(1998.8.19 ~ 24)	1,131	店舗専用駐車 場	縄文: 石鏃1	町内遺跡群VIII
18	亀久保 319-1	(1999.2.8 ~ 24)	850	テニスコート	ピット5、柵列1	町内遺跡群VIII
19	東久保 52 街区 8 画地	(1999.3.17)	944	アphalt駐車場	遺構無し、陶器2	町内遺跡群VIII
20	東久保 39 街区 1 画地	(1999.6.16 ~ 7.19)	900	区画整理調整 池	溝1、ピット26	町内遺跡群IX
21	東久保 37 街区 1 ~ 3 画地	(1999.11.18 ~ 12.9)	1,311	店 舗	縄文: 土坑1、溝3、ピッ ト23	町内遺跡群IX
22	東久保 44 街区 15 画地	(2000.3.7 ~ 9)	150	個人住宅	中世以降: 溝1、ピット5	町内遺跡群IX
23	東久保 33 街区 6 画地	(2003.8.5 ~ 13)	1,233	共同住宅	焼土跡1、ピット1	町内遺跡群XII
23	ふじみ野 4-1-6 の一部	(2005.5.24 ~ 30)	926	店 舗	土坑1	市内遺跡群2
24	ふじみ野 3-9-5	(2005.6.20 ~ 7.7) 2005.7.11 ~ 13	1,425	店 舗	縄文時代早期: 炉穴5	市内遺跡群2
25	ふじみ野 1-1-9,10	(2005.6.28 ~ 7.2)	604	分譲住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群2
26	ふじみ野 3-10-8 ~ 11	(2006.1.5 ~ 10)	1,060	店 舗	遺構・遺物無し	市内遺跡群2
27	ふじみ野 3-10-3 の一部-4	(2006.1.11)	120	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群2
28	ふじみ野 1 丁目 1-13,14,15,32,23	(2006.4.24 ~ 5.10)	1,568	共同住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群3
29	ふじみ野 4 - 4 - 1	(2006.5.15 ~ 19, 7.28 ~ 8.1)	2,004	店舗	縄文: 土坑検出	市内遺跡群3
30	ふじみ野 3-10-13	(2006.7.3)	634	保育所	遺構・遺物無し	市内遺跡群3
31	ふじみ野 4-3-14	(2008.2.14)	165	個人住宅	遺構・遺物無し	市内4
32	ふじみ野 3-10-12	(2008.6.13 ~ 25)	1,231	分譲及び店舗	遺構・遺物無し	市内6
33	ふじみ野 4-3-8 の一部	(2008.10.3)	215	個人住宅	遺構・遺物無し	市内6
34	ふじみ野 3-10-6	(2011.2.2 ~ 4)	1,032	宅地造成	遺構・遺物無し	市内10



第 45 図 東中学校西遺跡第 34 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)

第9章 東久保南遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保南遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐさかい川の谷頭部から、約400～500m程下った左岸に位置している。標高19～21mで現谷底との比高差は1m以下でほぼ平坦である。現在は盛土されているが、東端には大雨の時に冠水して池になる窪地がみられた。さかい川は富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源をもつ伏流水で現在は下水路となっている。なお、富士見市にも遺跡範囲は広がっており、同じ東久保南遺跡で登録され、同遺跡と接して「オトウカヤマ」と呼ばれる塚があり、1982年と1999年に富士見市教育委員会により試掘調査が実施されている。

周辺の遺跡はさかい川の対岸に縄文時代中期の大規模集落である西ノ原遺跡、さかい川下流には縄文時代中期後半の集落である中沢遺跡がある。

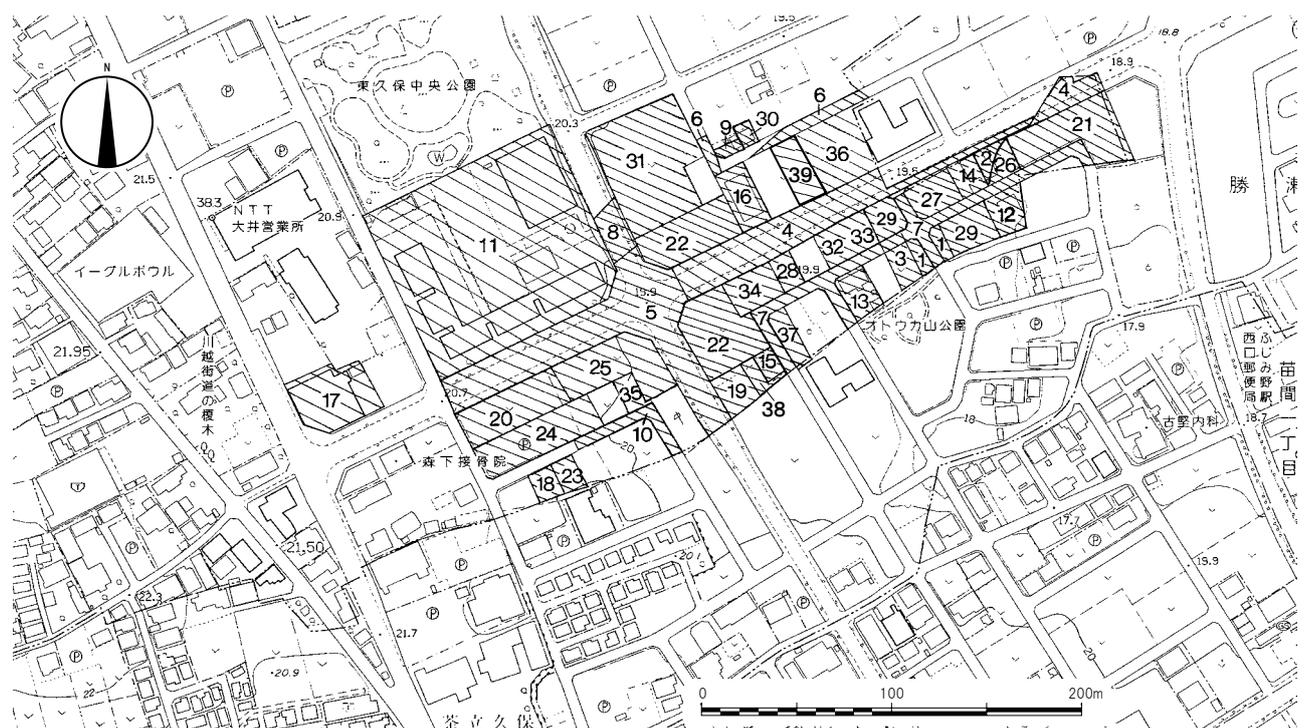
1981年以来2013年12月現在39ヶ所で調査が行われ遺跡全体の90%を調査し、縄文時代中期の住居跡2軒、奈良・平安時代の住居跡4軒（1軒は富士見市域内）、縄文時代の落とし穴・土坑・炉穴や時期不明の溝跡が確認されている。遺跡の現況は区画整理事業がほぼ完了し、町内でも開発が最も活発な地域である。

II 東久保南遺跡第38地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年9月22日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央南端に位置しているため申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

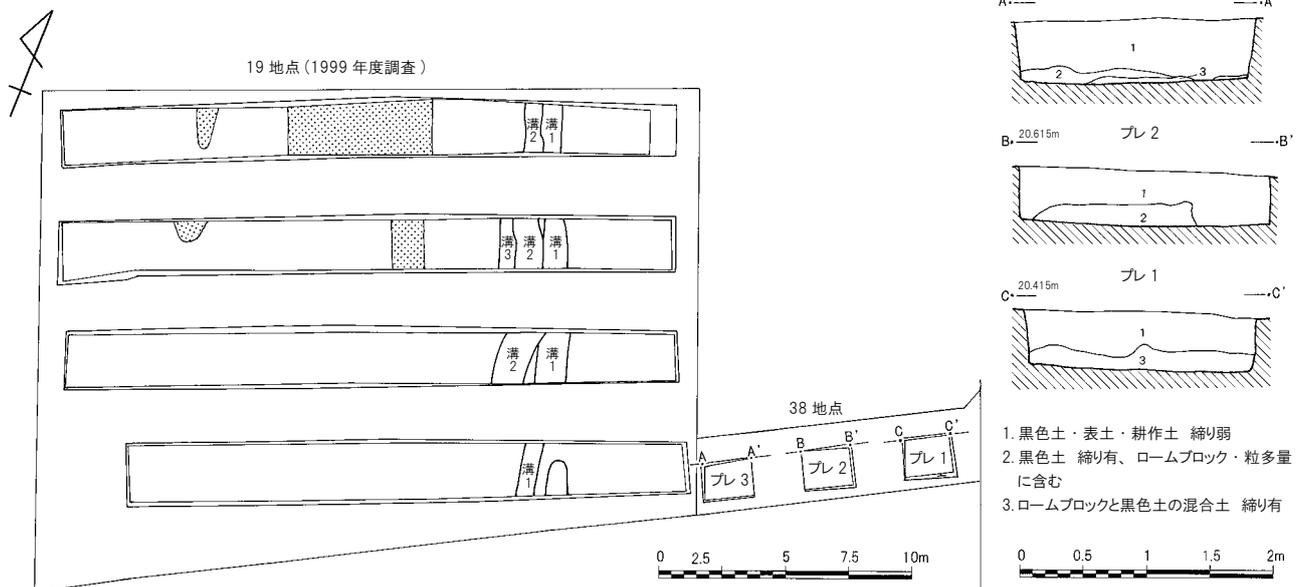
試掘調査は2010年10月13日に行った。幅約1.5×2mのグリッドを3ヶ所設定し、人力により表土除去と表面精査したが遺構の検出はなかった。縄文土器片、近世陶磁器片等が僅かに出土した。遺構確認面まで40cmを測る。写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第46図 東久保南遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第30表 東久保南遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保字東久保 547	S56.11.24 ~ 56.12.14	320	農地天地返し	溝1本、縄文土器、石器、近世：内耳土器3点	東部遺跡群Ⅲ
2	亀久保字東久保 546-2	S58.5.30 ~ 58.6.2	264	住宅建設	ピット1	東部遺跡群Ⅴ
3	亀久保字東久保 549-4	S58.6.7 ~ 58.7.4	326	住宅建設	溝1本、縄文土器、寛永通寶1点	東部遺跡群Ⅴ
4	亀久保 549-1 他	H5.12.1 ~ 6.3.18	1,680	区画整理道路	縄文中期：住居跡1軒、落し穴1基、炉穴3基、土坑8基、ピット37、平安：住居跡1軒、中世以降：溝6本、縄文土器等コンテナ1箱、須恵器、土師器	大井遺跡調査会 14集
		H6.9.26 ~ 6.11.22				
5	亀久保 557-1、559、560 他	H6.9.26 ~ 6.12.19	2,500	区画整理道路	縄文：土坑2基、ピット12、旧石器1点、縄文土器片	大井遺跡調査 14
		(H8.6.17 ~ 8.6.21)				
6	亀久保 551-4 他	H7.6.20 ~ 7.7.11 H7.11.22 ~ 7.12.6	480	区画整理道路	縄文：土坑3基、ピット24、溝1本、縄文土器片、陶磁器片	大井遺跡調査会 14集
7	亀久保 554 他	H7.7.12 ~ 7.12.5	1,500	区画整理道路	縄文：落し穴1基、土坑39基、ピット60、近世：溝6本、 柵列1本、縄文土器片、陶磁器片	大井遺跡調査会 14集
		H8.8.23 ~ 8.8.26				
8	亀久保 494 他	H7.11.16 ~ 7.12.13	467	区画整理道路	縄文：土坑7基、ピット48、縄文土器片	大井遺跡調査会 14集
		H8.2.14 ~ 8.2.22				
9	東久保 518-1	(H8.7.1 ~ 8.7.3)	225.02	個人住宅	縄文早期：炉穴1基、ピット2、近世以降：溝1本	町内遺跡群Ⅵ
10	亀久保 562 他	H8.8.19 ~ 8.8.26	440	区画整理道路	ピット1	大井遺跡調査 14
11	東久保 464、499 他	(H8.11.22 ~ 9.1.31)	10,500	共同住宅	時期不明：ピット7、土坑1基、溝8本	町内遺跡群Ⅵ
12	東久保 64 街区1画地	(H9.5.8 ~ 9.5.16) H9.5.19 ~ 9.6.7	446	個人住宅	縄文：落し穴1基、平安：住居跡1軒、土坑1基、須恵器・土師器	町内遺跡群Ⅶ
13	東久保 62 街区1・2・3画地	H9.8.25 ~ 9.9.1	460	個人住宅	縄文：土坑1基、ピット4、溝1本	町内遺跡群Ⅶ
14	東久保 63 街区2画地	(H10.6.23 ~ 10.7.1)	333	個人住宅	縄文：落し穴1基、屋外炉跡2基、土坑1基、ピット4、 溝1本	町内遺跡群Ⅶ
15	東久保 60 街区6画地	(H10.7.4 ~ 10.7.9)	143	個人住宅	縄文：落し穴1基	町内遺跡群Ⅶ
16	東久保 59 街区3画地	(H10.12.12 ~ 10.12.14)	541	共同住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅶ
17	東久保 46 街区9・10・17画地	(H11.1.27 ~ 11.2.3)	1,264	自動車ショールーム	ピット9、溝1本	町内遺跡群Ⅶ
18	東久保 48 街区4画地	(H11.5.14 ~ 11.5.18)	202	個人住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群Ⅸ
19	東久保 60 街区6画地	(H11.7.8 ~ 11.7.12)	466	駐車場	溝状のフラン3本確認	町内遺跡群Ⅸ
20	東久保 49 街区1画地	(H11.12.22 ~ 12.1.15)	1,106	店 舗	遺構・遺物無し	町内遺跡群Ⅸ
21	東久保 64-1 街区	(H13.1.15 ~ 13.1.31)	1,283	共同住宅	遺構・遺物無し、水成堆積した黒色土を確認	町内遺跡群Ⅹ
22	東久保 60 街区1画地	(H13.2.4 ~ 13.2.15) H13.2.14 ~ 13.2.26	2,703	中古車展示場	縄文早期：集石土坑1基、炉穴14基、落し穴1基、ピット11、中・近世：溝2本、縄文土器、石器	町内遺跡群Ⅹ・ 大井遺跡調査 14
23	東久保 48 街区6画地	(H13.3.7 ~ 13.3.8)	208	個人住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群Ⅹ
24	東久保 49 街区6画地	(H13.4.2 ~ 13.4.8)	1,051	共同住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅠ
25	東久保 49 街区2・3画地	(H13.9.26 ~ 13.10.12)	1,388	中古車展示場	溝4本、ピット33	町内遺跡群ⅩⅠ
26	東久保 63 街区3画地	(H13.10.30 ~ 13.11.1)	208	店 舗	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅠ
27	東久保 63 街区1画地	(H14.5.29 ~ 14.6.7)	610	共同住宅	試掘調査、整理作業中	町内遺跡群ⅩⅡ
28	東久保 549-1、5503 (60 街区3・4画地)	(H14.9.13 ~ 14.9.21)	322	共同住宅	試掘調査、整理作業中	町内遺跡群ⅩⅡ
29	東久保 64-1 街区1・4画地	(H15.3.17 ~ 15.3.20) H15.3.24 ~ 15.4.7	736	駐車場造成	試掘調査後本調査、縄文中期：住居跡1軒、炉穴12、 土坑3、奈良・平安：住居跡1軒、溝3本、縄文土器、石器、土師器	大井遺跡調査会 14集
30	東久保 58 街区13画地	(H15.8.4 ~ 15.8.5)	164	個人住宅	試掘調査、整理作業中	町内遺跡群ⅩⅡ
31	東久保 59 街区1・2画地	(H15.8.21 ~ 15.10.5) H15.9.3 ~ 15.10.2	2,948	店 舗	試掘調査後本調査、縄文早期：炉穴32、土坑6基、ピット19、溝1本、縄文土器	大井遺跡調査会 14集
32	ふじみ野 4 丁目9-4の一部 (60 街区4画地)	(H16.1.26 ~ 16.1.29)	289	店 舗	試掘調査、整理作業中	町内遺跡群ⅩⅡ
33	ふじみ野 4 丁目9-4	(H16.7.8 ~ 16.7.9)	354	店 舗	試掘調査、整理作業中	町内遺跡群ⅩⅡ
34	ふじみ野 4 丁目9番2号 (60 街区2画地)	(H16.7.8 ~ 16.7.12)	555	共同住宅	試掘調査、整理作業中	町内遺跡群ⅩⅡ
35	ふじみ野 1 丁目5番8号	(H17.1.17)	194	個人住宅	試掘調査、整理作業中	町内遺跡群ⅩⅡ
36	ふじみ野 4 丁目8番7号	(H17.1.21 ~ 1.27) H17.2.2 ~ 2.17	1,005	事務所建設	縄文：落し穴1基、土坑2基(風倒木痕)、溝3本、 縄文土器片	町内遺跡群ⅩⅡ 大井遺跡調査 14
37	ふじみ野 4 丁目10-1	H17.1.7	695	駐車場	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅡ
38	ふじみ野 4 丁目9-11、12	H22.10.13	177	個人住宅	遺構なし、縄文土器片、近世陶磁器片	市内遺跡群 10



第47図 東久保南遺跡第38地点調査区域図(1/300)、土層図(1/60)

第10章 西ノ原遺跡の調査

遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東

久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40%が調査されてきている。1971年以来2013年12月現在で158地点に及び調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、180軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。

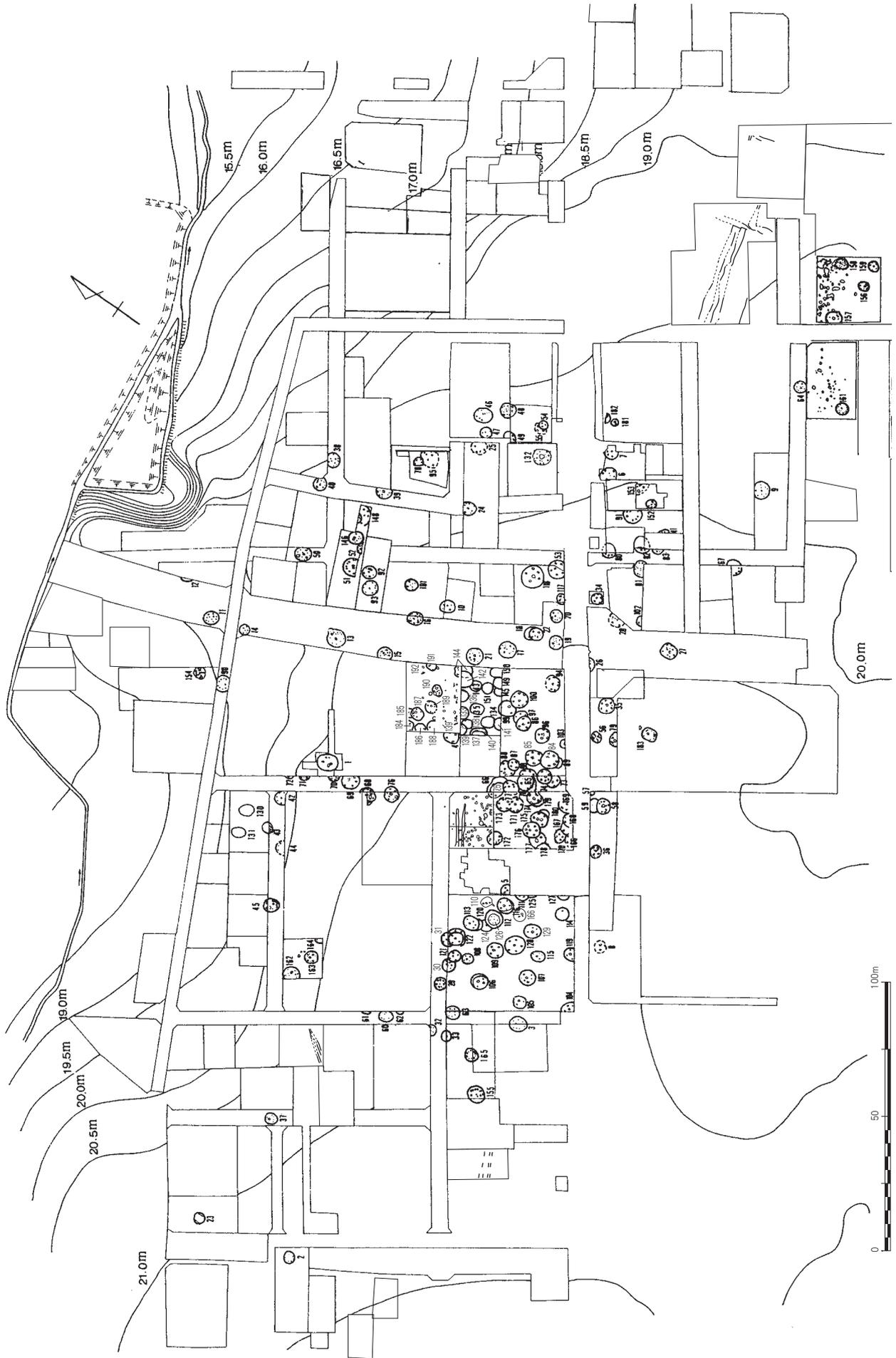


第48図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第 31 表 西ノ原遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1		1971			住居跡 1、土坑 3、集石土坑 1	町資
2	西ノ原 83	1978.12.6 ~ 12.26	270	宅地造成	住居跡 1、溝 2、旧石器、縄文時代土器	1979「西ノ原遺跡」
3		1979.3		宅地造成	土器片のみ出土	
4	西ノ原 125-1	1979.7.2 ~ 7.9	668	宅地造成	遺構なし、縄文中期土器	東
5		1979.8.1 ~ 8.14		町史編纂事業	住居跡 1、土坑 1、早期炉穴 2、縄文中期土器	大井町史料 7集
6	西ノ原 170-2	1980.6.19 ~ 6.27	450	宅地造成	土坑 2、柱穴 2、堀之内 式土器他	東
7	西ノ原 96-1	1980.10.1 ~ 10.29	563	宅地造成	旧石器群 2、縄文土坑 1	東
8	西ノ原 95-2.3	1980.10.30 ~ 11.14	661	宅地造成	縄文集石土坑 2、土坑 1、溝 2、縄文中期土器	東
9	西ノ原 93-198-1	1981.6.1 ~ 6.23	600		柱穴 6、溝 2、石器、土器	東
10	西ノ原 180-2	1981.11.4 ~ 11.13	400	個人住宅	柱穴 11	東
11	西ノ原 143-4	1983.5.23 ~ 5.27	198	宅地造成	縄文土坑 1、縄文中期土器	東
12	西ノ原 123-3	1983.7.6 ~ 8.11	330		縄文中期住居跡 2、縄文土坑 39	東
13	西ノ原 114-6	1983.9.13 ~ 10.18	350		縄文中期住居跡 1、縄文土坑 56、集石 1、溝 1	東
14	西ノ原 143	1983.10.24 ~ 11.7	240		縄文中期住居跡 2、縄文土坑 3、集石 1、溝 1	東
15				共同住宅	縄文土坑 2、ピット 6	東
16					遺構なし	
17	西ノ原 135-3	1985.5.13 ~ 5.22	165	宅地造成	縄文土坑 2、溝 1	東
18	西ノ原 141-2	1985.7.26 ~ 8.5	569	宅地造成	縄文中期住居 1、縄文土坑 1、ピット群	東
19	西ノ原 135-1	1986.7.8 ~ 7.21	230	住宅	縄文中期住居 1、縄文土坑 1、屋外埋裏 2	東
20	西ノ原 135-1	1986.11 ~ 1987.4	3,553	区画道路	縄文早期炉穴 4、中期住居跡 12、竪穴状遺構、屋外埋裏 2、落とし穴 5、土坑 40	調査 6 集
21	西ノ原 95-1	1986.12.11 ~ 1987.1.9	447	住宅	竪穴状遺構 1	東
22		1987	480	資材置場	縄文中期住居跡 2、縄文土坑 11、ピット 2	東
23		1987.7 ~ 8	1,024	区画道路	土坑 2	調査 6 集
24		1987			縄文中期住居 2 確認、未検出	調査 6 集
25		1988.1 ~ 2	781	区画道路	遺構なし	調査 6 集
26		1988.3 ~ 4	1,649	区画道路	旧石器群、縄文中期住居跡 3、土坑 9、ピット、屋外埋裏 1	調査 6 集
27		1988.10	942	区画道路	縄文中期住居跡 5、縄文土坑 2、炉穴 1、集石土坑 1	調査 6 集
28		1988.11		区画道路	遺構なし	調査 6 集
29		1988.12		区画道路	遺構なし	調査 6 集
30		1989.2 ~ 3		区画道路	土坑 1	調査 6 集
31	西ノ原 115-1	(1989.11.4 ~ 11.11)	21	下水管理設	遺構なし	東
32	西ノ原 122	(1989.1.10 ~ 1.19)	21	区画道路	縄文中期住居跡 1、屋外埋裏 3	東
33	西ノ原 153-2	(1989.1.10 ~ 1.19)	21	区画道路	縄文中期住居跡 1	東
34	西ノ原 171	(1989.1.24 ~ 1.31)	21	区画道路	縄文中期住居跡 1	東
35		1989.2 ~ 3		区画道路	縄文中期住居跡 1、土坑 1	調査 6 集
36		1989.3 ~ 4		区画道路	縄文中期住居跡 4、縄文土坑 5、落とし穴 2 井戸 1	調査 6 集
37		1989.5 ~ 8	200	区画道路	遺構なし	調査 6 集
38	西ノ原 142-2	1989.8.29 ~ 9.12	74	個人住宅	縄文中期住居跡 1、土坑 3	東
39	西ノ原 142-2	1989.8.29 ~ 9.12	94	個人住宅	土坑 2、溝 2	東
40		1989.9.18 ~ 10.16、1989.10.19 ~ 11.4	980	消防訓練塔	縄文中期住居跡 4、土坑 4、集石土坑 1、ピット 28	東
41		1989.9 ~ 10	476	区画道路	縄文中期住居跡 4、土坑 1	調査 6 集
42		1991.12 ~ 1992.7		区画道路	屋外埋裏 2、土坑 19	調査 6 集
43	苗間 153-3	1990.6.26 ~ 7.9	272	個人住宅	縄文中期住居跡 4、土坑 3	東
44		1990.6 ~ 8		区画道路	屋外埋裏、炉穴 3、落とし穴 2、土坑 16、集石土坑 1	調査 6 集
45		1991.2	3,224	区画道路	遺構なし	
46	苗間 83-2	(1991.4.9 ~ 4.10)	199	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町
47	苗間 136-2	1991.7.15 ~ 7.26	141	個人住宅	遺構なし、石蔵、土器片のみ	町
48		1991.9 ~ 10		区画道路	縄文中期住居跡、土坑 3	調査 6 集
49		1991.12 ~ 1992.1	2,610	区画道路	縄文中期住居跡 12、集石土坑 1、土坑 8	調査 6 集
50		1991.11 ~ 12		区画道路	縄文中期住居跡 15、屋外埋裏 1、土坑 3	調査 6 集
51	苗間 153-2、うれし野 2-1-18	(1991.2.4 ~ 2.12)	1,190	モデルルーム・店舗	縄文中期住居跡 2、掘立柱跡、土坑 2、ピット 5	町・市 2
52	苗間 122	(1991.2.10 ~ 2.20)、1992.4.14 ~ 9.7、1993.3.10	984	ガソリンスタンド	縄文中期住居跡 14、集石土坑 7、土坑 5、屋外炉 1、ピット 19	調査 5 集、町 1
53	西ノ原 133-2	1992.6	261	分譲住宅	集石土坑 1、土坑 1	調査 6 集
54		1992.5 ~ 7		区画道路	遺構なし	調査 6 集
55	西ノ原 135-5 他	1992.5.21 ~ 6.23	241	駐車場	縄文中期住居跡 2、炉穴 5、土坑 1	調査 5 集
56	西ノ原 133-2	1992.6.23 ~ 6.26	261	分譲住宅	集石土坑 1、土坑 3、ピット 6、溝 1	町
57	西ノ原 143-3.4	1992.7.6 ~ 9.1	174	個人住宅	縄文中期住居跡 2、土坑 1	町
58	西ノ原 137-2	1992.9.8	146	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町
59	西ノ原 135-1	1992.10.6 ~ 11.12	494	個人住宅	縄文中期住居跡 3、炉穴 11、屋外埋裏 1、土坑 1、ピット 12	町
60	西ノ原 136-2	1992.12.10 ~ 12.25	253	個人住宅	縄文中期住居跡 2、炉穴 4、土坑 1、ピット 34、落とし穴 1	町
61	西ノ原	1993.2	2,240	区画整理	早期竪穴状遺構 1、落とし穴 3、土坑 2、炉穴	調査 6 集
62						
63	西ノ原 162-3,169	(1993.4.13 ~ 4.22)	147	共同住宅	中(近世)ピット群、遺物なし	町
64	西ノ原 94-1	(1993.4.27 ~ 4.28)	327	共同住宅	近世・近代溝、前期土器	町
65	西ノ原 145-1	(1993.6.7 ~ 6.11)、1993.6.16 ~ 7.15	615	共同住宅	縄文中期土坑 3、平安時代住居跡 1、土器器、須臾器	町
66	西ノ原 133-2	(1993.6.30 ~ 7.19)	474	共同住宅	近代溝、縄文土器	町
67	西ノ原 159-2	(1994.1.20 ~ 1.21)	308	倉庫	縄文中期土坑、ピット、近代溝	町
68	西ノ原 91-2.6	(1994.3.22 ~ 3.25)	285	店舗住宅	遺構遺物なし	町
69	苗間 106	(1994.4.8 ~ 4.27)、1994.5.16 ~ 10.24	1,821	店舗	縄文中期住居跡 28、土坑 6、ピット 11、溝 1	調査 13 集、町
70	苗間 136	1994.5.9 ~ 5.17	551	店舗	屋外埋裏 4、土坑 14	調査 6 集、町
71	苗間 112	(1994.6.20 ~ 7.5)	309	個人住宅	落とし穴 1	町
72	苗間 112-109	1994.11.12 ~ 11.28	321	個人住宅	縄文中期住居跡 3、土坑 2、溝 2	町
73	苗間 92-1	(1994.3.27 ~ 3.29)	274	個人住宅	遺構遺物なし	町
74	苗間 163	(1994.4.21 ~ 5.13)	169	事務所	ピット 6	町
75	苗間 122	(1995.5.16 ~ 5.23)、1995.6.2 ~ 9.23	379	事務所	縄文中期住居跡 17、集石土坑 1、土坑 4、集石 2、ピット 9、溝 1	調査 13 集、町
76	苗間 151-2 他	(1995.4.20 ~ 4.27)	468	倉庫	ピット 1、溝 1	町
77	苗間 143-2	(1995.5.24 ~ 5.25)、1995.6.1 ~ 7.28	347	店舗	縄文中期住居跡 1、土坑 18、溝 4、ピット 58	調査 13 集、町
78	苗間 22-3-2	(1995.6.28 ~ 8.8)	45	貯水槽	縄文中期住居跡 3	町
79	苗間 162-2 他	(1995.6.29 ~ 7.24)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町
80	苗間 83-2	(1995.7.19 ~ 7.25)	319	駐車場	遺構遺物なし	町
81	苗間 169	(1995.8.2 ~ 8.7)	223	店舗付住宅	溝 1、遺物なし	町
82	苗間 168	(1995.8.1 ~ 8.5)	249	事務所	遺構遺物なし	町
83	苗間 136-2	1995.8.23 ~ 10.21	190	個人住宅	縄文中期住居跡 2、集石土坑 2、土坑 2、ピット 22	町
84	苗間 108,109	(1995.11.30 ~ 12.9)	135	個人住宅	土坑 1、ピット 5	町

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
85	苗間 181-3	(1996.1.9 ~ 1.26)	654	バテンドロ	遺構遺物なし	町
86	苗間 113-2,93-1	(1996.4.19)、1996.4.22 ~ 5.15	698	個人住宅	土坑 6、ピット 26、溝 2	町
87	苗間 182-1	(1996.6.14 ~ 6.17)	344	学習塾	遺構遺物なし	町
88	苗間西ノ原 182-3,189-2,202-1	(1996.7.16 ~ 22、1997.1.24)、1996.8.1 ~ 30	745	共同住宅	土坑 3、ピット 29、欄列 1、落とし穴 1、銭	調査 13 集、町
89	苗間西ノ原 112	(1996.7.17 ~ 7.18)	143	個人住宅	溝、土器片のみ	町
90	苗間西ノ原 142-2	(1996.7.3)、1996.8.7 ~ 8.30	177	個人住宅	縄文中期住居跡 2、炉穴 2、土坑 1、ピット 9	町
91	苗間 169	(1996.8.1 ~ 8.5)	477	店舗	遺構遺物なし	町
92	苗間 192-2	(1996.10.23 ~ 10.28)	684	店共用住宅	遺構遺物なし	町
93	苗間 315	(1996.10.22 ~ 10.23)	141	分譲住宅	遺構なし、土器片のみ	町
94	苗間 145-2	(1996.11 ~ 11.12)	165	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町
95	苗間 154-1	(1996.11.14 ~ 11.19)	283	商業ビル	炉 1	町
96	苗間 441	(1996.12.17 ~ 12.20)、1997.1.9 ~ 1.14	333	個人住宅	縄文中期住居跡 2、炉穴 2、土坑 1、ピット 3	町
97	苗間 97-2	(1996.12.19 ~ 12.20)	141	分譲住宅	遺構遺物なし	町
98	苗間 171-2	(1997.1.6)	206	個人住宅	盛土保存	町
99	苗間 97-1	(1997.1.20 ~ 1.24)	396	個人住宅	土坑 1、落とし穴 1、ピット 12、溝 1	町
100	苗間 150-2	(1997.4.8 ~ 4.25)	447	共同住宅	土坑 2、ピット 3	町
101	苗間 183-1.3	(1997.7.22 ~ 7.25)	187	モデールハウス	遺構遺物なし	町
102	大井苗間 22 街区 6 画地	(1997.10.9 ~ 10.20)	179	個人住宅	ピット 2、溝 2	町
103						
104	苗間 22 街区 2 画地	(1997.10.6 ~ 10.8)	223	個人住宅	焼土、溝 2	町
105	苗間 125-2,126-2	(1998.1.13 ~ 2.12)	565	共同住宅	縄文中期住居跡 1、炉穴 1、溝 9	町
106	苗間 112	(1998.1.28 ~ 2.4)	135	個人住宅	ピット 1	町
107	苗間 112	(1998.2.9 ~ 2.13)	135	個人住宅	ピット 4、溝 1	町
108	苗間 91-1,92-1,99-1 の各一部	(1998.3.3)、1998.3.4 ~ 3.17	413	個人住宅	縄文住居跡 1、土坑 1、近世溝 3	町
109	苗間 83-4,429	(1998.3.11 ~ 3.18)	429	店舗付共同住宅	遺構遺物なし	町
110	苗間 146-2	(1998.4.20 ~ 5.6)	385	郵便局	落とし穴 1、集石 1、礎群 1	町
111	大井苗間 23 街区 9 画地	(1998.10.23 ~ 10.27)	354	個人住宅	ピット 1、近世の溝 1、遺跡 1	町
112	大井苗間 23 街区 9 画地	(1999.2.9)	144	個人住宅	近世の溝のみ	町
113	大井苗間 57.58 街区	(1999.4.5 ~ 12.14)、2000.1.6 ~ 3.13	2,817	店舗	旧石器時代のユニット、縄文中期住居跡 6、炉穴 2、土坑、ピット、近世溝 2	町
114	西ノ原 194-1	(1999.8.4 ~ 8.12)	676	駐車場	落とし穴 1、ピット 2	町
115	大井苗間 52 街区 3 画地	(1999.9.27 ~ 9.29)	135	事務所	遺構遺物なし	町
116	大井苗間 59 街区 11 画地	(1999.12.2 ~ 12.3)	119	個人住宅	遺構遺物なし	町
117	大井苗間 199-2	(1999.12.2 ~ 12.4)	131	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町
118	大井苗間 59 街区 45 画地	(2000.4.3 ~ 4.12)	546	店舗住宅	遺構遺物なし、縄文中期土器片	町
119	大井苗間 18 街区 4 画地	(2000.11.3)	221	倉庫	縄文中期住居跡 3、土坑 1、近世溝 1	町
120	大井苗間 24 街区 4 画地	(2001.5.7 ~ 5.15)	1,120	共同住宅	遺構無し、縄文中期土器片	町
121	旭 1-15	2002.2.7 ~ 3.8	803	個人住宅	縄文中期住居跡 2、土坑 2、ピット 35、近世溝 4	町
122	大井苗間 14 街区 8 画地	(2002.3.9 ~ 3.19)、2002.6.21 ~ 7.22	593	共同住宅	縄文中期住居跡 4、溝 3	町
123	大井苗間 19 街区 10 画地	(2002.9.3 ~ 9.9)	252	共同住宅	根切溝のみ	町
124	苗間 137-2	(2002.10.2 ~ 10.6)、2002.10.8 ~ 10.11	524	個人住宅	縄文中期住居跡 1、土坑 2、溝 2	町
125	旭 1-8-2	(2003.2.14 ~ 2.19)	182	個人住宅	ピット 5	町
126	旭 1-13-6・7	(2004.2.23 ~ 2.25)	153	個人住宅	遺構遺物なし	町
127	旭 1-13-4・19	(2004.5.24 ~ 5.25)	327	個人住宅	土坑 1	町
128	旭 1-16-9・10	(2004.6.14 ~ 7.15)、2004.7.16 ~ 9.29	614	店舗	縄文中期住居跡 17、集石 5、土坑 10、ピット 17	町
129	旭 1-11-5	(2004.9.30 ~ 10.7)	235	共同住宅	縄文中期住居跡 1	町
130	旭 1-5-8	(2004.10.14 ~ 10.15)	116	個人住宅	遺構遺物なし	町
131	旭 1-5-13	(2004.10.22)	97	店舗付個人住宅	遺構遺物なし	町
132	苗間 1-15-17	(2005.7.28 ~ 8.2)、2005.8.3 ~ 8.11	272	店舗併用共同住宅	縄文中期住居跡 3、炉穴 7、土坑 1	調査 18 集、市 2
133	旭 1-8-8	(2005.10.11 ~ 10.12)	176	個人住宅	遺構遺物なし	市 2
134	旭 1-13-8	(2005.10.6 ~ 10.11)	348	店舗	遺跡 1	市 2
135	うれし野 1-5-2	(2006.3.14 ~ 4.28)、2006.5.29 ~ 6.19、2007.11.5 ~ 12)	3,341	店舗併用共同住宅	縄文中期住居跡 1、炉穴 1、ピット 3	市 3
136	苗間 1-13-22.23	(2006.6.23 ~ 24)	630	学生寮	遺構なし、縄文土器片	市 3
137	うれし野 2-17-5,6,7	(2006.8.3 ~ 7)	861	共同住宅	溝 2、縄文土器片	市 3
138	旭 1-4-7-8	(2006.11.21 ~ 22)	247	個人住宅	遺構遺物なし	市 3
139	うれし野 1-4-4,5,6	(2007.2.1)	474	共同住宅	遺構遺物なし	市 3
140	旭 1-16-14 の一部	(2007.5.7 ~ 10)	487	学習塾	遺構遺物なし	市 4
141	市沢 1-8-8	(2007.5.8 ~ 9)	735	店舗兼事務所	土坑 1、ピット 1	市 4
142	うれし野 1-6-2	(2008.4.4 ~ 4.7)	296	寄宿舍(24 戸)	遺構遺物なし	市 6
143	うれし野 2-17-3	(2009.3.23)	287	寄宿舍(25 戸)	遺構遺物なし	市 6



第49図 西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)

第 32 表 西ノ原遺跡住居跡一覧表

住居番号	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉		煙機	灰坑	壁溝	備考	時期	文献
				地床	石囲						
1	完掘	楕円形	456 x 398				有	床直上土器	E 古	資	
2	完掘	不整形	400 x 400						阿 a	調 6 集	
3	完掘	楕円形	634 x 530						E 新	調 6 集	
4	75%	楕円形	540 x 485				有	111号と複合	E 新	調 6 集	
5	60%	楕円形	不明					111号に切られる	E 新	東	
6	70%	(楕円形)	520 x ?				有		E 新	東	
7	80%	(楕円形)	440 x 430						E 新	東	
8	掘乱	不明	削平					石囲	E		
9	90%	(不整形)	(540)						E	東	
10	95%	楕円形	460 x 415					建替	E 古	訂	
11	完掘	楕円形	550 x 497					土製品・浮子	E 新	調 6 集	
12	30%	(円形)	(440) x ?				未掘	下層土器	E 新	調 6 集	
13	完掘	円形	630 x 660					炉西埋設	E 古	調 6 集	
14	完掘	楕円形	(430 x 350)						E 古	調 6 集	
15	80%	(円形)	543 x ?				有		E 古	調 6 集	
16	完掘	楕円形	548 x 516				建替	耳栓	E 古	調 6 集	
17	完掘	楕円形	665 x 590				2 回掘張	複元 26 個体	E 新	調 6 集	
18	完掘	楕円形	420 x 353				有	22号と複合	(脚)	調 6 集	
19	完掘	円形	515 x 488						E 中	調 6 集	
20	完掘	楕円形	500 x 450				有	有効降付完形・複元 15 個体	E 新	調 6 集	
21	完掘	不整形	615 x 635				建替		E 新	調 6 集	
22	完掘	楕円形	550 x 450					床直上土器・人面	E 新	調 6 集	
23	完掘	楕円形	425 x 370						E 古	東	
24	85%	(円形)	不明					工事中・調査	E 古	東	
25	85%	楕円形	床部削平				掘乱	工事中・調査	E 新	東	
26	30%	(円形)	? x (430)						E 古	調 6 集	
27	完掘	楕円形	570 x 460					掘付台石・耳栓	E 新	調 6 集	
28	65%	円形	床部削平						E 中	調 6 集	
29	完掘	円形	460 x 420						E	調 6 集	
30	80%	楕円形	405 x 403				有	121号と複合	勝	調 6 集	
31	完掘	円形	半掘					122号と複合	勝	調 6 集	
32	50%	(不整形)	(380) x 350						E 新	調 6 集	
33	完掘	楕円形	? x (340)					2 回掘張	E 新	訂	
34	完掘	楕円形	580 x 490				建替		E 中	調 6 集	
35	完掘	楕円形	605 x 550					耳栓・石囲	E 中	調 6 集	
36	完掘	楕円形	560 x 530						E 新	調 6 集	
37	完掘	楕円形	440 x 390					柱穴内土器	阿 新	調 6 集	
38	90%	楕円形	530 x 524						E 新	調 6 集	
39	70%	円形	(610) x ?						E 新	調 6 集	
40	95%	楕円形	420 x 380						E 古	調 6 集	
41	20%	(楕円形)	一部のみ調査				未掘		E 新	訂	
42	60%	楕円形	610 x 510						E 新	調 6 集	
43	完掘	円形	506 x 470				不明	床大部分掘乱	不明	調 6 集	
44	50%	楕円形	(約 500) x ?						E 新	調 6 集	
45	完掘	楕円形	560 x 530				建替	耳栓	E 新	調 6 集	
46	完掘	楕円形	600 x 496						E	東	
47	98%	円形	約 460 x 約 450					有孔降付・硬玉大珠	E 新	東	
48	完掘	円形	550 x 560						E 新	東	
49	75%	楕円形	半掘 x 740						E	東	
50	完掘	円形	530 x 約 500						E	調 6 集	
51	80%	大部分未掘	540 x 630				有 x		E 新	調 13 集	
52	60%	大部分未掘	460 x ?				x		E 新	調 13 集	
53	90%	大部分未掘	690 x 560				建替	朱塗多し	E 古	調 6 集	
54	完掘	円形	335 x 355					55号と複合	E	東	
55	掘乱	不明	690 x ?					54号と複合	E	東	
56	完掘	楕円形	600 x 496					床直上土器	E 新	調 6 集	
57	35%	不明	? x 約 500				未掘		E 新	調 6 集	
58	完掘	円形	550 x 560					柱穴内土器	E 新	調 6 集	
59	40%	楕円形	半掘 x 740					58号と複合	E 新	調 6 集	
60	85%	楕円形	590 x 570				有	複元 27 個体・石器 36	勝末 - E	調 6 集	
61	20%	大部分未掘	420 x ?				未掘		E 古	調 6 集	
62	20%	大部分未掘	不明				未掘		E 新	調 6 集	
63	完掘	楕円形	550 x 492				有	異系土器	E 新	調 6 集	
64	完掘	不整形	418 x 420						E	調 6 集	
65	完掘	円形	550 x 565				3 回掘張	耳栓・遺灰・復原 33 個体	E	調 6 集	
66	90%	楕円形	670 x 570					耳栓・土埴 77・75号と複合	E	調 6 集	
67	75%	楕円形	670 x 620				有	土埴・建替有	E 古	訂	
68	75%	円形	625 x 610				有	3 回掘張	E 中	訂	
69	80%	円形	618 x ?					磨利式多し	E 新	調 6 集	
70	30%	東半未掘	468 x ?				未掘	床直上土器	E 新	調 6 集	
71	20%	円形	420 x ?				未掘	石囲	E 古	調 6 集	
72	15%	楕円形	不明				未掘	有	E 古	調 6 集	
73	80%	楕円形?	570 x 440					大磨製石斧・磨台	E 新	調 6 集	
74	95%	楕円形	520 x 410				有	管利系 98号と複合	E 新	調 6 集	
75	80%	楕円形	(600) x (600)					三土器・86・77号と複合	E 古	調 6 集	
76	完掘	円形	512 x 545					3 回掘張	E 中	訂	
77	80%	楕円形	(550) x (550)					石埴・石囲 75号と複合	E 新	調 6 集	
78	完掘	楕円形	402 x 352						E	訂	
79	55%	南半未掘	? x 570				3 回掘張	炉上土器	E 新	調 6 集	
80	80%	東半未掘	422 x 460				有		E 新	調 6 集	
81	65%	円形	588 x 未掘					管利系	E 新	調 6 集	
82	70%	楕円形	(560 - 570)						E 中	調 6 集	
83	45%	円形	364 x ?				未掘		E	調 6 集	
84	完掘	楕円形	732 x 674				有	複合・小形磨製石斧	E 新	調 5 集	
85	完掘	楕円形	620 x 598					84号と複合	E 新	調 5 集	
86	完掘	楕円形	520 x 490				有	97号と複合	E 新	調 5 集	
87	完掘	円形	354 x 374					88号と複合	E	調 5 集	
88	85%	楕円形	640 x 559				有	複合・復原 31 個体	E 古	調 5 集	
89	完掘	円形?	420 x (390)					85号と複合	E 新	調 5 集	
90	70%	楕円形	? x 560						E 新	調 6 集	
91	80%	楕円形	746 x ?				有		E 新	訂	
92	完掘	楕円形	508 x 422				有		E	調 5 集	
93	完掘	楕円形	580 x 490				建替		E	調 5 集	
94	70%	円形	不明					床掘乱	E	調 5 集	
95	完掘	(円形)	(600 x 500)						E	訂	

住居番号	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉		煙機	灰坑	壁溝	備考	時期	文献
				地床	石囲						
96	完掘	楕円形	(560 x 580)								調 5 集
97	完掘	楕円形	602 x 505								調 5 集
98	60%	楕円形	472 x (234)								調 5 集
99	完掘	不明	? x 402								調 5・13 集
100	完掘	楕円形	614 x 644				伏	有			調 5 集
101	完掘	円形	414 x 420					有			新中 町
102	40%	円形	? x 376								町
103	55%	(楕円形)	? x 380								阿 b 古
104	90%	(楕円形)	(524 x 449)					有			調 13 集
105	完掘	円形	405 x 420					有			新中 町
106	完掘	不明	560 x 520					有			新中 町
107	完掘	円形	520 x 510					有			新中 町
108	完掘	円形	385 x 340								新中 町
109	完掘	楕円形	560 x 494								新中 町
110	完掘	不整形	418 x 370								調 13 集
111	30%	楕円形	不明					未掘			調 13 集
112	完掘	楕円形	600 x 574					有			新中 町
113	完掘	楕円形	520 x 496					有			新中 町
114	完掘	円形	480 x 480					有			新中 町
115	完掘	楕円形	460 x 340								調 13 集
116	完掘	楕円形	540 x 498								調 13 集
117	70%	楕円形	? x 440								調 6 集
118	完掘	楕円形	520 x 374					建替			調 6 集
119	90%	楕円形	580 x 480					有			調 13 集
120	完掘	円形	392 x 400								調 13 集
121	完掘	(円形)	380 x 390								調 13 集
122	完掘	楕円形	460 x 340					有			調 13 集
123											
124	完掘	円形?	418 x 420								調 13 集
125	10%	不明	不明					未掘			調 13 集
126	完掘	不明	560 x 565					有			調 13 集
127	10%	不明	645 x ?					未掘			調 13 集
128	完掘	楕円形	(610 x 580)								調 13 集
129	完掘	不明	618 x ?								調 13 集
130	完掘	円形	542 x 465								調 13 集
131	完掘	楕円形	560 x 442								調 13 集
132	完掘	楕円形	590 x 580					有			調 13 集
133	60%	楕円形	? x 460					有			調 13 集
134	完掘	楕円形	630 x 530					有			調 13 集
135	完掘	楕円形	540 x 460								調 13 集
136	70%	楕円形	? x 610					有			調 13 集
137	20%	不明	x ?					有			調 13 集
138	完掘	楕円形	450 x 360					有			調 13 集
139	55%	不明	(546) x 不明								調 13 集
140	40%	楕円形	(762) x 不明								調 13 集
141	55%	不明	528 x 不明								調 13 集
142	50%	不明	不明								調 13 集
143	完掘	楕円形	479 x 421					建替			調 13 集
144	55%	不明	不明					有			調 13 集
145	60%	不明	不明 x 325								調 13 集
146	85%	楕円形	585 x ?					有			調 17 集
147	30%	楕円形	? x					未掘			町
148	完掘	楕円形	不明								町
149	90%	(楕円形)	430 x 336								調 13 集
150	80%	(円形)	581								

西ノ原遺跡第 145 地点

(1) 調査の概要

調査は事務所建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 5 月 12 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は同年 7 月 23 日から 8 月 25 日まで、幅約 1 ~ 2 m のトレンチを 15 本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、近

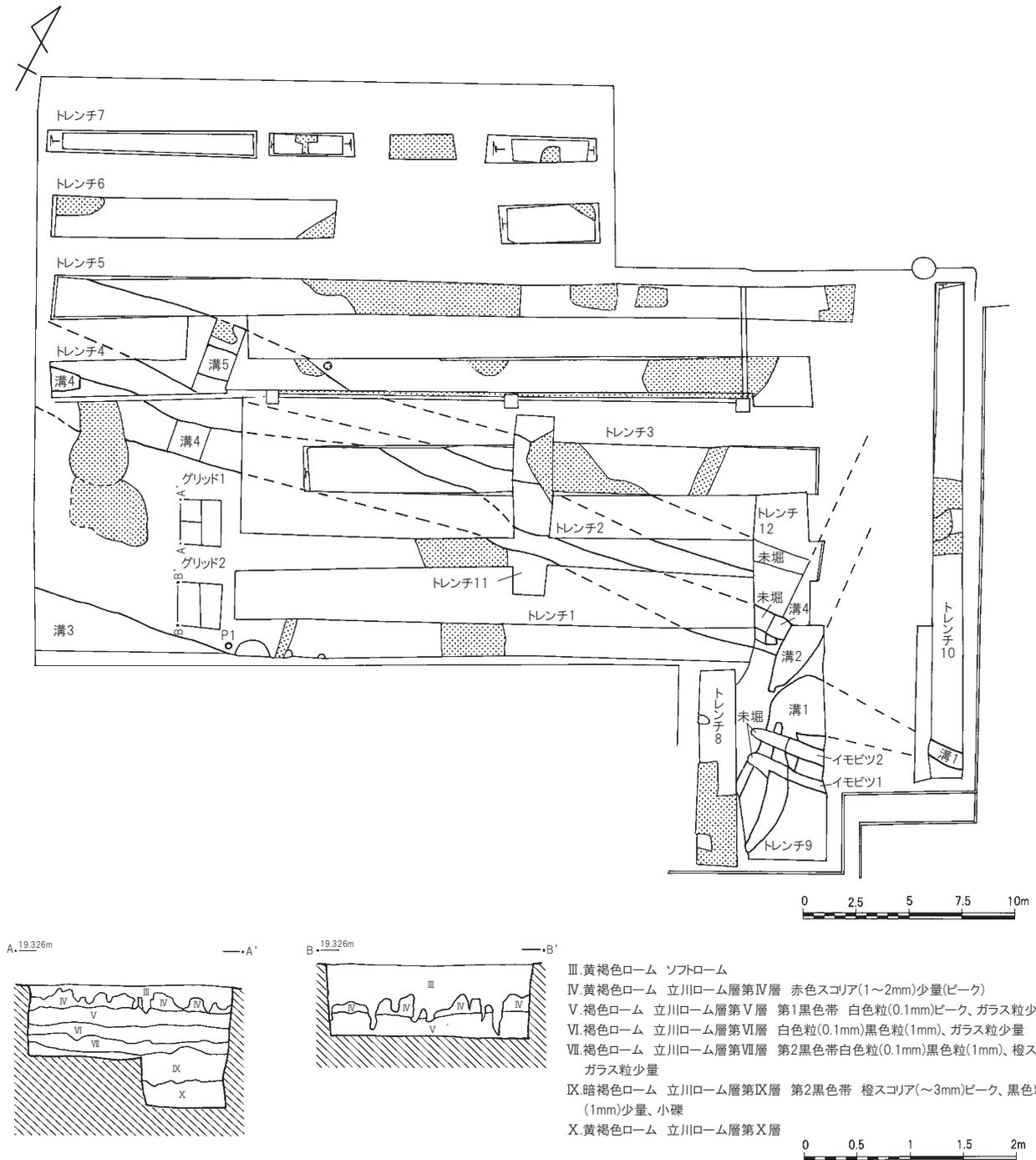
世遺構の溝 5 本を検出した。遺構確認面までの深さは約 10 ~ 20 cm である。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

溝

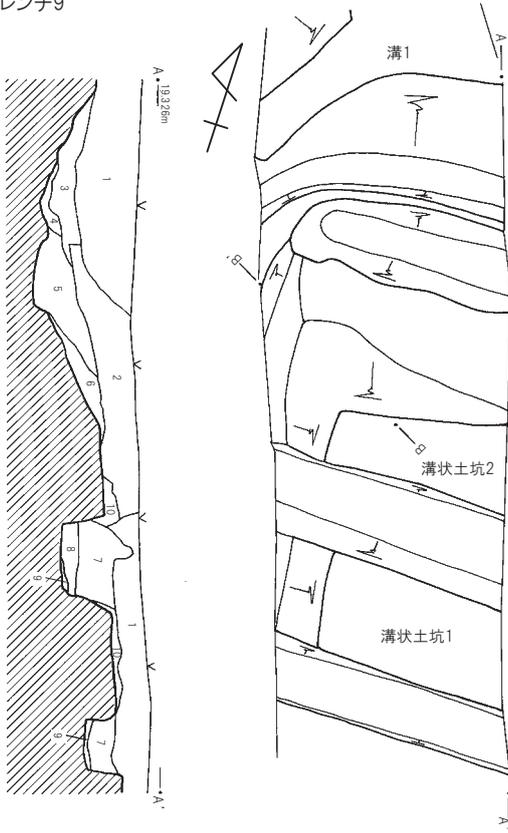
東西方向の溝と南北方向の溝を検出している。いずれも 1957 年以前の土地境と位置が一致しており、近世以降の土地境の溝である。

溝 1 は調査区南東部に位置する。南北方向 9 m、

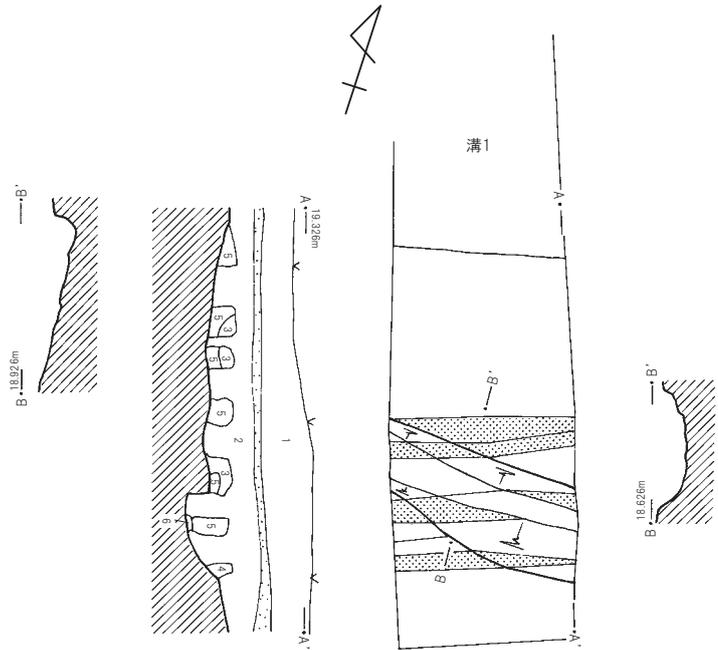


第 50 図 西ノ原遺跡第 145 地点 遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/60)

トレンチ9



トレンチ10



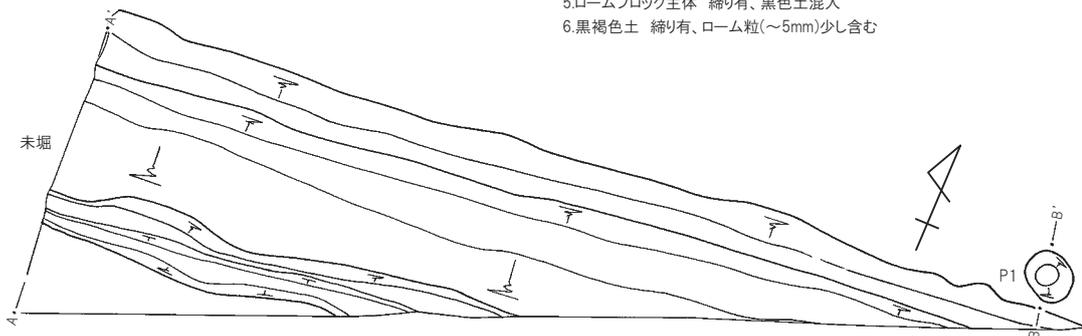
トレンチ9 溝1

1. 黒色土 硬く締る、ローム粒(1mm)やや多く含む
2. 暗褐色土 硬く締る、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(1~3mm)多く含む
3. ロームブロック主体 締り有、黒色土少量
4. 黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)少し含む
5. ロームブロック主体 締り弱
6. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(1~3cm大)多く含む
7. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(~5mm)極多く含む
8. 暗褐色土 締りやや有、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(~5mm)多く含む
9. 黒褐色土 締り有
10. 黒褐色土とロームブロックの混合土、締り有

トレンチ10 溝1

1. 表土 コンクリ壁を入れた時に埋めた土、ローム・黒土・砂利
2. 表土・耕作土・黒褐色土 締り有、ロームブロック(1cm大)・ローム粒(5mm)多く含む、トレーチャー
3. 暗褐色土 締り有、ローム粒(5mm)多く含む
4. 暗褐色土 締り有、ロームブロック(1cm大)多く含む
5. ロームブロック主体 締り有、黒色土混入
6. 黒褐色土 締り有、ローム粒(~5mm)少し含む

溝3・ピット1

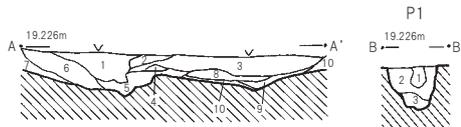


溝3

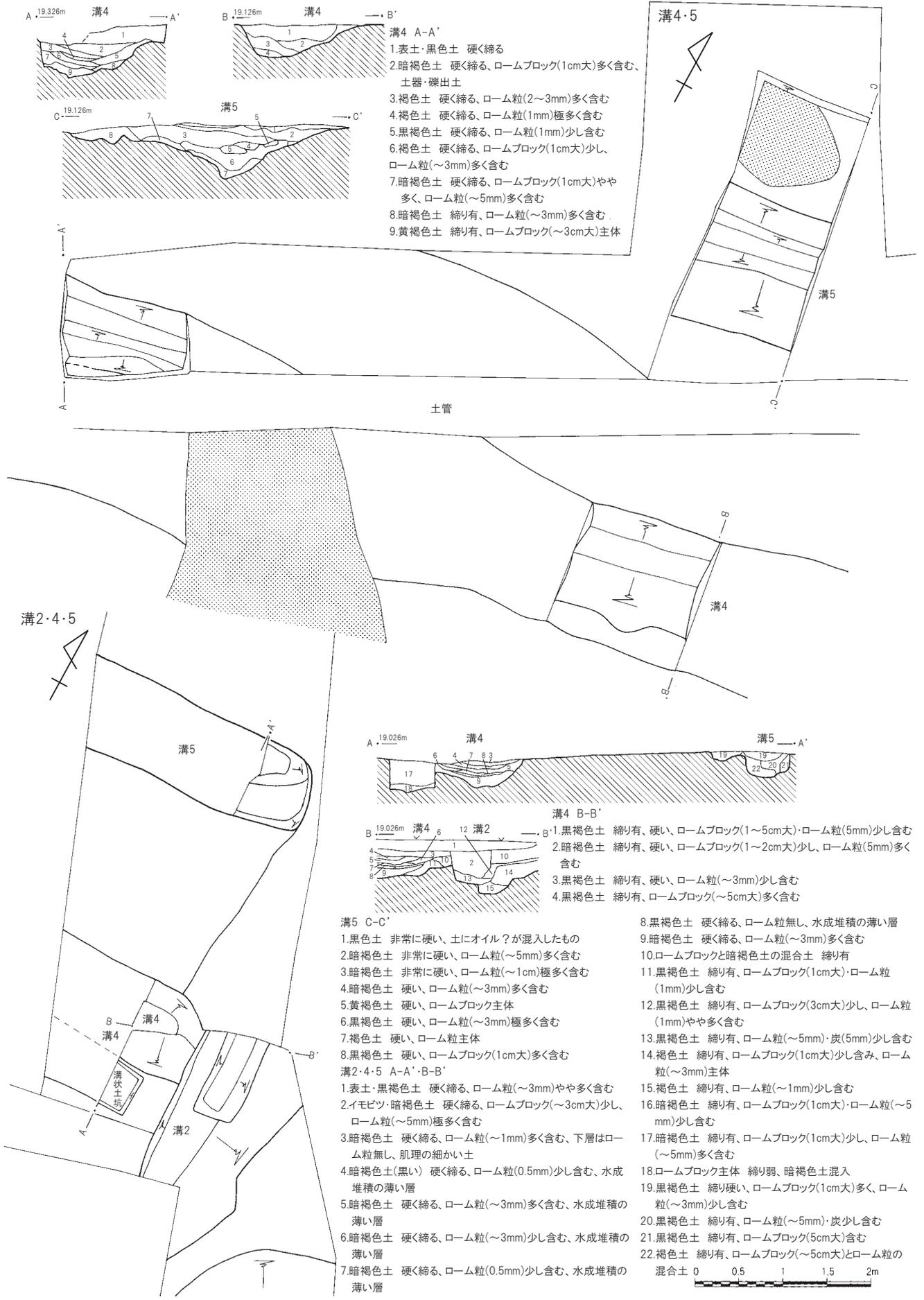
1. 黒褐色土 硬く締る、ローム粒(0.1mm)少し含む
2. 暗褐色土 硬く締る、ローム粒(1mm)少し含む
3. 暗褐色土 硬く締る、ローム粒(0.5mm)多く含む
4. 黒褐色土 硬く締る、ローム粒(1mm)多く含む
5. 褐色土 締り有、ロームブロック(1cm大)多く含む
6. 褐色土 硬く締る、ローム粒(~5mm)多く含む
7. 褐色土 硬く締る、ロームブロック(1cm大)少し、ローム粒(~5mm)多く含む
8. 黒褐色土 締り有、ローム粒(1mm)少し含む
9. 暗褐色土 硬く締る、ローム粒(~3mm)多く含む
10. 褐色土 硬く締る、ローム粒(~1mm)極多く含む

ピット1

1. 暗褐色土 締り有、ローム粒(~3mm)少し含む
2. 褐色土 締り有、ローム粒(~3mm)多く含む
3. 暗褐色土 締り有、ローム粒(~5mm)多く含む



第51図 西ノ原遺跡第145地点 溝・ピット (1/60)



第52図 西ノ原遺跡第145地点 溝(1/60)

東西方向9m検出し、溝2の南端で直角に曲がる。南北方向の部分は「西ノ原公図」(1872年)で記載された村道と重なる。溝状土坑(イモビツ)に壊されている。溝の上幅は75~275cm、断面は「W」字状に溝の南北が低くなる。南側の1aより北側の1bの方が新しい。1aの下幅は18~35cm、深さは確認面から60cm、1bの下幅は25cm前後、深さは確認面から47cmである。

溝2は南北方向の溝で、北側の149地点で検出した溝1と連なる。「西ノ原公図」(1872年)で記載された村道と重なるが、この村道は紙を貼って消されている。溝4と溝5より古い。0.4m南にある溝1の直角部分が南端で北に向かう。溝の上幅は140cm、下幅は25cm前後、断面形状は東側が緩やかに立ち上がる「レ」字形で、深さは確認面から40cmである。

溝3は東西方向の溝で、調査区南西部に10m検出した。本調査区南側第67地点の溝に連なる。土地の境と重なる。溝の上幅は173~190cm、断面は「W」字状に溝の南北が低くなる。南側の1aより北側の1bの方が古い。1aの下幅は10~15cm、1bの下幅は15~33cm、溝1aと溝1bの間隔は110cmある。縄文土器が出土した。

溝4は土地境の南側に掘られた溝で溝5と2.1m離れて平行関係にある。調査区中央部に36m検出した。東端は溝2と重なる部分で立ち上がり、溝2より新しい。溝の上幅は150~235cm、下幅は35cm前後、断面形状は緩やかに立ち上がる「U」字形で、深さは確認面から26~36cmである。

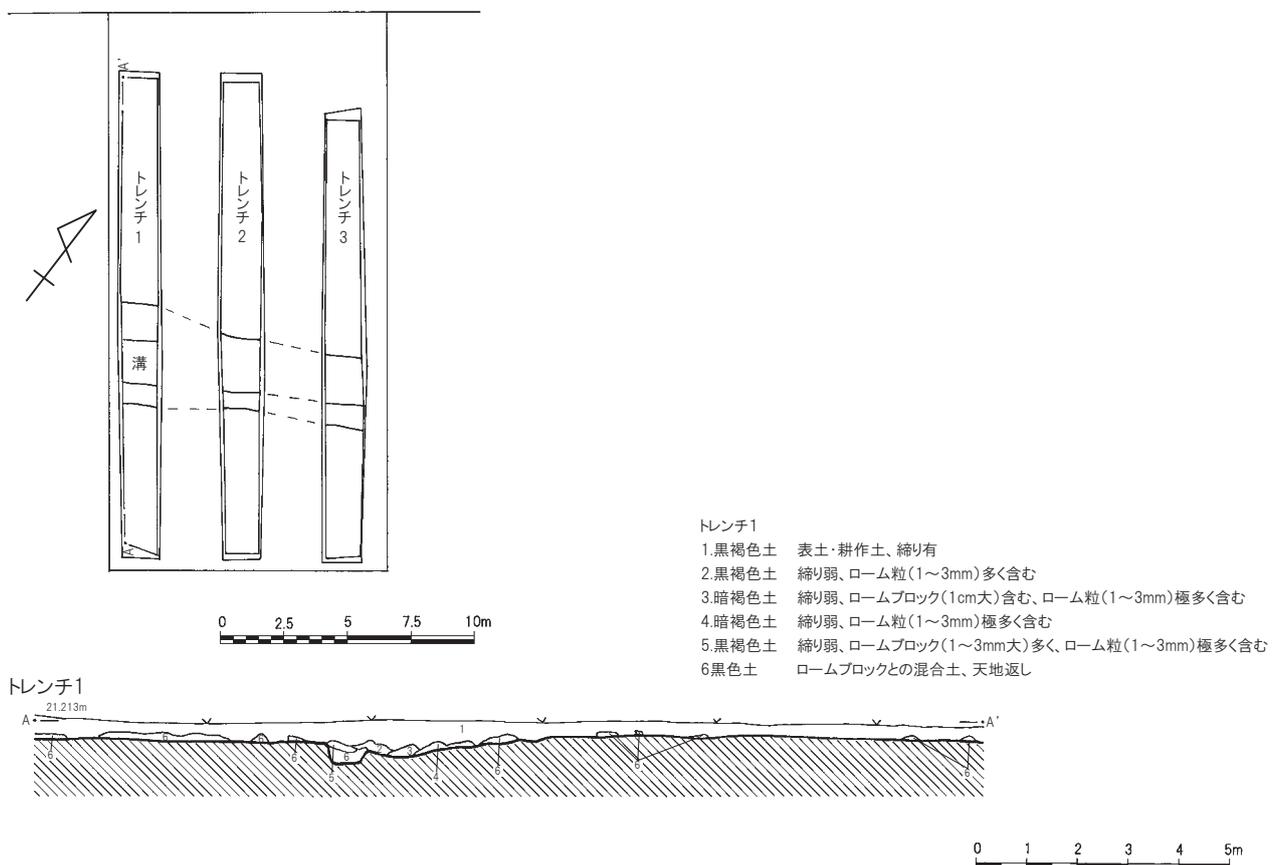
溝5は土地境の北側に掘られた溝で溝4と2.1m離れて平行関係にある。調査区中央部に38m検出した。東端は溝2と重なる部分で立ち上がり、溝2より新しい。溝の上幅は100~280cm、下幅は20~40cm前後、断面形状は緩やかに立ち上がる「V」字形で、深さは確認面から25~50cmである。

西ノ原遺跡第146地点

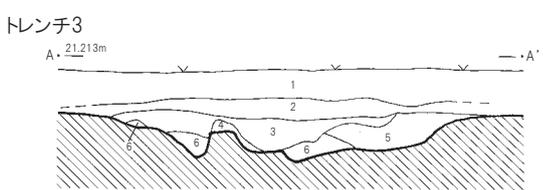
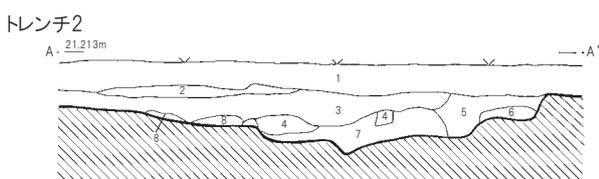
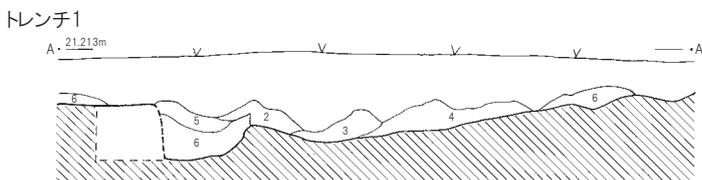
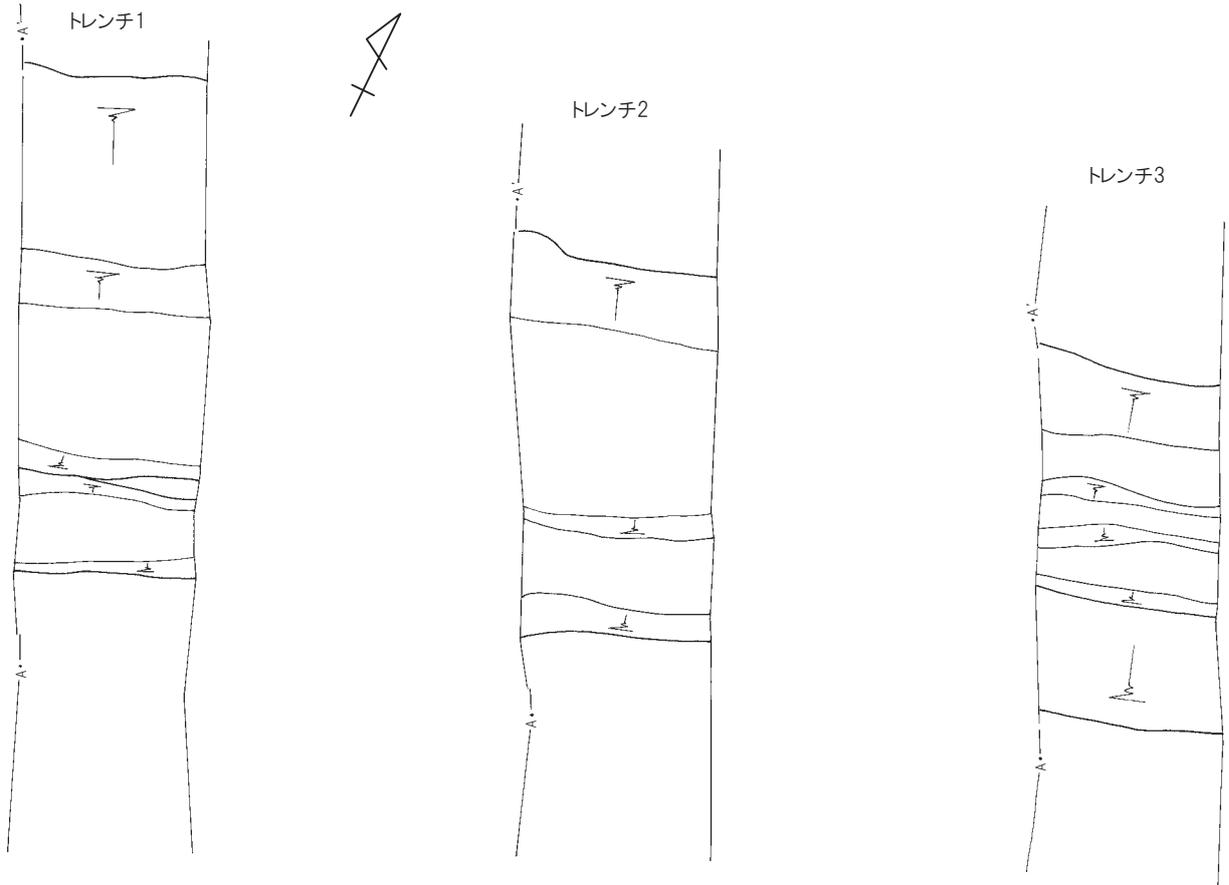
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年8月30日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

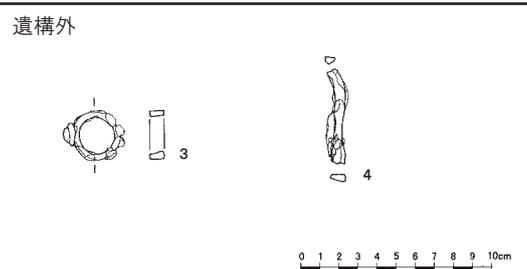
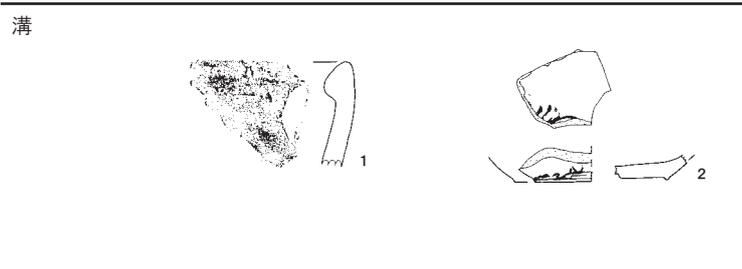
試掘調査は同年10月8日から13日まで、幅約1.5mのトレンチを3本設定し、重機で表土除去後、人



第53図 西ノ原遺跡第146地点 遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)



- トレンチ1
- 1.表土・耕作土・黒褐色土 締り有
 - 2.黒褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)多く含む
 - 3.暗褐色土 締り弱、ロームブロック(1cm大)含む、ローム粒(1~3mm)極多く含む
 - 4.暗褐色土 締り弱、ローム粒(1~3mm)極多く含む
 - 5.黒褐色土 締り弱、ロームブロック(1~3cm大)多く、ローム粒(1~3mm)極多く含む
 - 6.ロームブロックと黒色土の混合土、天地返し
- トレンチ2
- 1.耕作土・黒褐色土 締り弱、耕作されて脆い
 - 2.暗褐色土 硬く締る、ローム粒(1~5mm)極多く含む
 - 3.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)極多く含む
 - 4.黒褐色土 締りやや有、ローム粒(1~3mm)少し含む
 - 5.暗褐色土 締り有、ロームブロック(1~10cm大)、ローム粒(1~3mm)多く含む
 - 6.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)多く含む
 - 7.暗褐色土 締り有、ロームブロック(1~5cm大)少し、ローム粒(1~5mm)極多く含む
 - 8.ロームブロックと黒色土の混合土
- トレンチ3
- 1.耕作土・黒褐色土 締り弱、耕作されて脆い
 - 2.暗褐色土 硬く締る、ローム粒(1~5mm)極多く含む
 - 3.黒褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)極多く含む
 - 4.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~5mm)極多く含む
 - 5.暗褐色土 締り有、ロームブロック(1~5cm大)少し、ローム粒(1~5mm)極多く含む
 - 6.ロームブロックと黒色土の混合土、天地返し、畝



第54図 西ノ原遺跡第146地点溝(1/60)、出土遺物(1/4)

力による表面精査を行った。調査の結果、近世以降の溝2本を検出した。遺構確認面までの深さは約40cmであるが、溝より南側は1m近い深さまで天地返しされていた。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

溝

調査区中央で東西方向の溝を検出した。天地返しされた後に掘削された溝で、北側から南側の溝へ2～3回掘り直されている。全体の上幅は2.8～4m、単体の溝幅は0.7～1.6m程度、表土からの深さは70cmほどである。近世陶磁器が出土する。近世以降の土地境の溝である。

溝出土遺物

1は縄文時代中期の浅鉢口縁部。2は瀬戸・美濃産の太白手染付陶器皿。蛇ノ目凹形高台。19世紀後半。遺構外出土遺物

3はリング状の鉄製品。径26.6mm幅、8.4mm、厚さ2.7mm。4は鉄釘。

西ノ原遺跡第147・148地点

(1) 調査の概要

調査は両地点とも個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年11月18日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部西部に位置し周囲からは縄文時代中期の住居跡を多数検出するため、申請者と協議の結果、両地点合わせて遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は同年12月8日から16日まで、幅約2mのトレンチを2本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、住居跡をはじめピットや土坑等多数の遺構を検出したため申請者と協議した。遺構確認面までの深さ130cm、工事は約30cm掘削であるが、地盤強化の補強杭打ち込みにより遺構の保存が困難なため、補助事業の対応で同年12月17日から翌2011年2月1日まで本調査を行った。縄文時代中期住居跡2軒、集石土坑2基、土坑4基、ピット71基、近世以降溝2条を検出した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

172号住居跡

【位置・形状】147地点調査区の南端に位置する。第128地点で確認した172号住居跡の北半分を検出した。本調査で172号住居跡の全体を検出したことになる。13m東に75号住居がある。

過去調査分を合わせると平面形はほぼ円形を呈する。直径は4.4×5.0m、確認面からの深さ47cmである。

【炉】住居中央部に位置した埋燵炉である。128地点との境界際まで調査したが、炉の北半分のみを検出した。土器は深鉢口縁部が正位に埋設される。炉の径は東西52cm、床面からの深さ18cm、炉体土器内側の覆土に焼土粒は多い。128地点の調査区では、床面に直径26～30cmの焼土面が広がる。

【周溝】上幅20cm前後、下幅12cm前後、床面からの深さ25cmの周溝が、住居跡西側に2.5m検出した。

【柱穴】新たに1基検出し、全体で4基になった。主柱穴と推定できる。

【時期】加曾利E 新式。

75号住居跡

【位置・形状】148地点調査区の南東端に位置する。第49地点・第128地点で確認した75号住居跡の一部を検出した。本調査で75号住居跡の全体を検出したことになる。3軒の住居跡が重複し、本住居(75号)

77号住居 66号住居跡の順に新しくなる。13m西に172号住居がある。

過去調査分を合わせると平面形はほぼ円形を呈する。直径は推定で5.6～6m、確認面からの深さ28cmである。

【炉】住居中央部やや北寄りに位置した埋燵炉である。土器は底部が欠失した深鉢である。

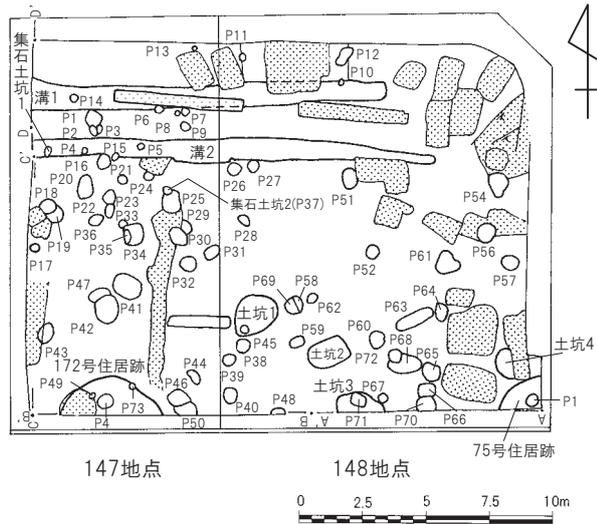
【周溝】上幅40～50cm、下幅10～20cm、床面からの深さ26cmである。

【柱穴】新たに1基検出し、全体で14基になった。主軸方向の炉を挟んだ右側に49地点の調査で検出したP2-P4-P9、左側に今回のP1と128地点のP1が並列し、対になる主柱穴と推定できる。

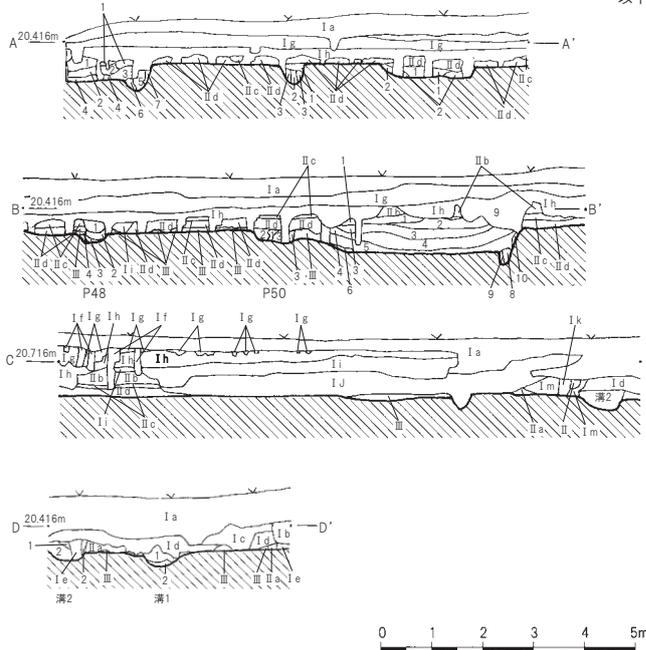
【時期】勝坂 式。

集石土坑

2基検出した。集石土坑1は147地点調査区西端に位置する。溝2によって壊される。加曾利E 新式の深鉢土器片が出土した。時期は出土遺物から縄文時代と思われる。



- 147地点 表土
- I a.黒褐色土 締りやや弱、ローム粒(5mm大)多く含む、ビニール含む、近年の耕作土
 - I b.黒褐色土 締り強、ロームブロック(5~10mm)多く含む、北側のブロック掘造作時の掘り込み
 - I c.黒色土 締り強、大型のロームブロック(1~8cm)やや多く含む
 - I d.黒色土 締り強、ローム粒(5mm以下)僅かに含む
 - I e.黒色土 締り強、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(2mm以下)やや多く含む、トレンチャー痕
 - I f.暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む、トレンチャー痕
 - I g.暗褐色土 締り有、粘性やや弱、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む
 - I h.黒色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)・炭化物やや多く含む、調査区南壁付近はロームブロック多くなる
 - I i.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・礫(2cm以下)・炭化物やや多く含む
 - I j.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(7cm以下)・礫(3cm以下)多く含む、ビニール含む (I i~I jは西側隣地を調査した際の埋戻し土と思われる)
 - I k.黒色土 締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)少し含む
 - I l.黒褐色土 締り強、粘性有、灰色味有り、ロームブロック(5mm大)少し含む
 - I m.黒褐色土 締り強、粘性有、ソフトロームブロック(5~10mm)多く含む
- 旧耕作土
- II a.黒褐色土 締り強、ロームブロック(1cm)少し、ロームの細粒(1mm以下)やソフトローム土をやや多く含む
- 遺物包含層
- II b.黒色土 締り強、粘性有、焼土(2mm以下)僅かに含む
 - II c.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(0.5mm以下)僅かに含む
 - II d.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含む、ローム粒・焼土(0.5mm以下) 僅かに含む

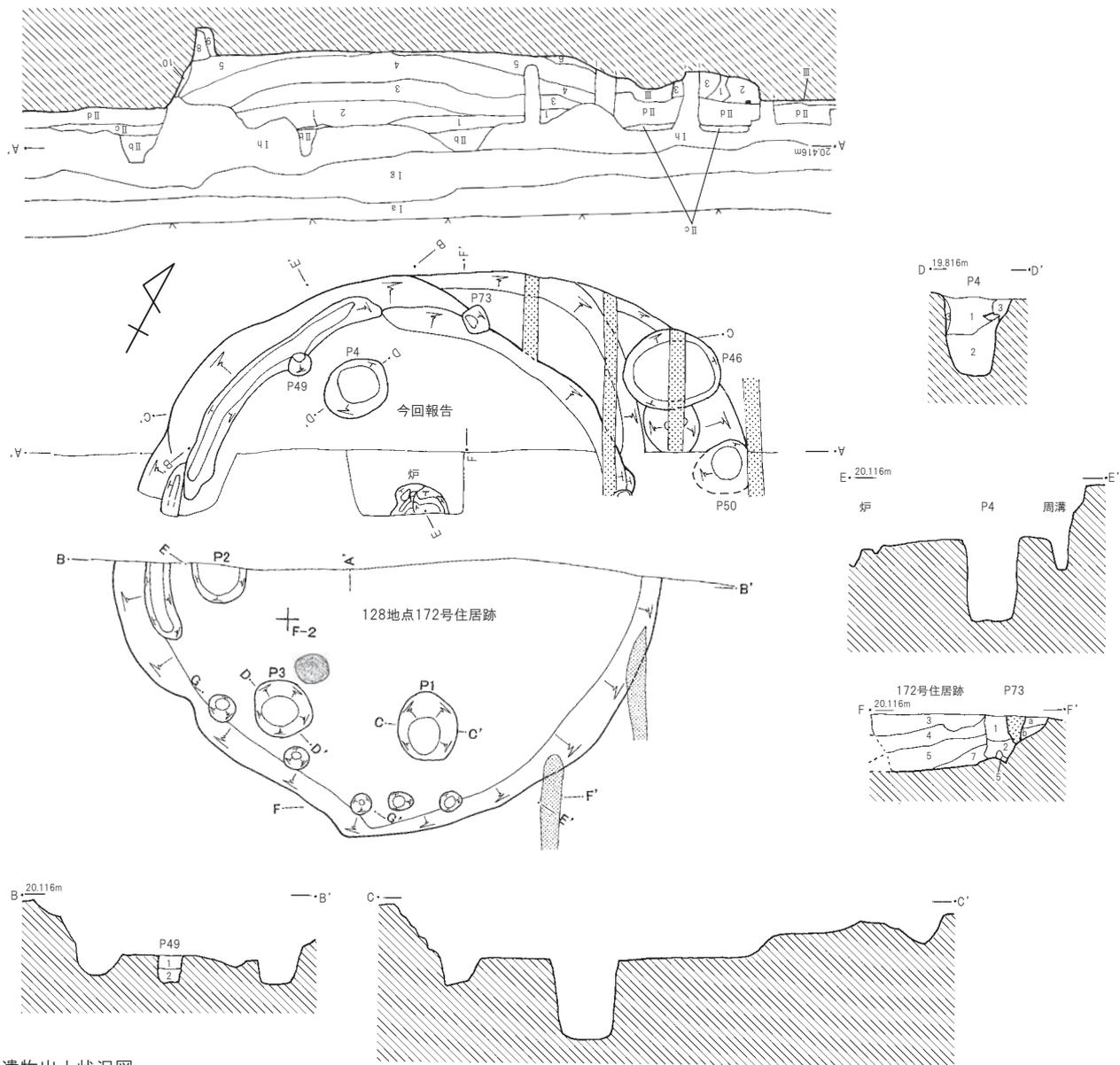


- 土坑3
- 1.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ハードロームブロック(5~15mm)少し、うっすら斑状にローム土を多く、ローム粒・炭化物(1mm以下)少し含む
 - 2.暗黄褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~30mm)少し含む
- 溝1
- 1.黒褐色土 締り強、ロームブロック(1~1.5cm)少し、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
 - 2.黒褐色土 締り強、ロームブロック(1~4cm)やや多く、ロームの細粒(1mm以下)多く含む
- 溝2
- 1.黒色土 締り強、ローム粒(5mm以下)少し含む
 - 2.黒褐色土 締り強、ロームブロック(5~15mm)・ローム粒(3mm以下)多く含む
- ビット48(焼土含む)
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、焼土(2mm以下)やや多く含む
 - 2.暗褐色土 締り強、粘性有、焼土(3mm以下)やや多く含む
 - 3.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm大)多く、焼土(2mm以下)少し含む、斑状に黒褐色土含む
 - 4.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)・焼土・炭化物(1mm以下)少し含む(III層下に潜り込むような堆積)

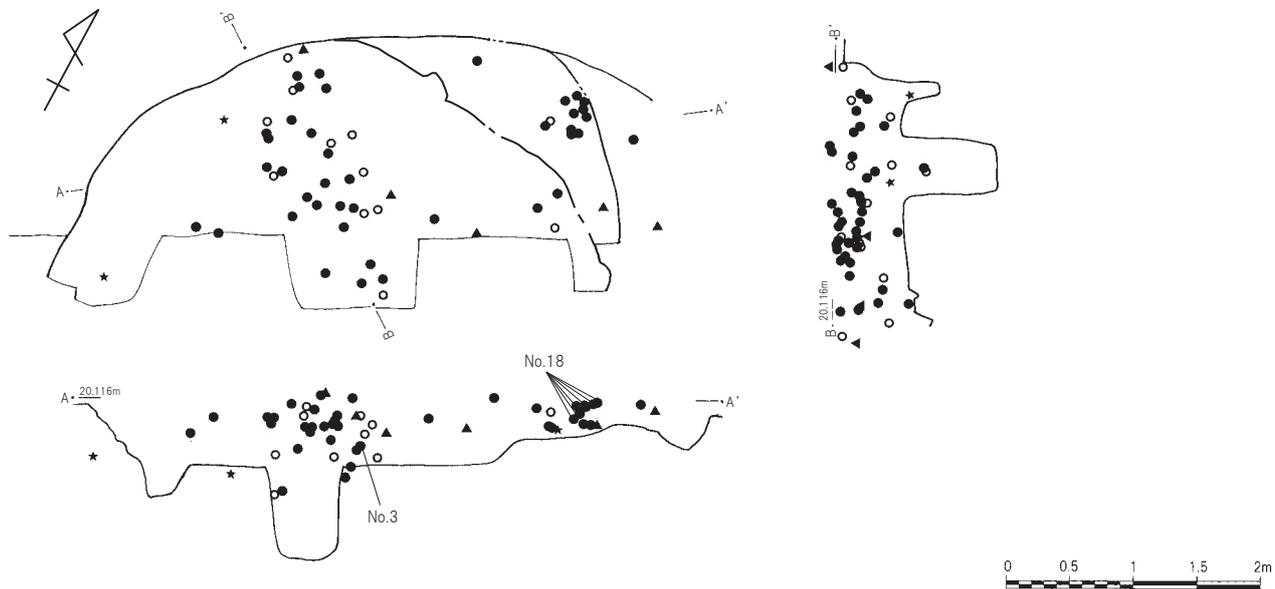
- 172号住居跡
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土(1mm以下)少し含む
 - 2.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
 - 3.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む、遺物を多く伴う、焼土・炭化物(2mm以下)僅かに含む
 - 4.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く、ロームブロック(5~30mm)・炭化物(3mm以下)少し、焼土(2mm以下)僅かに含む
 - 5.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く、ロームブロック(1~4cm)・炭化物(3mm以下)少し含む
 - 6.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)やや多く、焼土・炭化物(2mm以下)少し含む
 - 7.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm大)・ローム粒(5mm以下)少し含む
 - 8.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
 - 9.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~30mm)やや多く含む
 - 10.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にロームブロックを多く含む
- 172号住居跡 ビット4
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含む
 - 2.黒褐色土 締り強、粘性有、1層より黒色味が強い、ローム粒(3mm以下)少し含む
 - 3.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含み色調黄色味がある
- ビット49
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 - 2.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(4cm大)少し、うっすら斑状にローム粒(5mm以下)多く含む
- ビット73
- a.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)僅かに含む
 - b.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム粒(3mm以下)少し含む
 - 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(2mm以下)少し含む、色調は2層より明るく、包含層の暗オリーブ褐色土に近い
 - 2.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)・ローム粒(2mm以下)やや多く含む
 - 5.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にロームブロックを多く含む

第 55 図 西ノ原遺跡第 147・148 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)

172号住居跡

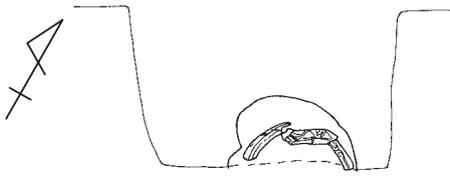


遺物出土状況図

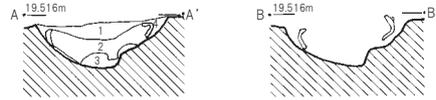
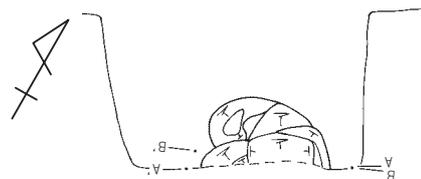


第56図 西ノ原遺跡第147地点172号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)

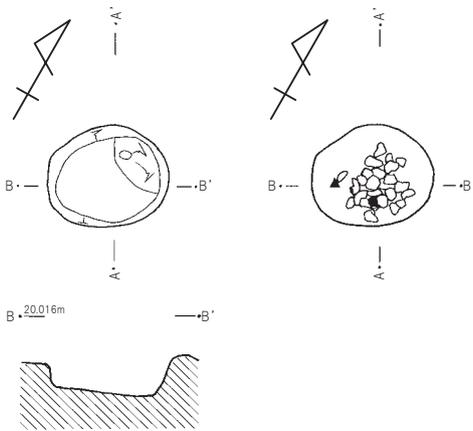
炉体土器



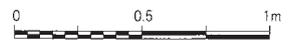
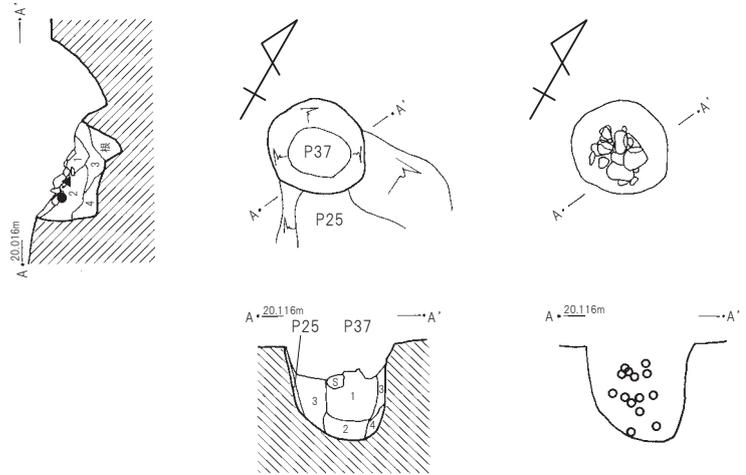
掘方



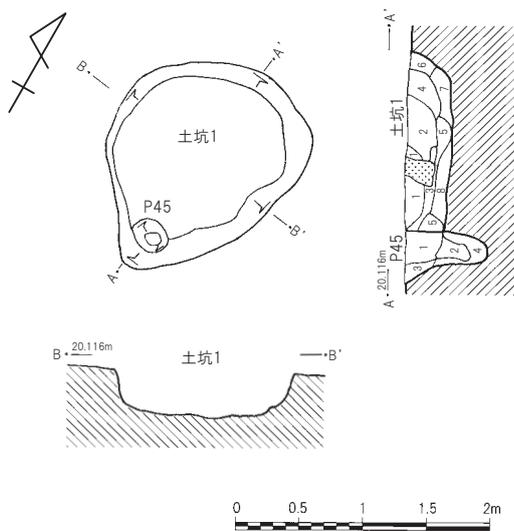
集石土坑1



集石土坑2(P37)



土坑1・P45



集石土坑1

- 1.暗オリーブ褐色土 締り有、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
- 2.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、焼土・炭化物(1mm以下)僅かに含む
- 3.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
- 4.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うすすら斑状にロームブロック(5~10mm)やや多く含む

ピット37

- 1.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、炭化物(2mm以下)少し含む
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、炭化物(2mm以下)・斑状のロームブロックやや多く含む
- 3.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)僅かに含む
- 4.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)・ローム粒(3mm以下)やや多く含む

土坑1・2

- 1.黒褐色土 締りやや弱め、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
- 2.黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)やや多く含む、焼土(2mm以下)少し含む
- 3.黒褐色土 ロームブロック・粒(5mm以下)少し含む
- 4.黒褐色土 ロームブロック(1cm大)・ローム粒(3mm以下)少し含む
- 5.暗オリーブ褐色土 ローム粒(3mm以下)ブロック状に少し含む
- 6.暗オリーブ褐色土 ローム粒をうすすら斑状に少し含む
- 7.黒褐色土 ロームブロック(1~2cm)うすすら斑状にやや多く含む
- 8.暗オリーブ褐色土 ロームブロック(5mm大)少し、ローム土を斑状に多く含む

ピット45

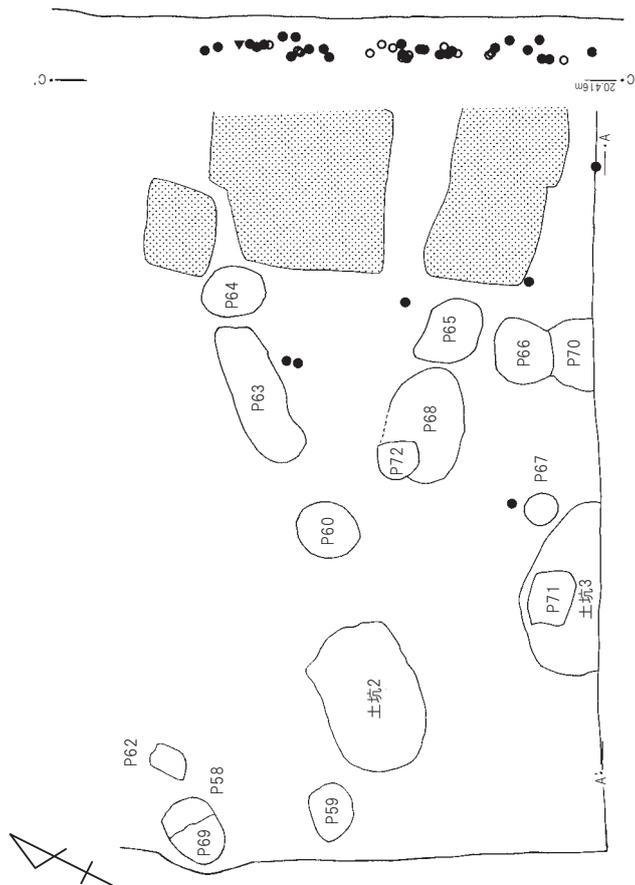
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(2mm以下)少し含む、色調は2層より明るく、包含層の暗オリーブ褐色に近い
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)・ローム粒(2mm以下)やや多く含む、P56・71などで炭化物含む
- 3.暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うすすら斑状にローム土、ローム粒(1mm以下)少し含む
- 4.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)多く含む

炉体土器

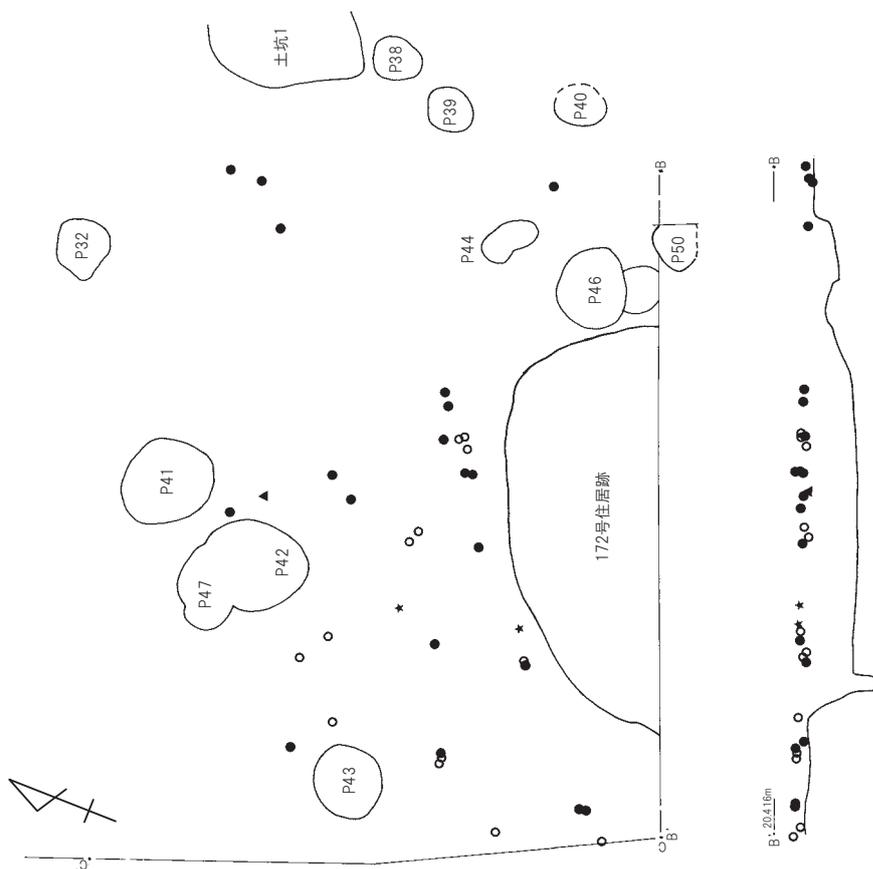
- 1.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm大)少し、焼土(3mm以下)多く、炭化物(1mm以下)やや多く含む、炉体を押し潰している
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、ローム(3~7mm)・炭化物(3mm以下)やや多く、焼土(1cm以下)多く含む
- 3.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)やや多く、焼土(2mm以下)少し含む
- 4.黒褐色土 締り強、粘性有、炉体外側の充填土、1mm以下ローム粒やや多く、炭化物(1mm以下)少し含む

第 57 図 西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡・炉・掘方・集石土坑 (1/30)、土坑・ピット (1/60)

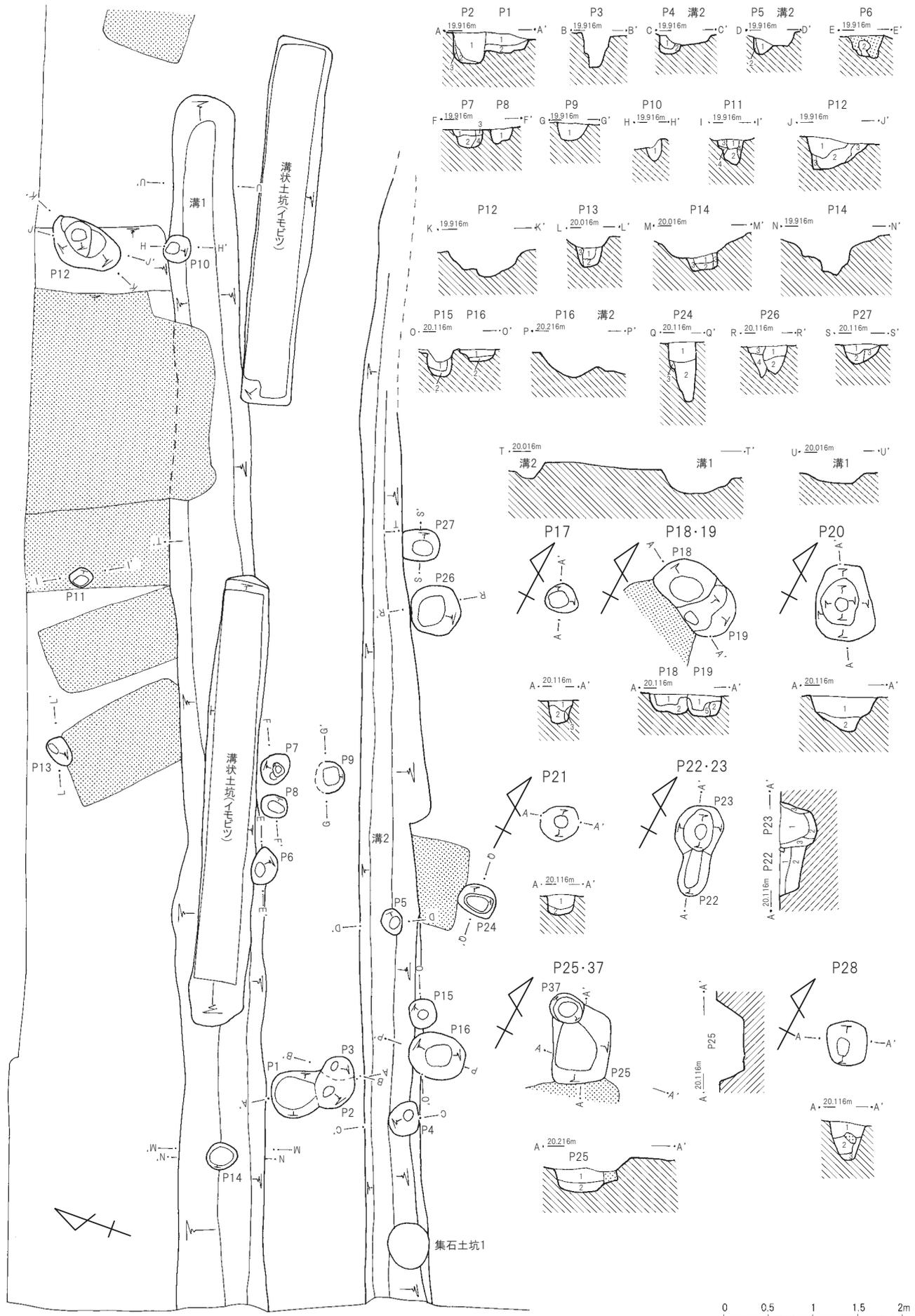
148地点



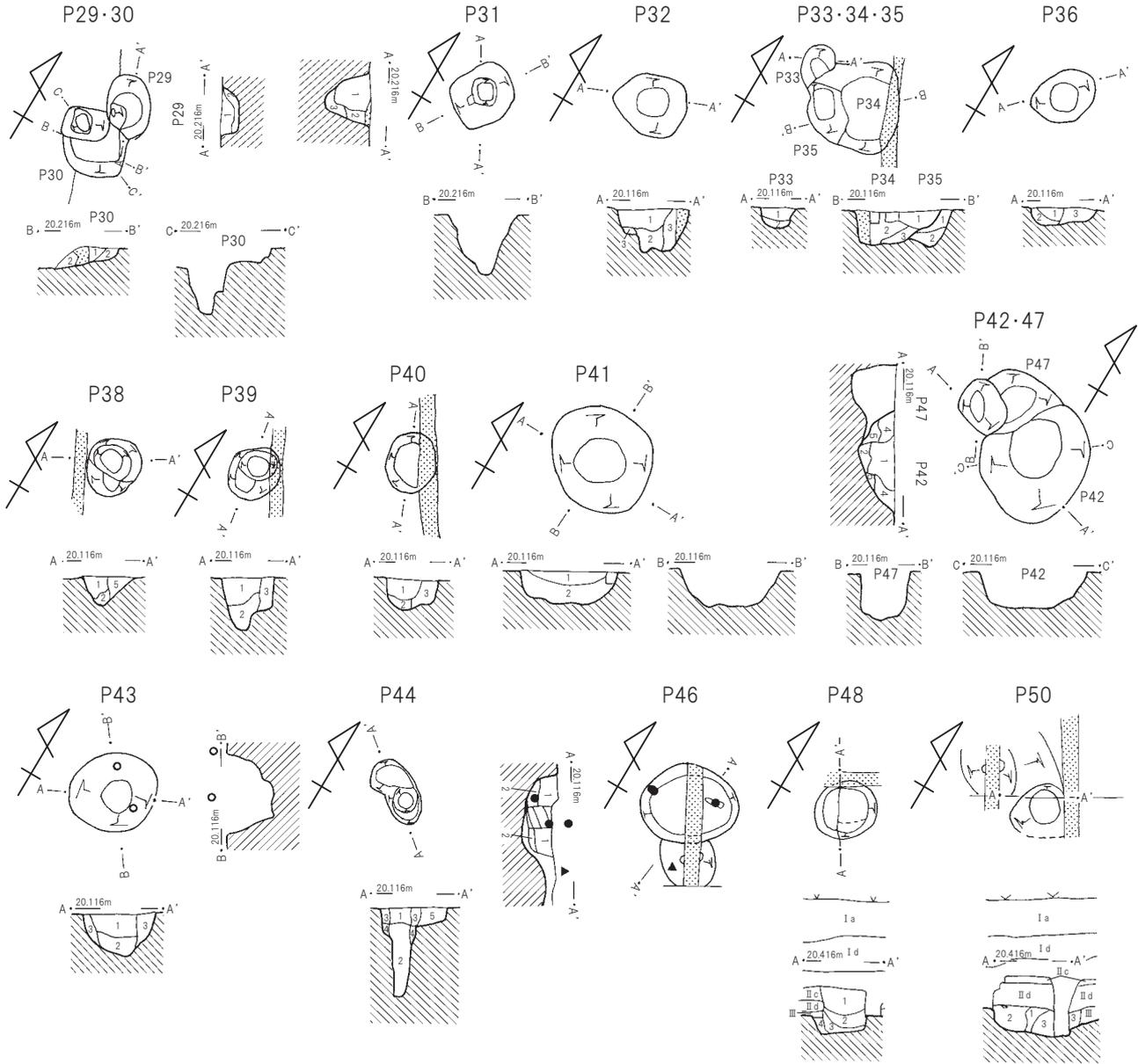
147地点



第58図 西ノ原遺跡第147・148地点遺構外遺物出土状況図(1/80)



第 59 図 西ノ原遺跡第 147 地点ピット・溝 (1/60)



ピット1・4・5・8・9・14・15・17・20・21・22・24・29・30・33・46・60・61・63・66・67・68

1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)僅かに含む
 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調1層より暗く、ロームブロックうっすら斑状に、ローム粒(5mm以下)少し含む

3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含み色調明るい

ピット2・6・12・16・18・23・27・28・31・36・41・42・43・50・58・72

1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)僅かに含む
 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)・ローム粒(3mm以下)をやや多く含む
 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)を僅かに含む
 5. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調4層より暗く、ロームブロックうっすら斑状に、ローム粒(5mm以下)少し含む

ピット7・10・11・13・38

1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む
 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調1層より暗く、ロームブロック(5mm)・ローム粒(3mm以下)少し含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調3層より暗く、ローム粒(2mm以下)少し含む
 5. 暗黄褐色土 うっすら斑状にロームブロック多く含む

ピット19・39・40・44・45・51・52・54・56・57・59・62・64・65・69・70・71・73

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)・ローム粒(2mm以下)少し含む、色調は2層より明るく、包含層の暗オリーブ褐色に近い
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~20mm)・ローム粒(2mm以下)やや多く含む、P56・71などで炭化物含む
 2'. 黒褐色土 締り強、粘性有、2層よりロームブロック、もしくは斑状にローム土を多く含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土、ローム粒(1mm以下)少し含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)多く含む
 5. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にロームブロック多く含む

ピット25・34・35

1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)・炭化物(2mm以下)少し含む
 2. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm大)やや多く含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)僅かに含む
 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、色調3層より暗く、ロームブロックうっすら斑状に、ローム粒(5mm以下)少し含む

ピット26・32・37

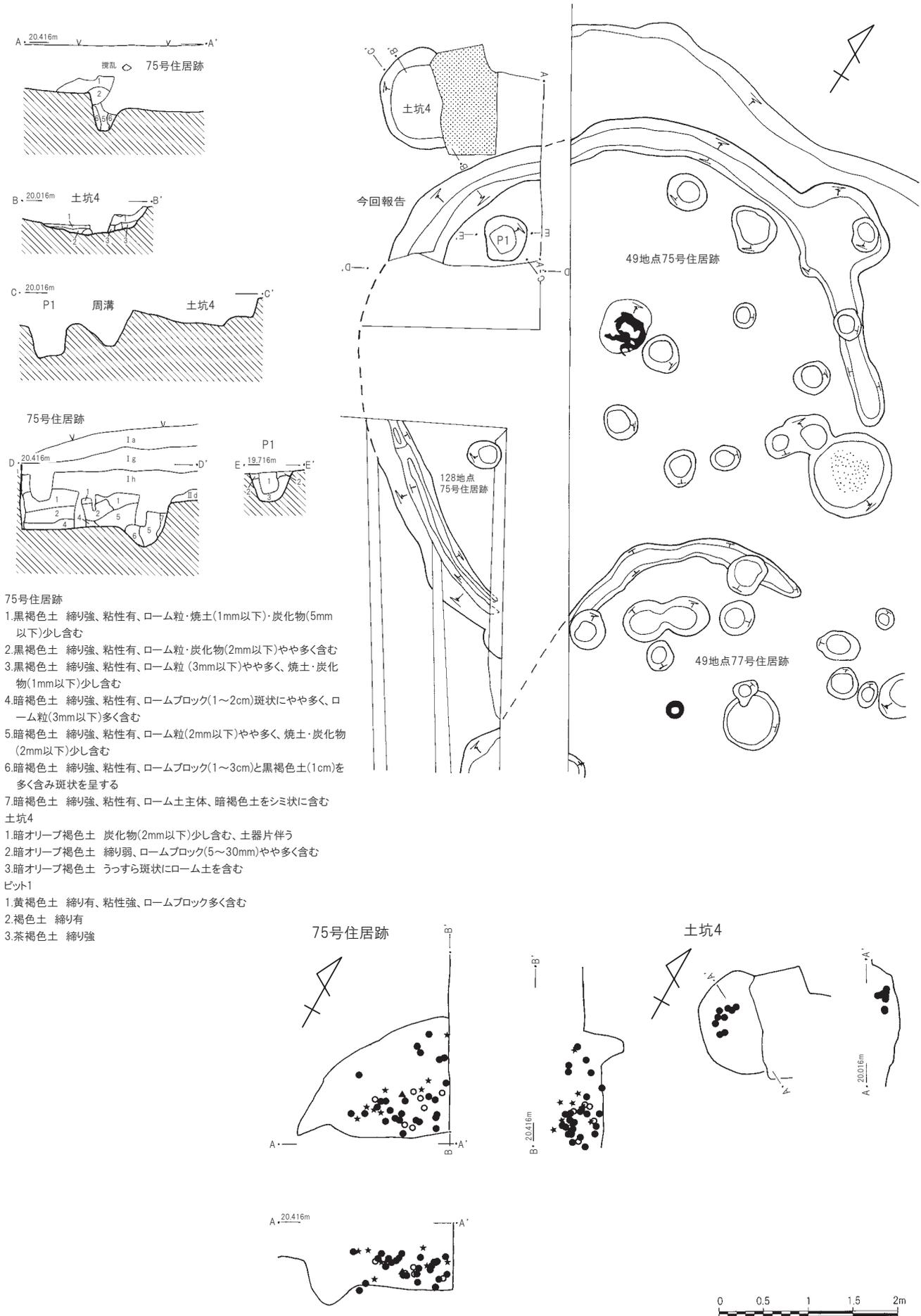
1. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、炭化物(2mm以下)少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、炭化物(2mm以下)・斑状のロームブロックやや多く含む
 3. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)僅かに含む
 4. 暗オリーブ褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)・ローム粒(3mm以下)やや多く含む

ピット48

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、焼土(2mm以下)やや多く含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、焼土(3mm以下)やや多く含む
 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(1cm大)多く、焼土(2mm以下)少し、斑状に黒褐色土を含む
 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)、焼土・炭化物(1mm以下)少し含む(Ⅲ層下に潜り込むような堆積)



第60図 西ノ原遺跡第148地点 ピット・溝 (1/60)



第 61 図 西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡・土坑・ピット・遺物出土状況図 (1/60)



第 62 図 西ノ原遺跡第 148 地点土坑・ピット (1/60)

集石土坑 2 は 147 地点の調査区中央に位置する。加曾利 E 式の土器片が出土した。時期は出土遺物から縄文時代と思われる。

土坑・ピット

土坑 4 基、ピット 71 基検出した。

溝

2 条検出した。いずれも東西方向の溝で、土地境に重なる。1.15 m 離れて平行する。

溝 1 は 147・148 調査区北側で 16 m 検出した。上幅 35 ~ 55 cm、下幅 15 ~ 20 cm、確認面からの深さ 11 ~ 18 cm である。

溝 2 は 147・148 調査区北側で 14 m 検出した。溝状土坑（イモビツ）に壊される。上幅 70 ~ 95 cm、下幅 30 ~ 55 cm、確認面からの深さ 13 ~ 28 cm である。

第 37 表 西ノ原遺跡第 147・148 地点 ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	不明	53 × (50)	(45) × 37	25.0	
P2	不明	41 × (34)	15 × 10	40.9	
P3	不明	37 × (25)	10 × 7	36.9	
P4	方形	37 × 34	11 × 10	25.8	
P5	円形	28 × 22	11 × 8	21.6	
P6	楕円形	43 × 29	18 × 10	25.3	
P7	円形	33 × 31	8 × 6	37.4	
P8	方形	30 × 25	19 × 11	18.2	
P9	円形	36 × 32	20 × 18	25.3	
P10	方形	30 × 29	15 × 13	26.1	
P11	方形	22 × 21	12 × 12	39.8	
P12	楕円形	84 × 51	17 × 14	36.2	
P13	方形	35 × 22	12 × 6	46.8	
P14	円形	34 × 30	25 × 21	26.6	
P15	方形	32 × 30	11 × 11	33.6	
P16	方形	64 × 50	30 × 24	24.0	
P17	方形	33 × 33	20 × 19	28.4	
P18	不明	57 × (55)	37 × 29	26.3	
P19	不明	60 × (46)	18 × 10	25.2	
P20	方形	86 × 70	11 × 10	42.3	
P21	円形	43 × 39	16 × 15	23.5	
P22	不明	(54) × 32	(43) × 15	31.6	
P23	不明	51 × (51)	19 × 12	42.5	
P24	方形	41 × 34	25 × 15	58.0	
P25	方形	90 × 63	52 × 45	35.4	
P26	円形	57 × 56	31 × 29	32.6	
P27	方形	42 × 37	23 × 16	22.9	
P28	方形	50 × 45	19 × 13	48.7	
P29	不明	57 × 39	8 × 3	33.6	
P30	不明	59 × 57	16 × 12	59.6	
P31	方形	57 × 49	17 × 14	55.1	
P32	方形	65 × 55	28 × 25	40.2	
P33	不明	35 × (26)	(17) × 14	19.4	
P34	不明	82 × (76)	58 × (41)	33.2	
P35	不明	(59) × (33)	27 × 17	32.5	
P36	楕円形	60 × 43	25 × 25	21.6	
P37	円形	37 × 33	23 × 18	39.3	
P38	円形	53 × 47	21 × 18	30.5	
P39	円形	50 × 45	19 × 19	53.4	
P40	円形	54 × 43	40 × 20	31.2	
P41	円形	96 × 89	47 × 41	32.4	
P42	(円形)	104 × 93	55 × 45	34.2	
P43	円形	77 × 71	29 × 29	44.1	
P44	ひょうたん形	62 × 30	15 × 13	83.2	
P45	方形	28 × 23	15 × 11	67.4	
P46	円形	75 × 74	60 × 50	26.9	
P47	方形	47 × 36	29 × 14	47.0	
P48	円形	55 × 52	40 × 40	14.9	
P49	円形	22 × 20	12 × 8	27.7	
P50	不明	53 × 50	30 × 27	23.3	
P51	楕円形	80 × 51	24 × 18	32.1	
P52	円形	53 × 48	34 × 28	40.4	
P53	欠番				
P54	ひょうたん形	101 × 70	49 × 46	42.0	
P55	欠番				
P56	方形	65 × 65	38 × 31	48.9	
P57	楕円形	76 × 48	23 × 22	43.6	
P58	不明	55 × (29)	22 × 13	32.1	
P59	方形	55 × 45	24 × 15	45.4	
P60	円形	69 × 59	52 × 34	32.2	
P61	不整形	103 × 77	75 × 51	17.6	
P62	方形	42 × 27	4 × 3	121.2	
P63	楕円形	160 × 55	11 × 7	32.9	
P64	円形	66 × 52	38 × 27	32.4	
P65	楕円形	86 × 63	23 × 23	53.7	
P66	円形	69 × 61	41 × 33	32.2	
P67	円形	40 × 35	23 × 13	25.2	
P68	楕円形	123 × 83	92 × 60	25.4	
P69	不明	55 × (43)	19 × 9	68.2	
P70	不明	80 × (42)	27 × (15)	45.2	
P71	方形	58 × 48	31 × 28	20.2	
P72	方形	43 × 41	23 × 20	25.7	
P73	方形	23 × 20	14 × 7	16.9	

第 33 表 西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	円形	61 × 50	34 × 30	73.9	

第 34 表 西ノ原遺跡第 147 地点集石土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
集石土坑 1	円形	47 × 41	4 × 4	32.9	

第 35 表 西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	方形	50 × 46	37 × 29	40.2	

第 36 表 西ノ原遺跡第 148 地点土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑 1	円形	187 × 147	140 × 124	38.6	
土坑 2	楕円形	158 × 104	106 × 67	32.2	
土坑 3	不明	184 × (85)	157 × 77	32.5	
土坑 4	不明	115 × (69)	86 × (57)	33.1	

172号住居跡出土遺物

1は、1/4現存、2は3/4現存。2の不足箇所を1で補い組み合わせて炉体土器として使われたもの。1は口径29cm。Lrの撚糸文を施文した後、粘土紐で口縁部文様帯の上下の区画を貼り付け、その間にS字状文と十字状文を貼り付けたもの。2は口径37cm。地文はLrの撚糸文。粘土紐で口縁部文様帯を上下区画し、その間、渦巻きあるいはS字状の文様を貼り付けたもの。口縁部に図示左半分に突出部がある。突出部は下部の文様が接する箇所に付けられ、現存では4ヶ所に認められ、欠損部にも想定され、全体では5ヶ所(5単位)になるのは確実である。

3は、2004年度調査によって、出土した土器と今回の調査で出土した土器が接合し、全形が判明した。口縁部2/5、胴部1/2現存。口径39.5cm。地文はLRの単節。口唇部は1cmほど外側にくの字状に突出させ古い段階の要素であるが、全体に丸みがあって名残がうかがえる。口縁部文様帯は図示正面の半渦巻き文と図示左端の渦巻き文は、上向きに張り出す「張出渦巻き文」である。この「張出渦巻き文」は、2ヶ所しか現存しないが、ちょうど全周の1/5に配置されていることから5単位の土器文様と推察してみた。胴部文様は、隆帯とその脇に波状平行沈線文による「U」字文を施し、その中央に隆帯で上部を弓なり十字文で組んだ懸垂文を加えている。この「U」字文は、全く同じ文様構成で2/3の胴部に2ヶ所見られることから、胴部文様は3単位文様と推察される。

覆土から勝坂式末期から加曽利E式の土器破片が出土している。4・5は勝坂式末の土器で、4は、口縁部と胴部を隆帯で区画し、斜めの刻みを施したものの、5は、口縁部文様帯を丸い工具で押圧した棒状隆帯をめぐらせたもので、当地域の地域性の強い土器。6は、加曽利E式で口縁部文様に渦巻き文で、7は口縁部文様帯中央に当たる渦巻き文の連結で、地文に撚糸文Lrを施している。8、9は上記の土器の胴部破片で非常に細かい撚糸文Lrを施している。10は、口縁部文様を沈線で重ね渦巻き文、いわゆるブラジャー土器と言われていたものである。

11、12は、加曽利E式の古段階の連弧文土器。いずれも地文が条線である。11は口縁部内側に隆帯を加飾して『フ』の字状にしたもの、12は連弧文が流れている。

13・14は、加曽利E式の浅鉢形土器。13は沈

線で平行線を描き、沈線文と同じ刻みを施す、14は器面表面が非常に研磨され、渦巻き文がなだらかに施文されている。

15は底部に近い土器で、隆帯の脇に沈線でナゾリが施されたもの、16・17は底部破片で、16は撚糸文Lrが施文。

18は、打製石斧。撥形完形。長さ10.4cm、最大幅6.2cm、最大厚1.6cm重さ126g。左側側面には大きく自然面が残り、右図には横剥ぎの第一次剥離痕が残る。側面調整は、細かく施され、両側面の紐ずれ使用痕が顕著である。石質は、ホルンフェルスである。

19は、自然石を利用した敲き石である。長さ11cm、最大幅4.8cm、最大厚3.2cm、重さ289g。右側面には、図面中央部に図示したように平坦な磨り面がある。石質は、硬質砂岩である。

住居外出土土器

20は、172号住居跡の北西部の壁外で、二重の段がついたピット46に隣接した箇所からまとまって出土したものを復元した。加曽利E式で住居跡よりも新しい。口径25cm(1/2現存)。丸く太い沈線で文様が付けられ、地文はRLの単節縦回転である。口縁部文様は渦巻きと楕円文の組み合わせによる。現存部に3個の渦巻き文が認められる。このうち2個の渦巻きが内から外へ右巻き、他の1個は内から外へ左巻きである。全体では5単位となると推察される。懸垂文は、残存箇所では渦巻き文に対応していて、懸垂文上端は「U」字状に連結している。風化が激しく器面内面の剥落から炉体土器に使われたものが廃棄されたか。集石土坑1出土遺物

1は、加曽利E式、口頸部から胴部にかけての土器で、胴部の粘土紐による大きな渦巻き文がうかがえる。地文に撚糸文Lr。

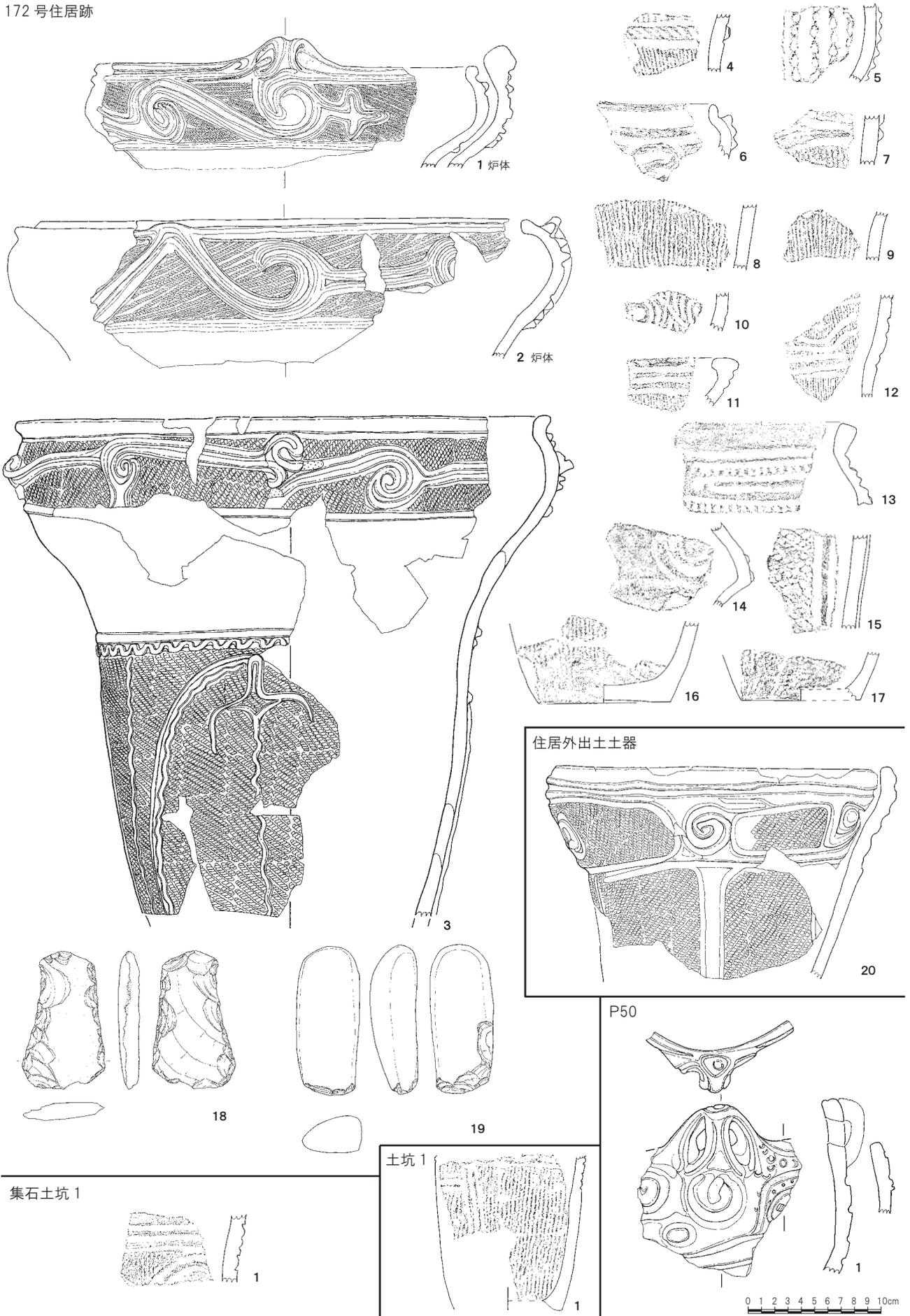
土坑1出土遺物

1は、加曽利E1式。胴部下半で、地文に撚糸文Lr。半截竹管による懸垂文で、二重に描いたもの。横位にも連結している。

ピット50出土遺物

1は、樽形になる、唐草文系の土器。色調濃い赤茶色。突起は加曽利E式の172号住居出土の炉体土器1に似る。その下に単独の渦巻き文を付ける。口縁部上方に竹管を垂直に押しつけて円形文を加えている。器面の外面は磨かれているため観察できないが、内面には、白色の小砂利が多量に混じるのが観察される。

172 号住居跡



第 63 図 西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡・集石土坑・土坑・ピット出土遺物 (1/4)

遺構外出土遺物

遺構外からは、勝坂期から加曾利E式まで出土している。いずれも小片である。1は、勝坂式の胴部破片。胴部の文様を隆帯により区画し、隆帯は大きく耳状に隆起して刻みが付けられている。2は、勝坂式土器。キャリパー状の器形でRLの単節を斜め回転し、条が縦になる。内面は竹管工具で抉られている。3は、曾利系の土器、胴部下半で隆帯による蛇行懸垂文が付く。蛇行沈線は半截竹管工具で帯の側面を交互に押圧したもの。4はキャリパーの器形に沈線で重ね渦巻き文をつけたもの、5は、大形の有孔鏝付き土器かもしれないが不明。大きな二重の渦巻き文の間を、半截竹管状の工具で交互に斜め下方から上方に向けて刺突したものの。

6は、打製石斧である。上半部は欠損している。上部に若干のくびれがある短冊形。刃部は丸く調整されている。最大幅5.2cm、厚さ1.3cm。石質は、片岩である。

7は、大形石匙と思われる。図左側に大きな自然面を残し、側面にくびれを施して上端につまみ部を作る。長さ8.2cm最大幅5.3cm、重さ86g。石質は、

ホルンフェルスである。

8は、自然石を利用した敲き石である。長さ9.5cm、最大幅4.3cm、最大厚3.3cm、重さ230g。下端部全面に敲き痕がある。石質は、硬質砂岩である。

9は、自然石で、下端部に敲き痕がある敲き石である。長さ9.3cm、最大幅6.0cm、最大厚2.2cm重さ197g。石質は、硬質砂岩である。

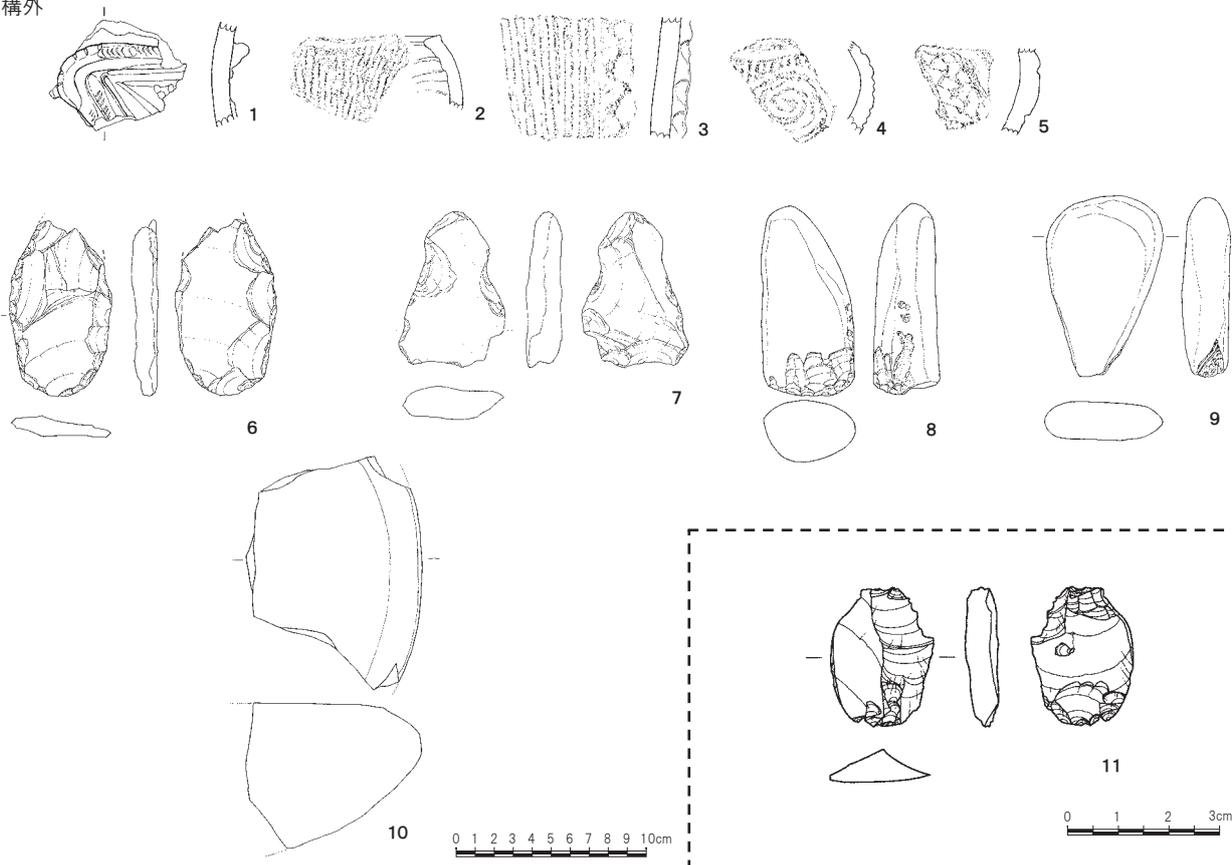
10は、石皿の破片である。石皿表面は、微かにくぼんでいる。石質は、閃緑岩である。

11は、剥片である。石質は、気泡が多い黒曜石である。調整途中で破棄したものか。

75号住居跡出土遺物

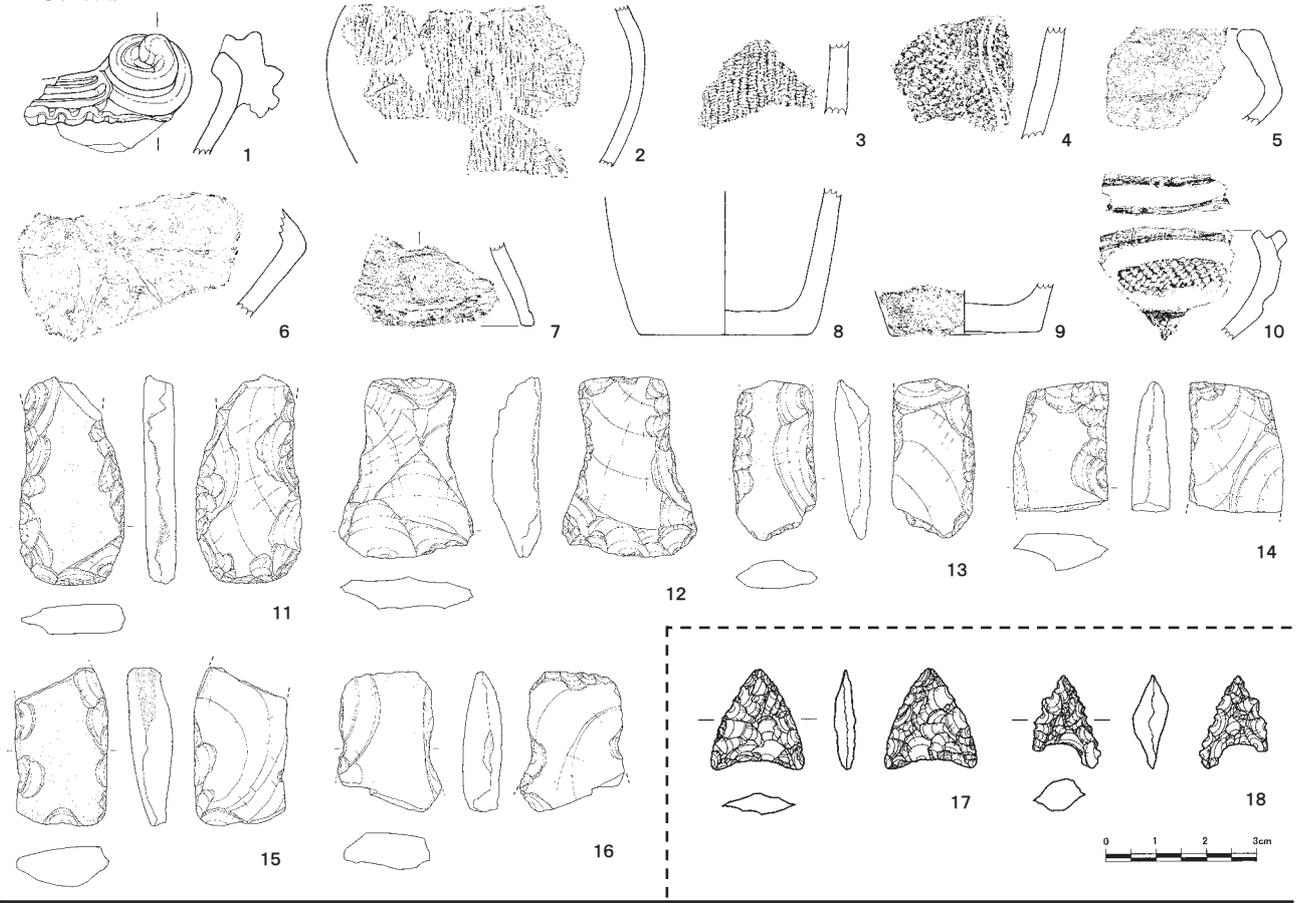
1は、口縁部文様帯が上半部に集中し、粘土紐による渦巻き文と交互刺突文をほどこされたもので勝坂末期の土器 2は、胴部上半の土器で口縁部が欠。条線を縦に施文のみの土器、勝坂式土器。3は勝坂式土器。単節RLを斜め下方に回転し、条が縦になったもの。4は、加曾利E式の胴部破片、地文はRLの単節。半截竹管による緩い蛇行懸垂文がつく。5・6は無文の浅鉢形土器。勝坂期。7は、台付き土器の台の部分。無文で台の下端に沿って突出させたもの。8・

遺構外

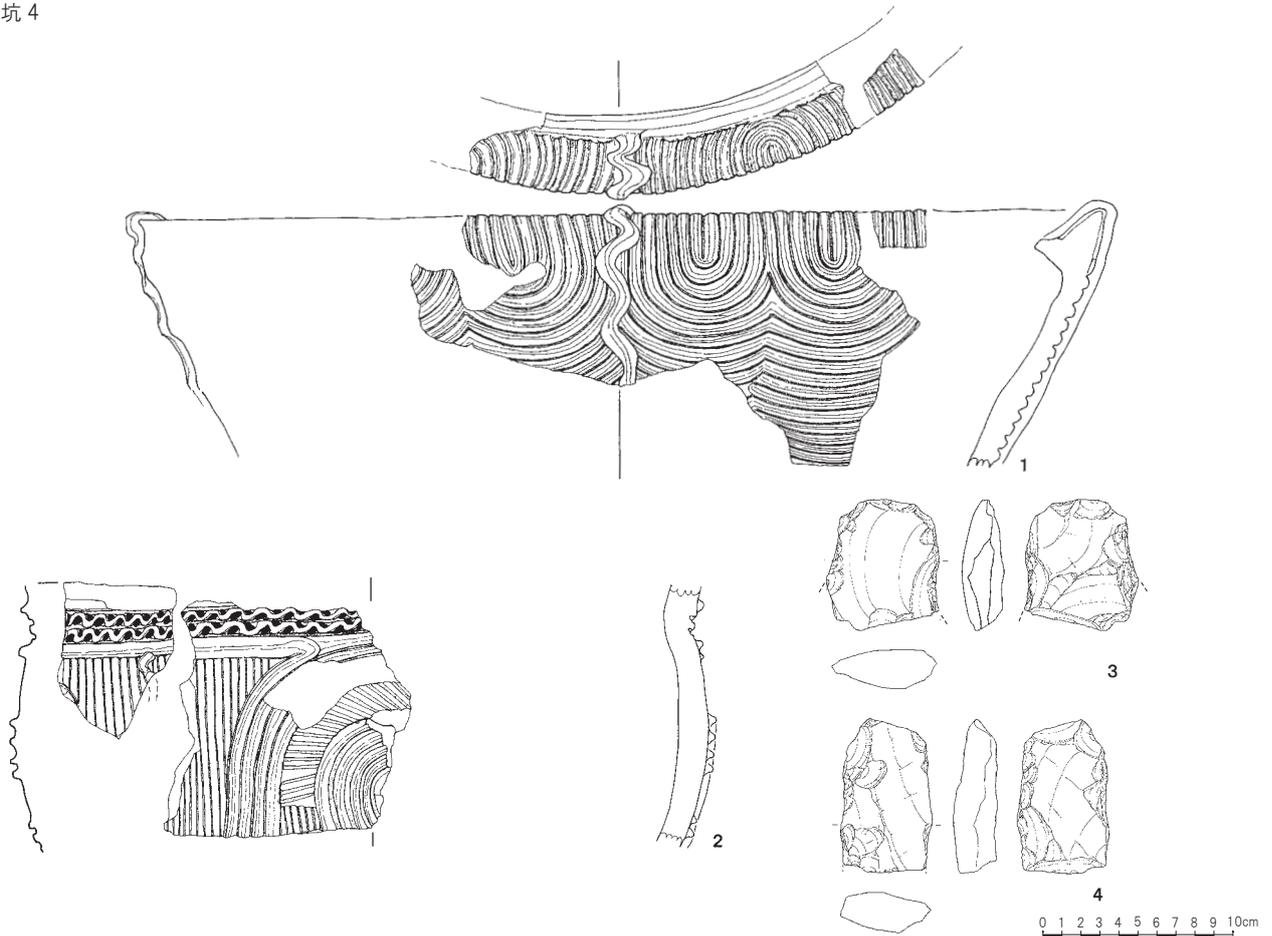


第64図 西ノ原遺跡第147地点遺構外出土遺物(2/3・1/4)

75 号住居跡



土坑 4



第 65 图 西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡・土坑 4 出土遺物 (2/3・1/4)

9は底部の破片。8はよく磨かれた無文である。9はLrの燃糸文が施されている。

10は、加曾利E式土器、口縁部に太い沈線楕円文がつき、口唇部外側に粘土紐を貼り緩い波状口縁をつくる。

11は、短冊形打製石斧。上端部欠損。石質は硬質砂岩。最大幅は、5.5 cm、最大厚が1.6 cm。図右側に平坦な自然面が残る。右図のように、第一次剥離は横剥ぎである。

12は、撥形石斧で完形。刃部部最大幅7.1 cm、長さ9.5 cm、くびれ部厚さ2.4 cm、重さ161g。くびれ部幅は、4.3 cm。石質は、ホルンフェルス。

13は、短冊形打製石斧。刃部先端、上端が欠損。くびれ部幅4.2 cm、くびれ部厚さ1.8 cm。石質は、硬質砂岩。

14は、短冊形打製石斧。先端が欠損。石質は、硬質砂岩。残存幅5.0 cm、片面に自然面が残る。

15は、若干くびれのある短冊形打製石斧。側面の紐ずれ痕は、摩耗が激しい。石質は、ホルンフェルスである。くびれ部最大幅4.8 cm、くびれ部厚さ2.2 cm。

16は、撥形打製石斧である。刃部欠損。両側面には、若干のくびれがある。石質は、硬質砂岩。くびれ部幅5.0 cm。

17は、石鏃。完形。長さ1.9 cm、最大幅1.8 cm、

厚さ0.4 cm、重さ1g。石質は黒曜石。両側面にはゆるいカーブがあり、下端が尖っている。ゆるいカーブを成した2 mmの挟りがある。

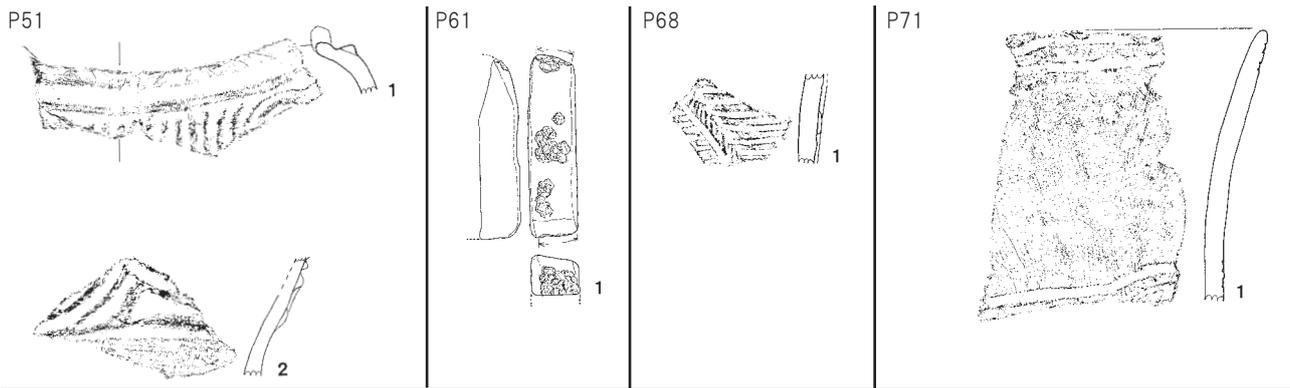
18は、石鏃。一部欠損。長さ1.8 cm、最大幅1.3 cm、厚さ0.7 cm、重さ0.82g。石質は黒曜石。片側はゆるくカーブし、右図の右下端は欠損しているらしい。右図側面は、剥離による凹凸が激しい。推定挟り部は、5 mmである。

土坑4出土遺物

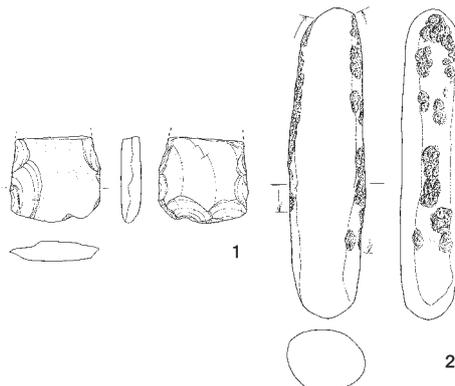
大形土器の破片が1個体分出土している。1は、口径51 cm（現存部1/3）、口縁部は1/2ほどあるが接合しない。曾利式土器で、半截竹管の工具で重弧文の文様がつく。重弧文は内面で交互に連結する。口縁部から4単位の蛇行懸垂文が付けられている。胎土は砂粒を多く含む。色調外面黒褐色、内面明茶色で器厚は1.5 mmほどあって厚い。2は、1と同一個体であるが接合しない。胴径37 cm（推定）。大型渦巻き文が4本の粘土紐を貼り付けたもの。地文は半截竹管により施文されている。

3は、撥形打製石斧。刃部欠損。石質は、ホルンフェルス。片側は大きな剥離面である。くびれ部幅5.5 cm、くびれ部厚さ2.2 cm。

4は短冊形打製石斧。刃部欠損。石質は、ホルンフェルス。くびれ部最大幅は4.8 cm、くびれ部厚さは2.2 cm。



遺構外



第 66 図 西ノ原遺跡第 148 地点ピット・遺構外出土遺物 (1/4)

ピット 51 出土遺物

1 は、渦巻き文を中心にして沈線で渦巻き文に連続弧線を加えたいわゆるブラジャー土器で、右端に突起が付いている。2 は、加曽利 E 1 式のキャリパー形の土器で、無文部と口縁部文様帯の境の土器は破片。

ピット 61 出土遺物

1 は敲き石。半欠品。側面と上端に敲き痕がある。長さ 9.5 cm。石質は、硬質砂岩。

ピット 68 出土遺物

1 は勝坂式土器でコの字状の隆帯に細かい刻みと、沈線が加わったもの。

ピット 71 出土遺物

1 は、加曽利 E 式土器。地文に縦に全面 6 本単位の条線で、口縁部直下と胴部に横位に 2 本の沈線を加えたもの。連弧文土器の一種。

遺構外出土遺物

1 は、短冊形打製石斧。刃部の破片。石質は、ホルンフェルス。

2 は、敲き石完形。長さ 16.3 cm。370.6g。側面に敲き痕あり。石質は、角閃岩。

西ノ原遺跡第 149 地点

(1) 調査の概要

調査は事務所建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 12 月 7 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東部に位置し、145 地点の南東部に隣接するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2011 年 2 月 7 日から 2 月 10 日まで、幅約 2 m のトレンチを 3 本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、近世以降の溝 1 本を検出した。遺構確認面までの深さは約 40 cm である。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

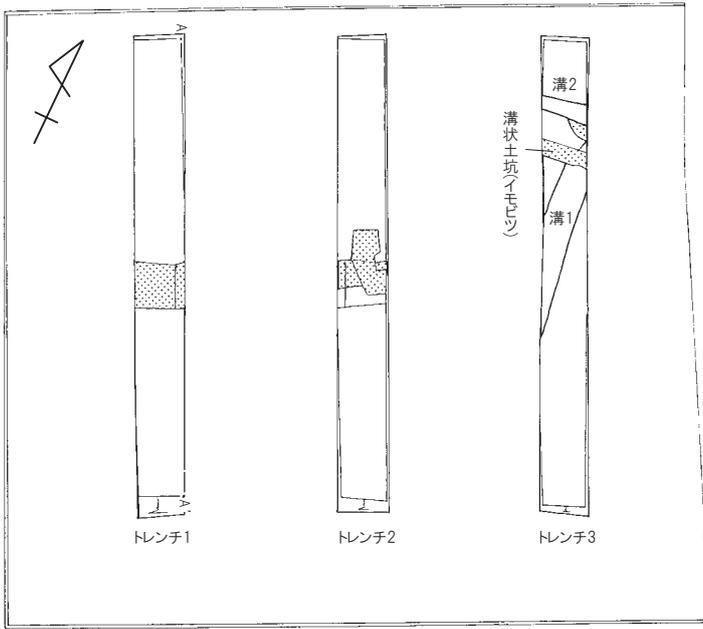
(2) 遺構と遺物

溝

東西方向の溝と南北方向の溝を検出している。いずれも 1957 年以前の土地境と位置が一致しており、近世以降の土地境の溝である。

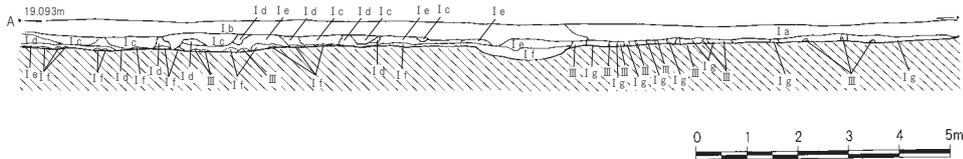
溝 1 は南北方向の溝で、南側の 145 地点で検出した溝 2 と連なる。「西ノ原公図」(1872 年)で記載された村道と重なるが、この村道は公図に紙を貼って消されている。東西方向の溝状土坑(イモビツ)に壊される。溝の上幅は 120 cm、下幅は 25 ~ 40 cm、断面形状は緩やかに立ち上がる「U」字形で、深さは確認面から 30 cm である。

溝 2 は東西方向の溝で土地の境と重なる。溝の上幅は 55 cm、下幅は 10 cm、断面形状は「U」字形で、深さは確認面から 20 cm である。

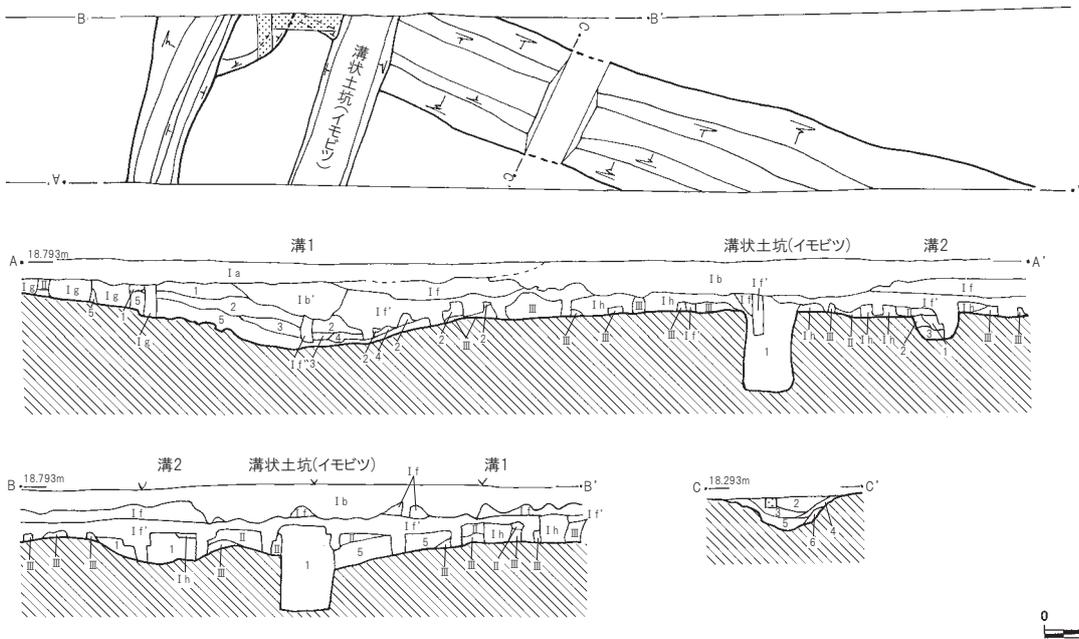


- 表土
- I a.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く含む
 - I b.黒褐色土 ローム粒(3mm以下)少し含む
 - I b'.暗褐色土 ロームブロック・粒(1cm以下)や黒褐色土が不均一に混ざる
 - I c.黒褐色土 大型のロームブロック(1~10cm)少し含む
 - I d.黒褐色土 色調褐色味が有る、ローム粒(3mm以下)僅かに含む
 - I e.黒色土 ロームブロック(2cm以下)・黄灰色シルトブロック(3cm以下)やや多く含む
 - I f.褐灰色土 締り強、ローム粒(5mm以下)多く含む、トレンチヤー痕覆土
 - I f'.黒褐色土 ロームブロック・粒(2cm以下)やや多く含む、トレンチヤー痕覆土
 - I g.暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む、トレンチヤー痕覆土
 - I h.黒色土 I eに似るがトレンチヤーより古い、大型のソフトロームブロック(8cm以下)多く含む
- II.盛土、暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
- III.ローム地山
- 溝1
- 1.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)少し、ローム粒(3mm以下)多く含む
 - 2.暗褐色土ベース 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)・黒色土をやや多く含む、斑状を呈する
 - 3.暗褐色土 締り強、粘性やや弱、ローム粒(3mm以下)多く含む、黒灰色シルト少し含む、以下水成堆積
 - 4.黄褐色土 締り強、粘性やや弱、ローム粒(3mm以下)主体、黒灰色シルト少し含む
 - 5.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く、ロームブロック(1~4cm)と黒灰色シルトブロック(長4cm以下)やや多く含む
 - 6.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む

トレンチ1



溝1



溝2

- 1.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm大)少し、ローム粒(3mm以下)やや多く含む、II層に似るが黒色味が有る
 - 2.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(15cm大)・ローム粒(2mm以下)少し含む、褐色味強い
 - 3.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm大)・ローム粒(5mm以下)・黒灰色シルトブロック(2cm大)少し含む
- 溝状土坑(イモビツ)
- 1.黒褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、ロームブロック(6cm以下)主体

第 67 図 西ノ原遺跡第 149 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、溝 (1/80)

ト7基を検出した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成など記録保存を行ったうえで埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①ピット

調査区北東部でピットを7基検出した。柵列状に並ぶ。軟質の土で近世以降と思われる。

第 39 表 神明後遺跡第 43 地点遺構一覧表 (単位 cm)

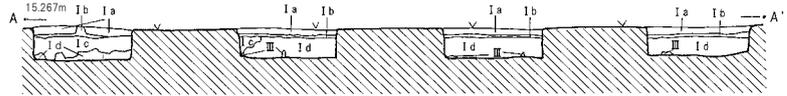
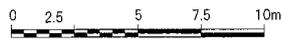
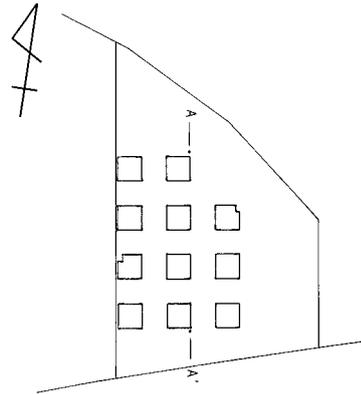
No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	楕円形	52 × 38	16 × 10	66.0	
P2	方形	35 × 30	21 × 20	48.7	
P3	不明	41 × (35)	12 × 10	61.1	
P4	方形	45 × 40	31 × 30	47.0	
P5	不明	92 × (89)	22 × 15	56.8	
P6	不明	(28) × 28	17 × 16	40.8	
P7	方形	34 × 25	24 × 15	24.2	
溝状土坑	不明	(151) × 58	(148) × 53	24.2	

第 38 表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間 281-1	1993.5.6 ~ 11	615	共同住宅	遺構なし、平安時代須恵器片、陶器片	町内Ⅲ
2	苗間 295-2,299-3	1993.5.12 ~ 20	1,688	道路築造	落とし穴1、平安住居跡1軒(H1号)、縄文土坑1、中・近世掘建柱建物跡、地下式竈1、井戸、堀	町内Ⅲ
3	苗間 309-12	(1995.3.24 ~ 29) 1995.4.3 ~ 5.19	200	分譲住宅	縄文住居跡1軒(2号)、伏糞2、埋糞1、土坑2、ピット34他	町内Ⅵ
4	苗間 302	(1996.6.17 ~ 19)	703	物置	遺構なし、縄文土器片	町内Ⅵ
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15)1997.3.15 ~ 4.2	80	個人住宅	縄文住居跡1軒(3号)、土坑5、溝、他 縄文中期後半～後期初頭土器	町内Ⅵ
6	苗間 255,227-2	(1997.9.29 ~ 30)	150	個人住宅	土坑1、土器片・石器片	町内Ⅶ
7	苗間 260	(1998.6.1 ~ 2)	1,460	個人住宅	近世地下室1	町内Ⅶ
8	苗間 235-1	(1998.7.13 ~ 24)	458	共同住宅	縄文土器片	町内Ⅷ
9	苗間 310-1	(1998.9.1 ~ 11)1998.9.14 ~ 10.15	219	共同住宅	縄文住居跡4軒、集石土坑1、落とし穴1、縄文土坑2、近世土坑1、井戸2、地下室1、ピット33	町内Ⅷ
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町内Ⅸ
11	苗間 366	(1999.10.21)1999.10.22 ~ 26	239	個人住宅	土坑17、ピット7	町内Ⅸ
12	苗間 282-2・5	(2000.3.6)	211	共同住宅	遺構遺物無し	町内Ⅸ
13	苗間 302-1	(2000.4.17 ~ 19)	694	個人住宅	土坑12、ピット	町内Ⅹ
14	苗間 252-2	(2000.8.18 ~ 23)	357	共同住宅	土坑1、近世掘建柱建物跡1棟、溝2、井戸1、柵列、ピット38	町内Ⅹ
15	苗間 293-15	(2001.4.11)2001.4.12 ~ 13	163	個人住宅	集石土坑1(阿玉台期)	町内Ⅹ1
16	苗間 309-14	(2001.7.23 ~ 24)2001.7.25 ~ 9.3	165	個人住宅	縄文屋外埋糞4、土坑13、溝2、地下式竈1、地下室1、竈穴状遺構1、ピット38	町内Ⅹ1
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	個人住宅	近世溝	町内Ⅹ1
18	苗間 304-1,303-6	(2002.5.15 ~ 25)2002.5.27 ~ 6.21	672	分譲住宅	縄文中期住居跡5(8 ~ 12号)、土坑、古代・中世堀跡	町内ⅩⅡ
19	苗間 264-4	(2002.9.18 ~ 20)	216	個人住宅	根切溝、溝4	町内ⅩⅡ
20	苗間 293-11	(2003.1.14 ~ 15)	143	個人住宅	中・近世溝2、ピット2	町内ⅩⅡ
21	苗間 283-1	(2003.1.10 ~ 30)	674	土地造成	ピット7、井戸1、近世地下室2、土坑1	町内ⅩⅡ
22	苗間 235-2・3	(2003.7.8 ~ 29)	430	分譲住宅	井戸1、土坑10、ピット38、江戸後期陶磁器	町内ⅩⅡ
23	苗間 253	(2004.4.9)	62	個人住宅	地下室1、銭貨	町内ⅩⅡ
24	苗間神明後 293-4・10	(2004.9.30 ~ 10.7)	148	個人住宅	遺構・遺物無し	町内ⅩⅡ
25	苗間 295-1	(2004.9.30 ~ 10.7)	660	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	町内ⅩⅡ
26	苗間神明後 301,303-3 ~ 5・7,304-1	(2005.6.1 ~ 8) 2005.6.15 ~ 30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡1(13号)、中世地下式竈、近世土坑5、溝	調査18集
27	苗間 248-2,249-1	(2005.7.20 ~ 25)2005.7.27 ~ 29	385	共同住宅	縄文中期住居跡1(14号)	調査18集
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8 ~ 31) 2006.6.29 ~ 10.5	2,171	宅地造成	縄文中期住居跡11(15 ~ 25号)、集石23、土坑5、落とし穴1、竈穴3、ピット、溝4、古代・中世堀跡1	市内3
29	苗間神明後 303-21・24	(2006.5.8 ~ 11)2006.5.12 ~ 19	136	個人住宅	ピット1、古代・中世堀跡1	市内3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8 ~ 19)2006.12.14 ~ 19	101	個人住宅	ピット12	市内3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3 ~ 7)	499	個人住宅	土坑2	市内4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	個人住宅	近・現代攪乱	市内4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	298	個人住宅	落とし穴1、中世以降溝6、井戸2、土坑38、ピット16	市内6
33b	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	357	分譲住宅		市内6
34	苗間字神明後 283-1,284-1の一部	(2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 28	1,693	個人住宅	縄文中期住居跡1(26号)、落とし穴1、集石3、ピット	市内5
35	苗間字神明後 293-6・20	(2008.8.1)	247	個人住宅	遺構・遺物無し	市内6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	個人住宅	ピット1	市内6
37	苗間 258-1の一部	(2009.4.13)2009.4.15 ~ 30	120	個人住宅	縄文後期住居跡1	市内8
38	苗間字神明後 293-1,292-13	(2009.7.6 ~ 7)2009.7.8 ~ 16	265	個人住宅	中近世溝1	市内8
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5 ~ 12)2009.8.24 ~ 9.1	378	共同住宅	中～近世溝2、ピット28、落とし穴1	市内7
40	苗間 309-1	(2009.11.9 ~ 16) 2009.12.18 ~ 2010.1.15	156	個人住宅	縄文集石土坑1、中世地下式竈2、井戸1、竈穴状遺構1、土坑9	市内8
41	苗間字神明後 298-1,299-1の一部	(2010.5.25 ~ 31) 2010.6.15 ~ 7.21	486	共同住宅	縄文時代集石土坑1、中世の掘立柱建物跡、方形竈穴状遺構16、溝5、木炭窯1、ピット214、本調査(140㎡)	市内9
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1 ~ 2)	312	宅地造成	遺構・遺物無し(隣接地)	市内10
43	苗間 292-14	(2010.10.20 ~ 22)2010.10.22	107	個人住宅	中世～近世ピット7、本調査	市内10
44	苗間神明後 367-1,368-1の一部	(2011.7.8)2011.7.11 ~ 13	1535	個人住宅	落とし穴1、土器・陶器片	未報告
45	苗間神明後 235-9	(2011.12.5)	200	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
46	苗間神明後 235-6	(2012.4.9 ~ 10)	233	個人住宅	縄文土坑1、土器片	未報告
47	苗間神明後 227-2	(2012.4.24)2012.4.25 ~ 5.8	340	個人住宅	縄文時代集石土坑3、縄文土器片	未報告
48	苗間神明後 315-1の一部	(2012.5.7)2012.5.8 ~ 14	171	個人住宅	井戸2、溝、土坑、ピット、板碑、カワラケ、近世陶磁器、石白片	未報告

※町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

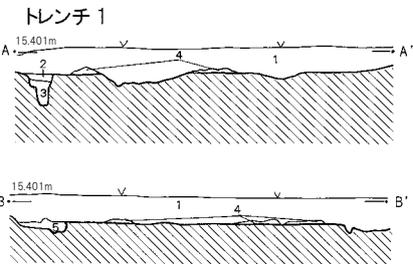
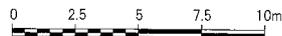
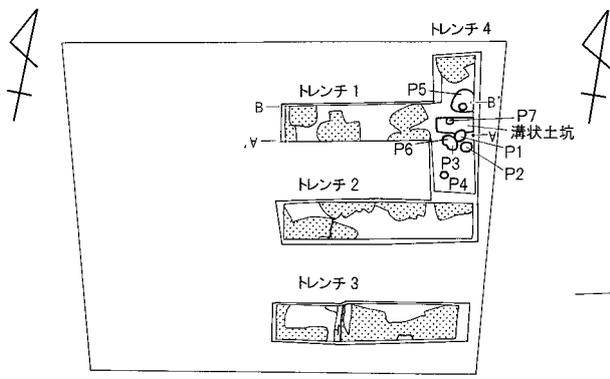
42 地点



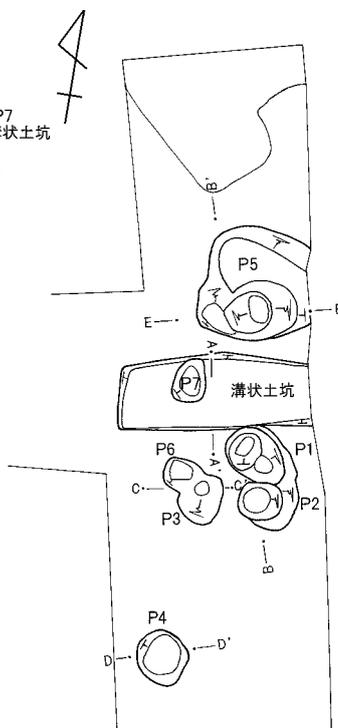
表土・耕作土

- I a. 黒褐色土 締り有、ローム粒(1mm 以下) 少し含む
- I b. 暗褐色土 締り強、ローム粒(2mm 以下) やや多く含む
- I c. 黒褐色土 締り強、ローム粒(5mm 以下) 少し含む
- I d. 黒褐色土 締り強、ロームブロックを多く含む
- Ⅲ. 黄褐色ソフトローム

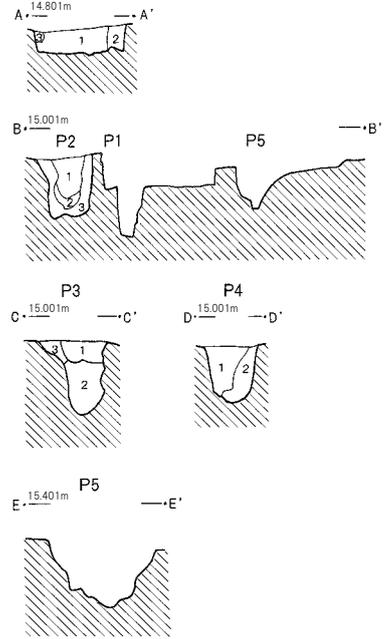
43 地点



- 1. 表土・黒色土 締り有、ロームブロック・ガラ含む
 - 2. 黒褐色土 締り弱、ローム粒(~ 3mm) 極多く含む
 - 3. 暗褐色土とローム粒の混合土 締り弱
 - 4. 褐色土 ソフトローム、地山
 - 5. 黄褐色土 締り弱、ローム粒・塊主体、重機掘削の壁
- 溝状土坑
- 1. 暗褐色土 締り弱、ローム粒(1 ~ 3mm) 極多く含む、イモビツ
 - 2. 黒褐色土 締り弱、ローム粒(1 ~ 3mm) 極多く含む、攪乱の小さいピット、イモビツより古い
 - 3. ソフトローム、褐色土 締りやや有



溝状土坑



ピット 2

- 1. 黒色土とローム粒の混合土
- 2.1 層にロームブロック
- 3. ローム粒主体、黒色土混入

ピット 3

- 1. ピット 4 の 2 層と似る、ロームブロック無し
- 2. ローム粒主体、黒色土少し混入
- 3. 暗褐色土 締り弱

ピット 4

- 1. 暗褐色土とローム粒の混合土 締り弱
- 2. 黒色土 締り弱、ロームブロック(5cm 以下)、ローム粒(1 ~ 3mm) 多く含む

第 69 図 神明後遺跡第 42・43 地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、溝状土坑・ピット(1/60)

第12章 浄禅寺跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

浄禅寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禅寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12～14mで現谷底との比高差は2mを測る。浄禅寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を、浄禅寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は市街化が進み、残された畑地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

2013年12月現在39地点で試掘調査及び発掘調査が行われ、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡1軒、中期住居跡1軒、中・近世の薬研状の堀や、遺跡名の由来である浄禅寺墓域から土壙墓157基、一字一石経約76,000点が出土している。旧苗間村の浄禅寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失して以来再建されていない。

II 浄禅寺跡遺跡第33地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年7月28日付でふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年8月6日に、ブロック塀設置予定箇所へ幅約0.7mのトレンチを1本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、遺構を確認した。遺構確認面までの深さは約35cmで、盛土等による遺構の保存が困難なため、補助事業の対応で10月22日調査を行った。土坑1基を検出した。

なお、住宅建築部分は60cmの盛土を行い、保存措置をとることとなった。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成など記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第70図 浄禅寺跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

(2) 遺構と遺物

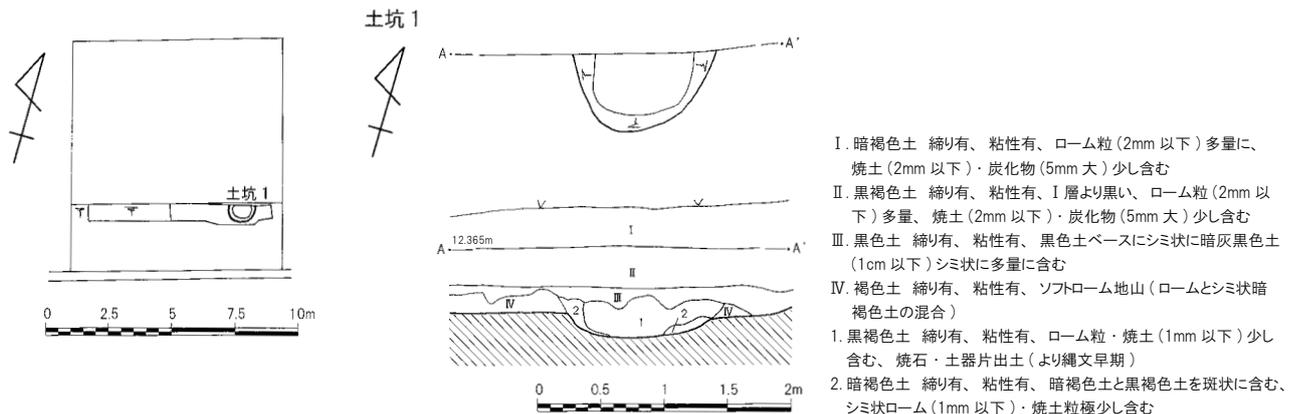
上端東西 110 cm、下端 80 cm、確認面からの深さ 14 cm、
縄文土器が 1 点出土している。

①土坑

調査区南東部に土坑を 1 基検出した。ブロック設置箇所のみ調査のため、土坑北半分は未検出である。

第 40 表 浄禅寺跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間東久保 579	1979.4.3 ~ 4.21	605	共同住宅	苗間東久保 1 地点として報告済み 炉穴 10、土坑 14、縄文早期後半・中期	東部遺跡群 I
2	苗間東久保 573	1982.4.1 ~ 4.3	396	共同住宅	苗間東久保 7 地点として報告済み 遺構なし、磨耗縄文土器	東部遺跡群 III
3	苗間東久保 581	1984.7.20 ~ 7.21	320	共同住宅	苗間東久保 12 地点を浄禅寺 3 地点とする 遺構なし、縄文中期末	未報告
4	苗間神明後 346-1	1989.11.15 ~ 11.25	150	開発予定地	炉穴 10、土坑 7、ピット 14、 縄文早期後半・前・中期	東部遺跡群 X
5	苗間 374-9	1991.8.28 ~ 9.3	100	個人住宅	遺構なし、縄文前期・中期土器片	町内遺跡群 I
6	苗間 358-1	1991.9.21 ~ 12.26	826	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群 I
7	苗間東久保 573-4	1992.10.20 ~ 11.20	831	共同住宅	炉穴 8、井戸 3、堀 3、縄文章～中期	調査会報告 5 集
8	苗間 357-1	(1994.9.20 ~ 9.27)	615	宅地分譲	落し穴、根切溝	町内遺跡群 IV
9	苗間 353	(1994.10.18)、2007.5.22 ~ 24	1,266	農地改良	土坑、溝、縄文土器、磁器	町内遺跡群 IV、市 内 4
10	苗間 356-1	1994.10.31 ~ 11.2	999	宅地分譲	近世土壌墓、一石経埋納土坑、 六道銭、江戸中後期	調査会報告 12 集
11	苗間 352-1 他	(1995.1.9 ~ 2.3)	572	道路	湧水口	町内遺跡群 IV
12	苗間 35-95	1995.9.25 ~ 10.21	140	個人住宅	屋外戸、遺物集中 3、ピット 16、溝 5、 縄文中期土器、磁器	町内遺跡群 V
13	苗間 314-2	(1996.1.8 ~ 1.29)	101	個人住宅	土坑 13、ピット 11、井戸 1、溝 2、 縄文早～後期、陶磁器	町内遺跡群 V
14	苗間 360.1.362-2	(1996.6.3 ~ 6.12) 1996.6.18 ~ 7.11	2,178	個人住宅	礫群 3、落し穴 1、溝 4、ピット 251、 旧石器、縄文土器、陶磁器片	町内遺跡群 VI
15	苗間 362.4・5	(1996.6.3 ~ 6.12) 1996.7.12 ~ 8.2	494	分譲住宅	炉穴 7	町内遺跡群 VI
16	苗間 579-1	1997.11.10 ~ 12.19	291	個人住宅	縄文住居 1、炉穴 14、ピット 61、土坑 16、溝 4、縄文早期後半、前期、中 期	町内遺跡群 VII
17	苗間 345-2・10	(1998.9.29 ~ 10.2)	877	個人住宅	遺構なし、縄文早期後半、中期後半	町内遺跡群 VIII
18	苗間 345-3・4	(1999.5.26 ~ 6.24) 1999.6.26 ~ 8.3	599	個人住宅	炉穴 8、集石土坑 3、土坑 13、ピット 27、溝 縄文後期土器、土師器	町内遺跡群 IX
19	苗間神明後 345-4	1999.8 ~ 9	703	分譲住宅	炉穴 1、集石 2、焼土痕 4、土坑 22、井戸 2、溝 8、掘立 5、 縄文早～晩期土器、石器、中近世陶磁器、板碑	調査会報告 15 集
20	苗間神明後 351-1	(2001.10.26 ~ 10.29)	223	倉庫	遺構なし、近世磁器	町内遺跡群 X I
21	苗間東久保 591-3.592-7	(2001.11.19 ~ 11.20)	182	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群 X I
22	苗間 373-5・8.377-5・3・4	(2002.4.23 ~ 5.14)	935	分譲住宅	土坑 1、ピット 4、溝、遺物なし	町内遺跡群 X II
23	苗間 592-1	(2003.4.28)	100	個人住宅	ピット 2、溝、遺物なし	町内遺跡群 X II
24	苗間神明後 346-1・2 の一部	(2004.8.30 ~ 8.31)	391	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群 X II
25	苗間 339-1・2	(2004.9.22 ~ 10.12)	721	共同住宅	ピット 2	町内遺跡群 X II
26	苗間神明後 354-2 の一部	(2005.3.3 ~ 3.8) 2006.4.17 ~ 28.6.7 ~ 15	216	分譲住宅	炉穴 10、土坑 8、ピット 21、溝 1、縄文中期片	市内遺跡群 3
27	苗間神明後 354-2	(2005.12.1 ~ 2006.1.22) 2006.1.23 ~ 2.23	696	新設道路築造 分譲住宅	住居跡 1、炉穴 15、埋喪 2、土坑 117、 ピット 127、溝 1	市内遺跡群 2
28	苗間字東久保 719-7.720-1	(2007.1.23)	2,478	園舎改築工事	溝 2	市内遺跡群 3
29	苗間 570-1・2.571-1・2.575	(2007.8.7 ~ 9.21) 2007.9.25 ~ 11.6	4,920	分譲住宅	掘立柱建物跡 3、井戸 15、土坑 15、堀跡 1、溝 17、陶磁器・板碑他	市内遺跡群 4
30	苗間 359-1	(2007.9.14 ~ 10.9) 2007.10.9 ~ 11.2	1,298	分譲住宅	茶毘跡 5、木炭窯 1、土坑 15、溝 2、陶磁器・板碑他	市内遺跡群 4
31	苗間字神明後 342-14 一部	(2007.2.19)2007.2.19 ~ 3.5	171	個人住宅	住居跡 1、炉穴 1、土坑 1、ピット 26、縄文土器・石器	市内遺跡群 4
32	苗間字神明後 340-17.342-10・15.	(2007.2.25 ~ 3.4)	188	個人住宅	堀跡 1、ピット 1、縄文土器	市内遺跡群 4
33	苗間字神明後 340-21	(2010.8.6)	76	個人住宅	土坑 1	市内遺跡群 10



第 71 図 浄禅寺跡遺跡第 33 地点遺構配置図 (1/300)、土坑 (1/60)

第13章 小田久保遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

小田久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.3km、砂川堀の左岸、標高23～28mに位置する。本遺跡をのせる台地は緩やかな斜面を形成するが、対岸の南側台地は急傾斜をなす。

周辺の遺跡は、砂川堀を挟んだ南側台地上に旧石器時代の石器・礫群を検出した西台遺跡が、本遺跡の東側、微高地の突端には縄文時代前期住居を検出した大井氏館跡遺跡がある。

本遺跡は市街化調整区域のため比較的武蔵野の面影を残す農村地帯だが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の波が押し寄せつつある。

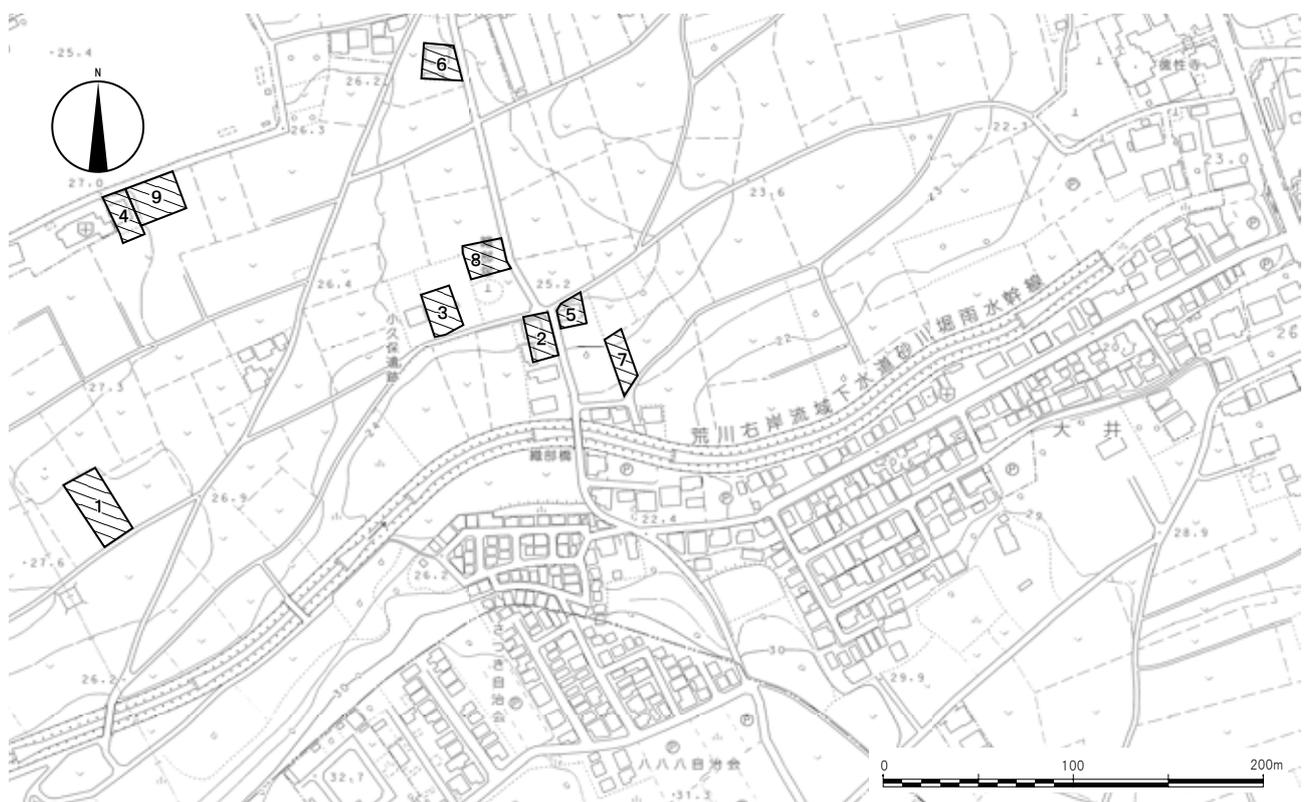
1990年に最初の試掘調査が行われて以来、過去の調査では数点の縄文土器片を確認しているだけであったが、2003年と2004年の調査において本遺跡では初の住居跡を検出したことにより、本遺跡が縄文時代中期の集落である事が明らかとなりつつある。今後は集落の分布や範囲の解明が待たれる。分布調査や発掘調査から遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期から中期、中近世である。2013年12月現在、9ヶ所で調査を行っている。

II 小田久保遺跡第9地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2011年1月7日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西部、砂川堀へ下る北斜面に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2011年3月8日に幅約1.5mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行ったが、遺構遺物は確認されなかった。遺構確認面までの深さは約25～35cmである。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

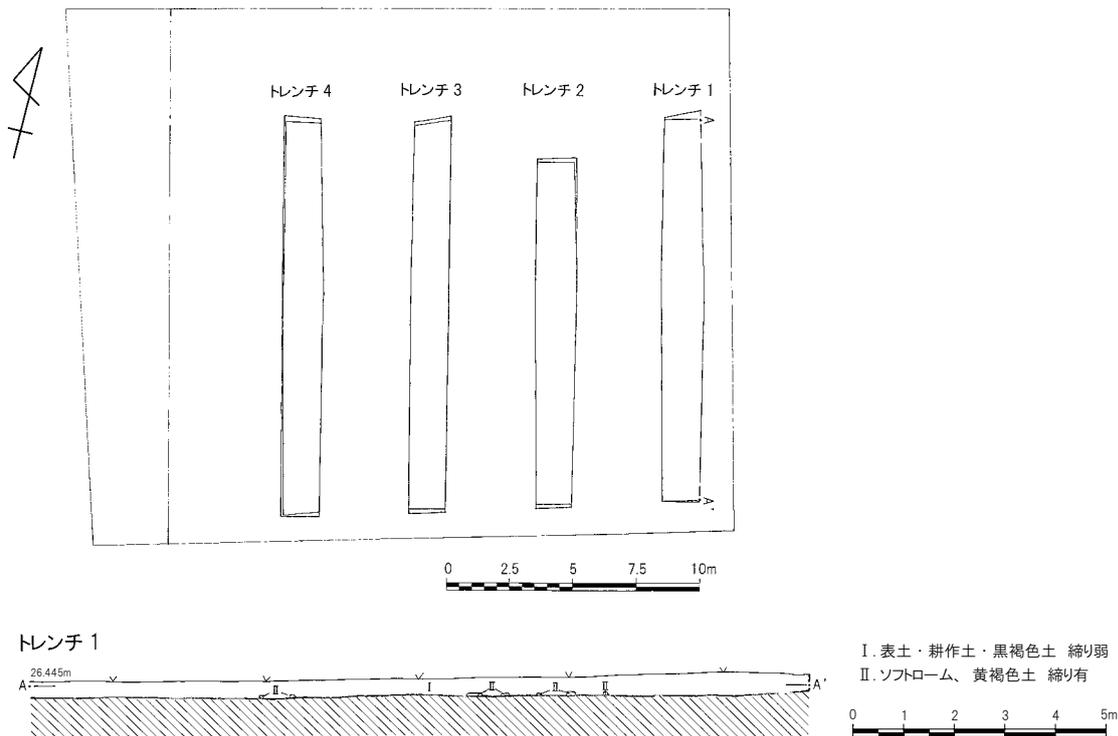


第72図 小田久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第41表 小田久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井 1223-3	(1990.10.12 ~ 18)	694	資材置場	遺構なし、縄文中期土器片	東X I
2	大井 1249-1	(1993.9.21 ~ 10.1)	498	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	町内Ⅲ
3	大井 1214-3	(1994.6.7)	330	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	町内Ⅳ
4	大井 1185-5	(1997.6.24 ~ 26)	271	分譲住宅	土坑 1	町内Ⅶ
5	大井字西原 1023	(2003.8.18, 19) 2003.8.20 ~ 9.2	165	個人住宅	縄文中期住居跡 1、縄文土器・石器	町内X II
6	大井字小田久保 1207-5	(2004.10.26 ~ 10.27)2004.10.28 ~ 11.13	306	個人住宅	縄文中期住居跡 1、集石土坑 1、土坑 2、ピット 8、 縄文土器・石器	町内X II
7	大井字西原 1023-9,8	(2008.5.19 ~ 21)	333	個人住宅	遺構・遺物なし	市内 6
8	大井字小田久保 1211-1	(2010.3.3 ~ 9)	421	個人住宅	縄文時代土坑 5、ピット 8、近世以降根切り溝 9、 縄文土器・石器、泥面子	市内 8
9	大井字小田久保 1185-1	(2010.3.9)	536	個人住宅	遺構、遺物なし	市内 10

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編 I、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群



第73図 小田久保遺跡第9地点調査区域図(1/300)、土層図(1/150)

第14章 本村遺跡の調査

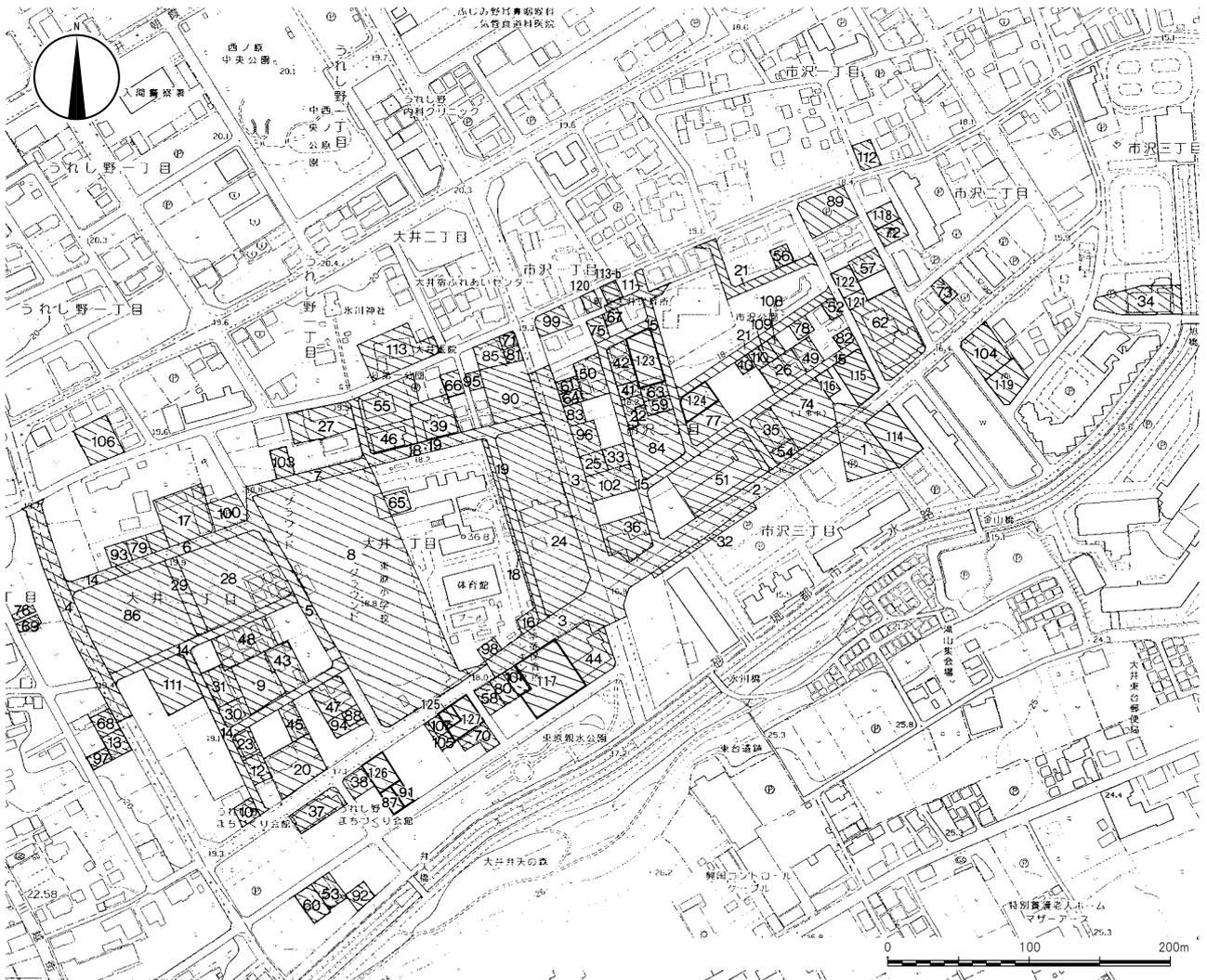
I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心的な集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることが出来る。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2013年12月現在127地点で調査を行い、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式壙・茶毘跡などを多数検出している。



第74図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第42表 本村遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	報告書
1	市沢 2-10, 市沢 3-1.2 (弁天後 1)	1985.8.27 ~ 30	2,000	農地転用	遺構・遺物無し	なし
2	大井 280-1 他 (弁天後 2)	1987.9.1 ~ 12.4	2,500	土地区画整理	旧石器・縄文: 集石、落とし穴、土坑	大調 7
3	大井 111.113.1.2.114.1.115.1.282 (弁天後 3)	1988.9.5 ~ 1989.1.13	3,600	土地区画整理	縄文: 落とし穴、土坑、中世: 井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡、地下式坑	大調 7
	大井 2-20 (東原 1)	1978.7.27 ~ 8.5	40	町史編纂事業	遺構・遺物無し	大史 12
	大井 2-20 (東原 2)	1979.4.29 ~ 5.6	80	町史編纂事業	地下式坑、ビッド、土坑	大史 12
	大井 2-20 (東原 3)	1980.12.25 ~ 1981.1.5	130	町史編纂事業	地下式坑、ビッド、土坑	大史 12
4	大井 189.190.191.192 (東原 4)	1987.12.8 ~ 1988.1.29	1,872	土地区画整理	縄文: 落とし穴、中世井戸、第六天	大調 7
5	大井 143.144.2 (東原 5)	1989.1.13 ~ 2.3	1,600	土地区画整理	中世: 井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡	大調 7
6	大井 149.160.164-1 (東原 6)	1989.5.15 ~ 6.15	1,565	土地区画整理	旧石器・縄文: 落とし穴、中世: 土坑、溝	大調 7
7	大井 134 の一部 (東原 7)	1989.8.2 ~ 31	500	土地区画整理	縄文 C 式土器、堀之内式土器	大調 7
8	大井 134	1989.9.30 ~ 1991.7.11	13,161	小学校グラウンド	縄文: 落とし穴、中世: 土坑、溝、掘立柱建物跡	大調 4
9	大井 138	1989.12.4	200	ゲートボール場	盛土保存	東部 X
10	大井 172-1	1989.2.21 ~ 28	500	範囲確認調査	縄文: 落とし穴	東部 X
11	大井 82-3	1990.2.7 ~ 22	370	範囲確認調査	旧河道の北側落ち込み	東部 X
12	大井 240.241-4	1990.5.8 ~ 9	340	個人住宅	土坑、常滑片	東部 XI
13	大井 180	1990.7.25 ~ 26	428	個人住宅	土坑	東部 XI
14	大井 151.152.154 ~ 157	1990.9.17 ~ 10.31	2,160	土地区画整理	井戸 2、土坑 36、溝 4	大調 7
15	大井 100.106 ~ 109.344	1990.10.1 ~ 11.30	2,820	土地区画整理	井戸 13、土坑 26、溝 6、掘立柱建物跡 1 棟	大調 7
16	大井 110-2	1990.11.6 ~ 12	230	学童保育所	井戸 1、溝 2	東部 XI
17	大井 146.149	1991.1.7 ~ 3.7	1,270	事務所	旧石器: 礫群、ブロック 6、縄文: 伊戸 4、土坑 2、中世: 棚列、溝 2、地下式坑 1、段切	大調 3
18	大井 110	1991.4.1 ~ 6.11	252	フェンス工事	旧石器: 礫群 2、中世: 井戸 6、溝 4、地下式坑 5、土坑 15	大調 3
19	大井 110-2	1991.4.1 ~ 6.11	1,420	土地区画整理	旧石器: 礫群 2、中世: 井戸 6、溝 4、地下式坑 5、土坑 16	大調 7
20	大井 253-1	1991.5.21 ~ 6.14	1,150	個人住宅	井戸 2、土坑 3、溝 1	町内 I
21	大井 81-3.364	1991.6.17 ~ 8.31	1,772	土地区画整理	井戸 1、溝 6、地下式坑 2、土坑 6、柱穴列	大調 7
22	大井 108.109	1991.7.15 ~ 31	110	個人住宅	縄文土器、石器、陶器、磁器、ガラス、瓦、板碑、針金	町内 I
23	大井 169	1991.8.29 ~ 30	268	個人住宅	溝 1	町内 I
24	大井 110-2	1992.2.28 ~ 7.31	4,646	土地区画整理	旧石器: 礫群、中世: 井戸 24、地下式坑 10、掘立柱建物跡、溝 6、土坑 40	大調 7
25	大井 107	1992.5.21	370	倉庫建設	ビッド	町内 II
26	大井 348.369.370 の一部	1992.10.4 ~ 7	576	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 II
27	大井 145	1992.10.27	1,101	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 II
28	大井 21-2, 137, 143, 150, 156, 159, 373-1	1992.12.1 ~ 1993.2.28	4,358	土地区画整理	縄文: 土坑、中世: 段切 2、井戸 3、地下式坑 7、掘立柱建物跡、土坑 3、近世: 土坑墓 6	大調 7
29	大井 159	1993.5.20 ~ 6.4	330	土地区画整理	地下式坑 3、ビッド、土坑	大調 7
30	大井 155	1994.7.28 ~ 8.30	411	個人住宅	溝 1、土坑 1、ビッド 25	町内 III
31	大井 154.155	1994.8.4 ~	484	共同住宅	井戸 2、地下式坑 2、溝 1、土坑 14	大調 7
32	大井 351	1994.11.9 ~ 25	14,310	共同住宅	縄文: 落とし穴	町内 III
33	大井 107.427-1	1994.11.11	337	駐車場造成	段切状遺構、土坑	町内 III
34	大井 533-5	1994.12.2 ~ 3	1,013	共同住宅	遺構・遺物無し	町内 III
35	大井 357-1	1994.4.4 ~ 12	452	共同住宅	遺構・遺物無し	町内 IV
36	大井 101-9-10	1994.9.2 ~ 10.31	890	共同住宅	旧石器: 礫群 2、縄文: 落とし穴、土坑、中世: 井戸 2、溝 3、土坑 16、棚列、ビッド	大調 12
37	大井 251	1994.8.31 ~ 9.2	596	事務所	遺構・遺物無し	町内 IV
38	大井 253	1994.8.30 ~ 9.7	264	個人住宅	中世~近世の溝 1	町内 IV
39	大井 124-1	1994.11.9 ~ 16	805	共同住宅	遺構・遺物無し	町内 IV
40	大井 321-1	1994.11.22	131	宅地分譲	遺構・遺物無し	町内 IV
41	大井 325	1994.11.29 ~ 12.7		宅地分譲	近代のゴミ穴	大調 12
42	大井 326	1994.11.29 ~ 12.7	614	宅地分譲	近代のゴミ穴	大調 12
43	大井 153-2.3	1995.2.23 ~ 3.29	704	宅地開発	縄文: 土坑、中世: 井戸 1、土坑 3、溝 1、水路跡	大調 12
44	大井 287-1	1995.4.10 ~ 5.25	1,198	共同住宅	縄文: 落とし穴 1、土坑 3、中世: 井戸 1、溝 1、土坑 1、棚列、ビッド 34	大調 12
45	大井 253 他	1995.6.18 ~ 7.17	324	個人住宅	縄文: 落とし穴 1、中世: 溝 5、土坑 14、ビッド 23	町内 V
46	大井 126	1995.6.1 ~ 7.28	744	共同住宅	中世: 土坑 15、ビッド 7、南側旧河床	大調 12
47	大井 253.255	1995.7.18 ~ 28	608	宅地分譲	土坑 2	町内 V
48	大井 140	1995.9.30 ~ 11.20	1,122	宅地分譲	中世: 井戸 11、掘立柱建物跡 7、溝 2、地下式坑 3、土坑 14、棚列 4、水路	大調 12
49	大井 333	1996.1.16 ~ 2.3	280	個人住宅	溝 1、土坑 5、ビッド 51、北側埋没河川	町内 V
50	大井 106	1996.2.20 ~ 24	571	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 V
51	大井 350.360 他	1996.4.3 ~ 5.30	2,412	共同住宅	旧石器・縄文: 落とし穴 8、集石土坑 2、中世: 井戸 2、土坑 1、棚列	大調 12
52	大井 328	1997.4.10 ~ 25	140	倉庫	地下式坑 3、掘立柱建物跡 1、土坑 6、ビッド 24	町内 VI
53	大井 243-2.244-1.289-1	1997.4.17 ~ 6.25	275	個人・分譲住宅	礫群 1、土坑 4、近世: 溝 4	町内 VI
54	大井 3491-2	1997.4.11 ~ 17	207	個人住宅	溝	町内 VI
55	大井 125-1.38-2	1996.6.25 ~ 7.31	936	共同住宅	旧石器: 石器群 2、礫群 5、中世: 溝 1、土坑 26、棚列、焼土跡、ビッド 21	大調 12
56	大井 302-1	1996.7.24 ~ 8.7	243	個人住宅	地下式坑 1(21 地点で確認の地下式坑)	大調 12
57	大井 331	1996.8.28 ~ 29	300	共同住宅	遺構・遺物無し	町内 VI
58	大井 279.282	1996.12.24 ~ 1997.1.9	284	店舗併用住宅	土坑 1	町内 VI
59	大井 365-2	1997.2.12	331	共同住宅	遺構・遺物無し	町内 VI
60	大井 129	1997.6.2 ~ 14	320	分譲住宅	礫集中 5・ビッド 3	町内 VII
61	大井 76	1997.6.4 ~ 14	134	個人住宅	井戸 1	町内 VII
62	大井 342	1997.10.21 ~ 1998.1.20	391	共同住宅	旧石器: 礫群 1、縄文: 落とし穴、中世: 井戸 5、溝 16、土坑 98、棚列 2、ビッド、地下式坑 2、掘立柱建物跡、竪穴状遺構	大調 12
63	大井 380	1998.10.31 ~ 11.1	154	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 VII
64	市沢 2-8-2	1998.10.13 ~ 18	134	個人住宅	ビッド 1	町内 VII
65	大井 110-2	1998.4.16 ~ 5.21	391	学校増築	旧石器: 礫群 5、中世: 溝 1、土坑 2、ビッド 13	大調 12
66	大井 2-8-8.9	1999.2.7 ~ 16	179	駐車場造成	近世以降: 溝、ビッド	町内 VII
67	市沢 2-1-4	1999.3.25 ~ 26	140	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 VII
68	大井 182	1999.4.17 ~ 21	302	個人住宅	落とし穴 1	町内 VII
69	大井 1-4-5	1999.8.24	116	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 VII
70	大井 2-12-7	1999.9.4	354	個人住宅	縄文: ビッド 1	町内 VII
71	大井 2-7-3	1999.10.12	116	個人住宅	ビッド	町内 VII
72	市沢 2-12-12	1999.11.12	210	アスファルト駐車場	ビッド	町内 VII
73	市沢 2-14-1	1999.11.12	156	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 VII
74	大井 108-2.3.6.7	1999.2.8 ~ 17	1,495	共同住宅	中世: 溝 4、土坑 2、ビッド 18、棚列 1	町内 VII
75	市沢 2-1-2	1999.1.18	224	個人住宅	遺構・遺物無し(地山は水成堆積した黒色土)	町内 VII
76	大井 1-4-6	1999.5.15 ~ 18	118	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 IX
77	市沢 2-6-18.19	1999.7.27 ~ 8.2	538	駐車場造成	ビッド 1	町内 IX
78	市沢 2-6-6	1999.9.20	158	個人住宅	ビッド 1	町内 IX
79	大井 2-19-9	1999.10.22 ~ 30	642	個人住宅	集石土坑 1・ビッド 2	町内 IX
80	大井 2-11-2	1999.10.26 ~ 30	204	個人住宅	縄文: 土坑 2、ビッド 1	町内 IX
81	大井 2-7-3	1999.12.8 ~ 10	117	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 IX
82	市沢 2-6-11	1999.12.9 ~ 10	171	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 IX
83	市沢 2-8-4	1999.12.9 ~ 13	181	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 IX
84	市沢 2-7-6	2000.2.2 ~ 3.6	1,310	共同住宅	縄文: 落とし穴 1、中世: 段切、井戸 2、茶臼跡 1、掘立柱建物跡 10、土坑 26、溝 2、棚列 2	大調 15
85	大井 2-7-2	2000.1.6	409	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 IX

地点	所在地	調査期間	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	報告書
86	大井 2-19-1 ~ 4.14	2000.5.15 ~ 6.29	5,745	公衆浴場	古代：木炭窯 1、中世：掘立柱建物跡 1、段切 1、地下式坑 5、井戸 6、溝 13、茶臼跡 3、土坑 97、欄列 2、ピット 531	大調 15 町内 X
87	大井 2-12-2	2000.5.31 ~ 6.3	165	個人住宅	旧河川流域路・ピット 3	町内 X
88	大井 2-17-6	2000.6.27 ~ 7.3	154	個人住宅	用水路	町内 X
89	市沢 2-11-1.2	2000.7.19 ~ 8.1	326	分譲住宅	縄文：落とし穴 1、イモビツ	町内 X
90	大井 2-7-4.5	2000.8.31 ~ 9.22	540	店舗	縄文：集石 1、近世溝	町内 X
91	大井 2-12-2	2000.9.25 ~ 27	37	個人住宅	旧河川流域路	町内 X
92	大井 2-14-11	2000.10.10	25	個人住宅	旧河川流域路	町内 X
93	大井 2-20-9	2001.2.16 ~ 21	283	社員寮	ピット	町内 X
94	大井 2-18-6	2001.2.20 ~ 3.6	87	個人住宅	中世：溝 6、土坑 1、ピット 7、近世：溝 4	町内 X
95	大井 2-7-10	2001.3.6 ~ 9	41	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 X
96	市沢 2-8-5	2001.7.10 ~ 13	99	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 X
97	大井 1-7-11	2001.7.11 ~ 12	41	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 X
98	大井 2-9-3	2001.12.17 ~ 19	17	学童保育所	溝 2	町内 X
99	市沢 2-1	2002.7.1 ~ 31	300	共同住宅	旧石器：礫群 4、石器集中 1、中世：土坑 4、欄列 1	大調 15
100	大井 2-20-7	2002.8.20 ~ 26	463	分譲住宅	遺構・遺物無し	町内 X
101	大井 2-11-3	2002.9.30 ~ 10.4	217	店舗併用住宅	溝	町内 X
102	市沢 2-8	2002.12.11 ~ 2003.2.10	1,264	共同住宅	縄文：落とし穴、古代以降：井戸 7、柱穴列 8、溝 4、土坑 11、道路状遺構	大調 15
103	大井 143	2003.2.13 ~ 18	237	個人住宅	土坑 1、ピット 1	町内 X
104	市沢 3-4-1	2003.5.14 ~ 30	804	共同住宅	縄文：炉穴 4、中世：段切遺構、地下式坑 2、溝 3、土坑 4、ピット 36	町内 X
105	大井 2-12-4	2003.6.4 ~ 6	131	個人住宅	土坑 1	町内 X
106	大井 2-1-11	2003.7.2 ~ 8	135	分譲住宅	遺構・遺物無し	町内 X
107	大井 2-12-4	2003.7.3 ~ 5	130	個人住宅	溝 1、土坑 1、ピット 1	町内 X
108	市沢 2-6-25	2003.7.17 ~ 23	109	個人住宅	ピット 5	町内 X
109	市沢 2-6-26	2003.7.17 ~ 23	114	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 X
110	市沢 2-6-27	2003.10.16 ~ 18	101	個人住宅	遺構・遺物無し	町内 X
111	大井 2-16-2	2003.11.21 ~ 12.11	1,033	分譲住宅	縄文：炉穴 1、風倒木痕 2、中世：溝 1、地下式坑 2、土坑 1、木炭窯 1、不明遺構 1、ピット 10	大調 21
112	市沢 1-17-16	2004.7.27	289	共同住宅	遺構・遺物無し	町内 X
113	大井 2-4-8	2002.8.22	1,051	駐車場造成	遺構・遺物無し	町内 X
113-b	市沢 2-2-3	2005.5.9 ~ 10	27	個人住宅	欄列の一部	市内 2
114	市沢 3-2-1.12	2005.10.21 ~ 28	129	分譲住宅	遺構・遺物無し	市内 2
115	市沢 2-10-6	2005.11.21 ~ 2006.1.31	170	分譲住宅	中世掘立柱建物跡、井戸、土坑、ピット、溝	市内 2
116	市沢 2-10-4 の一部	2006.1.17	9	個人住宅	遺構・遺物無し	市内 2
117	大井 2-11-4.6	2006.3.22 ~ 4.14	1,487	店舗	溝・土坑・欄列	市内 2
118	市沢 2-12-13	2006.5.24 ~ 25	80	個人住宅	縄文：落とし穴 1	市内 3
119	市沢 3-4-24	2008.6.4 ~ 25	559	共同住宅	中世：地下式坑 2、土坑 16、ピット 58	市内 5
120	市沢 2-2-2	2008.12.18	141	個人住宅	遺構・遺物無し	市内 6
121	市沢 2-11-9	2009.4.22	150	個人住宅	遺構・遺物無し	市内 6
122	市沢 2-11-9.26.27	2009.5.27 ~ 6.3	301	宅地造成	中世：地下式坑	未報告
123	市沢 2-7-2	2010.7.5~9	620	宅地造成 (4 区画)	遺構・遺物無し	市内 10
124	市沢 2-6-1	(2010.7.8 ~ 12) 2010.7.12	428	宅地造成 (3 区画)	中世：土坑 1	市内 10
125	大井 2-12-17	2010.9.6	143	個人住宅	遺構・遺物無し	市内 10
126	大井 2-12-2	2010.10.4 ~ 6	611	個人住宅	遺構・遺物無し	市内 10
127	大井 2-12-5, 16, 18	2010.11.4 ~ 8	417	分譲住宅	遺構・遺物無し	市内 10

大調=大井町遺跡調査会報告、大史=大井町史料、東部=東部遺跡群、町内=町内遺跡群、市内=市内遺跡群

II 本村遺跡第 123 地点

(1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 5 月 31 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置し、かつて「フルドウ」(古堂)と呼ばれていた場所の近くである。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2010 年 7 月 5 日から 9 日まで、幅約 1 ~ 2 m のトレンチ 4 本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、ほぼ全面で現地表面から約 130 cm の深さまで土取りが行われており攪乱されていた。特に調査区の南と北が著しい。中央部分は区画整理前の土地境のため地山の残りはいい。遺構・遺物は確認されず工事による掘削が遺跡に影響を与えないため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

III 本村遺跡第 124 地点

(1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 5 月 31 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

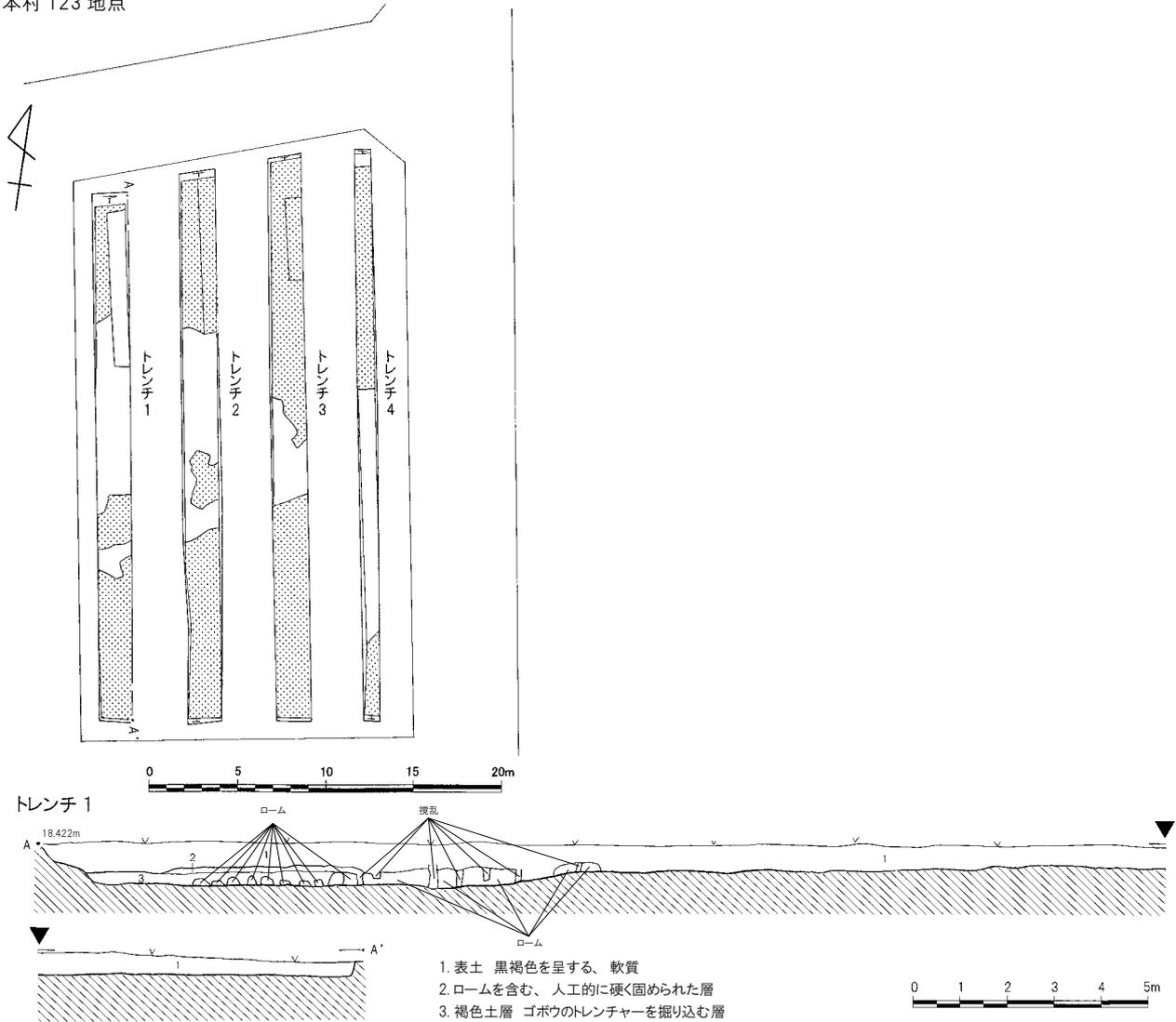
試掘調査は 2010 年 7 月 8 日から 12 日まで、幅約 2 m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、ほぼ全面で現地表面から約 100 cm の深さまで土取りが行われており盛土されていた。中世と思われる土坑 1 基を確認したため調査し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

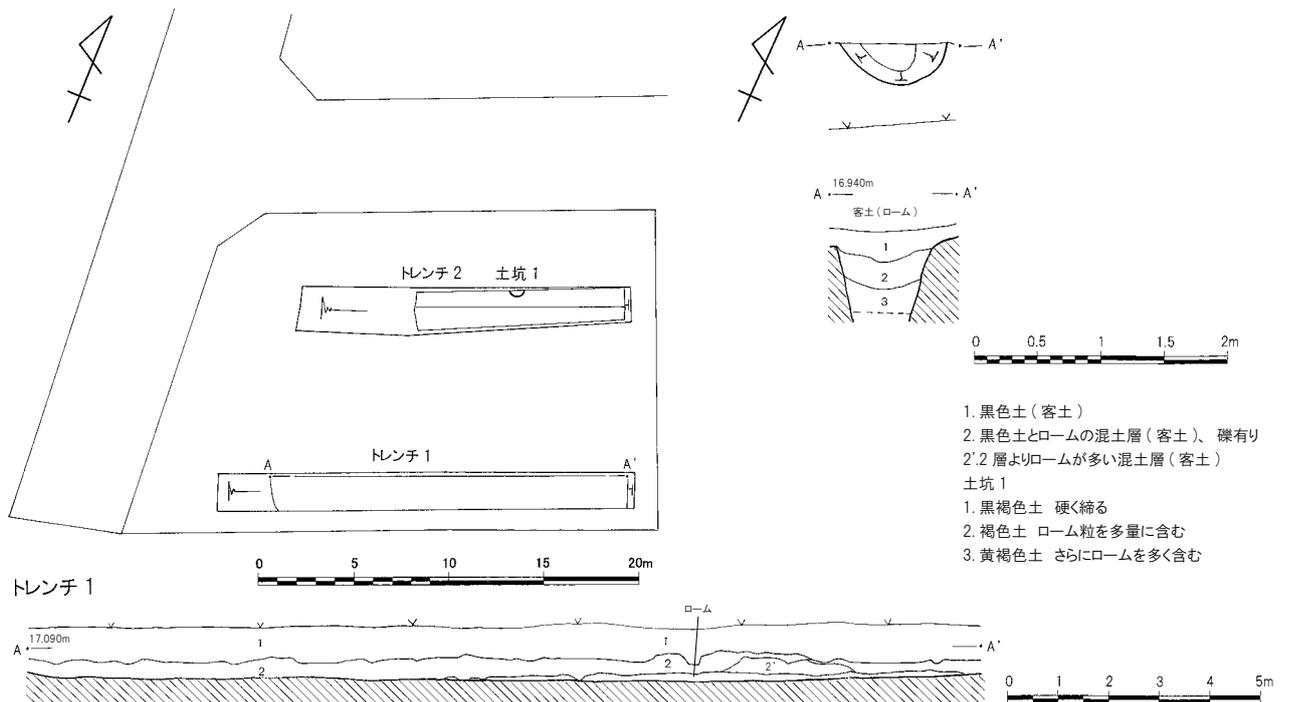
① 土坑

調査区北側に土坑を 1 基検出した。土坑北半分と底面は未調査である。上端東西 85 cm、下端 38 cm、確認面からの深さ 60 cm まで掘削した

本村 123 地点



本村 124 地点



第 75 図 本村遺跡第 123・124 地点遺構配置図 (1/400)、土層図 (1/150)、土坑 (1/60)

IV 本村遺跡第125地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年8月23日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年9月6日に、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、南側で砂川の旧流路と思われる黒色土堆積を確認したが、他に遺構・遺物は検出しなかった。遺構確認面までの深さは約60cmである。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

V 本村遺跡第126地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年8月11日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年10月4日から6日まで、幅約1～2mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、区画整理で廃止となった用水路跡を確認した。また、地山は黒色であり、砂川の自然流路にあたる。他に遺構・遺物は検出しなかった。遺構確認面までの深さは約50～100cmである。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

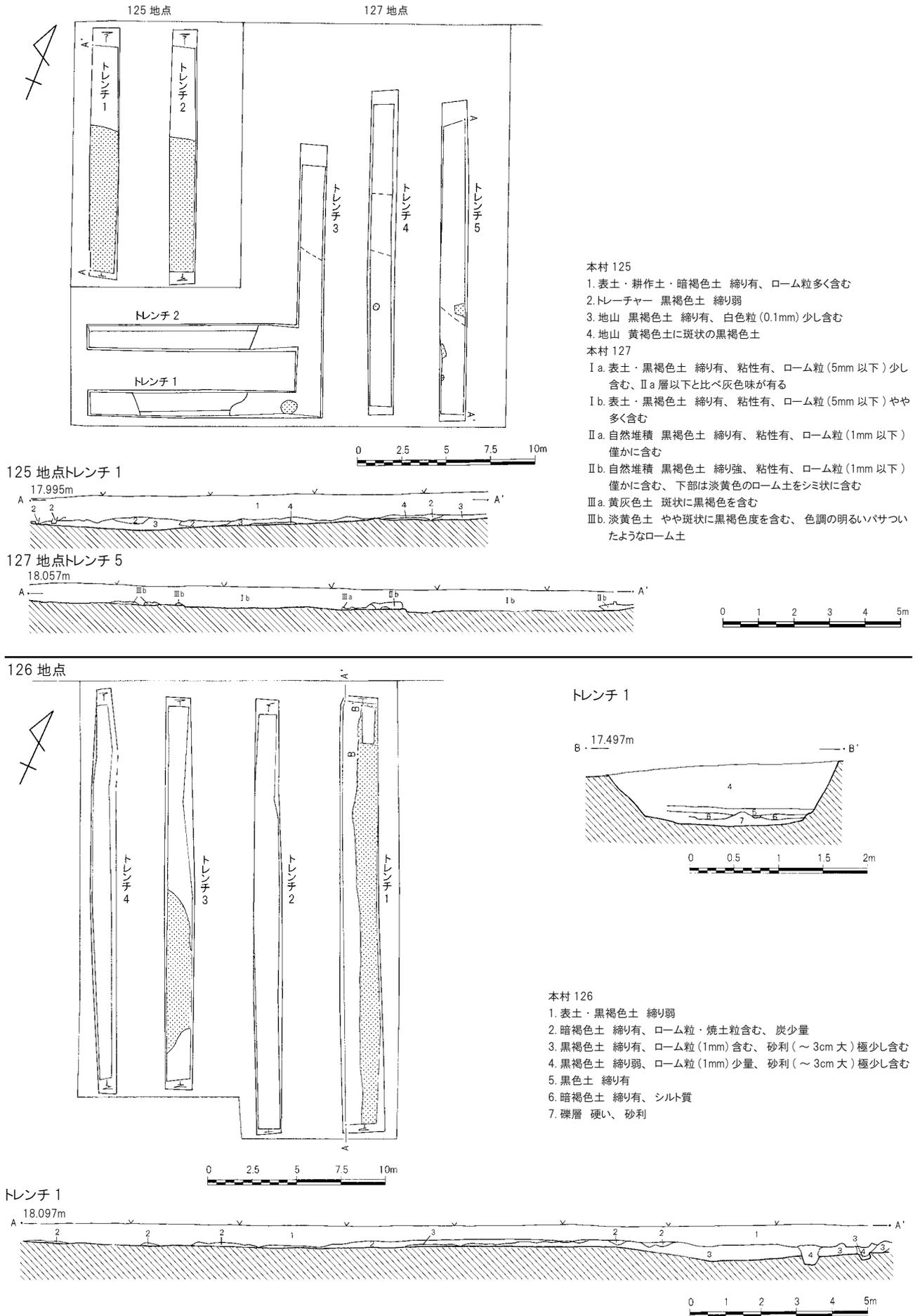
VI 本村遺跡第127地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年9月9日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南部に位置し、125地点の東側に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年11月4日から8日まで、幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後、

人力による表面精査を行った。その結果、砂川の旧流路と思われる黒色土堆積を確認したが、他に遺構・遺物は検出しなかった。遺構確認面までの深さは約50～70cmである。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第 76 図 本村遺跡第 125・126・127 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150・1/60)



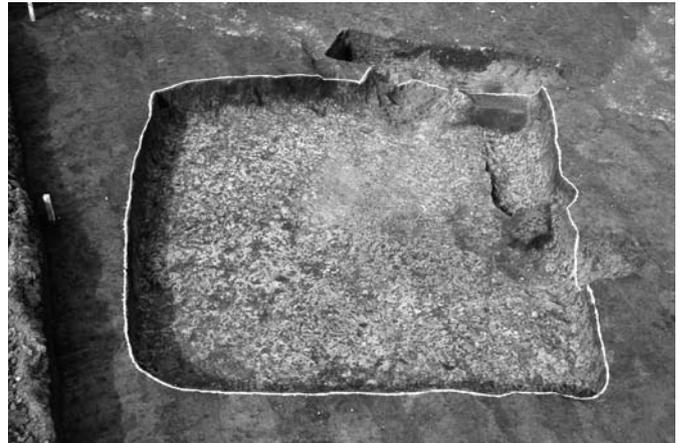
北野遺跡第 19 地点トレンチ 1



北野遺跡第 19 地点トレンチ 2



川崎遺跡第 32 地点全景



川崎遺跡第 32 地点 H65 号住居跡全景



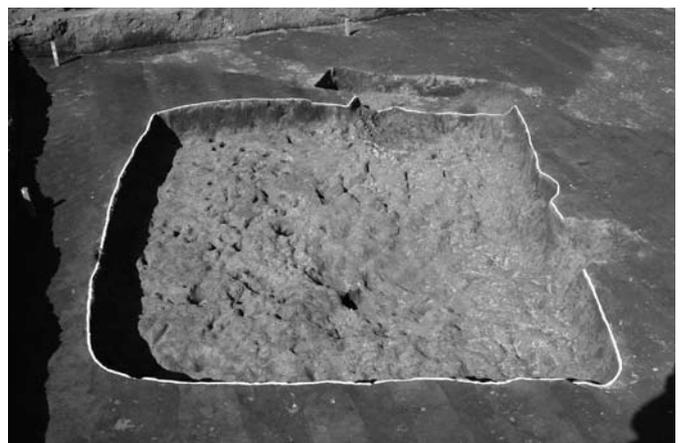
川崎遺跡第 32 地点 H65 号住居跡階段状遺構



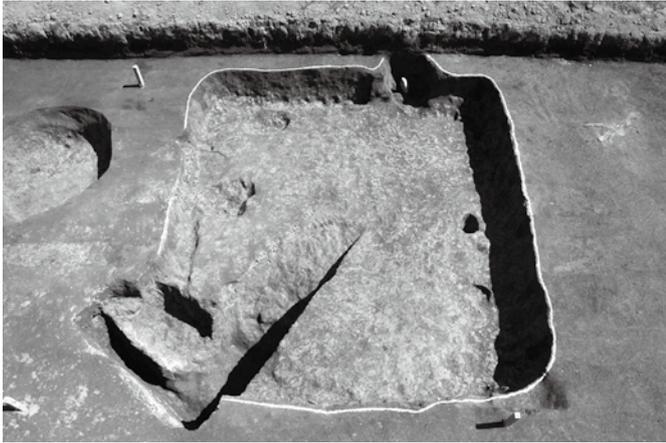
川崎遺跡第 32 地点 H65 号住居跡竈



川崎遺跡第 32 地点 H65 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 32 地点 H65 号住居跡掘方



川崎遺跡第 32 地点 H66 号住居跡全景



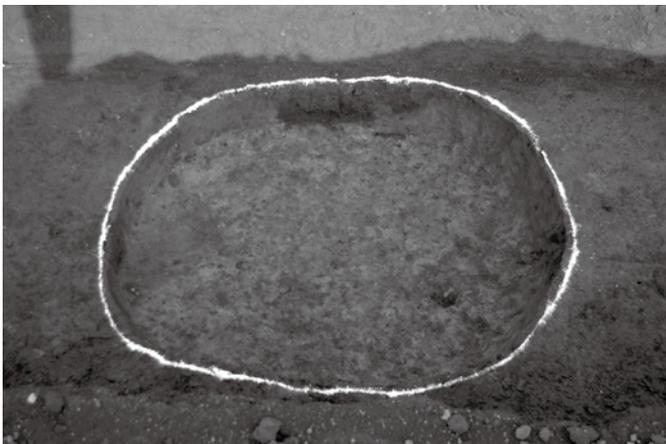
川崎遺跡第 32 地点 H66 号住居跡竈



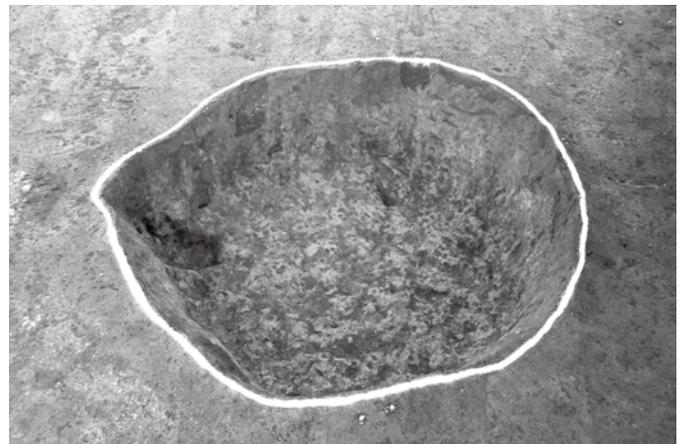
川崎遺跡第 32 地点 H66 号住居跡掘方



川崎遺跡第 32 地点 H67 号住居跡全景



川崎遺跡第 32 地点土坑 1



川崎遺跡第 32 地点土坑 2

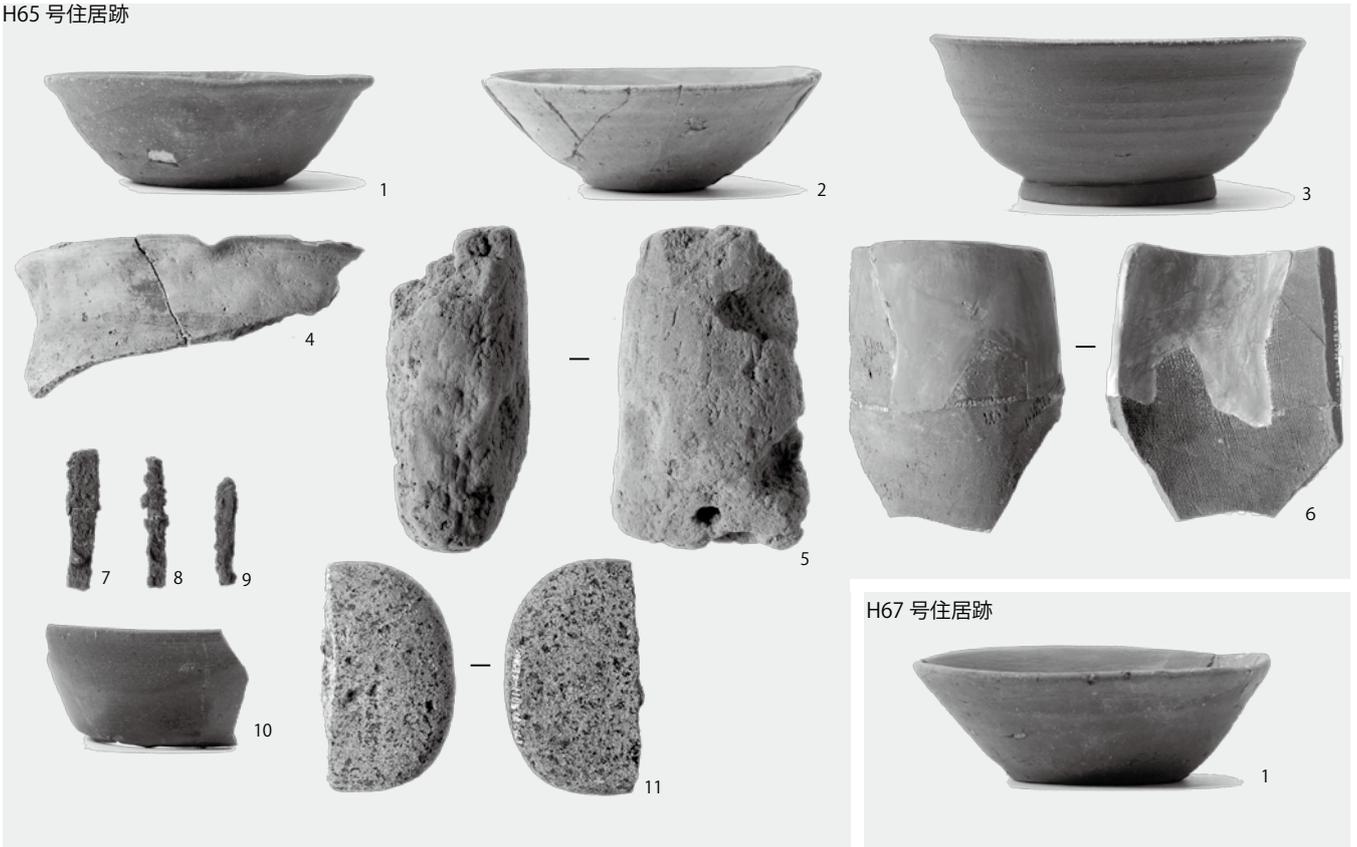


川崎遺跡第 32 地点土坑 3

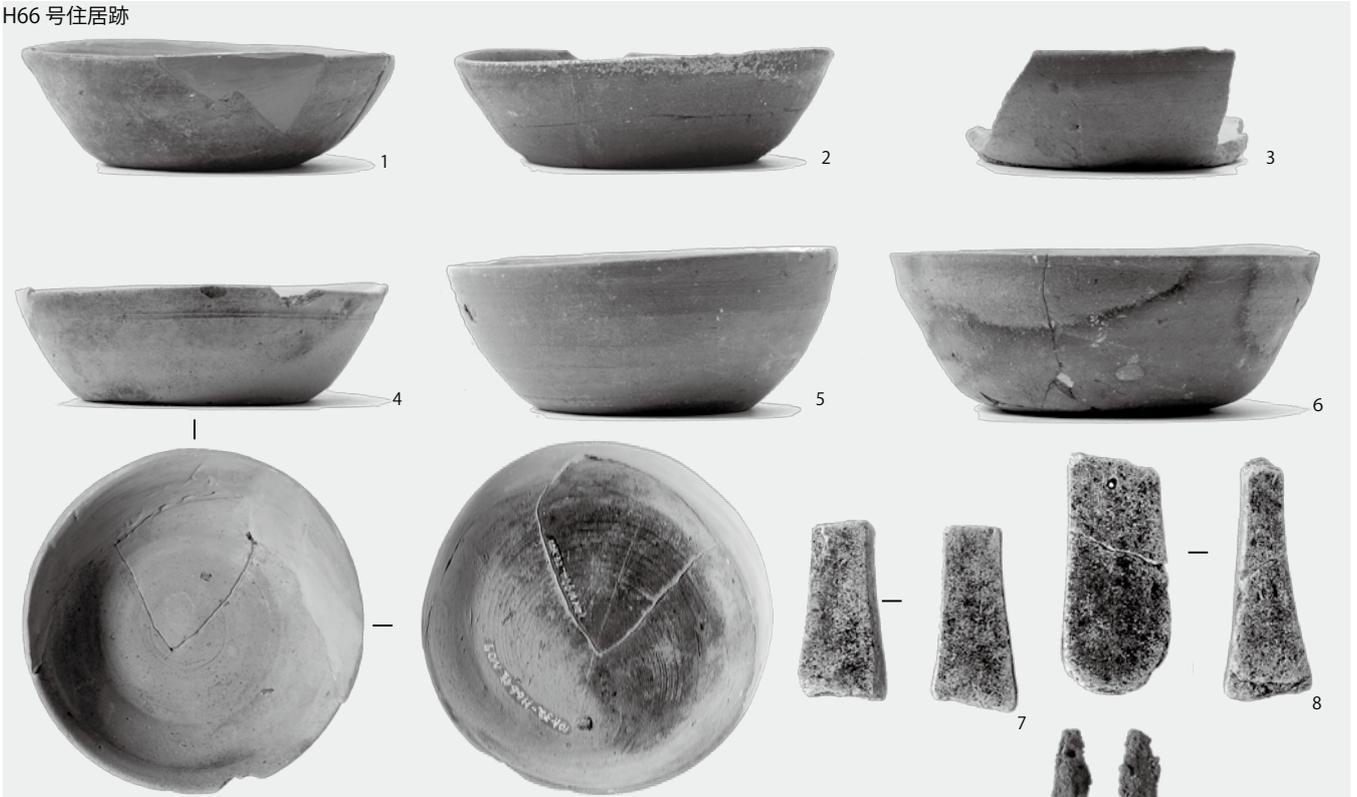


川崎遺跡第 32 地点調査風景

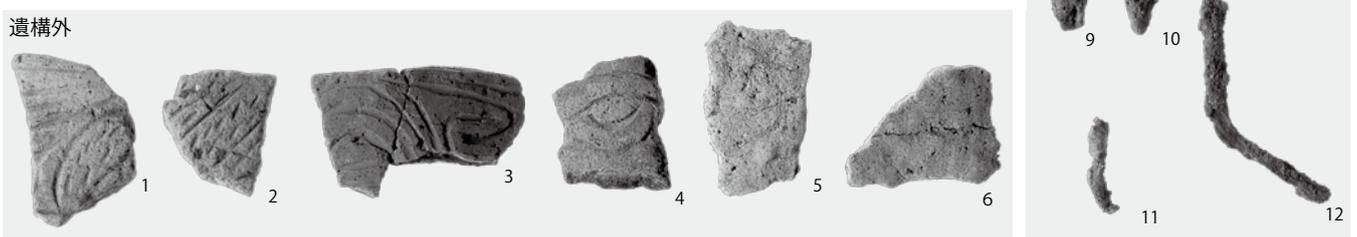
H65 号住居跡



H66 号住居跡



遺構外





滝遺跡第 17 地点全景



滝遺跡第 17 地点 H23・25 号住居跡全景 (東から)



滝遺跡第 17 地点 H23・25 号住居跡全景 (南から)



滝遺跡第 17 地点遺物出土状況



滝遺跡第 17 地点 H25 号住居跡遺物出土状況



滝遺跡第 17 地点 H26 号住居跡遺物出土状況



滝遺跡第 17 地点 H27 号住居跡全景



滝遺跡第 17 地点集石土坑 1



滝遺跡第 17 地点井戸 1



滝遺跡第 17 地点土坑 1



滝遺跡第 17 地点土坑 2・P20



滝遺跡第 17 地点土坑 3



滝遺跡第 17 地点溝 1



23 号住居跡



24 号住居跡

滝遺跡第 17 地点出土遺物

25 号住居跡



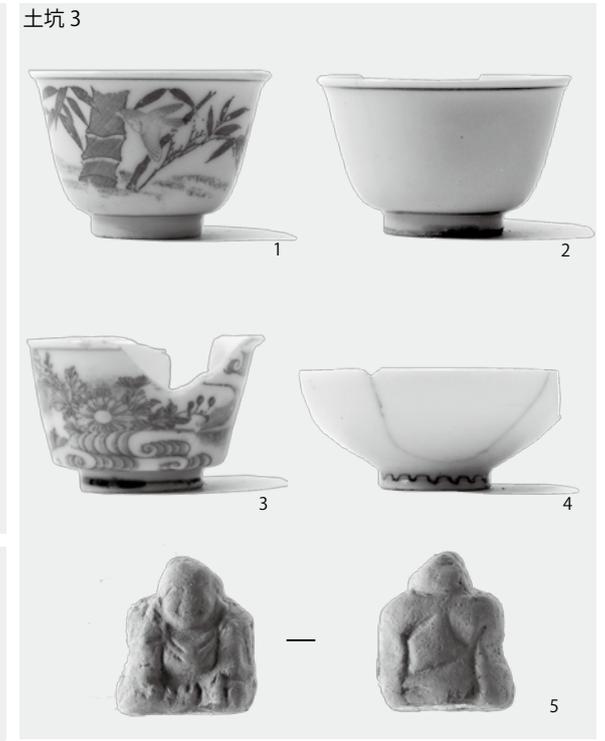
26 号住居跡



27 号住居跡



土坑 3



遺構外

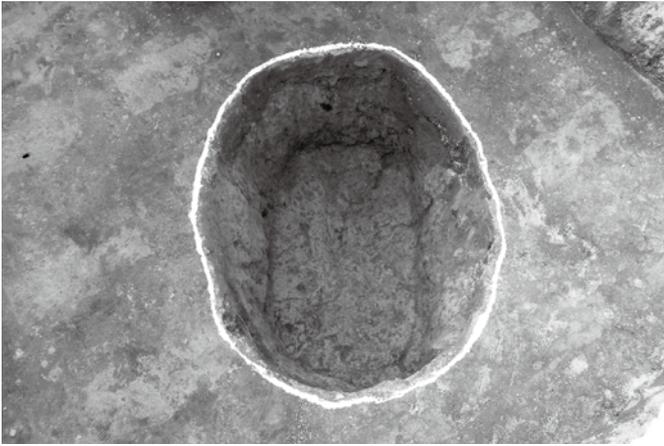




松山遺跡第 51 地点全景



松山遺跡第 52 地点全景



松山遺跡第 52 地点落とし穴



松山遺跡第 52 地点溝



松山遺跡第 53 地点全景



松山遺跡第 53 地点穴蔵

溝 1



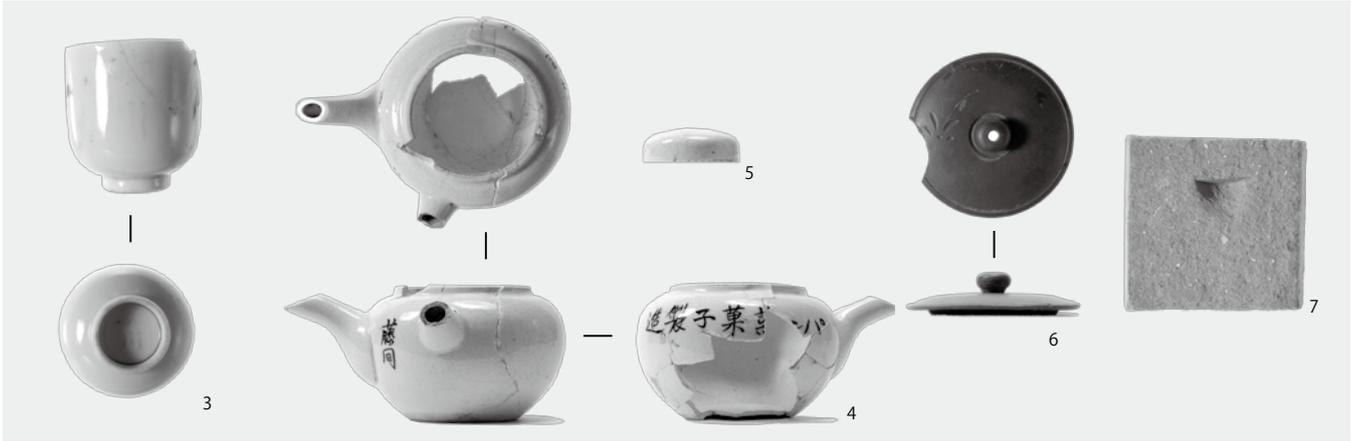
遺構外



松山遺跡第 52 地点出土遺物



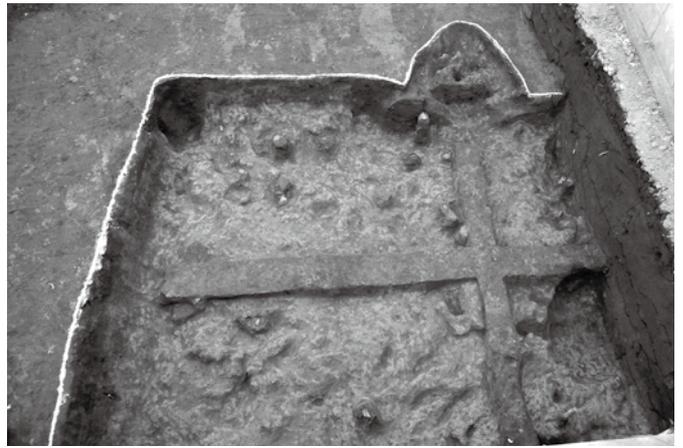
松山遺跡第 53 地点遺構外出土遺物



松山遺跡第 53 地点遺構外出土遺物



松山遺跡第 55 地点 H40 号住居跡



松山遺跡第 55 地点 H40 号住居跡掘方



松山遺跡第 55 地点 H40 号住居跡竈



松山遺跡第 55 地点掘立柱建物跡



松山遺跡第 55 地点掘立柱建物跡ピット 1 遺物出土状況

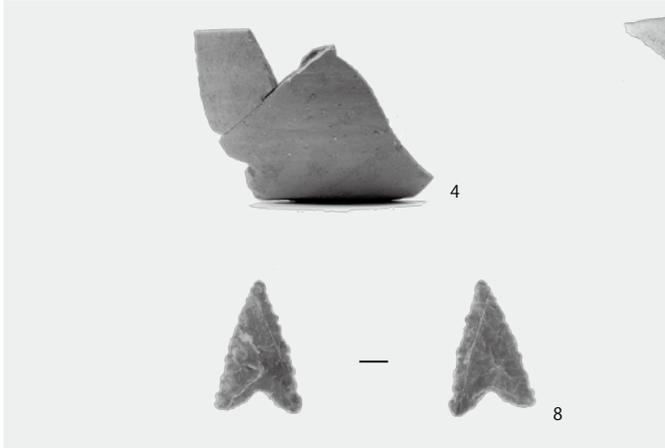


松山遺跡第 55 地点 H40 号住居跡土坑 1



松山遺跡第 55 地点調査風景

H40 号住居跡



松山遺跡 55 地点出土遺物



東久保遺跡第 69 地点



駒林遺跡第 11 地点トレンチ 2



駒林遺跡第 11 地点トレンチ 3



駒林遺跡第 12 地点溝 1



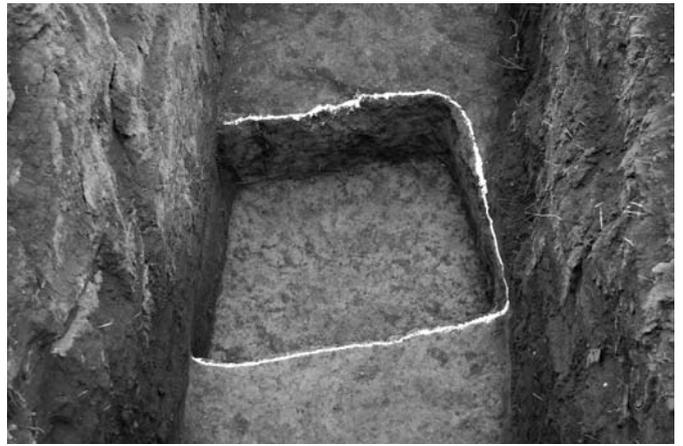
駒林遺跡第 13 地点全景



駒林遺跡第 13 地点ピット群



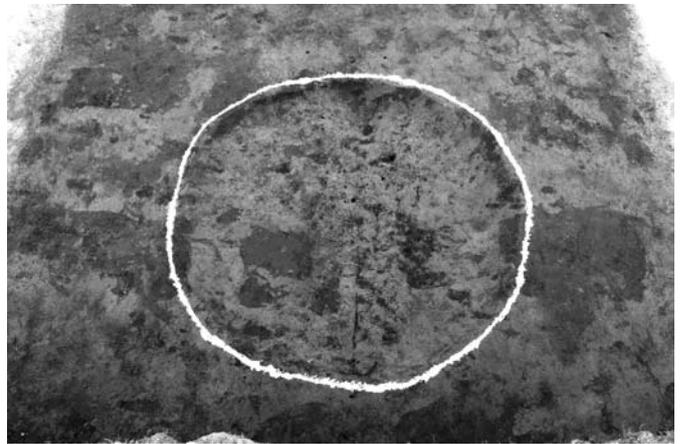
駒林遺跡第 13 地点土坑 1



駒林遺跡第 13 地点土坑 2



駒林遺跡第 14 地点全景



駒林遺跡第 14 地点土坑 1



駒林遺跡第 15 地点土坑 1



駒林遺跡第 15 地点調査風景



東中学校西遺跡第 34 地点



東久保南遺跡第 38 地点



西ノ原遺跡第 145 地点溝 1・2・4



西ノ原遺跡第 145 地点溝 3



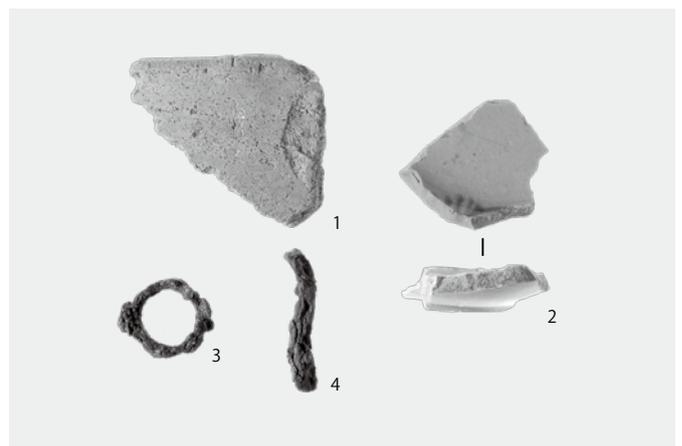
西ノ原遺跡第 145 地点溝 5



西ノ原遺跡第 146 地点



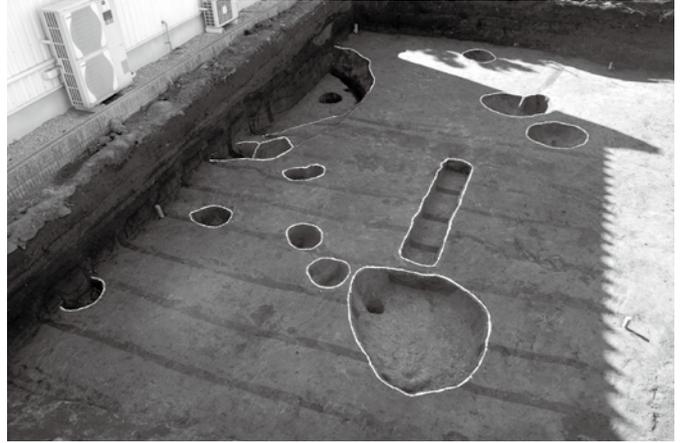
西ノ原遺跡第 146 地点溝



西ノ原遺跡」第 146 地点出土遺物



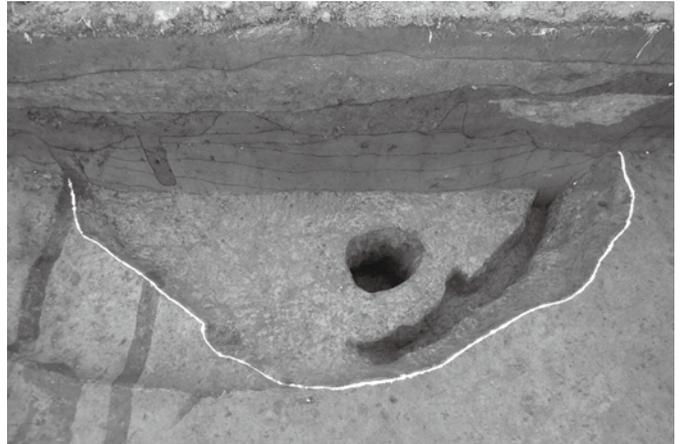
西ノ原遺跡第 147 地点中央部全景



西ノ原遺跡第 147 地点南側全景



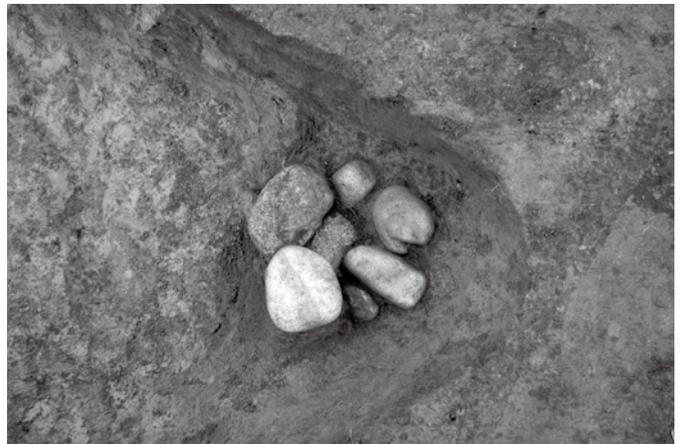
西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡全景



西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡土層



西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡炉



西ノ原遺跡第 147 地点集石土坑 2(ピット 37)

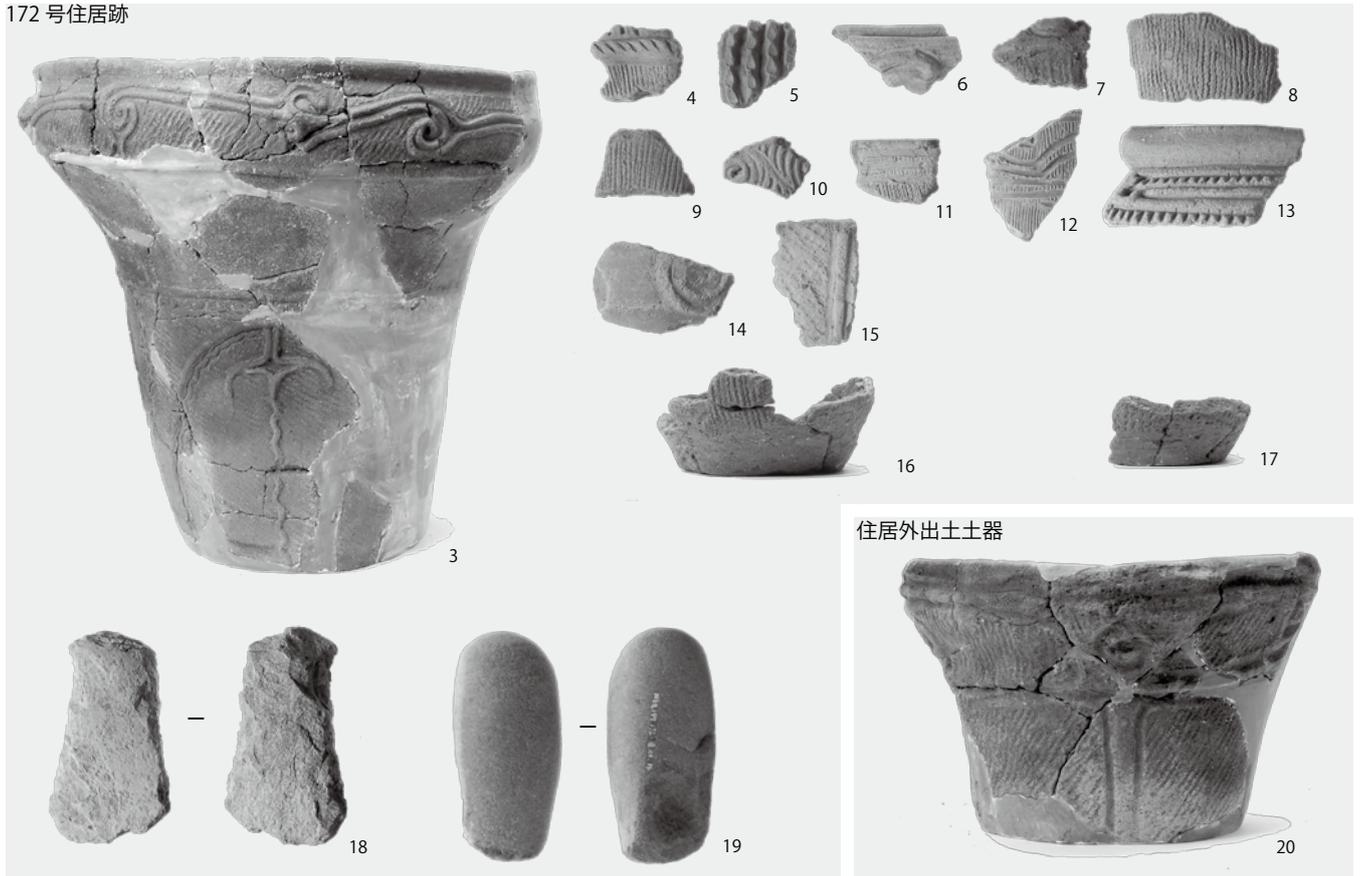


西ノ原遺跡第 147 地点集石土坑 1



西ノ原遺跡第 147 地点 172 号住居跡出土遺物

172 号住居跡



住居外出土土器



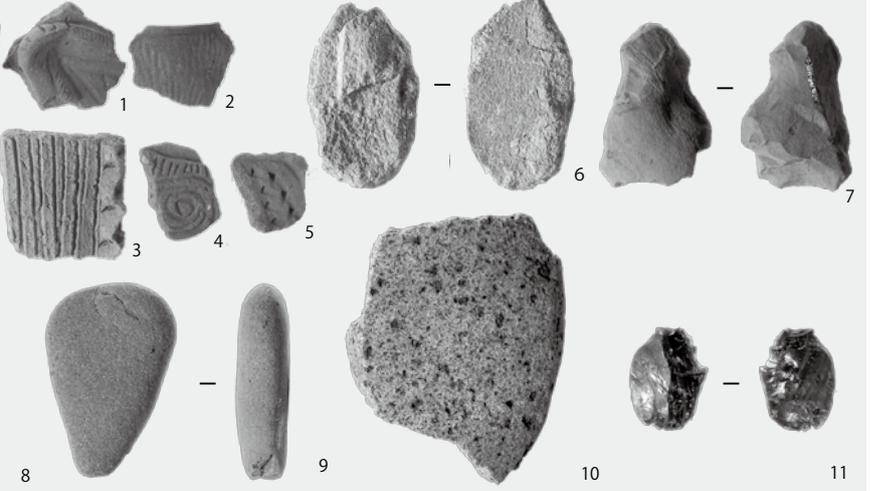
集石土坑 1



土坑 1



遺構外



P50



西ノ原遺跡第 147 地点出土遺物



西ノ原遺跡第 148 地点全景中央



西ノ原遺跡第 148 地点全景南



西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡



西ノ原遺跡第 147・148 地点溝 1・2



西ノ原遺跡第 148 地点土坑 1

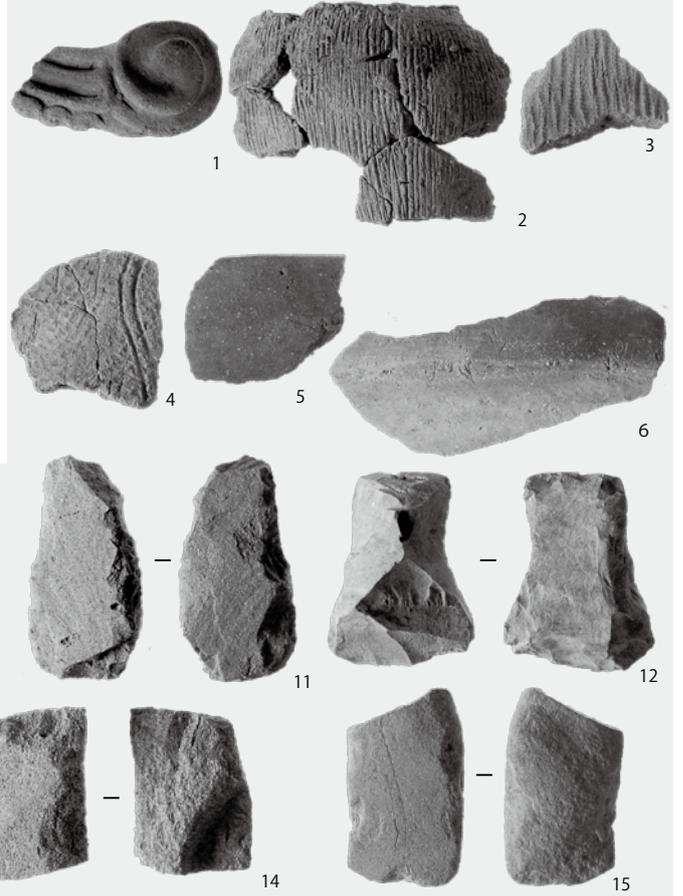


西ノ原遺跡第 148 地点土坑 3



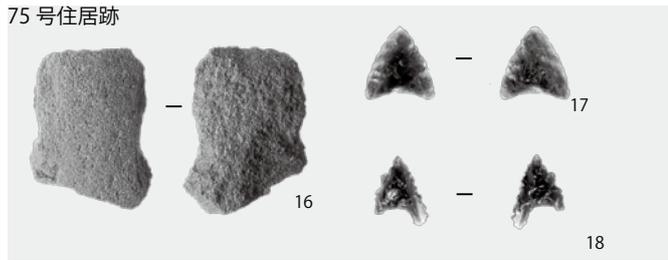
西ノ原遺跡第 148 地点土坑 4

75 号住居跡

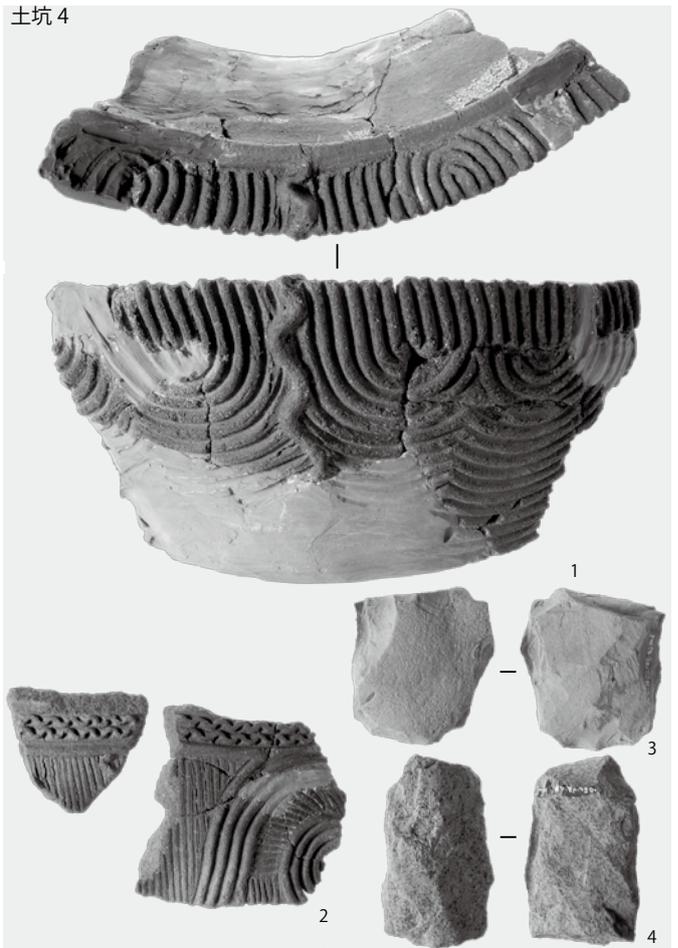


西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡出土遺物

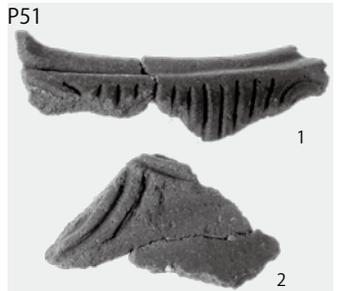
75 号住居跡



土坑 4



P51



P61



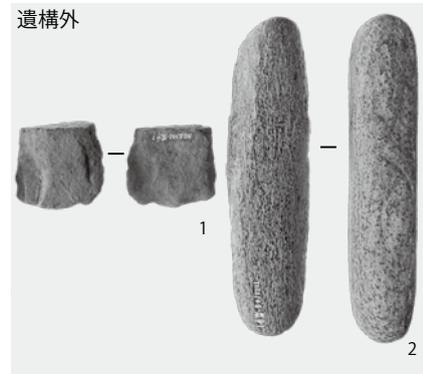
P68



P71



遺構外



西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡、土坑 4、P51、P61、P68、P71、遺構外出土遺物



西ノ原遺跡第 149 地点



神明後遺跡第 42 地点



神明後遺跡第 43 地点全景



神明後遺跡第 43 地点ピット



浄禅寺跡遺跡第33地点



小田久保遺跡第9地点



本村遺跡第123地点トレンチ3完掘



本村遺跡第124地点トレンチ2土坑プラン



本村遺跡第124地点トレンチ2北壁



本村遺跡第125地点



本村遺跡第126地点



本村遺跡第127地点

報告書抄録

書名	市内遺跡群 10		シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 11 集		
編集者	高崎直成		著者	笹森健一・高崎直成		
編集機関	ふじみ野市教育委員会		所在地	〒 356-8501 ふじみ野市福岡一丁目 1 番 1 号 TEL 049 (261) 2611		
発行日	2014 年 (平成 26 年) 3 月 25 日					
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
		遺跡コード	東経	調査終了	m ²	調査担当者
	種別 // 主な時代・主な遺構・主な遺物 特記事項					
かわさき 川崎遺跡第 32 地点	埼玉県ふじみ野市川崎字宮脇 140 の一部	112453 25-003	35° 51' 05" 139° 31' 31"	20110224 20110325	163	個人住宅建設 越村篤
	集落跡 // 奈良・平安時代 / 住居跡 3 軒、土坑 3 基・土師器、須恵器					
	本遺跡の西部、氷川神社の西隣に位置し、古代集落の中では比較的住居の集中する区域である。H65 号住居跡では東壁際中央に階段状の硬化面を確認した。住居の構造を検討する上で貴重な発見となった。					
たき 滝遺跡第 17 地点	埼玉県ふじみ野市滝 3 丁目 3-6,3-144	112453 25-008	35° 52' 49" 139° 31' 47"	20100506 20100618	197	分譲住宅建設 越村篤
	集落跡 // 奈良・平安時代 / 住居跡 5 軒、井戸 1 基、土坑 4 基、溝 1 条、集石土坑 1・縄文土器、奈良・平安時代須恵器・土師器					
	縄文時代の包含層の上に、奈良平安時代住居跡を確認。新河岸川の微高地上で古代から現在まで土地利用が継続して行われていた事が判明し貴重。					
まつやま 松山遺跡第 52 地点	埼玉県ふじみ野市築地 2 丁目 2-1	112453 25-010	35° 52' 23" 139° 31' 49"	20100826 20100903	322	分譲住宅建設 越村篤
	集落跡 // 時期不明・溝 1 条 / 縄文時代・落とし穴 1 基					
	集落の間に位置するため大規模な遺構は確認されなかったが、縄文時代と思しき落とし穴を検出し、概期の土地利用を研究する上で貴重な発見となった。					
まつやま 松山遺跡第 53 地点	埼玉県ふじみ野市築地 3 丁目 1-11	112453 25-010	35° 52' 20" 139° 31' 45"	20100910 20100921	90	個人住宅建設 越村篤
	集落跡 // 近代以降の溝 4 条、穴蔵 1 基					
	集落の間に位置するため大規模な遺構は確認されなかったが、近現代の穴蔵を検出し、概期の土地利用を研究する上で貴重な発見となった。					
まつやま 松山遺跡第 55 地点	埼玉県ふじみ野市松山 2 丁目 4-24 の一部	112453 25-010	35° 52' 21" 139° 31' 45"	20110117 20110131	226	個人住宅建設 高崎直成
	集落跡 // 奈良・平安時代 / 住居跡 1 軒、掘立柱建物跡 1 棟・土師器、須恵器					
	奈良平安時代の掘立柱建物跡は、集落の配置を知る上で貴重である。					
こまばやし 駒林遺跡第 12 地点	埼玉県ふじみ野市駒林元町 258-2	112453 25-013	35° 52' 00" 139° 31' 36"	20100714 20100714	30	個人住宅建設 坪田幹男
	集落跡 // 中世以降 溝 1 条					
	東西 300 m、南北 160m の範囲で「コ」字型に配置すると思われる溝跡の一部を確認。遺跡の範囲と時代を知る上で貴重。					
こまばやし 駒林遺跡第 13 地点	埼玉県ふじみ野市新駒林 3 丁目 722-1,3,4	112453 25-013	35° 52' 12" 139° 31' 35"	20100727 20100729	96	共同住宅建設 越村篤
	集落跡 // 近世 土坑 2 基、ピット 11 基・縄文土器、近世丸瓦					
	遺跡の範囲を知る上で貴重。					
にしのはら 西ノ原遺跡第 145 地点	埼玉県ふじみ野市うれし野 2 丁目 4-1-10	112453 30-001	35° 51' 23" 139° 31' 19"	20100723 20100825	564	農協事務所・農産物直売所 高崎直成
	集落跡 // 近世以降の溝 5 条					
	縄文時代中期環状集落の南部にあたり、集落の範囲を見極める上で貴重である。					

所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積 ㎡	調査原因
		遺跡コード	東経	調査終了		調査担当者
	種別 // 主な時代・主な遺構・主な遺物					
	特記事項					
にしのはら 西ノ原遺跡第147地点	埼玉県ふじみ野市旭1丁目16-8	112453	35° 51' 21"	20101208	135	個人住宅建設
	の一部	30-001	139° 31' 07"	20110119		越村篤
	集落跡 // 縄文時代中期住居跡1軒、集石土坑2基、ピット39基、近世以降溝2条・縄文土器、石器					
	縄文時代中期環状集落の中央部にあたり、集落構成を見極める上で貴重である。					
にしのはら 西ノ原遺跡第148地点	埼玉県ふじみ野市旭1丁目16-8	112453	35° 51' 21"	20110119	211	個人住宅建設
	の一部	30-001	139° 31' 07"	20110201		越村篤
	集落跡 // 縄文時代中期住居跡1軒、土坑4基、ピット31基 / 近世以降溝2条・縄文土器、石器					
	縄文時代中期環状集落の中央部にあたり、集落構成を見極める上で貴重である。					
にしのはら 西ノ原遺跡第149地点	埼玉県ふじみ野市うれし野2丁目4-7	112453	35° 51' 24"	20110207	114	農協事務所・農産物直売所
		30-001	139° 31' 19"	20110210		高崎直成
	集落跡 // 近世以降 / 溝2条					
	縄文時代中期環状集落の南部にあたり、集落の範囲を見極める上で貴重である。					
しんめいうしろ 神明後遺跡第43地点	埼玉県ふじみ野市苗間292-14	112453	35° 51' 36"	20101020	42	個人住宅建設
		30-041	139° 31' 19"	20101022		高崎直成
	集落跡 // 近世以降ピット7基・縄文土器、近世陶磁器					
	41地点で検出した屋敷地の西側外に位置するが、中世に係わる遺構の発見はなく、中近世の集落配置を知る上で貴重。					
ほむら 本村遺跡第124地点	埼玉県ふじみ野市市沢2丁目6-1	112453	35° 51' 11"	20100708	80	宅地造成
		30-034	139° 31' 23"	20100712		坪田幹男
	集落跡 // 中世以降 / 土坑1基					
	土取り後に盛土される。土坑は井戸の可能性もある。中近世の集落配置を知る上で貴重。					

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第11集

埼玉県ふじみ野市 市内遺跡群 10

2014年3月20日印刷

2014年3月31日発行

発行 ふじみ野市教育委員会

〒356-8555 埼玉県ふじみ野市福岡1丁目1番1号

TEL 049-220-2088

FAX 049-266-6271

印刷 関東図書株式会社
